

公共建築設備工事標準図

(電気設備工事編)

第 1 編

共 通 事 項

共 通 一 般 仕 様

- (a) 図は、形状及び構造の概要を示すもので、形状について多少の相違は差支えない。また、補強方法、部品の形状等の詳細については、拘束しない。
- (b) 図及び表に示す材厚は、加工前の標準厚さとし、図及び表の値以上とする。
- (c) 寸法が範囲を示している場合は、その寸法範囲内であれば、どの寸法でもよい。
- (d) 寸法が記入されていない箇所は、寸法について特に拘束しない。
- (e) 断面図、材質、成形法、施工法等で2以上記載されている場合は、そのいずれでもよい。

材 質 記 号

記 号	名 称
SPC	鋼板(SPH、SGC、SEC、CGC等を含む。)
SUS	ステンレス板
BSP	黄銅板
A1P	アルミニウム板
A2S	アルミニウム押出材
ADC	アルミニウム合金ダイカスト
ZDC	亜鉛合金ダイカスト
FC	鉄鋳物
YBSC	黄銅鋳物
AC	アルミニウム合金鋳物
P	合成樹脂(PMMA、PS、V、UF等の総称)
PMMA	メタクリル樹脂
PS	ポリスチレン樹脂
V	硬質塩化ビニル樹脂
UF	ユリア樹脂
GC	型板ガラス
GR	強化ガラス
GFR	つや消し乳白ガラス
GD	すりガラス
GH	硬質ガラス
GF	乳色ガラス(つや消し乳白ガラスを含む。)
GA	透明ガラス
GB	色ガラス
SS	一般構造用圧延鋼材
SM	溶接構造用圧延鋼材
SMA	溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材
STPG	圧力配管用炭素鋼鋼管
STKR	一般構造用角型鋼管
SGP	配管用炭素鋼鋼管
ST	鋼管
STK	一般構造用炭素鋼鋼管
BST	黄銅管
AT	アルミニウム管

備考 SPH : 熱間圧延鋼板

SGC : 溶融亜鉛めつき鋼板

SEC : 電気亜鉛めつき鋼板

CGC : 塗装溶融亜鉛めつき鋼板(塗装電気亜鉛めつき鋼板を含む。)

図示記号

図示記号は、次によるほか、JIS C 0303「構内電気設備の配線用図記号」による。

記号	名称	摘要
(配管配線)		
_____	天井隠ぺい配線	
— — —	床隠ぺい配線	
-----	露出配線	
____ F3	EM-EEF1.6-3C (二重天井内配線)	電線の太さ及び本数は、一例を示す。
____ 2F3	EM-EEF2.0-3C (二重天井内配線)	電線の太さ及び本数は、一例を示す。
_____ F3(PF16)	EM-EEF1.6-3C PF管(16)	電線の太さ及び本数は、一例を示す。
_____ 1.6(E19)	EM-IE1.6×2本 ねじなし電線管(E19)	電線の太さ及び本数は、一例を示す。
_____ 1.6(PF16)	EM-IE1.6×3本 PF管(16)	電線の太さ及び本数は、一例を示す。
_____ 1.6(F17)	EM-IE1.6×3本 金属製可とう電線管(17)	電線の太さ及び本数は、一例を示す。
1.6(MM ₁ -A) _____	EM-IE1.6×2本 1種金属線びA型	電線の太さ及び本数は、一例を示す。
_____ (PF16) C	電線の入っていないPF管(16)	電線管の太さは、一例を示す。
— □□□ —	ケーブルの防火区画貫通部	
♂	立上り	配管太さ、電線太さ及び本数は、傍記による。
♂	素通し	
♂	引下げ	
◎	ケーブルの防火区画貫通部(立上り)	ケーブルラックサイズ、電線太さ及び本数は、傍記による。 傍記Eは、延焼防止を考慮した床貫通部を示す。
◎	ケーブルの防火区画貫通部(素通し)	
◎	ケーブルの防火区画貫通部(引下げ)	
±	接地極	接地の種別及び材料は、傍記による。

記号	名称	摘要
□	ジョイントボックス	
☒	プルボックス	形式、寸法は、傍記による。
◎	ケーブル用ジョイントボックス	傍記tは、端子付を示す。
↖	受電点、引込口	
(電灯)		
□○	蛍光灯 天井付	
▨○	蛍光灯 天井付 (発電機回路)	
■○	蛍光灯 天井付 (非常用照明器具)	通路誘導灯との兼用器具を含む。
□○	蛍光灯 壁付	
○	蛍光灯 角形天井付	
○	白熱灯・HID灯 天井付	
○	白熱灯・HID灯 壁付	
▨○	白熱灯・HID灯 天井付 (発電機回路)	
▨○	白熱灯・HID灯 壁付 (発電機回路)	
●	白熱灯 (非常用照明器具)	傍記wは、壁付を示す。
●	避難口誘導灯 通路誘導灯	必要に応じ避難方向の矢印を傍記する。
●	タンブラスイッチ 1P15A×1 (連用大角形)	15A以外は、傍記による。
● 2P	タンブラスイッチ 2P15A×1 (連用大角形 2極)	15A以外は、傍記による。
● 3	タンブラスイッチ 3W15A×1 (連用大角形 3路)	15A以外は、傍記による。

記号	名称	摘要
● 4	タンプラスイッチ 4W15A×1 (連用大角形 4路)	15A以外は、傍記による。
● H	タンプラスイッチ 位置表示灯付 1P15A×1 (連用大角形)	15A以外は、傍記による。
● L	タンプラスイッチ 確認表示灯付 1P15A×1 (連用大角形)	15A以外は、傍記による。
● 3H	タンプラスイッチ 位置表示灯付 3W15A×1 (連用大角形 3路)	15A以外は、傍記による。
● 3L	タンプラスイッチ 確認表示灯付 3W15A×1 (連用大角形 3路)	15A以外は、傍記による。
●	タンプラスイッチ +確認表示灯 1P15A×1 (連用大角形)	15A以外は、傍記による。
● WP	タンプラスイッチ 1P15A×1 (防雨形)	15A以外は、傍記による。
● EX	タンプラスイッチ 2P15A×1 (防爆形 2極)	15A以外は、傍記による。
◆	調光器	容量は、傍記による。
● D	遅延スイッチ 1P10A×1 遅延時間固定形 30秒	10A以外は、傍記による。
● DF	遅延スイッチ 1P10A×1 照明・換気扇用遅延時間可変 形 (0~5分)	10A以外は、傍記による。
● T	タイマスイッチ 1P10A×1 設定時間0~60分以上、連続ON付	10A以外は、傍記による。
◆	ワイド形スイッチ 1P15A×1	15A以外は、傍記による。
◆ H	ワイド形スイッチ 位置表示灯付 1P15A×1	15A以外は、傍記による。
◆ L	ワイド形スイッチ 確認表示灯付 1P15A×1	15A以外は、傍記による。
◆ HL	ワイド形スイッチ 位置表示灯付、確認表示灯付 1P4A×1	4A以外は、傍記による。
◆ 3	ワイド形スイッチ 3W15A×1 (3路)	15A以外は、傍記による。
◆ 3H	ワイド形スイッチ 位置表示灯付 3W15A×1 (3路)	15A以外は、傍記による。
◆ 3L	ワイド形スイッチ 確認表示灯付 3W15A×1 (3路)	15A以外は、傍記による。

記号	名称	摘要
◆3HL	ワイド形スイッチ 位置表示灯付、確認表示灯付 3W15A×1 (3路)	15A以外は、傍記による。
◆4	ワイド形スイッチ 4W15A×1 (4路)	15A以外は、傍記による。
◆4H	ワイド形スイッチ 位置表示灯付 4W15A×1 (4路)	15A以外は、傍記による。
◆4L	ワイド形スイッチ 確認表示灯付 4W15A×1 (4路)	15A以外は、傍記による。
◆4HL	ワイド形スイッチ 位置表示灯付、確認表示灯付 4W4A×1 (4路)	4A以外は、傍記による。
	調光器(ワイド形)	容量は、傍記による。
◆D	ワイド形遅延スイッチ 遅延時間固定形 30秒 1P3A×1	3A以外は、傍記による。
◆DF	ワイド形遅延スイッチ 照明・換気扇用遅延時間可変形 (0~5分) 1P3A×1	3A以外は、傍記による。
◆T	ワイド形タイマスイッチ 設定時間0~60分以上、連続ON付 1P10A×1	10A以外は、傍記による。
● A	自動点滅器	容量は、傍記による。
● R	リモコンスイッチ	
⊗	セレクタスイッチ	回路数は、傍記による。
● MR	リモコンスイッチ (多重伝送用)	
● RG	リモコンスイッチ (グループ制御用)	回路数は、傍記による。
● RP	リモコンスイッチ (パターン制御用)	回路数は、傍記による。
◆ MR	ワイド形リモコンスイッチ (多重伝送用)	
◆ RG	ワイド形リモコンスイッチ (グループ制御用)	回路数は、傍記による。
◆ RP	ワイド形リモコンスイッチ (パターン制御用)	回路数は、傍記による。

記号	名称	摘要
▲▲▲T/U	ターミナルユニット付 多重伝送式リレー集合体	リレー数とその回路数は、 傍記による。
▲	リモコンリレー	
▲▲▲	リモコンリレー集合体	リレー数は、傍記による。
●RAS	熱線式自動スイッチ 1P2A×1 センサ内蔵、OFF・自動・連続の 切替スイッチ付 動作保持時間 (最小30秒以内、最大3分以上)	2A以外は、傍記による。
●RA	熱線式自動スイッチ 1P2A×1 センサ別置形、OFF・自動・連続 の切替スイッチ付 動作保持時間 (最小30秒以内、最大3分以上)	2A以外は、傍記による。
▽S _A	明るさセンサ内蔵形・連続調光タイプ	
▽S _{AN}	明るさセンサ・人感センサ内蔵形・ 連続調光タイプ	
▽S _{NT}	人感センサ内蔵形・段調光タイプ	
▽S _N	人感センサ内蔵形点滅タイプ	
○	壁付コンセント 2P15A×1	2個以上は、傍記による。 (連用形・複式)
○ _{20A}	壁付コンセント 2P20A×1	20A以上は、傍記による。 プラグ付とする。
○ _{3P}	壁付コンセント 3P15A×1	3極以上は、傍記による。 プラグ付とする。
○ _{LK}	壁付コンセント 2P15A×1 (抜止形)	2個以上は、傍記による。
○ _T	壁付コンセント 2P15A×1 (引掛形)	プラグ付とする。
○ _{FC}	ファンコイル用 壁付コンセント 3P15A×1 (引掛形)	1極は、接地極とする。
○ _E	壁付コンセント 2P15A×1 (接地極付)	2個以上は、傍記による。
○ _{ET}	壁付コンセント 及び接地端子 2P15A×1 ET×1	コンセントの2個以上は、 傍記による。

記号	名称	摘要
Ⓐ _{WP}	壁付コンセント 2P15A×1 (防雨形)	形式は、傍記による。
Ⓐ _{EX}	壁付コンセント 2P15A×1 (防爆形)	プラグ付とする。
Ⓑ	床コンセント 2P15A×1	2個以上は、傍記による。
Ⓑ _{LK}	天井コンセント 2P15A×1 (拔止形)	2個以上は、傍記による。
Ⓑ	非常コンセント	(消防法によるもの)
ⓧ	接地端子(連用形)	
ⓧ _H	接地端子(医用)	
Ⓓ①②	壁付複合アウトレット 2P15A×2 電話用通信コネクタ×1	コンセントの2個以外及び用途は傍記による。 通信コネクタの1個以外及び種類は傍記による。
Ⓓ①③	壁付複合アウトレット 2P15A×2 (1端子形直列ユニット、F形接栓)×1	コンセントの2個以外及び用途は傍記による。 F形接栓は、プラグ付とする。 傍記Rは、終端抵抗器付を示す。
(二重床用配線器具)		
①	二重床用コンセント 2P15A接地極付×1	2個以上は、傍記による。
①②	二重床用複合アウトレット 2P15A接地極付×2 電話用通信コネクタ×1	コンセントの2個以外及び用途は傍記による。 通信コネクタ1個以外及び種類は傍記による。
①③	二重床用複合アウトレット 2P15A接地極付×2 (1端子形直列ユニット、F形接栓)×1	コンセントの2個以外及び用途は傍記による。F形接栓は、 プラグ付とする。 傍記Rは、終端抵抗器付を示す。
①④	二重床用複合アウトレット 2P15A接地極付×2 情報用通信コネクタ×1	コンセントの2個以外及び用途は傍記による。 通信コネクタ1個以外及び種類は傍記による。

記号	名称	摘要
	ハーネスジョイントボックス 2P+接地極付 (電源×1、分岐×3)	20A×4 二重床用 3分岐以外は、傍記による。
C	ハーネスジョイントボックス 2P+接地極付 (電源×1、分岐×1) 差込口付 2P+接地極付 (接地プラグ付テーブルタップ用)	20A×2 15A×2 二重床用 接地プラグ付テーブルタップ は、傍記による。
(機器)		
	電動機	別途
	電熱器	別途
	換気扇	別途
	サーモスタット	別途
	ヒュミディスタット	別途
	地震感知器	別途
	整流装置	容量等は、傍記による。
	蓄電池	容量等は、傍記による。
	電磁弁	別途
	電動弁	別途
	開閉器箱	配線用遮断器等の種類、 定格電流、定格遮断容量、 キャビネット形式は、傍記 による。

記号	名称	摘要
◎B	電磁開閉器用押しボタン	傍記Lは、確認表示灯付を示す。
◎F	フロートスイッチ	別途
◎LF	フロートレススイッチ電極	別途
◎P	圧力スイッチ	別途
ROM	遠隔油量指示計箱	
Wh	電力量計	
○G	漏電警報	
(盤)		
	分電盤	二重枠のものは、耐熱形分電盤とする。
	OA盤	
	実験盤	
	制御盤	
	配電盤	
	警報盤	
	接地端子箱	
(雷保護設備)		
	避雷針(突針)	平面図用
—	水平導体、メッシュ導体	
	試験用接続端子箱	

記号	名称	摘要
	低圧用SPD	傍記Iは、クラスI、傍記IIは、クラスIIを示す。
	通信用SPD	傍記Cは、カテゴリC、傍記Dは、カテゴリDを示す。
(構内情報通信網装置)		
	ルータ	ルータ以外の機器もこれに準じ□内に機器名を記入する。
	情報用アウトレット 通信コネクタ×1	通信コネクタ1個以外及び種類は、傍記による。
	二重床用情報用アウトレット 通信コネクタ×1	通信コネクタ1個以外及び種類は、傍記による。
(構内交換装置)		
	内線電話機	
	ボタン電話機	
	集合保安器箱	対数(実装数／容量 - 列数)、形式は、傍記による。
	転換器又は接続器	回線数は、傍記による。
	端子盤	対数(実装数／容量 - 列数)、形式は、傍記による。
	本配線盤	対数(実装数／容量 - 列数)、形式は、傍記による。
	局線中継台	形式は、傍記による。
	交換装置	形式は、傍記による。
	ボタン電話主装置	形式は、傍記による。
	局線表示盤	局線数は、傍記による。
	床付電話用アウトレット	
	壁付電話用アウトレット	通信コネクタの種類は、傍記による。

記号	名称	摘要
(情報表示装置)		
○	子時計	
○○	親時計	
□□□	表示盤	
■	発信器	
(映像・音響装置、拡声装置)		
○○	スピーカ	
□◀	ホーン形スピーカ	
○	アンテナ	
T	ラジオアンテナ	種別は、傍記による。
AMP	増幅器	
P	プロジェクタ	
TV	カラー モニタ・カラー テレビ	
RM	リモコンマイク	
(誘導支援装置)		
○t	電話形インターホン親機	
○t	電話形インターホン子機	
○●	スピーカ形インターホン子機	
□□□	トイレ等呼出表示器	窓数は、傍記による。

記号	名称	摘要
	壁付呼出ボタン(確認灯付)	自己保持機能付は、傍記による。
	壁付復帰ボタン	
	壁付呼出表示灯	
	壁付押しボタン	2個以上のボタン数は、傍記による。
	卓上押しボタン	2個以上のボタン数は、傍記による。
	ベル	
	ブザー	
	チャイム	
(テレビ共同受信装置)		
	テレビアンテナ	種類は、傍記による。
	パラボラアンテナ	種類は、傍記による。
	混合(分波)器	種類は、傍記による。
	増幅器	種類は、傍記による。
	1分岐器	
	2分岐器	
	4分岐器	
	2分配器	
	4分配器	

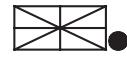
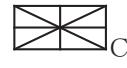
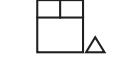
記号	名称	摘要
	6分配器	
	8分配器	
	1端子形テレビ端子	傍記Sは上り信号カット機能付、 傍記Wは2,602MHz対応 を示す。
	1端子形直列ユニット F形接栓	傍記Rは終端抵抗器付、 傍記Wは2,602MHz対応 を示す。
	機器収容箱	
(テレビ電波障害防除装置)		
	混合(分波)器	
	2分配器	
	4分配器	
	1分歧器	
	2分歧器	
	4分歧器	
	幹線分歧増幅器	
	線路増幅器	
	電源供給器	

記号	名称	摘要
(監視カメラ装置)		
	カメラ	
	モニタ	
	監視カメラ装置架	
	デジタルレコーダ	
	映像切換器	
	映像補償器	
(駐車場管制装置)		
	管制盤	
	ループコイル	
	ループコイル式車両検知器	
	光線式検知器(発光器)	
	光線式検知器(受光器)	
	信号灯	
	警報灯	
	発券機	
	カーゲート	
	カードリーダ	

記号	名称	摘要
(防犯・入退室管理装置)		
	制御装置	
S	副制御装置	
L	電気錠制御盤	
	鍵管理装置	
	プリンタ	
	電気錠	
C	認識部(カード式)	
T	認識部(テンキー式)	
K	認識部(キー式)	
F	認識部(指紋式)	
M	検知器(磁気近接スイッチ)	
L	検知器(リミットスイッチ)	
S	検知器(シャッター検知器)	
V	検知器(振動検知器)	
G	検知器(ガラス破壊検知器)	
T	検知器(傾斜検知器)	
	検知器(空間検知器)	種類は、傍記による。

記号	名称	摘要
(自動火災報知装置)		
	差動式スポット型感知器2種	1種の場合は、傍記による。
	差動式スポット型感知器2種 埋込形	1種の場合は、傍記による。
	補償式スポット型感知器 熱複合式スポット型感知器	1種の場合は、傍記による。
	定温式スポット型感知器特種	
	定温式スポット型感知器1種	
	定温式スポット型感知器1種 防水形	特種の場合は、傍記による。
	定温式スポット型感知器1種 耐酸形	特種の場合は、傍記による。
	定温式スポット型感知器1種 耐アルカリ形	特種の場合は、傍記による。
	定温式スポット型感知器1種 防爆形	特種の場合は、傍記による。
	煙感知器2種 露出形	1種の場合は、傍記による。
	煙感知器2種 埋込形	1種の場合は、傍記による。
	煙感知器2種 点検ボックス付	1種の場合は、傍記による。
	煙複合式スポット型感知器 2種・3種複合式 露出形	1種・2種複合式の場合は、 傍記による。
	煙複合式スポット型感知器 2種・3種複合式 埋込形	1種・2種複合式の場合は、 傍記による。
	光電式分離型感知器 (送光部、受光部)	種別は、傍記による。
	熱煙複号式スポット型感知器	1種の場合は、傍記による。
	炎感知器	

記号	名称	摘要
Ω	終端抵抗器	
—	差動式分布型感知器 (空気管式)	—○— 貫通箇所を示す。
■—■	差動式分布型感知器 (熱電対式)	
X	差動式分布型感知器の検出部	種別は、傍記による。
[T]	差動スポット試験器	個数は、傍記による。
○●	回路試験器	
(P)	P型発信機	級別は、傍記による。 傍記EXは、防爆形を示す。
△(P)	P型発信機 屋外用	級別は、傍記による。
(B)	警報ベル	
△(B)	警報ベル 屋外用	
■■■	受信機	
△△△△△△△△	複合盤	自動火災報知装置、ガス漏れ 火災警報装置の受信機及び自動閉鎖装置の連動制御器を一 体としたものを示す。
□□□	副受信機	
□□□	中継器	
○	表示灯	
R _H	移報器(消火栓)	
R _G	移報器	別途
□□□	機器収容箱	
△△△△△△△△	機器収容箱(屋外用)	
□□□	機器収容箱	屋内消火栓箱組込

記号	名称	摘要
付属記号		
●	アナログ式	例  ● 
C	自動試験機能付	例  C  C
△	遠隔試験機能付	例  △ 
● C	アナログ式自動試験機能付	例  ● C  C
A	アドレス付	例  A
— — —	火災報知設備警戒区域境界線	
(No)	火災報知設備警戒区域番号	上部に必要事項、下部に警戒区域番号を表す場合もある。
(非常警報装置)		
(F)	起動装置	
(ET)	非常電話機	
(B)	非常ベル	
EP	電源部(操作部)	
○ B F	一体型	電源部別置
○ B F — — —	複合装置	電源部内蔵
○	表示灯	
— — —	非常警報設備報知区域境界線	
△ NO	非常警報設備報知区域番号	
(消火設備)		
(E)	起動ボタン	傍記EXは、防爆形を示す。
△ E	起動ボタン 屋外用	

記号	名称	摘要
(B)	警報ベル	
(BZ)	警報ブザー	
	制御盤	
	表示盤	窓数は、傍記による。
(○)	表示灯	
(◎)	始動表示灯兼用形表示灯	
(自動閉鎖装置)		
(S)	煙感知器3種 露出形 (専用のもの)	
(S)	煙感知器3種 埋込形 (専用のもの)	
(△)	熱感知器(専用のもの)	種別は、傍記による。
(ER) _D	自動閉鎖装置(防火戸)	
(ER) _{SS}	自動閉鎖装置 (防火シャッター)	別途
(ER) _W	自動閉鎖装置(防煙たれ壁)	別途
(ER) _{SD}	自動閉鎖装置(防煙ダンパー)	別途
(ER) _{ES}	自動開放装置(排煙口)	別途
	連動制御器(連動制御盤)	1回線用
	連動制御器(連動操作盤) (操作部を有するもの)	多回線用
	動作区域番号 (防火戸・シャッター)	
	動作区域番号(防煙ダンパー)	

記号	名称	摘要
(ガス漏れ火災警報装置)		
	検知器	
	検知器 壁掛け形	
	受信機	
	中継器	必要に応じ個数を傍記する。
	中継器 表示灯付	必要に応じ個数を傍記する。
	ガス漏れ表示灯	
---	警戒区域境界線	
	警戒区域番号	
(架空配線、地中配線)		
	屋外灯	
	電柱	種類、長さ、末口径及び設計荷重は、傍記による。
→	支線	太さは、傍記による。
—	支柱	材質及び長さは、傍記による。
—	架空配線	太さ、条数及び電線種別は、傍記による。
---	地中配線	ケーブル種別、太さ、線心数、条数及び保護材は、傍記による。
	マンホール	
	ハンドホール	
	埋設標(地中線) コンクリート製	
	埋設標(地中線) 鉄製	

記号	名称	摘要
(管類)		
PF	PF管	単層管を示す。
CD	CD管	
F	金属製可とう電線管	
MM ₁	1種金属線び	
MM ₂	2種金属線び	
SGP	配管用炭素鋼鋼管	黒管を示す。
STPG	圧力配管用炭素鋼鋼管	
STK	一般構造用炭素鋼鋼管	
G _n LL	ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管	厚鋼電線管の内外面を被覆したものとし、 _n は太さを示す。
G _n LT	ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管	厚鋼電線管の外面を被覆し、内面を塗装したものとし、 _n は太さを示す。
PLP	ポリエチレン被覆鋼管	外面一層形
BST	黄銅管	
VE	硬質ビニル管	
VP	硬質塩化ビニル管	
HIVE	耐衝撃性硬質ビニル管	
HIVP	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	
FEP	波付硬質合成樹脂管	

記号	名称	摘要
(電線類)		
EM-IE	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(IE/F)	
EM-IC	600V耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線(IC/F)	
EM-EEF	600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル (平形)(600V EEF/F)	
EM-EE	600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル (600V EE/F)	
EM-CE	600V架橋ポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル (600V CE/F)	
EM-CED	600V架橋ポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル (600V CE/F)(单心2個より)	
EM-CET	600V架橋ポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル (600V CE/F)(单心3個より)	
EM-CEQ	600V架橋ポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル (600V CE/F)(单心4個より)	
EM-CEE	制御用ポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル (CEE/F)	
EM-CEE-S	制御用ポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル (銅テープ遮へい付)	
EM-FP-C	低压耐火ケーブル (FP-C)	
EM-HP	小勢力回路用耐熱電線 (HP)	
IV	600Vビニル絶縁電線	
HIV	600V二種ビニル絶縁電線	
IC	600V架橋ポリエチレン絶縁電線	

記号	名称	摘要
OW	屋外用ビニル絶縁電線	
OC	屋外用架橋ポリエチレン絶縁電線	
OE	屋外用ポリエチレン絶縁電線	
DV	引込用ビニル絶縁電線	
PDC	高圧引下げ線	
VVF	600Vビニル絶縁ビニルシース ケーブル(平形)	
VVR	600Vビニル絶縁ビニルシース ケーブル(丸形)	
CV	600V架橋ポリエチレン絶縁 ビニルシースケーブル (600V CV)	
CVD	600V架橋ポリエチレン絶縁 ビニルシースケーブル (600V CV)(单心2個より)	
CVT	600V架橋ポリエチレン絶縁 ビニルシースケーブル (600V CV)(单心3個より)	
CVQ	600V架橋ポリエチレン絶縁 ビニルシースケーブル (600V CV)(单心4個より)	
CVV	制御用ビニル絶縁ビニルシース ケーブル	
CVV-S	制御用ビニル絶縁ビニルシース ケーブル(銅テープ遮へい付)	
FP-C	低圧耐火ケーブル (FP-C)	
HP	小勢力回路用耐熱電線 (HP)	
NH-FP-C	低圧耐火ケーブル (FP-C(NH))	
NH-HP	小勢力回路用耐熱電線 (HP(NH))	

記号	名称	摘要
EM-TIEF	耐燃性ポリエチレン絶縁 屋内用平形通信電線	
EM-TIEE	ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレン シース屋内用通信電線	
EM-TKEE	耐燃性ポリエチレンシース 通信用構内ケーブル	
EM-BTIEE	耐燃性ポリエチレンシース 屋内用ボタン電話ケーブル	
EM-EBT	電子ボタン電話用ケーブル	
EM-FCPEE	着色識別ポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシースケーブル	
EM-⑩C-2E	耐燃性ポリエチレンシース 高周波同軸ケーブル	⑩は特記による。
EM-AE	警報用ポリエチレン絶縁耐燃性 ポリエチレンシースケーブル	
EM-S-⑩C-FB	テレビジョン受信用 耐燃性ポリエチレンシース 同軸ケーブル	⑩は特記による。
EM-MOOS	マイクロホン用耐燃性 ポリオレフィンコード	
EM-UTP	耐燃性ポリオレフィンシースLAN用 非シールドツイストペアケーブル (UTP-CAT5E/F)	
TIVF	屋内用平形通信電線	
TIEV	屋内用通信電線	
TOEV-SS	屋外用通信線	
TKEV	通信用構内ケーブル	
BTIEV	屋内用ボタン電話ケーブル	
EBT	電子ボタン電話用ケーブル	

記号	名称	摘要
CCP-P	着色識別ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル	
FCPEV	着色識別ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル	
AE	警報用ポリエチレン絶縁ケーブル	
⑩C-2V	高周波同軸ケーブル	⑩は特記による。
S-⑩C-FB	テレビジョン受信用同軸ケーブル	⑩は特記による。
SD	SDワイヤ	
MVVS	マイクロホン用ビニルコード	
EM-OP-OM1	環境配慮形光ファイバケーブル (ECO-OP/F) (マルチモード)	コア径:50又は62.5 μ m 帯域 850nm:200MHz·km、 1,300nm:500MHz·km
EM-OP-OM2	環境配慮形光ファイバケーブル (ECO-OP/F) (マルチモード)	コア径:50又は62.5 μ m 帯域 850nm:500MHz·km、 1,300nm:500MHz·km
EM-OP-OM3	環境配慮形光ファイバケーブル (ECO-OP/F) (マルチモード)	コア径:50 μ m 帯域 850nm:1,500MHz·km、 1,300nm:500MHz·km
EM-OP-OS1	環境配慮形光ファイバケーブル (ECO-OP/F) (シングルモード)	
HP-OP	耐熱光ファイバケーブル	

機器等の図記号及び文字記号

機器等の図記号及び文字記号は、次によるほか、JSIA 118「配電盤類の電気用図記号と文字記号」による。

名 称	図 記 号	文 字 記 号	備 考
過電流継電器		OCR	
地絡過電流継電器		OCGR	
比率差動継電器		PDFR	
地絡方向継電器		DGR	
短絡継電器		SR	
短絡方向継電器		DSR	
過電圧継電器		OVR	
地絡過電圧継電器		OVGR	
不足電圧継電器		UVR	
過負荷継電器		OLR	
熱動継電器		THR	
欠相継電器		OPR	三相系統における例 mは相数
無効電力継電器		QR	
交互継電器		ALTR	
補助継電器		AXR	

名 称	図 記 号	文字記号	備 考
限時繼電器	遅緩動作形 	TLR	
	遅緩復旧形 		
限流繼電器		CLR	
漏電繼電器		ELR	
給水又は排水用液面繼電器		WLR0	
空転防止又は高架水槽減水警報付給水用液面繼電器		WLR1	
満水警報付排水用液面繼電器		WLR2	
満減水警報付給水又は排水用液面繼電器		WLR3	
受水槽空転防止付満減水警報及び高架水槽満減水警報付給水用液面繼電器		WLR4	
警報用液面繼電器		WLR5	
入		ON	
切		OFF	
手動		MA又はM	
自動		AUT又はA	
試験		T	

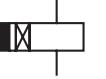
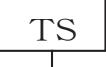
名 称	図 記 号	文字記号	備 考
遠方		R	
直入始動		L	
スター・デルタ始動		Y	
ケーブルヘッド		CH	
交流電源			
発電機		G	
電動機		M	
変圧器		T	
計器用変圧器		VT	
変流器		CT	
計器用変圧変流器		VCT	
零相変流器		ZCT	
接地形計器用変圧器		GVT	
零相計器用変圧器		ZVT	
コンデンサ形計器用変圧器		PD	
コンデンサ形 零相基準入力装置		ZPD	

名 称	図 記 号	文字記号	備 考
自動力率制御装置	APFC	APFC	
直列リアクトル		SR	
電力用コンデンサ		SC	
避雷器		LA	高压用
断路形避雷器		LA	高压用
サージ防護デバイス		SPD SPD-I ... クラス I SPD-II ... クラス II	SPDのクラスを示す場合は、次の文字記号を記入する。 SPD-I ... クラス I SPD-II ... クラス II 低压用
整流器		RF	一般形を示す
電池		B	
電磁接触器		MC	
双投形電磁接触器		MCDT	
差込形断路器			
ヒューズ		F	
プラグヒューズ (栓形ヒューズ)		EF	
交流遮断器		CB	交流遮断器の総称をいう。
真空遮断器		VCB	

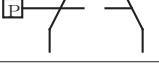
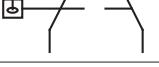
名 称	図 記 号	文字記号	備 考
交流遮断器(引出形)		遮断器の種類を表す場合は次の文字記号を記入する。 ACB…・気中 VCB…・真空 GCB…・ガス	
ガス遮断器		GCB	
磁気遮断器		MBB	
油遮断器		OCB	
気中遮断器		ACB	
配線用遮断器		MCCB	
電動機保護用配線用遮断器		MMCB	
漏電遮断器		ELCB	
スイッチ、開閉器		S	
高圧 カットアウト	ヒューズ付		PC
	ヒューズなし		PC
限流ヒューズ	断路形		FDS
	固定形		PF
高圧負荷開閉器	ヒューズ付		LBS
	ヒューズなし		LBS
高圧気中開閉器(箱入)		AS	

名 称	図 記 号	文字記号	備 考
高压真空開閉器(箱入)		VS	
高压ガス開閉器(箱入)		GS	
高压電磁接触器		遮断器の種類を表す場合は 次の文字記号を記入する。 VMC…真空 AMC…気中	
断路器	手動操作		DS
	手動操作リンク機構付		
	動力操作		
高压引込用負荷開閉器 気中開閉器(架空引込用) (地絡保護装置付)		PAS	
高压引込用負荷開閉器 真空開閉器(架空引込用) (地絡保護装置付)		PVS	
高压引込用負荷開閉器 ガス開閉器(地中引込用) (地絡保護装置付)		UGS	
過負荷と欠相を保護する 継電器	2E	2ER	
過負荷と欠相と反相を 保護する継電器	3E	3ER	
電流計	A	AM	
電圧計	V	VM	
電力計	W	WM	
電力量計	Wh	WHM	無検定

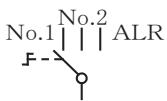
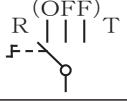
名 称	図 記 号	文字記号	備 考
電力量計		WHM	検定付
零相電流計		Ao	
零相電圧計		Vo	
記録電力計		RW	
無効電力計		VAR	
無効電力量計		VARH	
最大需要電流計(警報接点付)		MDA	
最大需要電力計		MDW	
高調波計		H	
高調波電圧計		HV	
力率計		PF	
無効率計		SN	
周波数計		F	
回転計		N	
時間計		HRM	
電圧計切換スイッチ		VS	
電流計切換スイッチ		AS	

名 称	図 記 号	文字記号	備 考
遮へい付2巻線単相変圧器		T	
ダイヤル形スイッチ (多段スイッチ)		DSW	
電磁開閉器		MS	
可变速運転用インバータ		INV	
フィルタ		FLT	
固定抵抗器		R	
可変抵抗器		VR	
キープリレー		KR	
フリッカリレー		FCR	
パルス表示器		CO	
信号変換器		TD	
タイムスイッチ		TS	
試験用電圧端子		VTT	
試験用電流端子		CTT (ZCTT)	
接地端子	○	ET	
フレーム接続			

名 称	図 記 号	文字記号	備 考
接地	⊥	接地の種類を表す場合は 次の文字記号を記入する。 E _A :A種 E _B :B種 E _C :C種 E _D :D種 E _{LH} :高圧避雷器用 E _t :交換装置用 E _{At} :通信用(10Ω) E _{At} :通信用(100Ω) E _{Lt} :電話引込口の保安器 E _o :測定用	
盤内の外部配線端子	○	TB	
蛍光灯	FL	FL	
表示灯	(PL)	PL	
表示灯(赤)	(RL)	RL	
表示灯(橙)	(OL)	OL	
表示灯(黄)	(YL)	YL	
表示灯(緑)	(GL)	GL	
表示灯(青)	(BL)	BL	
表示灯(白)	(WL)	WL	
ベル	△	BL	
ブザー	▽	BZ	

名 称	図 記 号	文字記号	備 考
銘板又は名称板		NP	
ボタンスイッチ	a接点		BS
	b接点		
圧力スイッチ	a接点		PRS
	b接点		
	c接点		
フロートスイッチ	a接点		FLTS
	b接点		
	c接点		
a接点			
b接点			
c接点			
オーバラップ接点	同一器具内の他の全ての接点よりも早く動作するa接点		
	同一器具内の他の全ての接点よりも早く動作するb接点		
	同一器具内の他の全ての接点よりも遅く動作するa接点		
	同一器具内の他の全ての接点よりも遅く動作するb接点		

名 称	図 記 号	文字記号	備 考
限時動作接点	a接点		開路に限時の ある接点
	b接点		
限時復帰接点	a接点		閉路に限時の ある接点
	b接点		
手動操作自動 復帰接点	a接点		
	b接点		
手動操作残留 接点	a接点		
	b接点		
手動復帰接点	a接点		
自動復帰接点 (b接点)			
機械的接点	a接点		LS
	b接点		
	c接点		
切換スイッチ			COS
自動-試験切換スイッチ			COS
自動-手動切換スイッチ			COS

名 称	図 記 号	文字記号	備 考
No.1, No.2自動交互 切換スイッチ		COS	
No.1、No.2自動交互 切換スイッチ(非常用付)		COS	
現場-遠方切換スイッチ		COS	
遠方-試験切換スイッチ		COS	
リモコンリレー	—▲—	RRY	
リモコントラns		RT	
ニュートラルスイッチ		NS	
ソーラータイムスイッチ		STS	

備考 同様の図記号で示す場合は、文字記号も併記する。

制御器具番号

制御器具番号は、次によるほか、JEM 1090「制御器具番号」による。

基本器具番号	器具名称	説明
2	始動若しくは閉路限時继電器又は 始動若しくは閉路遅延继電器	始動若しくは閉路開始前の時刻設定を行う继電器又は 始動若しくは閉路開始前に時間の余裕を与える继電器
3	操作スイッチ	機器を操作するスイッチ
5	停止スイッチ又は继電器	機器を停止するスイッチ
6	始動遮断器、スイッチ、接触器又は继電器	機械をその始動回路に接続する器具
10	順序スイッチ又はプログラム制御器	機器の始動又は停止の順序を定める器具
12	過速度スイッチ又は继電器	過速度で動作する器具
14	低速度スイッチ又は继電器	低速度で動作する器具
27	交流不足電圧继電器	交流電圧が不足したとき動作する继電器
28	警報装置	警報を出すとき動作する装置
29	消火装置	消火を目的として動作する装置
30	機器の状態又は故障表示装置	機器の動作状態又は故障を表示する装置
33	位置検出スイッチ又は装置	位置と関連して開閉する器具
42	運転遮断器、スイッチ又は接触器	機械をその運転回路に接続する器具
43	制御回路切換スイッチ、接触器又は继電器	自動から手動に移すなどのように制御回路を切り換える器具
51	交流過電流继電器又は地絡過電流继電器	交流の過電流又は地絡過電流で動作する继電器
52	交流遮断器又は接触器	交流回路を遮断・開閉する器具
57	自動電流調整器又は電流继電器	電流のある範囲に調整する調整器又は予定電流で動作する继電器
59	交流過電圧继電器	交流の過電圧で動作する继電器
62	停止若しくは閉路限時继電器又は 停止若しくは閉路遅延继電器	停止若しくは閉路前の時刻設定を行う继電器又は 停止若しくは閉路前に時間の余裕を与える继電器
64	地絡過電圧继電器	地絡を電圧によって検出する继電器
67	交流電力方向继電器又は地絡方向继電器	交流回路の電力方向又は地絡方向によって動作する继電器
72	直流遮断器又は接触器	直流回路を遮断・開閉する器具
80	直流不足電圧继電器	直流電圧が不足したとき動作する继電器
84	電圧继電器	直流又は交流回路の予定電圧で動作する继電器
87	差動继電器	短絡又は地絡差電流によって動作する继電器
88	補機用遮断器、スイッチ、接触器又は继電器	補機の運転用遮断器、スイッチ、接触器又は继電器
89	断路器又は負荷開閉器	直流若しくは交流回路用断路器又は負荷開閉器
90	自動電圧調整器又は自動電圧調整继電器	電圧のある範囲に調整する器具

第 2 編

電力設備工事

照明器具の記号等1

(a) 照明器具の記号

(1) ランプの種類、器具の形状

ランプの種類		器具の種類		
種類	記号①	器具の形状	記号②	
蛍光ランプ	F	埋込天井灯(カバーなし)	RS	
		埋込天井灯(カバー付、枠付)	RF	
HIDランプ	H	埋込天井灯(ルーバ付)	RL	
		直付天井灯(ルーバ付)	SL	
LEDモジュール	L	直付天井灯(カバーなし)	SS	
		直付天井灯(反射がさ付)	SR	
白熱電球	I	直付天井灯(カバー付、枠付)	SF	
		プラケット(カバーなし)	BS	
		プラケット(カバー付、枠付)	BF	
		プラケット(カバー付き、枠なし)	BC	
		標識又は表示灯	PL	
		屋外灯(柱頭形、防雨形)	ST	
		屋外灯(アーム付、防雨形)	SA	
		投光器	PJ	
		ガーデンライト	PT	
		昇降装置	ML*	
		照明制御装置	DS*	
			記号③	
器具の形		1~n		

備考 (1) 器具の形にRPを付したものは、防雨形を示す。

(2) 器具の形にMPを付したものは、防湿形を示す。

(3) 器具の形にA、B等を付したものは、同一器具で基本形と一部仕様の異なる場合を示す。

注 * 記号①を付さない場合がある。

照明器具の記号等2

(2) ルーバ及びカバーの形状

	ルーバ等の記号		器 具 の 形 状
	形状記号④	性能記号⑤	
ルーバ	L3	V	
		G0	
照明 カバー	L5	—	
照明 カバー	F1	—	

備考 形状記号L3にV又はG0を付したものは、グレア分類の性能記号を示す。

(3) グレア分類の性能

[単位 cd/m²]

グレア分類の性能記号⑤	各鉛直角における最大輝度		
	65°	75°	85°
V	200		
G0	3,000	2,000	

備考 各鉛直角における最大輝度は、規定された鉛直角における光度を見かけの発光面積で除した値とする。

照明器具の記号等3

(4) ランプの種類と大きさ

蛍光ランプ	直管形			コンパクト形			
	H形			Hf形			
	大きさの区分	定格ランプ電力	記号⑥	大きさの区分	定格ランプ電力	記号⑥	
FHF16形	16/23ワット	16	FHP32形	32ワット	P32		
FHF32形	32/45ワット	32	FHP45形	45ワット	P45		
FHF86形	86ワット	86	FHT24形	24ワット	H24		
			FHT32形	32ワット	H32		
			FHT42形	42ワット	H42		
HIDランプ	セラミックメタルハライドランプ		メタルハライドランプ		コンパクト形メタルハライドランプ		高压ナトリウムランプ
	定格ランプ電力	記号⑥	定格ランプ電力	記号⑥	定格ランプ電力	記号⑥	定格ランプ電力
	150ワット	150CML	100ワット	100M	70ワット	70CM	70ワット
	180～190ワット	190CML	250ワット	250M	100ワット	100CM	75ワット
	220～230ワット	230CML	300ワット	300M	150ワット	150CM	110ワット
	270～290ワット	290CML	400ワット	400M			180ワット
	360～370ワット	370CML	700ワット	700M			220ワット
			1000ワット	1kM			270ワット
							360ワット
							660ワット
							940ワット
							940NH
非常用照明用	ミニ電球*		ミニハロゲン電球*				
	定格ランプ電力	記号⑥	大きさの区分	定格ランプ電力	記号⑥		
	40ワット	40	JE9形	9ワット	JE9		
			JE13形	13ワット	JE13		
			JE30形	30ワット	JE30		

注 * JIL 5501「非常用照明器具技術基準」附属書3「非常灯用電球」による。

(5) ランプの灯数

灯 数	記号⑦
1灯	1
2灯	2
3灯	3
4灯	4

照明器具の記号等4

(6) 安定器及びLED制御装置

(イ) 蛍光灯安定器の種類

安定器の種類		記号⑧	摘要
初期照度補正形	高出力	PK	二重定格ランプにおいて高出力電力で点灯したときの光束の70%で点灯開始し、ランプ寿命時まで連続的に出力を上げ、ほぼ一定の光束を保つもの
	定格出力	PJ	定格電力で点灯したときの光束の70%で点灯開始し、ランプ寿命時まで連続的に出力をあげ、ほぼ一定の光束を保つもの
連続調光形		PW	調光信号により連続的に出力を制御し、最大光束を100%とした場合に調光下限値を60%以下とするもの
		PX	調光信号により連続的に出力を制御し、最大光束を100%とした場合に調光下限値を35%以下とするもの
		PZ	調光信号により連続的に出力を制御し、最大光束を100%とした場合に調光下限値を5%以下とするもの
一般形	高出力	PH	二重定格ランプにおいて高出力電力で点灯するもの
	定格出力	PN	定格電力で点灯するもの
	省電力出力	PR	定格電力より少ない消費電力で点灯するもの

- 備考 (1) 階段通路誘導灯には、点灯方式(PZ)を、適用しない。
(2) 連続調光電子安定器の調光下限値は、安定器の能力を示す。
(3) ランプの種類に対応する安定器の種類は、次による。

ランプに対応する安定器

ランプの種類		対応する安定器の種類
直管形	FHF16形	PX、PH
	FHF32形	PK、PJ、PX、PZ、PH、PN
	FHF86形	PJ、PX、PN
コンパクト形	FHP32形	PW、PX、PN、PR
	FHP45形	PX、PN
	FHT24形、FHT32形、FHT42形	PX、PN

(ロ) HID灯安定器の種類

安定器の種類		記号⑧
電子安定器		BP
磁気回路式安定器	一般形高力率形	BH
	低始動電流形	BC

(ハ) LED制御装置の種類

LED制御装置の種類		記号⑧	摘要
一般形	PN	定格電力で点灯するもの	
連続調光形	PZ	調光信号により連続的に出力を制御し、最大光束を100%とした場合に調光下限値を5%以下とするもの	

照明器具の記号等5

(二) 定格入力電圧及び周波数

(i) 定格入力電圧

定格入力電圧[V]	記号⑨
100	1
200	2
120	3 ^{*1}
230	4 ^{*2}
100/200	9 ^{*3}

注 *1 定格入力電圧が110V、115V及び120Vに対応するものとする。

*2 定格入力電圧が230V、240V、242V、254V、265V等三相4線式400V級配電を行った場合の電圧に対応するものとする。

*3 ユニバーサル電圧(100～242V等)に対応するものとする。

(ii) 周波数

周波数[Hz]	記号⑩
50	5
60	6
50/60	5/6*

備考 電子安定器の場合は、周波数の記号を省略する。

注 * 記号5/6は50Hz及び60Hz共用のものとする。

(7) 防災用照明器具に付する記号

(イ) 器具の種類と電源

器具の種類	記号⑪	
	電源別置形	電池内蔵形
非常用照明器具	K0	K1
通路誘導灯	—	ST1
避難口誘導灯	—	SH1
階段通路誘導灯と非常用照明器具を兼用する器具	SK0	SK1

備考 (1) 蛍光灯器具に白熱電球を組込んで非常用照明器具とする場合は、照明器具記号の前に表中の記号及び白熱灯の記号を付したものとする。

(例:K0-I40+FRS26-322PN9)

(2) K0及びK1は、建築基準法関係法令による非常用照明器具とする。

K0は電源別置形とし、非常時は、ミニ電球1灯点灯とする。

K1は電池内蔵形とし、非常時は、蛍光灯器具の場合は蛍光ランプ1灯点灯とし、白熱灯器具の場合は、白熱灯1灯点灯とする。

(3) ST1及びSH1は、消防法関係法令による誘導灯とする。

(4) SK0及びSK1は、建築基準法関係法令による非常用照明器具及び消防法関係法令による誘導灯を兼用したものとする。

照明器具の記号等6

(ロ) 誘導灯の形式及び機能による区分

形式及び機能	記号⑫
一般形	なし
パネル形	P
点滅形	F
点滅式誘導音付加形	AF

(ハ) 誘導灯の仕様による区分

仕様	記号⑬
C級	C
B級BL形	BL
B級BH形	BH
A級	A
60分間定格	60
集中制御方式自動点検機能	S

備考 (1) 末尾に60を付したものは、60分間定格のものを示す。ただし、非常用照明器具と兼用形のものは、ランプW数・灯数の前に-60を付したものとする。

(2) 末尾にSを付したものは、集中制御方式自動点検機能付きを示す。

(例:SH1-FRF20P-C60S)

(8) 照明器具に内蔵する照明制御装置

照明制御装置の種類	記号⑭
人感センサ内蔵形・点滅タイプ	FDS1
人感センサ内蔵形・調光タイプ*	FDS2

備考 (1) 人感センサは、人(熱線)を感知し、センサから直線距離2.5m以上感知できるものとする。

(2) 感知されなくなってから減光又は消灯するまでの時間を、1分から10分の範囲内で設定が可能なものとし、設定時間の切替は、3以上できるものとする。

(3) 照明制御装置は、照明器具記号の前に、表中の記号を付したものとする。
(例:FDS1-FSS9-322PN9)

注 * 減光の設定は最大光束に対して内蔵された安定器の調光下限値まで調光が可能であること。

照明器具の記号等7

(b) 背面形式

[単位 mm]

背面形式	背 面 図	適用ランプ	通線穴	器具取付穴 ボルト用(ニ)
B21		FHF 32形	器具中心と取付穴外れ半径70以内の位置に1箇所	800
		FHF 86形		1,400
B23		FHF 16形	取付穴外れ半径70以内の位置に1箇所	製造者の標準の位置
		FHF 32形		800
B44		FHP 32形	器具中心又は取付穴外れの位置に1箇所	製造者の標準の位置
		FHP 45形		

- 備考 (1) ここで定める以外の穴又はノックアウトは、製造者の標準とする。
- (2) 通線穴は、穴又はノックアウトとし、寸法は、 $\phi 20 \sim 35$ とする。
(図中●で示す。)
- (3) 器具取付穴は、穴又はノックアウトとし、寸法は、 $\phi 20$ 、 12×20 長穴(ダルマ穴を含む。)とする。(図中○で示す。)
- (4) 通線穴がノックアウトのときは、ゴムブッシング等を附属する。
- (5) 取付穴は、大きなダルマ穴又は角穴とすることができます。ただし、通線穴との共用は不可とする。
- (6) PX、PZ、PWの電子安定器を使用する器具は、信号線の通線穴を別に設ける。
- (7) 電源別置形非常用照明器具(専用形を除く。)の場合は、常用及び非常用の電源穴を別々に設ける。
- (8) FHF32形の背面形式は、B21又はB23のいずれでもよい。

照明器具の記号等8

(c) 適用

- (1) 図中の材厚は、加工前の標準厚さとし、最低値を示す。
- (2) 図は、形状及び構造の一例を示すものである。
- (3) 本体、反射板、エンドカバー、照明カバー、ソケット等の形状及び構造については、多少の差異は差支えない。
- (4) 枠等の形状、開閉装置、補強方法、部品の形状・配置、調節装置等構造の詳細については、製造者の標準とする。
- (5) 照明器具の記号は、①から⑭の組合せにより示し、③の後(RP、MP、A、B、記号④、記号⑤等を付す場合にはその後)に「-」を付したものとする。
(例:FRS15L3G0-322PZ2)
防災用の器具は、⑪の記号を先に付し、その後に「-」、器具の記号を付したものとする。
(例:K1-FRL10-322PN2)
また、K0の器具を一般用器具と組合せる場合は、「+」を付したものとする。
(例:K0-I40+FSS6-322PH2)
照明器具に照明制御装置を内蔵する場合は、⑭の記号を先に付し、その後に「-」、器具の記号を付したものとする。
(例:FDS1-FSS9-322PN9)

照明器具の記号等9

(d) ランプ光束及び安定器の入力容量

安定器の入力電圧と入力電流の積を入力容量とし、入力容量は、次の表の数値以下とする。また、この入力容量に対して次の表の全光束(ランプ光束)以上とする。

ランプの種類と大きさ	全光束[lm] (以上)	入力容量[VVA](以下)	
		1灯用	2灯用
直管形蛍光ランプ	FHF16形 16/23 ワット 高出力	2,100	28 52
	FHF32形 32/45 ワット 定格出力	3,520	37 71
	FHF86形 86 ワット 高出力	4,950	50 97
コンパクト形蛍光ランプ	FHT24形 24 ワット	9,200	92 184
	FHT32形 32 ワット	1,800	30 59
	FHT42形 42 ワット	2,400	36 72
	FHP32形 32 ワット 定格出力	3,200	49 98
	FHP32形 32 ワット 省電力出力	2,900	37 73
	FHP45形 45 ワット	2,600	32 63
セラミックメタルハライドランプ 始動器内蔵形点灯方式 (拡散形)	150 ワット	4,350	51 100
	180～190 ワット	13,000	200
	220～230 ワット	17,000	250
	270～290 ワット	19,000	300
	360～370 ワット	22,000	350
メタルハライドランプ 低始動電圧形点灯方式 (拡散形)	360～370 ワット	30,000	430
	100 ワット	7,500	135
	250 ワット	22,000	300
	300 ワット	25,500	370
	400 ワット	42,000	470
	700 ワット	64,000	850
コンパクト形メタルハライドランプ(透明形)	1,000 ワット	87,000	1,200
	70 ワット	5,500	106
	100 ワット	10,000	120
	150 ワット	11,250	200
高圧ナトリウムランプ 始動器内蔵形点灯方式 (拡散形)	70 ワット	5,600	100
	75 ワット	6,400	105
	110 ワット	10,600	147
	180 ワット	19,000	240
	220 ワット	25,000	290
	270 ワット	31,500	350
	360 ワット	45,000	454
	660 ワット	90,500	830
	940 ワット	130,000	1,190

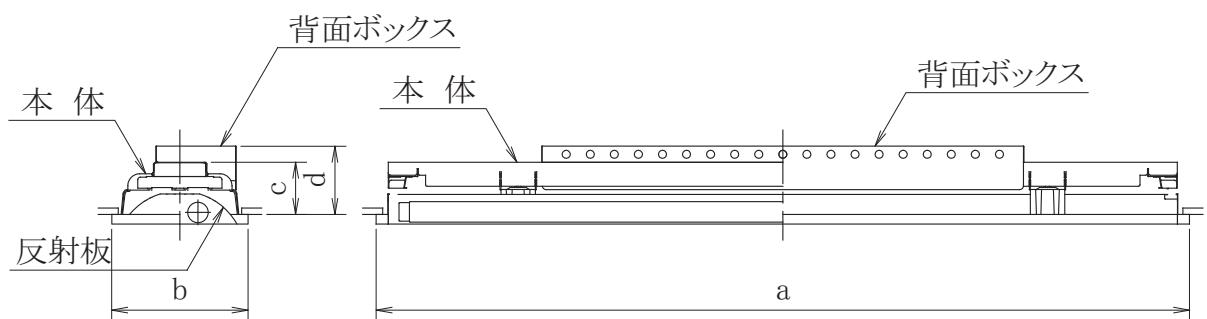
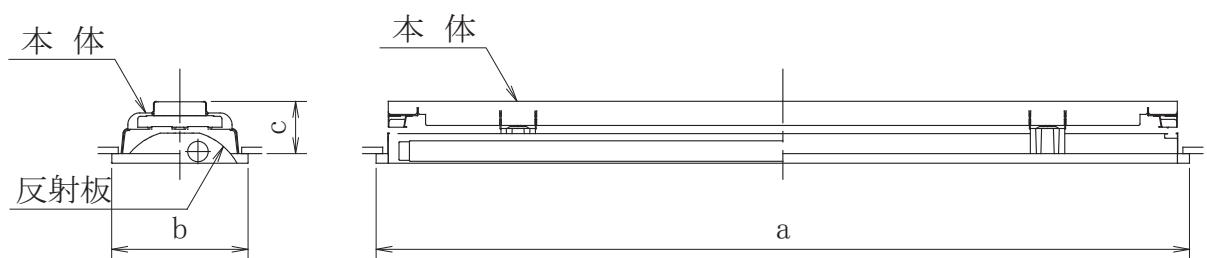
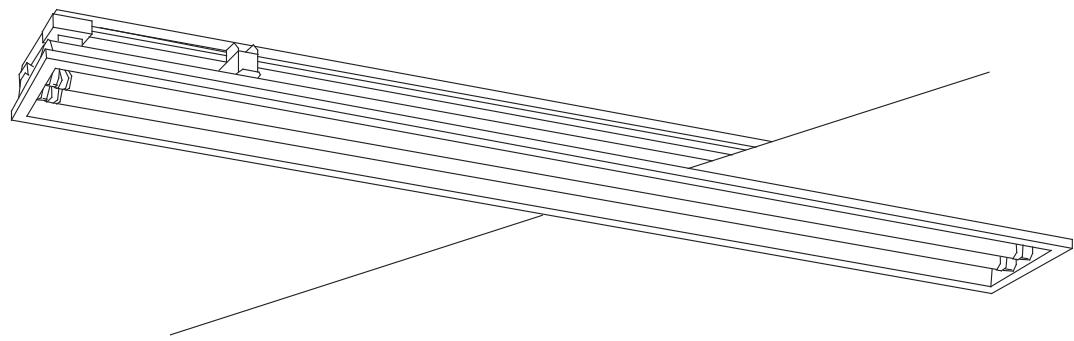
備考 (1) 蛍光ランプの全光束は、周囲温度25±1°Cにおいて100時間経過後の値とする。

(2) FHP32形省電力出力の全光束は、安定器の高出力を示す。

蛍光灯

埋込天井灯1

FRS15
K1-FRS15



蛍光灯

埋込天井灯1

FRS15
K1-FRS15

〔単位 mm〕

器種	寸法				材質・材厚			背面形式	天井切込み寸法	
	a	b	c	d	本体	反射板	ルーバ		幅	長さ
FRS15-162 ^{*1}	640 670	230 255		130 以下				-	220	626
FRS15-321 ^{*1}		160 180		-				B21	150	
FRS15-322 ^{*1}	1,250	230 255		-				B23	220	1,235
K1-FRS15-321	1,300	160 180		-				-	150	
K1-FRS15-322		230 255		130 以下				-	220	
FRS15L3V-162 ^{*1}	640 670	230 255		-				-	220	626
FRS15L3G0-162 ^{*1}		160 180		-				B21	150	
FRS15L3V-321 ^{*1}	1,250	230 255		-				B23	220	
FRS15L3G0-321 ^{*1}	1,300	160 180		-				-	150	1,235
FRS15L3V-322 ^{*1}		230 255		110 以下	SPC0.4	SPC0.3		-	220	
FRS15L3G0-322 ^{*1}		160 180		130 以下				-	220	
FRS15L5-162 ^{*1*2}	640 670	230 255		-				-	220	626
FRS15L5-321 ^{*1*2}		160 180		-				B21	150	
FRS15L5-322 ^{*1*2}		230 255		-				B23	220	
K1-FRS15L5-321 ^{*2}	1,250	160 180		130 以下				-	150	1,235
K1-FRS15L5-322 ^{*2}	1,300	230 255		-				-	220	
FRS15F1-321 ^{*1*3}		160 180		-				B21	150	
FRS15F1-322 ^{*1*3}		230 255		-				B23	220	

備考 反射面は、高反射塗装とする。

注 *1 ルーバ又は照明カバーが取付け又は交換できるものとする。

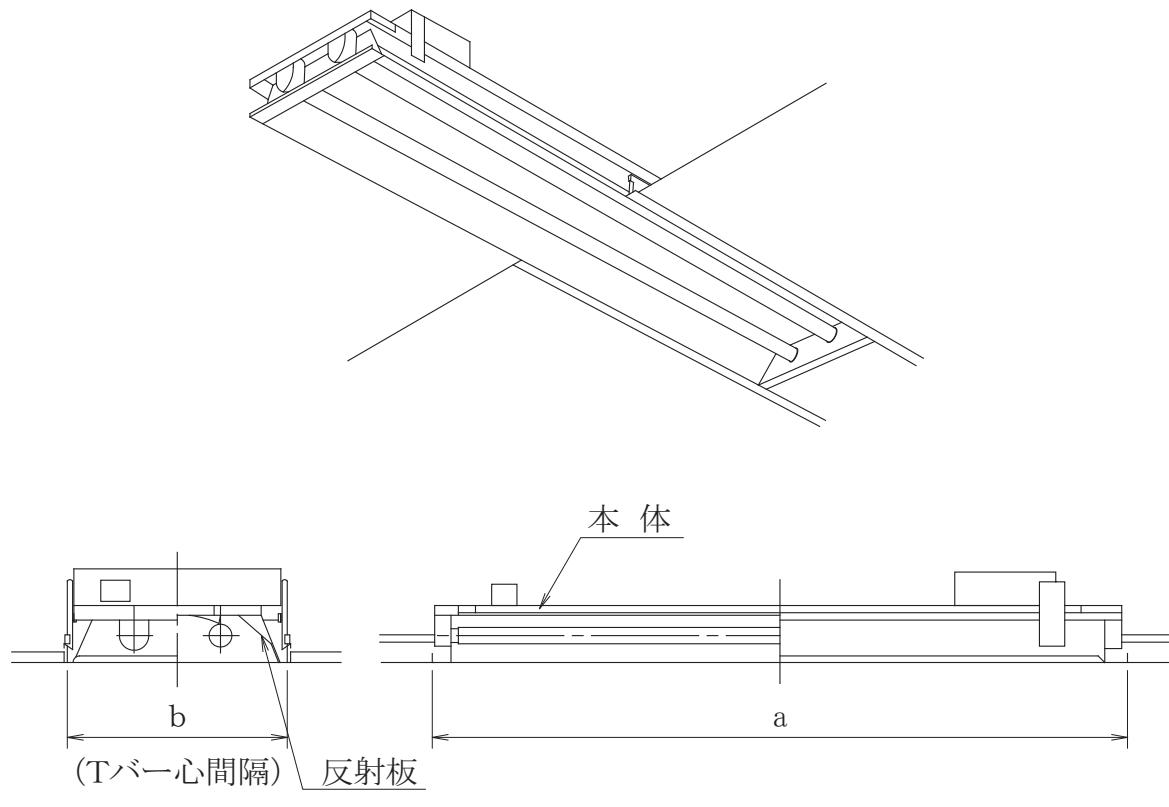
*2 ルーバは白色仕上げとし、遮光角を15°以上とする。

*3 照明カバーは、乳白色とする。

蛍光灯

埋込天井灯2

FRS17



[単位 mm]

器種	寸法		材質		
	a	b	本体	反射板	ルーバ
FRS17-321	1,220~1,300	120又は170	SPC	SPC	SPC
FRS17-322		220又は240			
FRS17L3V-321		120又は170			
FRS17L3G0-321		220又は240			A1P
FRS17L3V-322		120又は170			
FRS17L3G0-322		220又は240			
FRS17L5-321*		120又は170			
FRS17L5-322*		220又は240			

備考 (1) システム天井用とする。

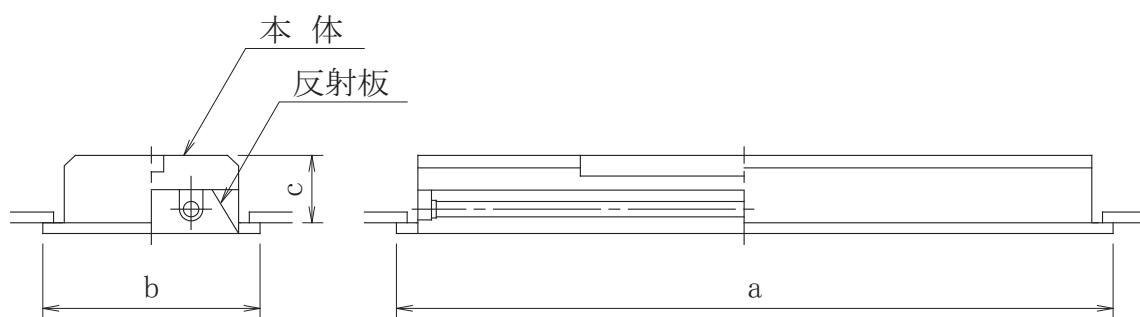
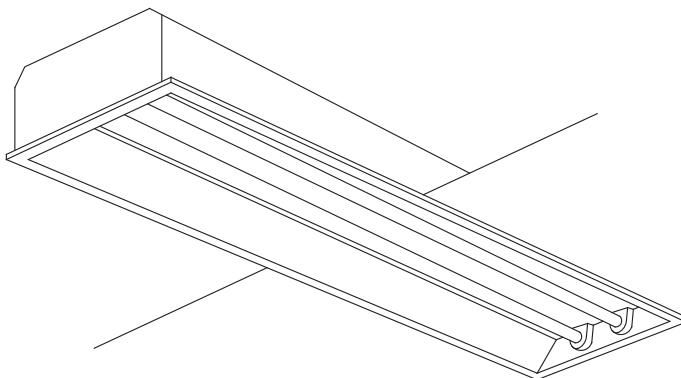
(2) 反射面は、高反射塗装とする。

(3) ルーバ又は照明カバーが取付け又は交換できるものとする。

注 * ルーバは、白色仕上げとし、遮光角を15° 以上とする。

蛍光灯

埋込天井灯3

FRS18
K1-FRS18

〔単位 mm〕

器種	寸法			材質・材厚			背面形式	天井切込み寸法	
	a	b	c	本体	反射板	ルーバ		幅	長さ
FRS18-322*1	1,270 1,300	320 340	150以下	SPC0.4	SPC0.3	-	B21 B23	300	1,257
K1-FRS18-322							-		
FRS18L3V-322*1							B21 B23		
FRS18L3G0-322*1						SPC A1P	-		
K1-FRS18L3V-322							-		
K1-FRS18L3G0-322						SPC	B21 B23		
FRS18L5-322*1*2							-		
K1-FRS18L5-322*2							B21 B23		
FRS18F1-322*1*3						PMMA	B21 B23		

備考 反射面は高反射塗装とする。

注 *1 ルーバ又は照明カバーが取付け又は交換できるものとする。

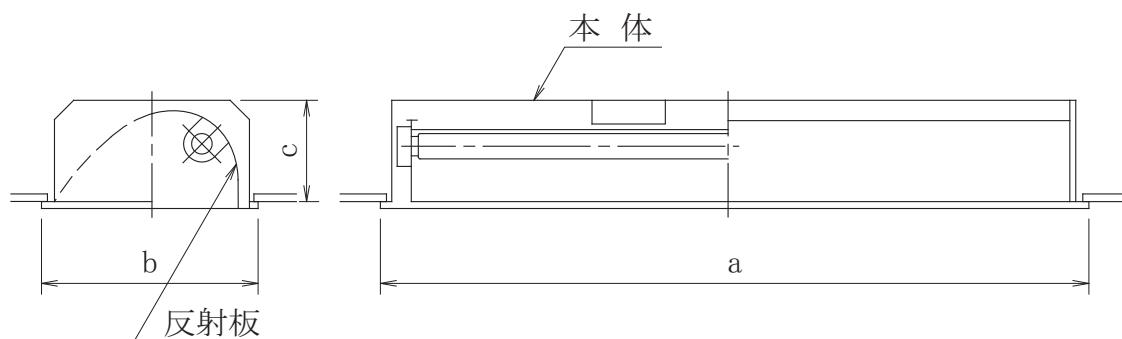
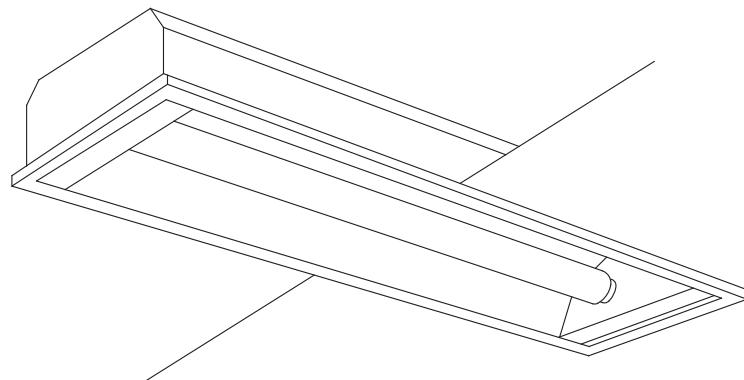
*2 ルーバは白色仕上げとし、遮光角は15°以上とする。

*3 照明カバーは乳白色とする。

蛍光灯

埋込天井灯4

FRS24
FRS24A



[単位 mm]

器種	寸法			材質・材厚		背面形式
	a	b	c	本体	反射板	
FRS24-321	1,250~1,290	220~280	120以下	SPC0.4	SPC0.3	B21
FRS24A-321	1,250~1,315	210~280	150以下		A1P0.4	B23

備考 (1) 主に黒板照明用に使用する。

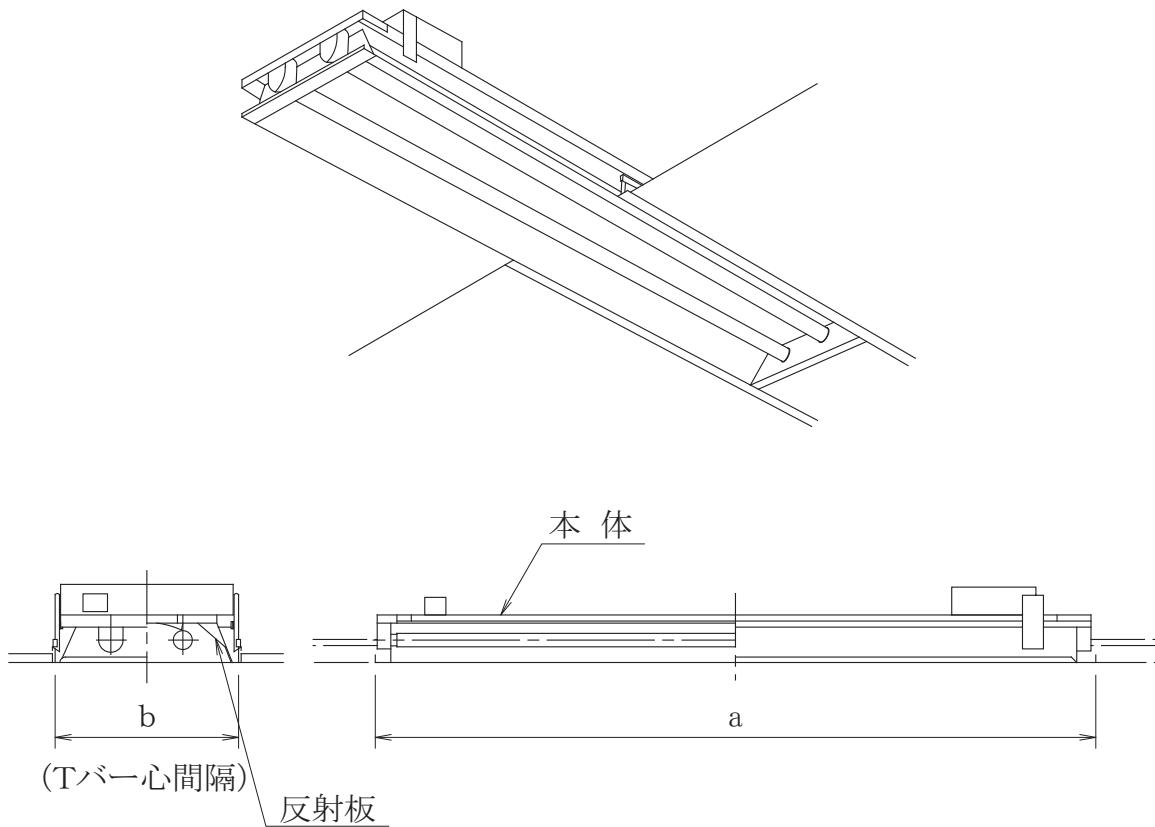
(2) 反射面は、鏡面仕上げとする。

(3) Aを付した器種は、反射板の角度調節ができるものとする。

蛍光灯

埋込天井灯5

FRS25



[単位 mm]

器種	寸法		材質		
	a	b	本体	反射板	ルーバ
FRS25-322					—
FRS25L3V-322					SPC
FRS25L3G0-322	1,220～1,300	320	SPC	SPC	A1P
FRS25L5-322*					SPC

備考 (1) システム天井用とする。

(2) 反射面は、高反射塗装とする。

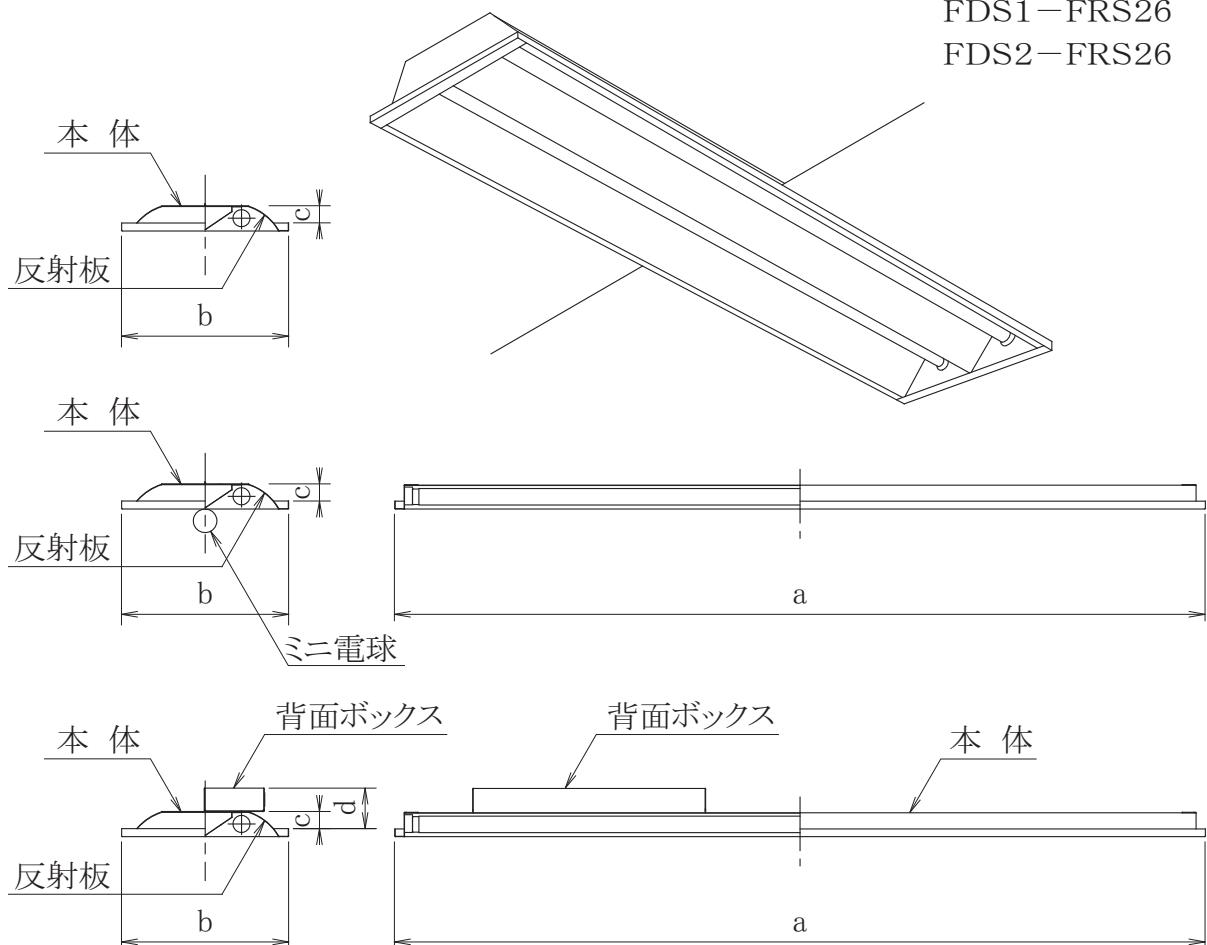
(3) ルーバ又は照明カバーが取付け又は交換できるものとする。

注 * ルーバは、白色仕上げとし、遮光角を15° 以上とする。

蛍光灯

埋込天井灯6

FRS26
K1-FRS26
K0-I40+FRS26
FDS1-FRS26
FDS2-FRS26



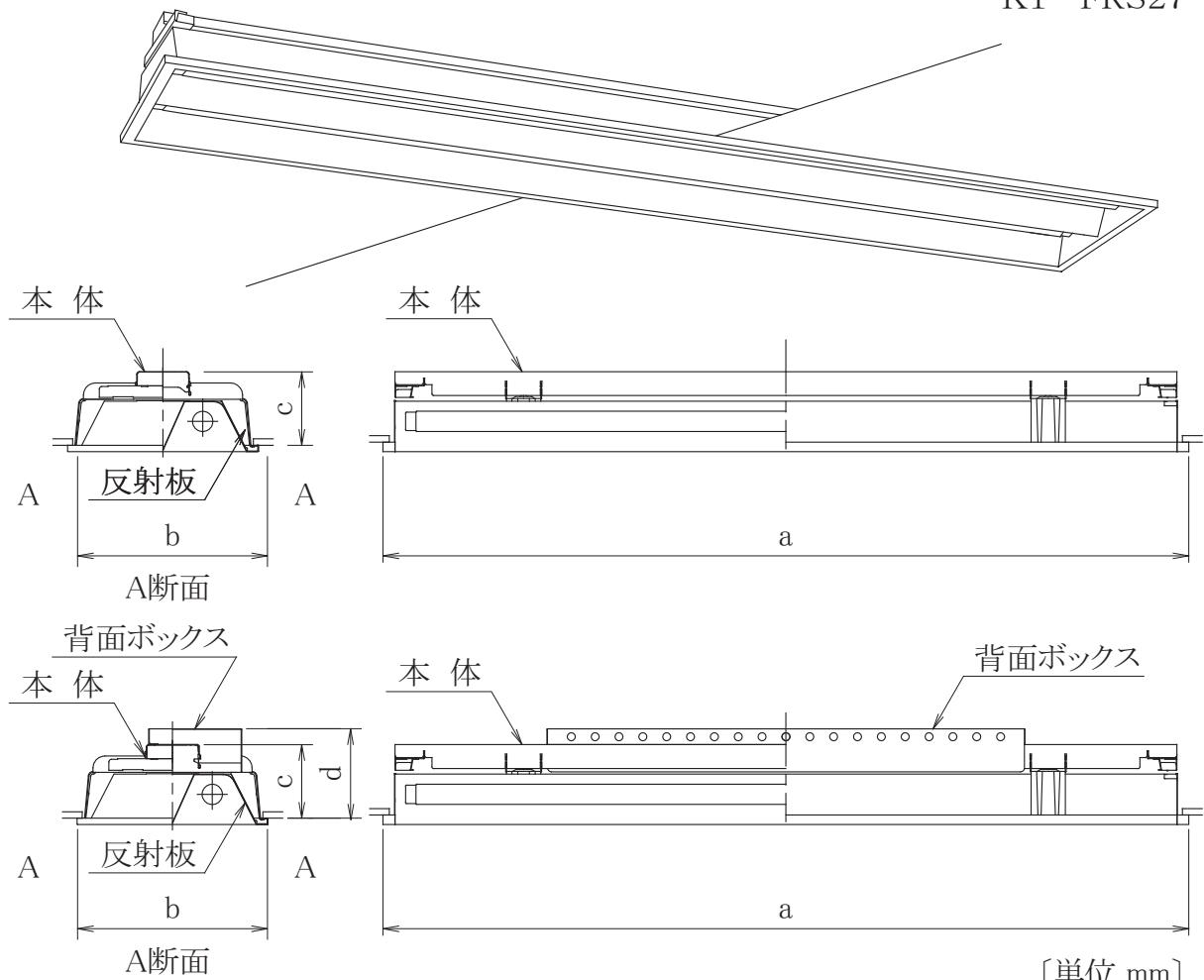
[単位 mm]

器種	寸法				材質・材厚		背面形式	天井切込み寸法	
	a	b	c	d	本体	反射板		幅	長さ
FRS26-162	640 670						-		626
FRS26-322	1,250 230 255	26以下	100 以下	SPC0.4 SPC0.3			B21 B23	220	1,235
K1-FRS26-322									
K0-I40+FRS26-322									
FDS1-FRS26-322									
FDS2-FRS26-322									

蛍光灯

埋込天井灯7

FRS27
FRS27MPA
FRS27MPB
K1-FRS27



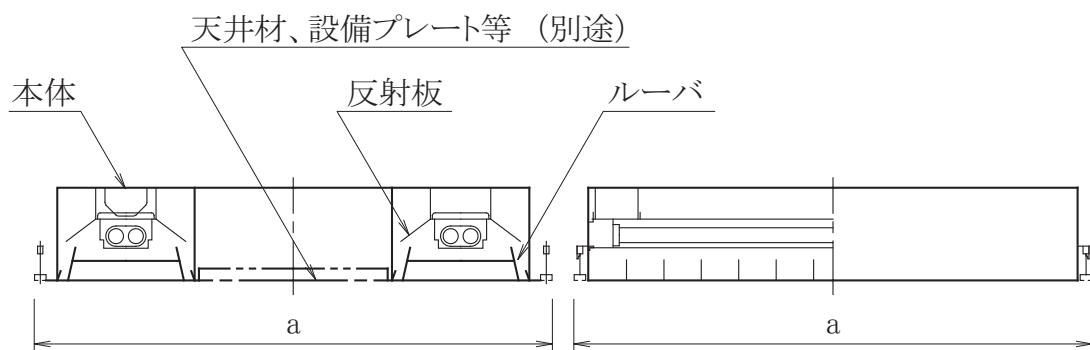
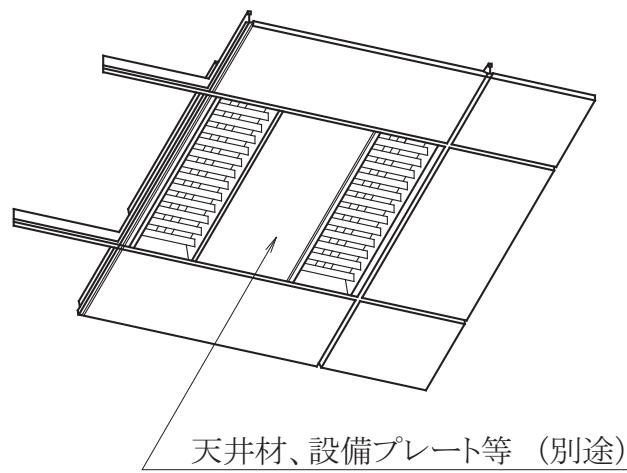
器種	寸法				材質・材厚		背面形式	天井切込み寸法	
	a	b	c	d	本体	反射板		幅	長さ
FRS27-321	160~180	230~255	110以下	-	SPC0.3	SPC0.3	B21	150	1,235
FRS27-322								220	
FRS27MPA-321	1,250	135~255							
FRS27MPB-321	1,300	230~335	125以下	130以下	SPC0.3	SUS0.3	B23	-	-
FRS27MPA-322									
FRS27MPB-322									
K1-FRS27-322	230~255	110以下			SPC0.3	SPC0.3		220	1,235

備考 (1) FRS27-322及びK1-FRS27-322は、A断面(A-A方向)の遮光角を20°以上とする。
(2) Aを付した器種は、反射板の仕上げをクリア塗装とする。
(3) Bを付した器種は、反射板の仕上げを白色塗装とする。

蛍光灯

埋込天井灯8

FRS28L5



[単位 mm]

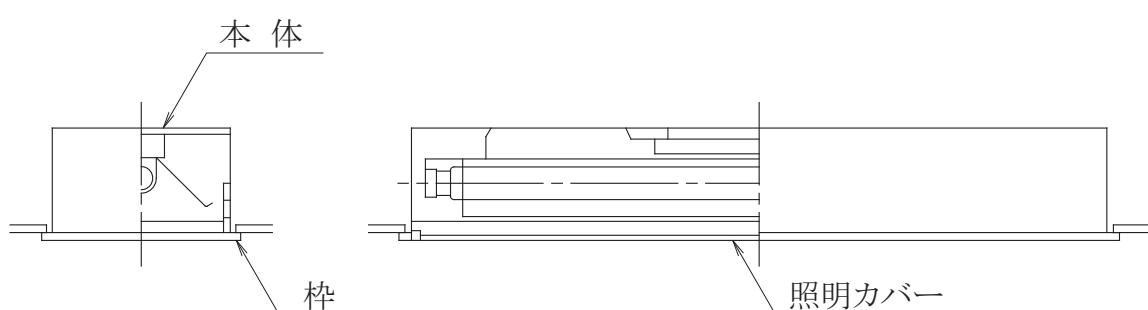
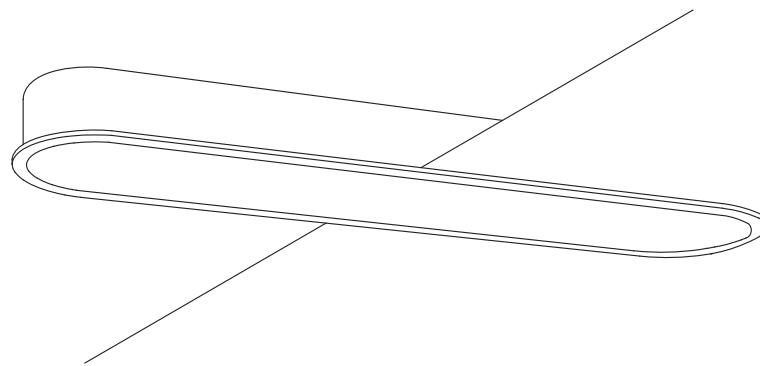
器種	寸法	材質		
	a	本体	反射板	ルーバ
FRS28L5-P452	600	SPC	SPC	SPC

- 備考 (1) システム天井用とする。
(2) 反射面は、高反射塗装とする。
(3) ルーバは、白色仕上げとする。
(4) 遮光角は、15° 以上とする。

蛍光灯

埋込天井灯9

FRF5



[単位 mm]

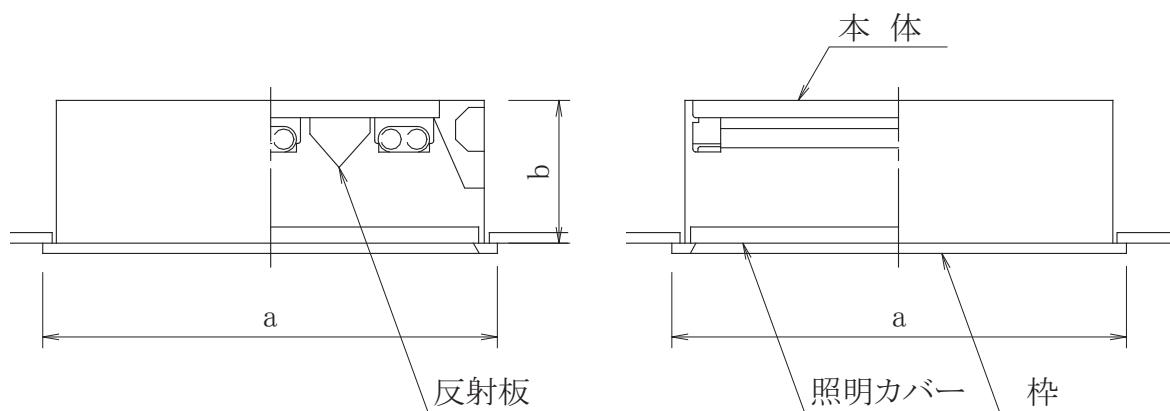
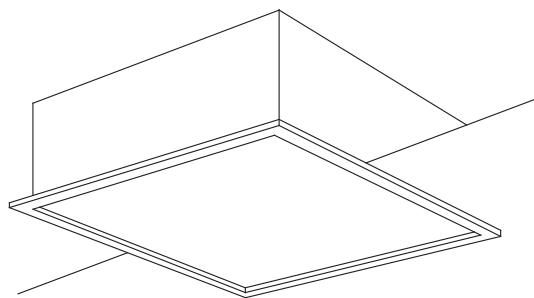
器種	材質		天井切込み寸法	
	枠	照明カバー	幅	長さ
FRF5-321	SPC	PMMA	150	-

備考 (1) 外観は、長円形とする。
(2) 照明カバーは、乳白色とする。

蛍光灯

埋込天井灯10

FRF9



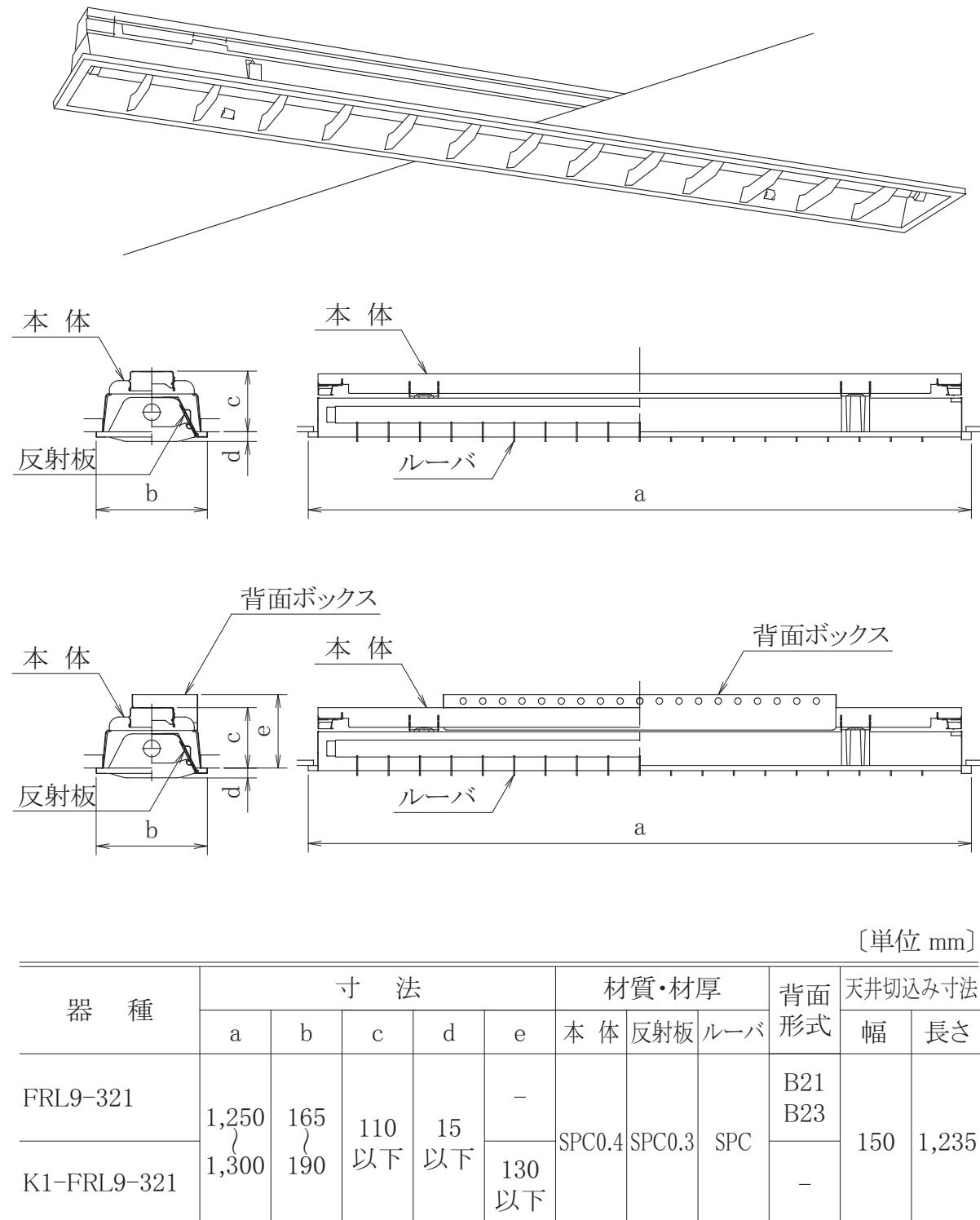
〔単位 mm〕

器種	寸法		材質・材厚			背面形式	天井切込み寸法
	a	b	本体	枠	照明カバー		
FRF9-P323	470～510	150以下	SPC0.4	SPC0.5	PMMA	B44	□450
FRF9-P454	610～650						□600

備考 (1) 反射面は、高反射塗装とする。
(2) 照明カバーは、乳白色とする。
(3) 本体の背面は、開口とすることができます。

蛍光灯

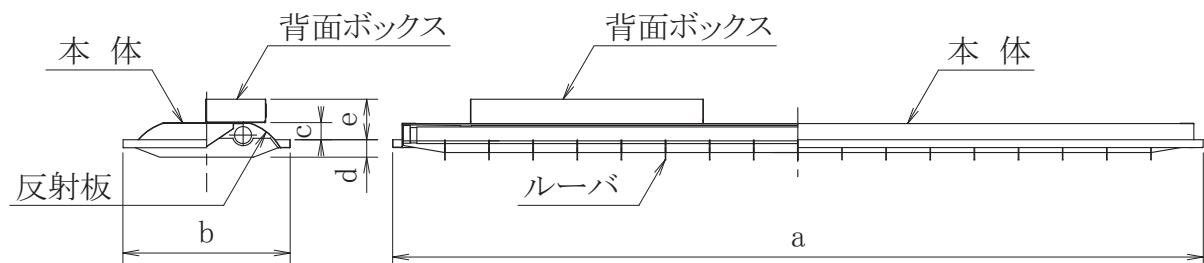
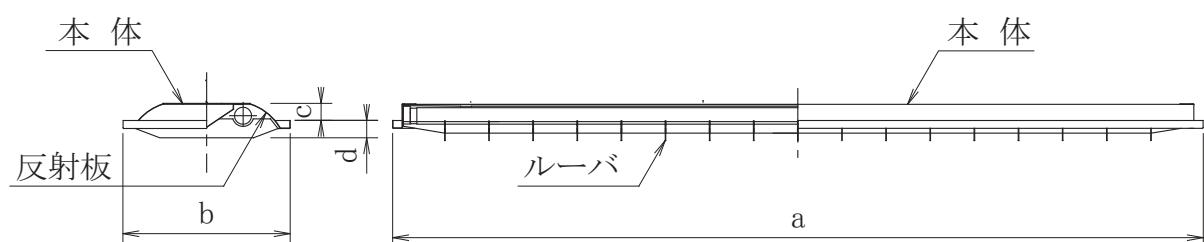
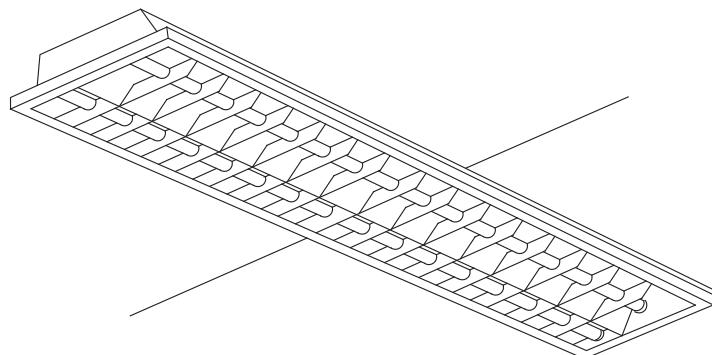
埋込天井灯11

FRL9
K1-FRL9

備考 (1) ルーバは、白色仕上げとし、形状は、L5に準ずる。
(2) 遮光角は、15° 以上とする。

蛍光灯

埋込天井灯12

FRL10
K1-FRL10

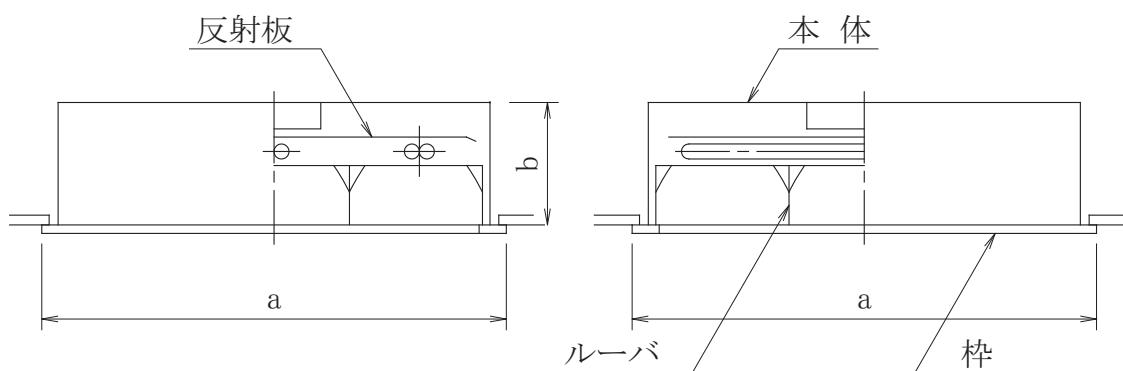
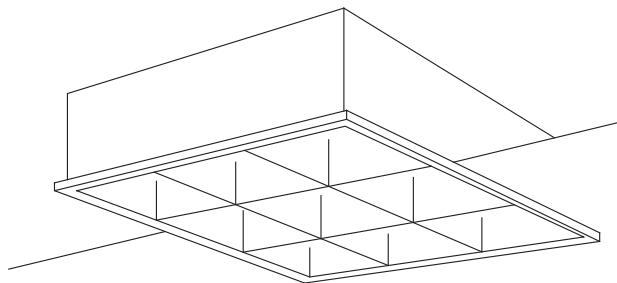
〔単位 mm〕

器種	寸法					材質・材厚			背面形式	天井切込み寸法
	a	b	c	d	e	本体	反射板	ルーバ		
FRL10-162	640 670		40 以下	10 35					-	626
FRL10-322		230 255				SPC0.4	SPC0.4	SPC	B21 B23	220
	1,250 1,300		26 以下	25 35	100 以下					
K1-FRL10-322									-	1,235

- 備考 (1) 反射面は、高反射塗装とする。
(2) ルーバは、白色仕上げとし、形状は、L5に準ずる。
(3) 遮光角は、15° 以上とする。

蛍光灯

埋込天井灯13

FRL11
FRL11A

[単位 mm]

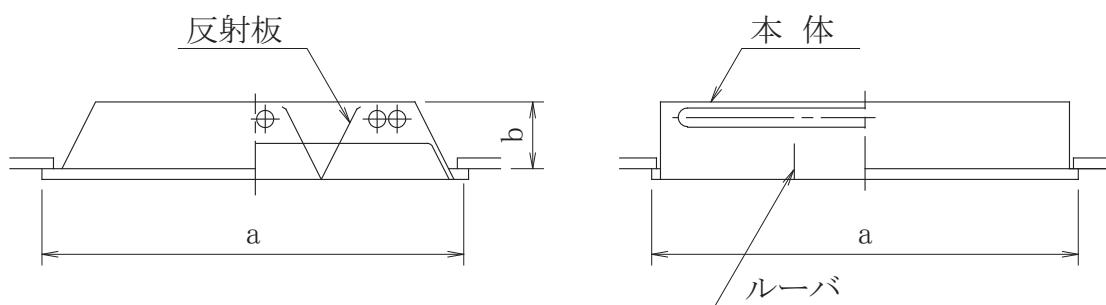
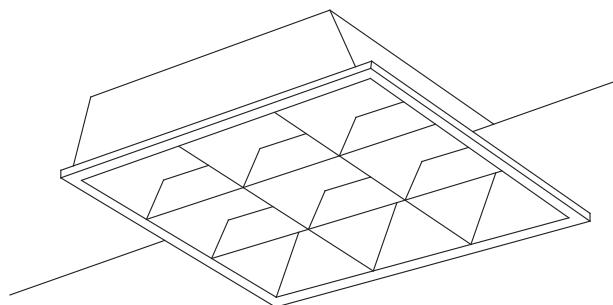
器種	寸法		材質・材厚			背面形式	天井切込み寸法
	a	b	本体	枠	ルーバ		
FRL11-P323	470～510						□450
FRL11A-P323		150以下				A1P	
FRL11-P454	610～650		SPC0.4	SPC0.5		SUS	B44
FRL11A-P454							□600

- 備考 (1) 反射面は、高反射塗装とする。
(2) ルーバは、白色仕上げとし、形状は、L3に準ずる。ただし、Aを付した器種は、鏡面仕上げとする。
(3) 遮光角は、15° 以上とする。
(4) 本体の背面は、開口とすることができます。

蛍光灯

埋込天井灯14

FRL12



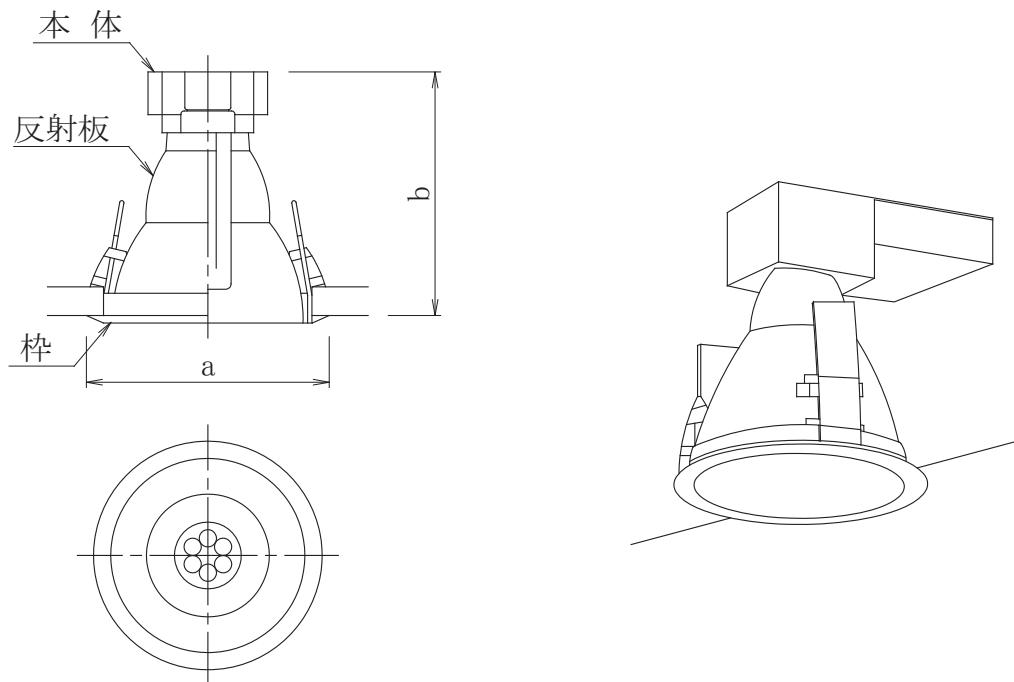
[単位 mm]

器種	寸法		材質・材厚			背面形式	天井切込み寸法
	a	b	本体	反射板	ルーバ		
FRL12-P323	470～510	110以下	SPC0.5	SPC P	SPC P	B44	□450
FRL12-P454	610～650						□600

- 備考 (1) 反射面は、高反射塗装とする。
(2) ルーバは、白色仕上げとし、形状は、L5に準ずる。
(3) 遮光角は、15° 以上とする。
(4) 本体の背面は、開口とすることができます。

蛍光灯

埋込天井灯15

FRS21
FDS2-FRS21

〔単位 mm〕

器種	寸法		材質・材厚			天井切込み寸法
	a	b	本体	柱	反射板	
FRS21-H241		210以下				
FRS21-H321 ^{*1}	160～175	230以下				φ150
FRS21-H421 ^{*2}			A1P			
FRS21-H422 ^{*2}	210～240	220以下	SPC0.5	ADC	A1P0.8	φ200
FRS21-H423 ^{*2}	260～290	240以下	P	SPC0.3	P	φ250
FRS21-H424 ^{*2}	310～340	260以下				φ300
FDS2-FRS21-H241		210以下				
FDS2-FRS21-H321	160～175	230以下				φ150
FDS2-FRS21-H421						

備考 (1) 反射板は、鏡面仕上げとする。

(2) 安定器等で器具重心が偏心している場合においても、振動等によって、天井面と器具枠との間に隙間の生じない取付構造とする。

(3) 遮光角は、15° 以上とする。

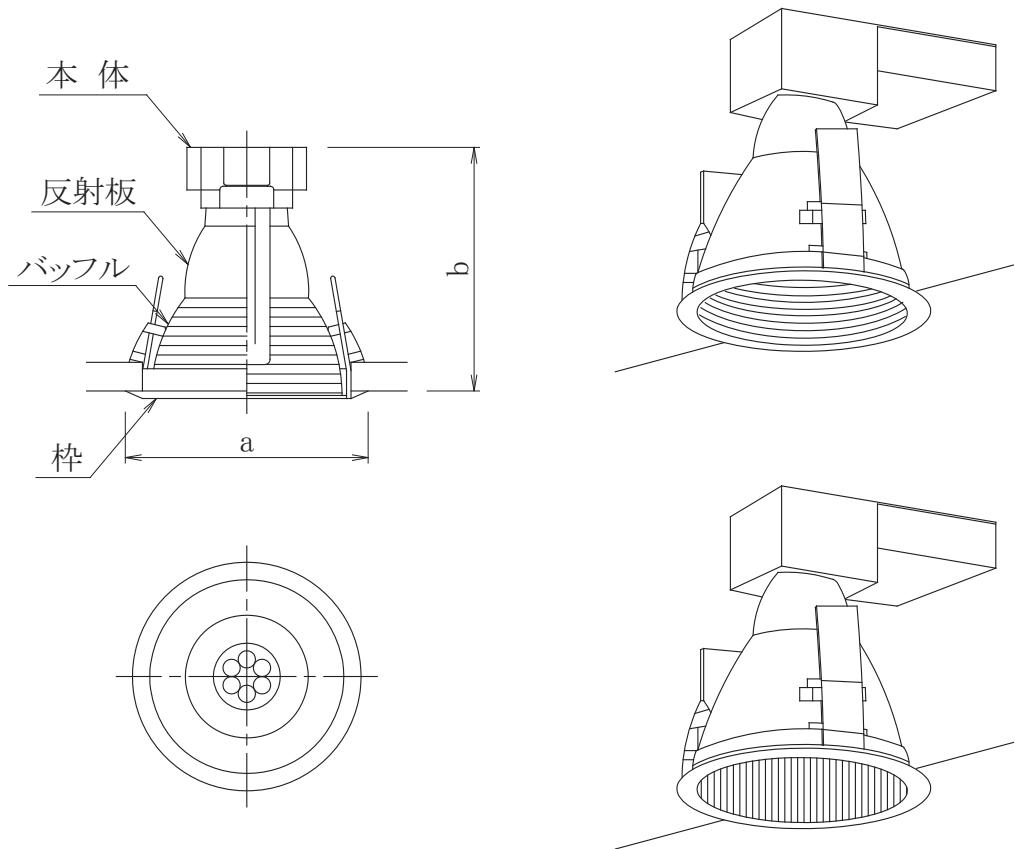
注 *1 ランプ記号H24及びH32のランプが点灯できるものとする。ただし、連続調光電子安定器を使用した場合は、固有のランプとする。

*2 ランプ記号H24、H32及びH42のランプが点灯できるものとする。ただし、連続調光電子安定器を使用した場合は、固有のランプとする。

蛍光灯

埋込天井灯16

FRS22



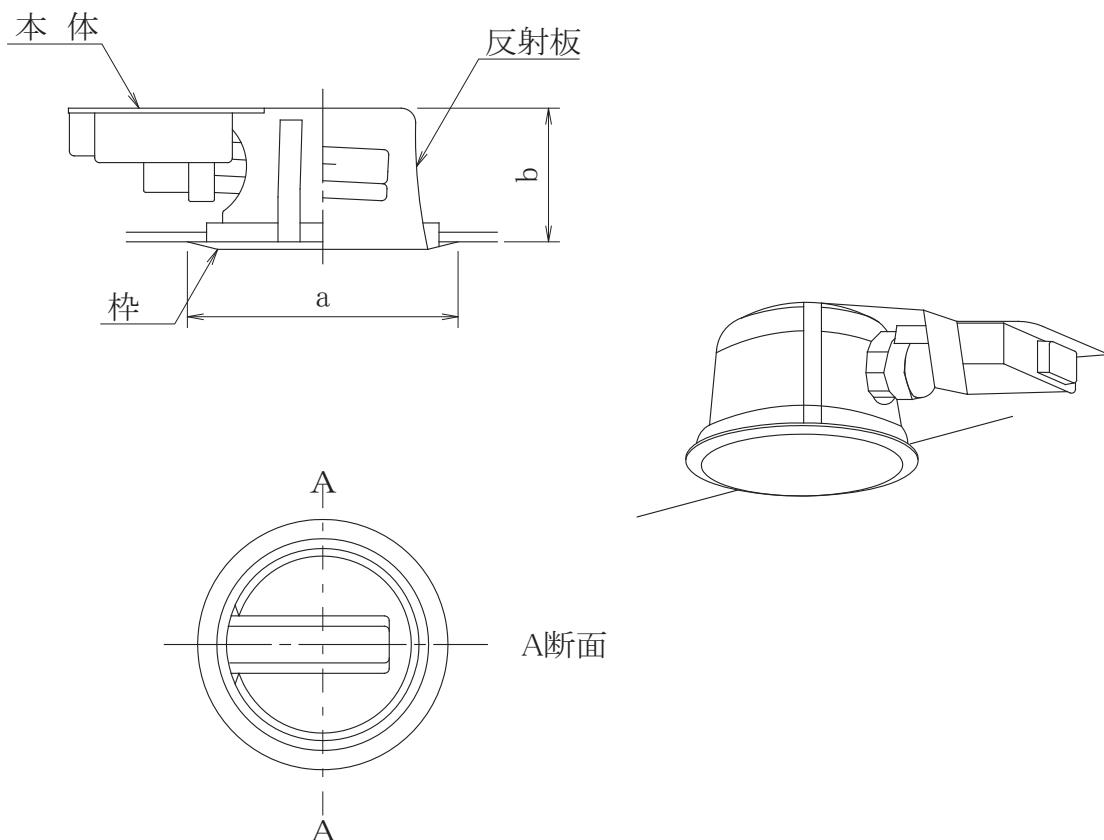
〔単位 mm〕

器種	寸法		材質・材厚			天井切込み寸法
	a	b	本体	枠	反射板	
FRS22-H241		210以下				
FRS22-H321 ^{*1}	160～175		SPC0.5 P	A1P ADC	A1P0.8 P	ϕ 150
FRS22-H421 ^{*2}		230以下	SPC0.3 P			

- 備考 (1) 反射板は、上方を鏡面仕上とし、下方をバッフルとする。
(2) 安定器等で器具重心が偏心している場合においても、振動等によって、天井面と器具枠との間に隙間の生じない取付構造とする。
(3) 遮光角は、15° 以上とする。

注 *1 ランプ記号H24及びH32のランプが点灯できるものとする。ただし、連続調光電子安定器を使用した場合は、固有のランプとする。

*2 ランプ記号H24、H32及びH42のランプが点灯できるものとする。ただし、連続調光電子安定器を使用した場合は、固有のランプとする。



[単位 mm]

器種	寸法		材質・材厚			天井切込み寸法
	a	b	本体	枠	反射板	
FRS23-H241	160～175	150以下	SPC0.5 P	A1P	A1P0.8 P	φ150
FRS23-H321 ^{*1}	185～200			ADC		φ175
FRS23-H421 ^{*2}	210～240			SPC0.3 P		φ200
FRS23-H422 ^{*2}						

備考 (1) 反射板は、鏡面仕上げとする。

(2) 安定器等で器具重心が偏心している場合においても、振動等によって天井面と器具枠との間に、隙間の生じない取付構造とする。

(3) A断面(A-A方向)の遮光角は、15°以上とする。

(4) 連続調光電子安定器を使用する場合であっても、調光下限値は、45%以下とする。

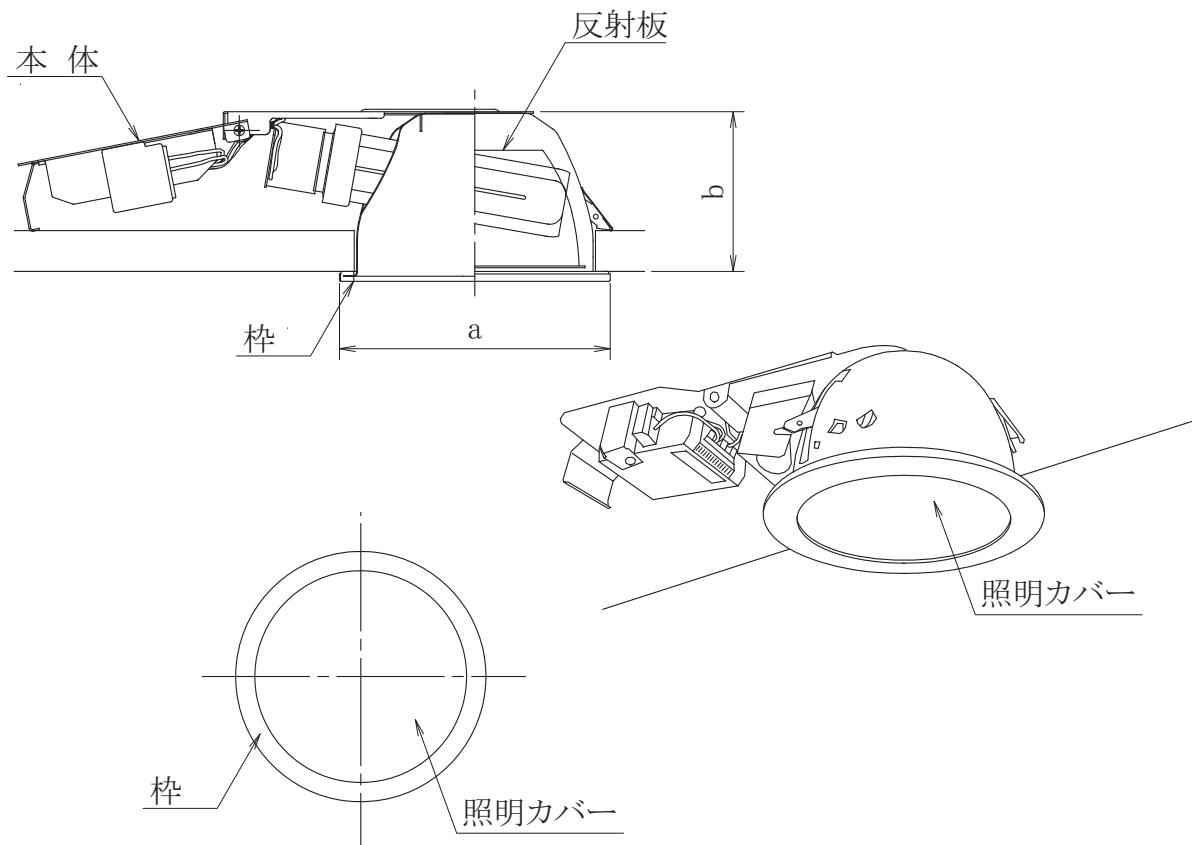
注 *1 ランプ記号H24及びH32のランプが点灯できるものとする。ただし、連続調光電子安定器を使用した場合は固有のランプとする。

*2 ランプ記号H24、H32及びH42のランプが点灯できるものとする。ただし、連続調光電子安定器を使用した場合は固有のランプとする。

蛍光灯

埋込天井灯18

FRF8RP



[単位 mm]

器種	寸法		材質				天井切込み寸法
	a	b	本体	枠	照明カバー	反射板	
FRF8RP-H241	165~185	150以下	SPC SUS	A1P ADC SPC SUS P	GA P GF GR	A1P	φ 150
FRF8RP-H321*							

備考 (1) 反射板は、鏡面仕上げとする。

(2) 安定器等で器具重心が偏心している場合においても、振動等によって天井面と器具枠との間に隙間の生じない取付構造とする。

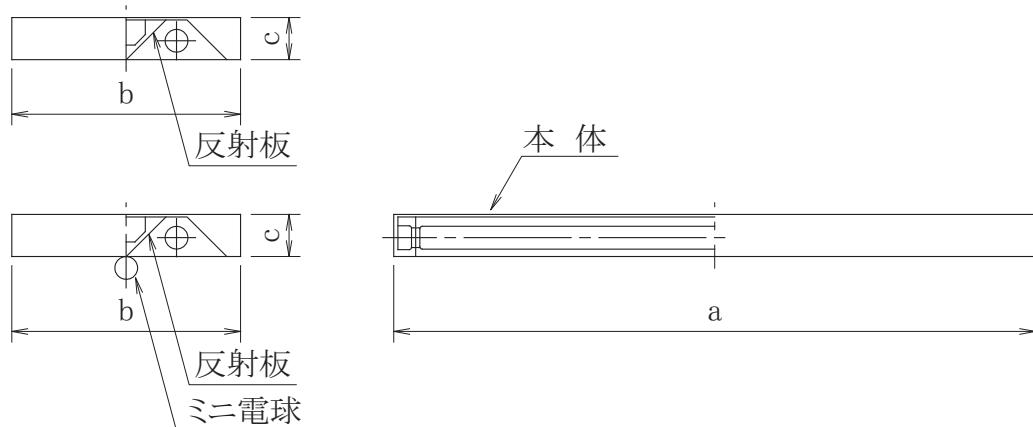
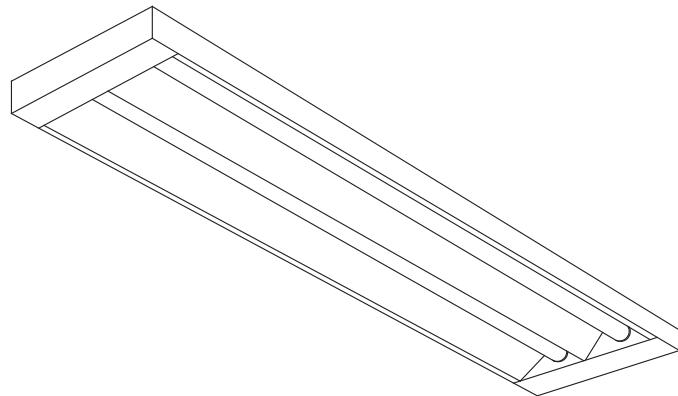
(3) 連続調光電子安定器(PX)を使用する場合であっても、調光下限値は、45%以下とする。

注 * ランプ記号H24及びH32のランプが点灯できるものとする。ただし、連続調光電子安定器を使用した場合は固有のランプとする。

蛍光灯

直付天井灯1

FSS6
K0-I40+FSS6
FDS1-FSS6
FDS2-FSS6



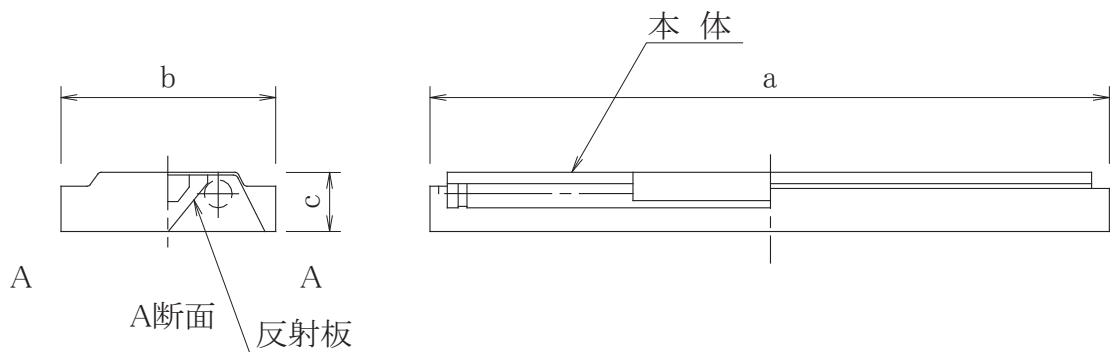
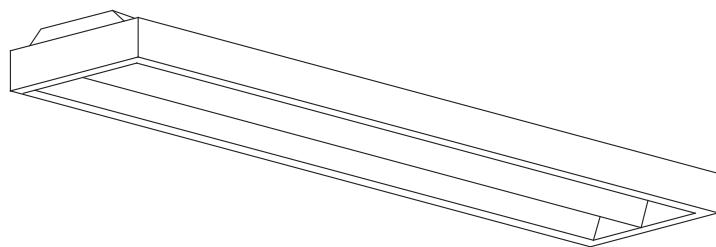
[单位 mm]

器種	寸法			材質・材厚		背面形式
	a	b	c	本体	反射板	
FSS6-162	630~660					-
FSS6-322						B21 B23
K0-I40+FSS6-322		230~260	35~45	SPC0.5	SPC0.3	-
FDS1-FSS6-322	1,240~1,290					-
FDS2-FSS6-322						-

蛍光灯

直付天井灯2

FSS7



[単位 mm]

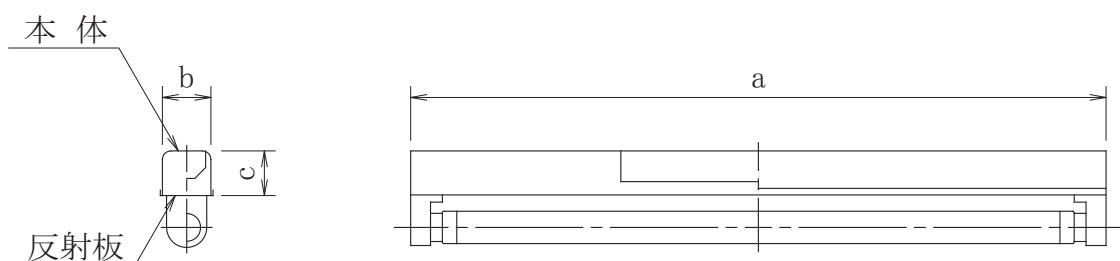
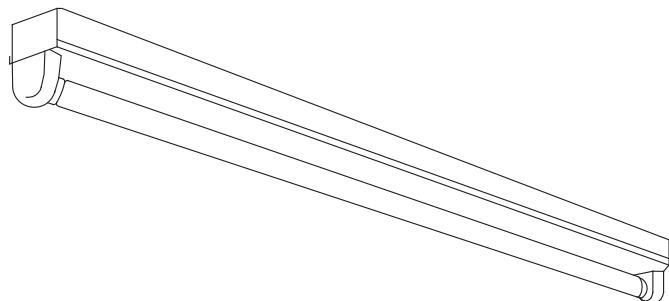
器種	寸法			材質・材厚		背面形式
	a	b	c	本体	反射板	
FSS7-322	1,250~1,280	230~285	60~100	SPC0.5	SPC0.3	B21 B23

備考 (1) 天井面も照射する構造とする。
(2) 遮光角は、A断面(A-A方向)において 20° 以上とする。

蛍光灯

直付天井灯3

FSS8
FSS8MP
FSS8RP
FSS8MPA
FSS8RPA
FSS8MPB
FSS8RPB



[単位 mm]

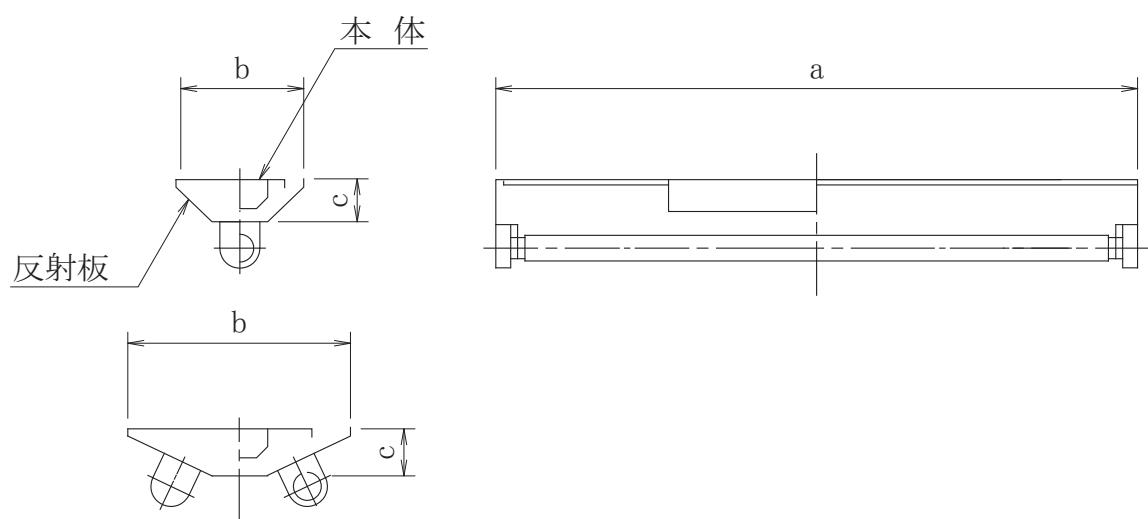
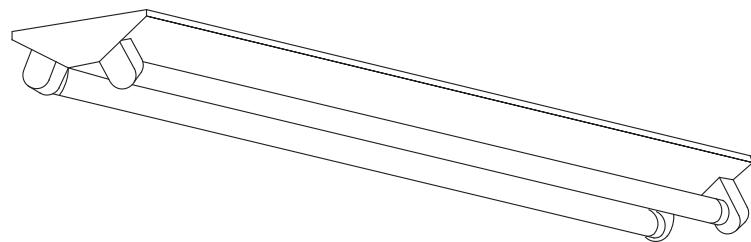
器種	寸法			材質・材厚		背面形式
	a	b	c	本体	反射板	
FSS8-161	610~650	50~80	35~60	SPC0.3	SPC0.3	B23
FSS8-321	1,220~1,260					B21、B23
FSS8-861	2,425~2,455		40~95			B21
FSS8MP-321	1,220~1,260	50~90	45~70	SUS0.3	SUS0.3	-
FSS8RP-321						
FSS8MPA-321						
FSS8RPA-321						
FSS8MPB-321						
FSS8RPB-321						

備考 (1) Aを付した器種は、反射板の仕上げをクリア塗装とする。
(2) Bを付した器種は、反射板の仕上げを白色塗装とする。

蛍光灯

直付天井灯4

FSS9
FSS9MP
FSS9MPA
FSS9MPB
K1-FSS9
K0-I40+FSS9
FDS1-FSS9
FDS2-FSS9



蛍光灯

直付天井灯4

FSS9

〔単位 mm〕

器 種	寸 法			材 質・材 厚		背 面 形 式
	a	b	c	本 体	反 射 板	
FSS9-161	610~650	65~165	35~65	SPC0.3	SPC0.3	B23
FSS9-162		65~250	35~75			
FSS9-321	1,220~1,260	65~165	35~65			B21 B23
FSS9-322		65~250	35~75			
FSS9MP-321		65~165	40~70			-
FSS9MP-322		65~250	35~100			
FSS9MPA-321	1,220~1,260	65~165	40~70	SUS0.3	SUS0.3	-
FSS9MPB-321		65~250	35~100			
FSS9MPA-322		65~165	35~65			
FSS9MPB-322		65~250	35~75			
K1-FSS9-321	65~250	35~65	SPC0.3	SPC0.3	SPC0.3	-
K1-FSS9-322		35~75				
K0-I40+FSS9-322		35~100				
FDS1-FSS9-321		65~165	35~65			
FDS1-FSS9-322	65~250	65~250	35~75			-
FDS2-FSS9-321		65~165	35~65			
FDS2-FSS9-322		65~250	35~75			

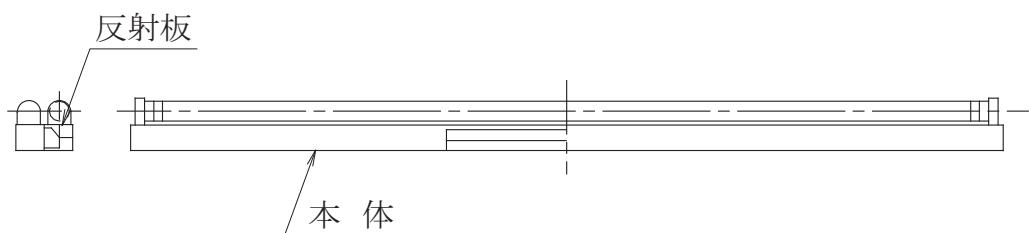
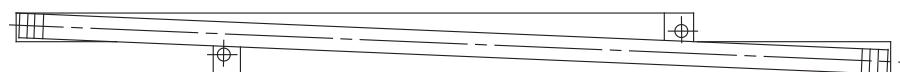
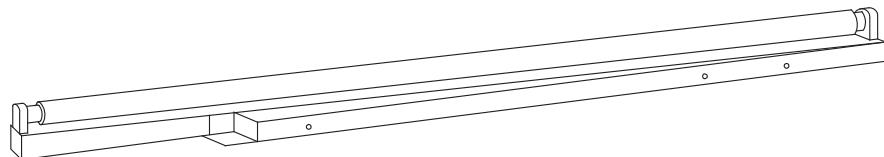
備考 (1) Aを付した器種は、反射板の仕上げをクリア塗装とする。

(2) Bを付した器種は、反射板の仕上げを白色塗装とする。

蛍光灯

直付天井灯5

FSS10



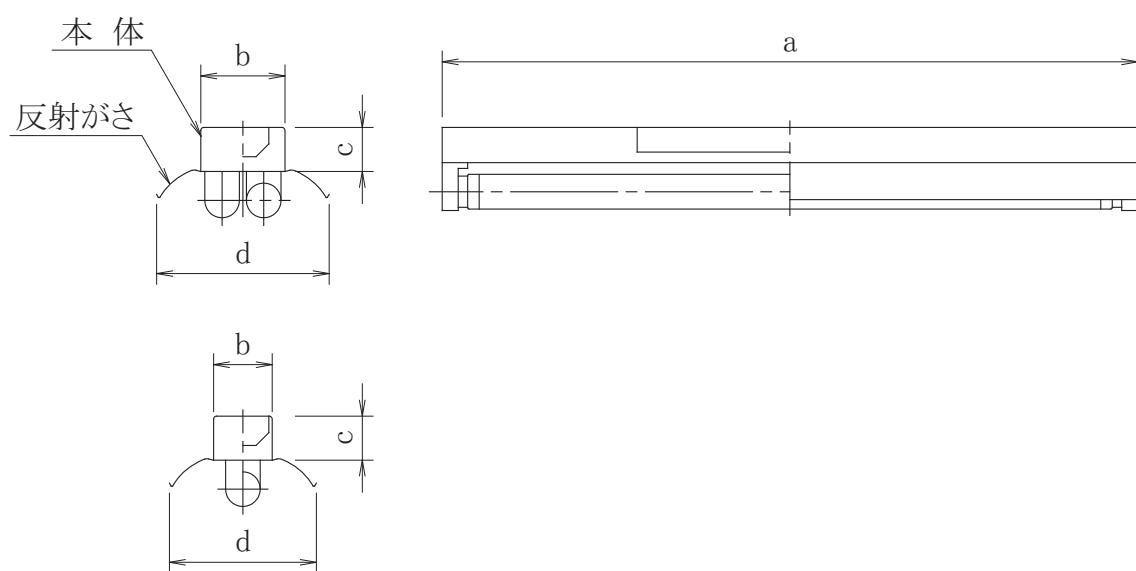
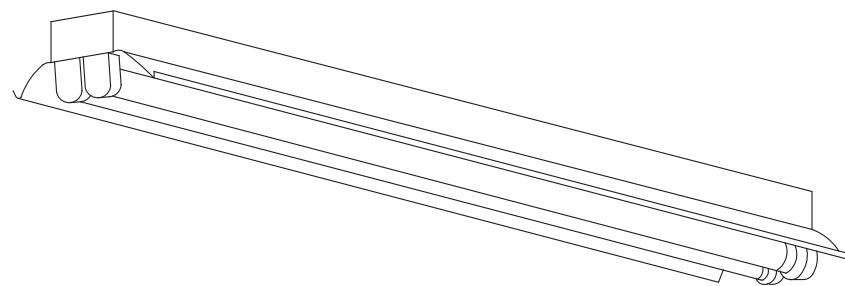
器種	材質	
	本体	反射板
FSS10-321	SPC	SPC

備考 光源口金部の重なり代を設けた構造とする。

蛍光灯

直付天井灯6

FSR2
K1-FSR2
FSR2MP
FSR2RP
FSR2MPA
FSR2RPA
FSR2MPB
FSR2RPB
FDS1-FSR2
FDS2-FSR2



蛍光灯

直付天井灯6

FSR2

〔単位 mm〕

器種	寸法				材質・材厚		背面形式
	a	b	c	d	本体	反射がさ	
FSR2-161	610 650	50~80	35~60	130~185			B23
FSR2-321					SPC0.3	SPC0.3	B21
FSR2-322		50~140	35~70	150~260			B23
K1-FSR2-321		50~80	35~60	130~185			-
K1-FSR2-322		50~140	35~70	150~260			
FSR2MP-321		50~90	40~65	145~220			
FSR2RP-321		50~170	40~80	180~290	SPC0.3	SPC0.3	
FSR2MP-322		50~90	40~65	145~220			
FSR2RP-322		50~170	40~80	180~290	SUS0.3	SUS0.3	-
FSR2MPA-321		50~90	40~65	145~220			
FSR2RPA-321							
FSR2MPA-322		50~170	40~80	180~290			
FSR2RPA-322							
FSR2MPB-321		50~90	40~65	145~220			
FSR2RPB-321							
FSR2MPB-322		50~170	40~80	180~290			
FSR2RPB-322							
FDS1-FSR2-321		50~80	35~60	130~185			
FDS1-FSR2-322		50~140	35~70	150~260	SPC0.3	SPC0.3	
FDS2-FSR2-321		50~80	35~60	130~185			
FDS2-FSR2-322		50~140	35~70	150~260			

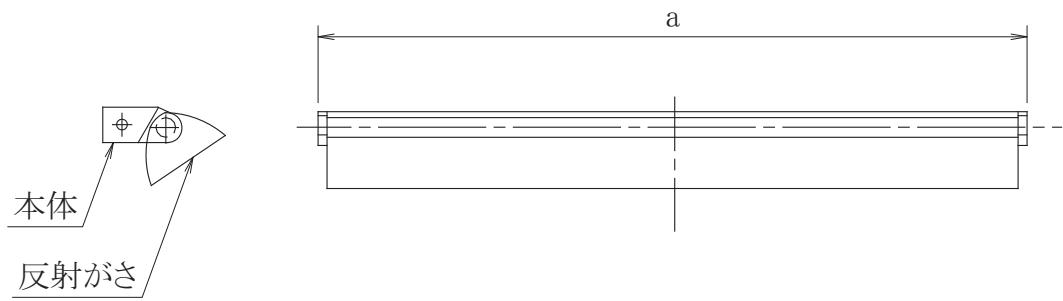
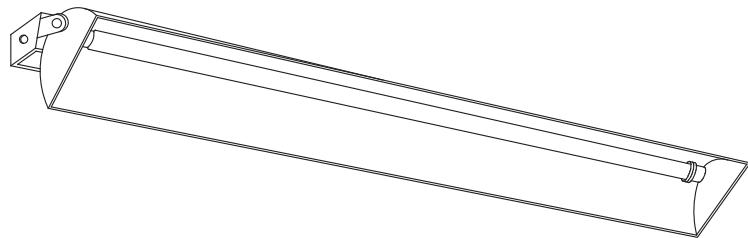
備考 (1) Aを付した器種は、反射板の仕上げをクリア塗装とする。

(2) Bを付した器種は、反射板の仕上げを白色塗装とする。

蛍光灯

直付天井灯7

FSR12



[単位 mm]

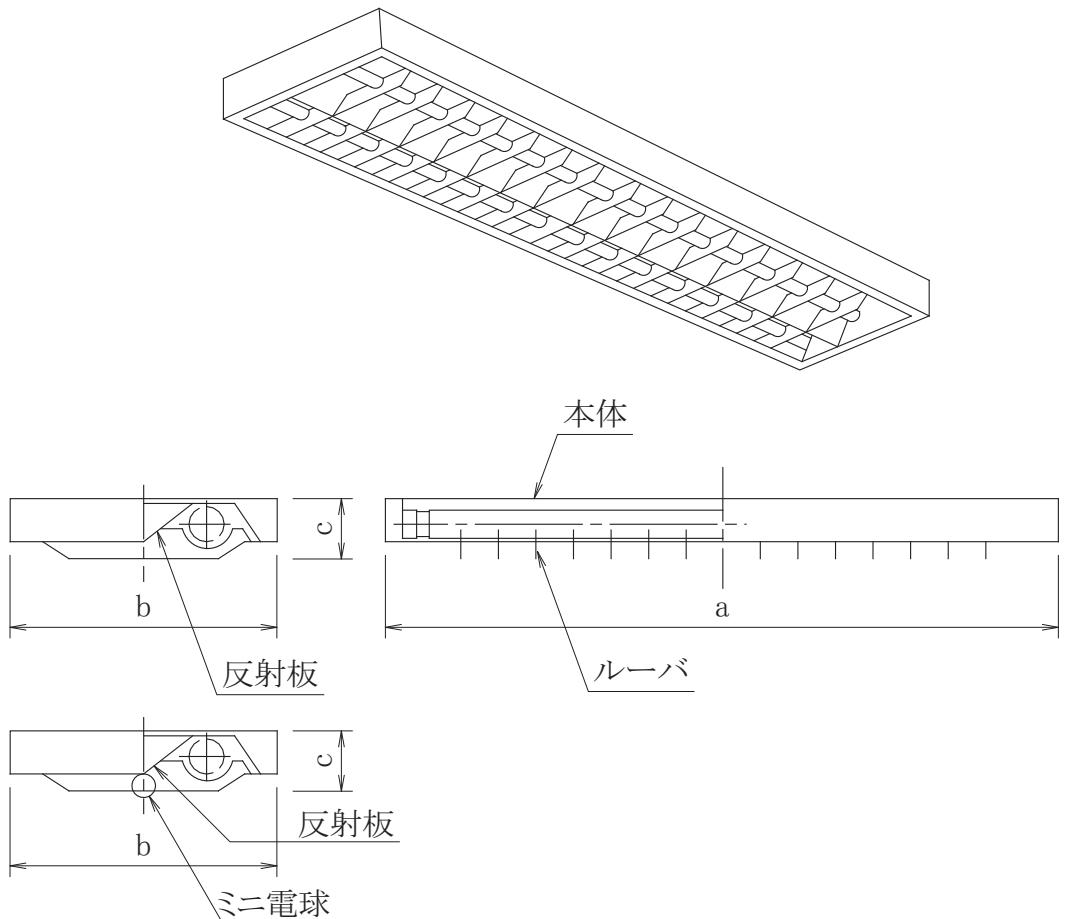
器種	寸法		材質・材厚		背面形式
	a	本体	反射がさ		
FSR12-321	1,220~1,290	SPC0.3	SPC0.4 A1P0.4	B21 B23	

- 備考 (1) 角度調整可能なものとする。
(2) 主に黒板照明用に使用する。
(3) 反射面は、鏡面仕上げとする。

蛍光灯

直付天井灯8

FSL1
K0-I40+FSL1



[単位 mm]

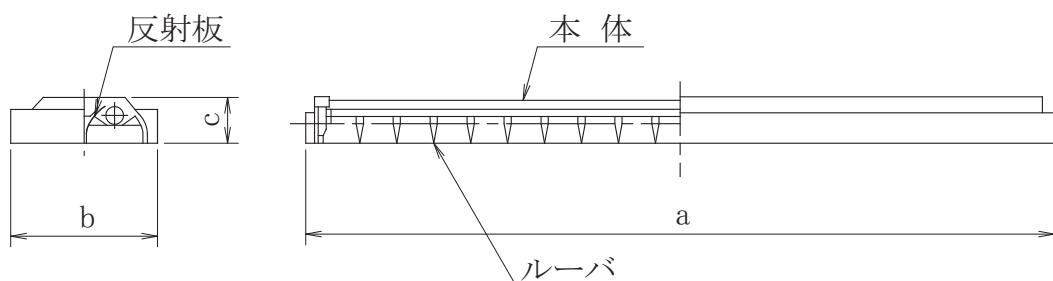
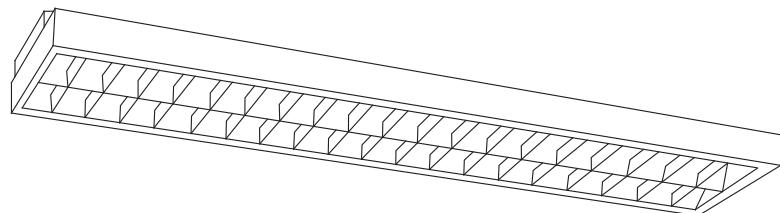
器 種	寸 法			材 質・材 厚			背 面 形 式
	a	b	c	本 体	反 射 板	ルーバ	
FSL1-162	630 660						—
FSL1-322		230 260	40 65	SPC0.5	SPC0.3	SPC A1P	B21 B23
K0-I40+FSL1-322	1,240 1,290						—

- 備考 (1) 反射面は、高反射塗装とする。
(2) ルーバは、白色仕上げとし、形状はL5に準ずる。
(3) 遮光角は、15° 以上とする。

蛍光灯

直付天井灯9

FSL2
K1-FSL2



[単位 mm]

器種	寸法			材質・材厚			背面形式
	a	b	c	本体	反射板	ルーバ	
FSL2V-322							B21
FSL2G0-322	1,240	220	65				B23
K1-FSL2V-322	1,300	290	80	SPC0.5	SPC0.3	SPC A1P	—
K1-FSL2G0-322							

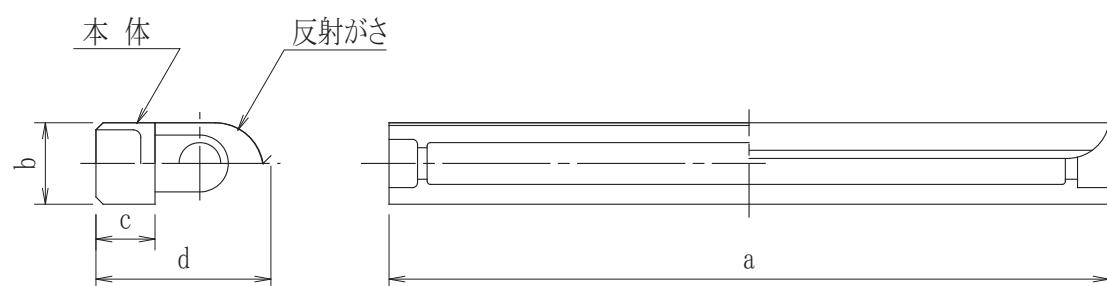
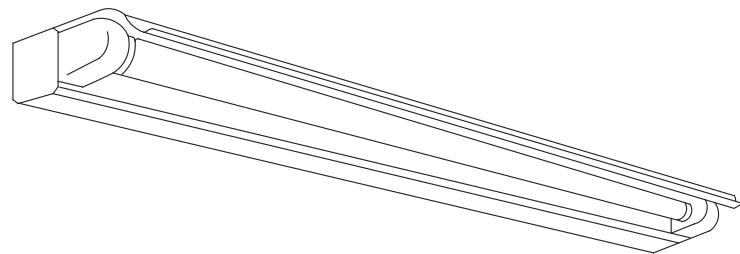
備考 (1) 反射面は、高反射塗装とする。

(2) ルーバの形状は、L3に準じ、VとG0のルーバが交換できるものとする。

蛍光灯

ブラケット1

FBS5



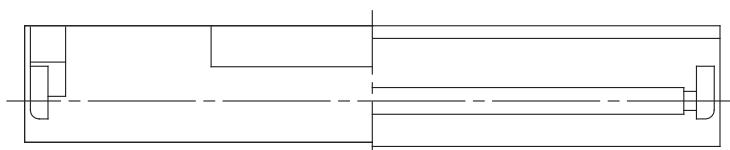
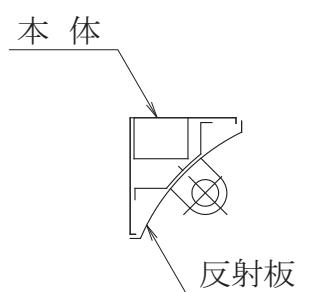
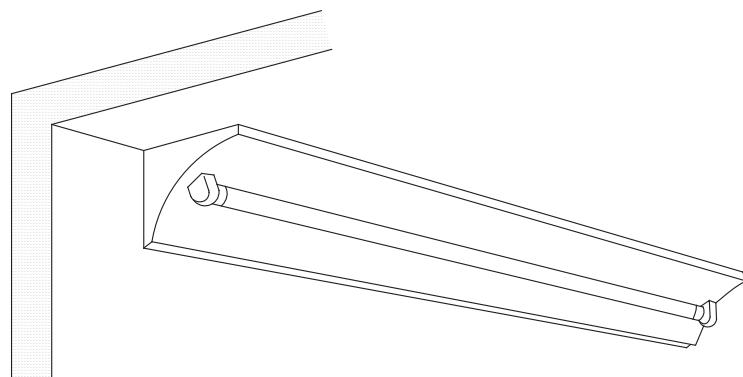
[単位 mm]

器種	寸法				材質・材厚		背面形式
	a	b	c	d	本体	反射がさ	
FBS5-321	1,220 1,290	50~80	40~60	90~155	SPC0.3	SPC0.3	B21 B23

蛍光灯

ブラケット2

FBS6



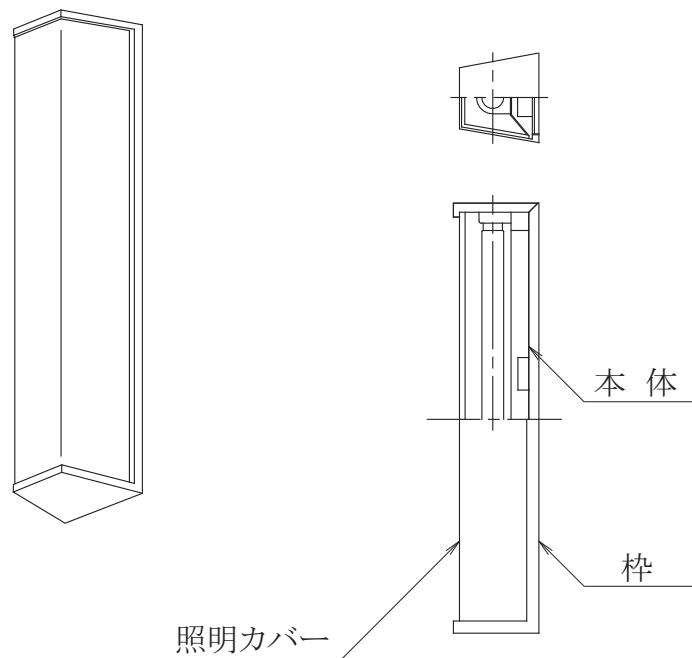
器種	材質	
	本体	反射板
FBS6-321	SPC	SPC

備考 壁付け専用又は、壁・天井付け兼用形とする。

蛍光灯

ブラケット3

FBF7
FBF7RP



器種	材質		
	本体	枠	照明カバー
FBF7-321	SPC	SPC	PMMA
	SUS	SUS	

蛍光灯

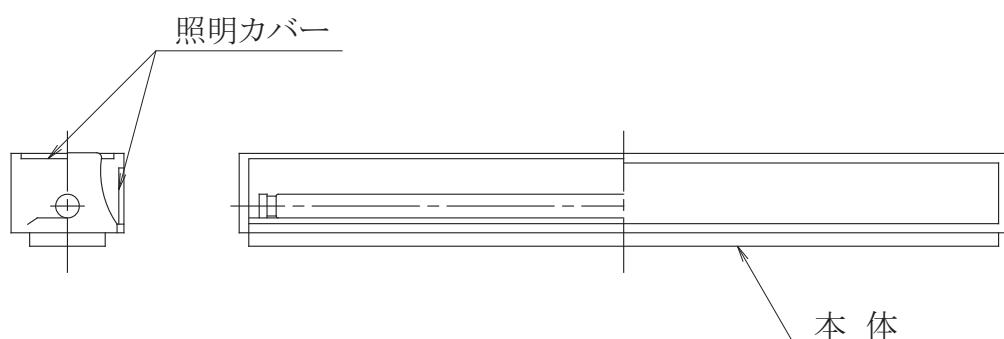
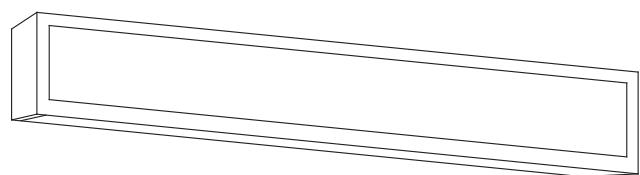
非常用ブラケット

K1-FBF15

SK1-FBF15

FDS1-K1-FBF15

FDS2-SK1-FBF15



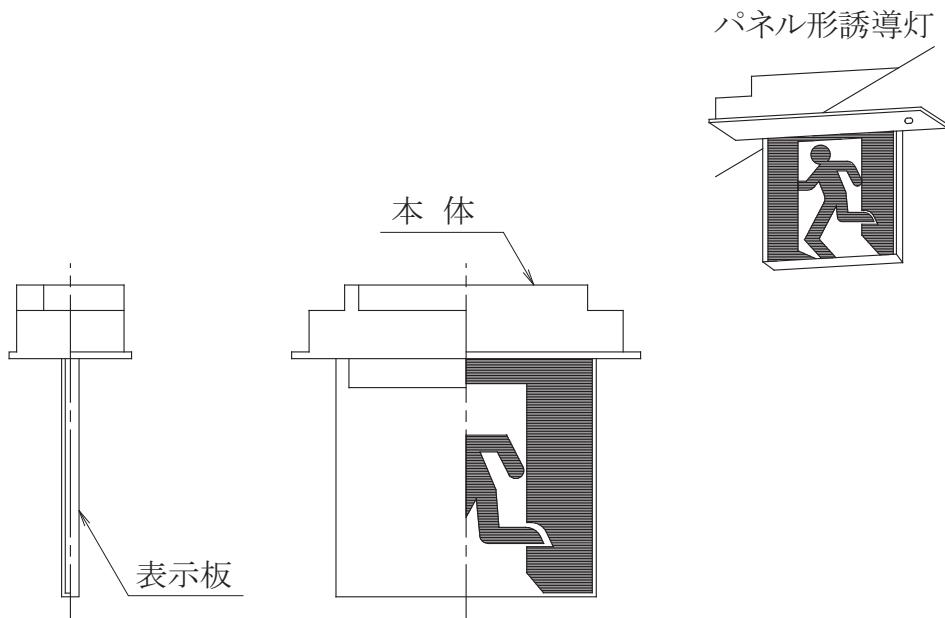
器種	材質	
	本体	照明カバー
K1-FBF15-321		
SK1-FBF15-321		
FDS1-K1-FBF15-321		
FDS2-SK1-FBF15-321	SPC	GC
K1-FBF15-322		
SK1-FBF15-322		

- 備考 (1) SK1-FBF15は、階段に取付ける器具で、建築基準法関係法令による非常用照明器具及び消防法関係法令による階段通路誘導灯を兼用すること。
なお、この場合は階数を表示する。
- (2) 非常灯は、蛍光ランプ1灯点灯とする。
- (3) ランプW数・灯数表示の前に-60を付した器種は60分間定格とする。
(例：K1-FBF15-60-321)
- (4) FDS1及びFDS2のセンサは、器具の端部に設ける。

誘導灯

避難口誘導灯1

SH1-FRF20P
SH1-FRF21P

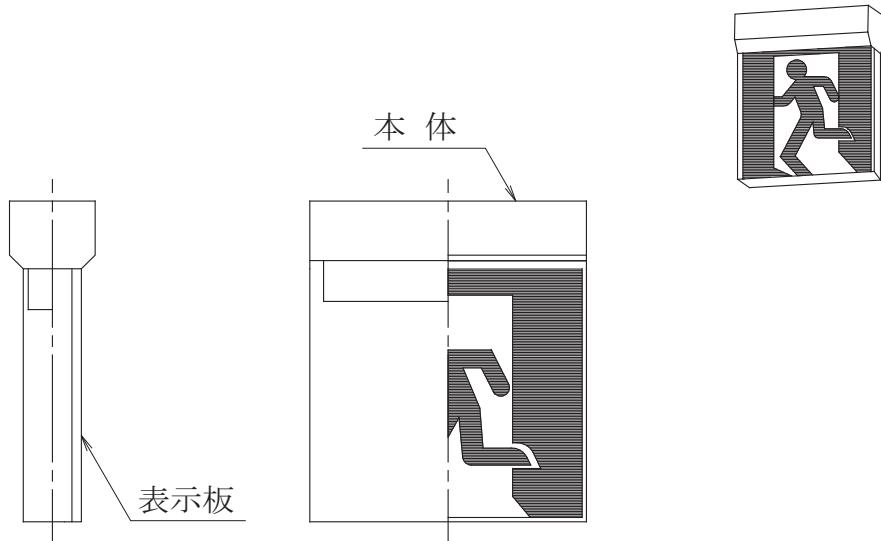


器種	摘要
SH1-FRF20P -C	1. 消防法関連法令による避難口誘導灯とする。 2. 電池内蔵形とする。
SH1-FRF20P -BL	3. 個別制御方式自動点検機能付きとする。ただしA級は除く。
SH1-FRF20P -BH	4. 表示する文字及びシンボルは、打合せによる。
SH1-FRF20P -A	5. SH1-FRF20Pは、片面、天井埋込形とする。
SH1-FRF21P -C	6. SH1-FRF21Pは、両面、天井埋込形とする。
SH1-FRF21P -BL	7. 仕様による区分は次のとおりとする。 (1) Fは、点滅形とする。 (2) AFは、点滅式誘導音付加形とする。 (3) 末尾に60を付した場合は60分間定格とする。 (4) 末尾にSを付した場合は集中制御方式自動点検機能付きとする。 (例:SH1-FRF20P-C60S)
SH1-FRF21P -BH	
SH1-FRF20PF -BL	
SH1-FRF20PF -BH	
SH1-FRF21PF -BL	
SH1-FRF21PF -BH	
SH1-FRF20PAF -BL	
SH1-FRF20PAF -BH	
SH1-FRF21PAF -BL	
SH1-FRF21PAF -BH	

誘導灯

避難口誘導灯2

SH1-FSF20
SH1-FSF21

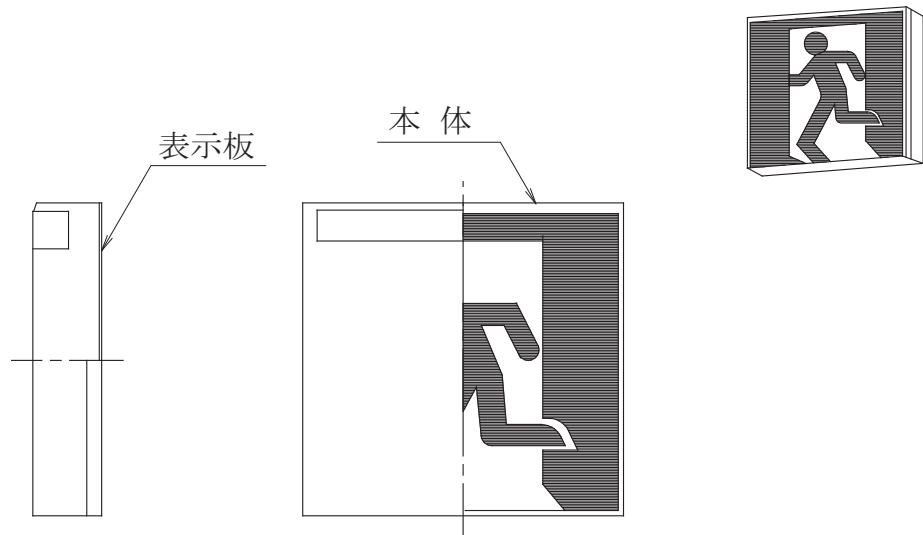


器種	摘要
SH1-FSF20 -C	1. 消防法関連法令による避難口誘導灯とする。 2. 電池内蔵形とする。
SH1-FSF20 -BL	3. 個別制御方式自動点検機能付きとする。ただしA級は除く。
SH1-FSF20 -BH	4. 表示する文字及びシンボルは、打合せによる。
SH1-FSF20 -A	5. SH1-FSF20は、片面、天井直付形とする。
SH1-FSF21 -C	6. SH1-FSF21は、両面、天井直付形とする。
SH1-FSF21 -BL	7. 仕様による区分は次のとおりとする。 (1) Fは、点滅形とする。 (2) AFは、点滅式誘導音付加形とする。 (3) 末尾に60を付した場合は60分間定格とする。 (4) 末尾にSを付した場合は集中制御方式自動点検機能付きとする。 (例:SH1-FSF20-C60S)
SH1-FSF21 -BH	
SH1-FSF21 -A	
SH1-FSF20F -BL	
SH1-FSF20F -BH	
SH1-FSF21F -BL	
SH1-FSF21F -BH	
SH1-FSF20AF -BL	
SH1-FSF20AF -BH	
SH1-FSF21AF -BL	
SH1-FSF21AF -BH	

誘導灯

避難口誘導灯3

SH1-FBF20

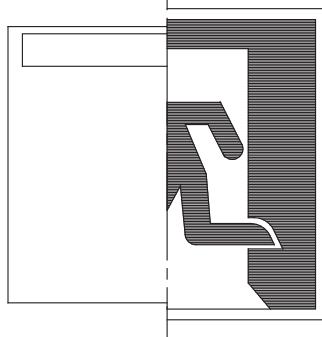
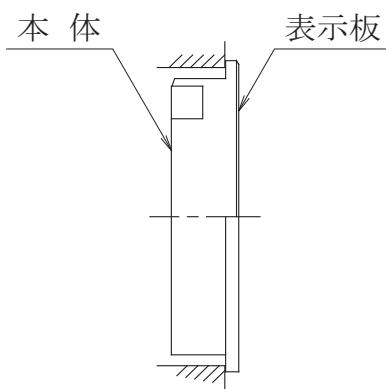


器種	摘要
SH1-FBF20 -C	1. 消防法関連法令による避難口誘導灯とする。 2. 電池内蔵形とする。
SH1-FBF20 -BL	3. 個別制御方式自動点検機能付きとする。ただしA級は除く。
SH1-FBF20 -BH	4. 表示する文字及びシンボルは、打合せによる。 5. 片面、壁直付形とする。
SH1-FBF20 -A	6. 仕様による区分は次のとおりとする。 (1) Fは、点滅形とする。 (2) AFは、点滅式誘導音付加形とする。 (3) 末尾に60を付した場合は60分間定格とする。 (4) 末尾にSを付した場合は集中制御方式自動点検機能付きとする。 (例:SH1-FBF20-C60S)
SH1-FBF20F -BL	
SH1-FBF20F -BH	
SH1-FBF20AF -BL	
SH1-FBF20AF -BH	

誘導灯

避難口誘導灯4

SH1-FBC20

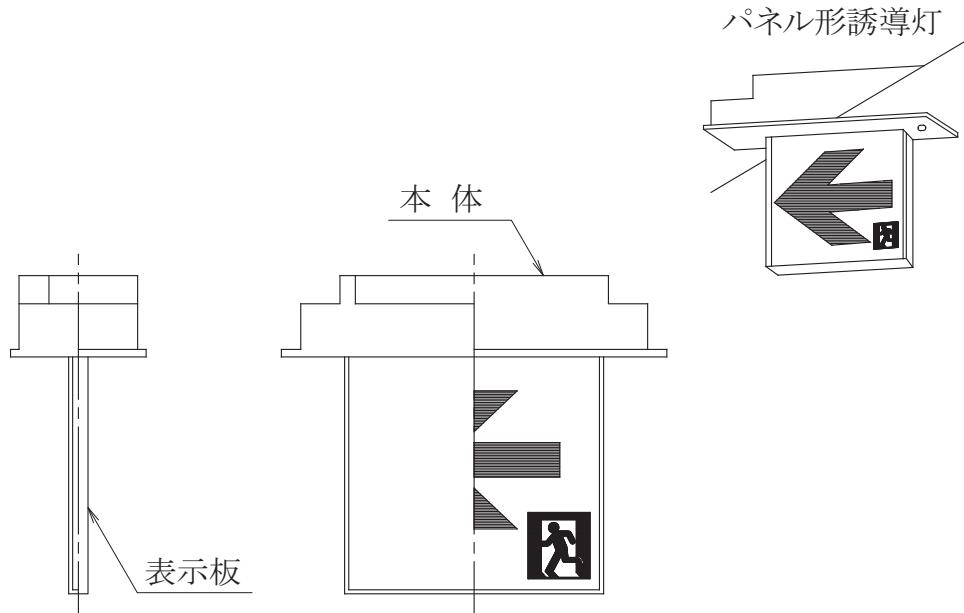


器種	摘要
SH1-FBC20 -C	1. 消防法関連法令による避難口誘導灯とする。 2. 電池内蔵形とする。 3. 個別制御方式自動点検機能付きとする。ただしA級は除く。 4. 表示する文字及びシンボルは、打合せによる。 5. 片面、壁埋込形とする。 6. 仕様による区分は次のとおりとする。 (1) Fは、点滅形とする。 (2) AFは、点滅式誘導音付加形とする。 (3) 末尾に60を付した場合は60分間定格とする。 (4) 末尾にSを付した場合は集中制御方式自動点検機能付きとする。 (例:SH1-FBC20-C60S)
SH1-FBC20 -BL	
SH1-FBC20 -BH	
SH1-FBC20 -A	
SH1-FBC20F -BL	
SH1-FBC20F -BH	
SH1-FBC20AF -BL	
SH1-FBC20AF -BH	

誘導灯

通路誘導灯1

ST1-FRF22P
ST1-FRF23P

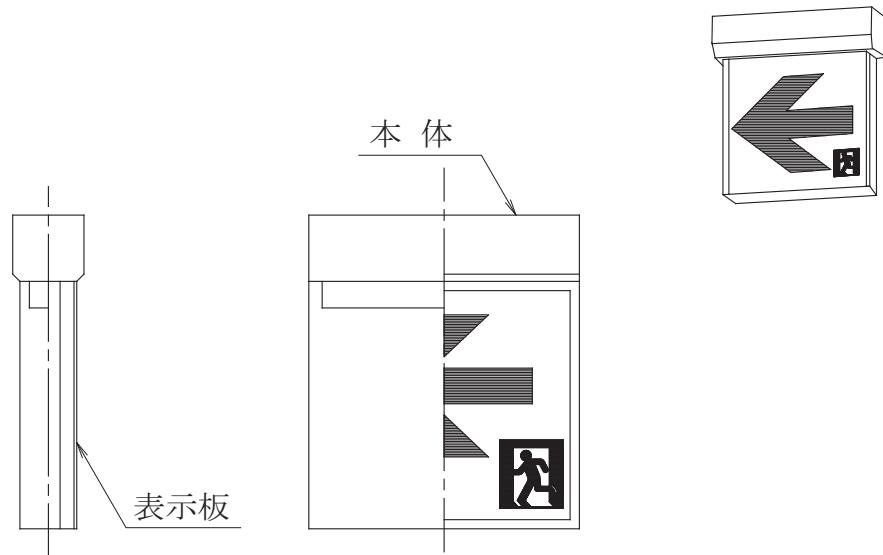


器種	摘要
ST1-FRF22P -C	1. 消防法関連法令による通路誘導灯とする。 2. 電池内蔵形とする。
ST1-FRF22P -BL	3. 個別制御方式自動点検機能付きとする。ただしA級は除く。
ST1-FRF22P -BH	4. 表示する文字及びシンボルは、打合せによる。 5. ST1-FRF22Pは、片面、天井埋込形とする。
ST1-FRF22P -A	6. ST1-FRF23Pは、両面、天井埋込形とする。 7. 仕様による区分は次のとおりとする。 (1) 末尾に60を付した場合は60分間定格とする。 (2) 末尾にSを付した場合は集中制御方式自動点検機能付きとする。 (例:ST1-FRF22P-C60S)
ST1-FRF23P -C	
ST1-FRF23P -BL	
ST1-FRF23P -BH	
ST1-FRF23P -A	

誘導灯

通路誘導灯2

ST1-FSF22
ST1-FSF23

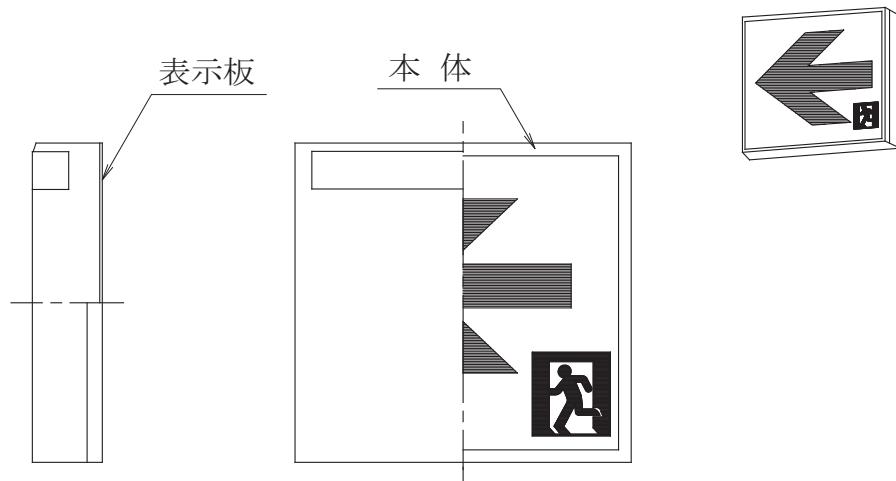


器種	摘要
ST1-FSF22 -C	1. 消防法関連法令による通路誘導灯とする。 2. 電池内蔵形とする。
ST1-FSF22 -BL	3. 個別制御方式自動点検機能付きとする。ただしA級は除く。
ST1-FSF22 -BH	4. 表示する文字及びシンボルは、打合せによる。
ST1-FSF22 -A	5. ST1-FSF22は、片面、天井直付形とする。
ST1-FSF23 -C	6. ST1-FSF23は、両面、天井直付形とする。
ST1-FSF23 -BL	7. 仕様による区分は次のとおりとする。 (1) 末尾に60を付した場合は60分間定格とする。
ST1-FSF23 -BH	(2) 末尾にSを付した場合は集中制御方式自動点検機能付きとする。 (例:ST1-FSF22-C60S)
ST1-FSF23 -A	

誘導灯

通路誘導灯3

ST1-FBF22

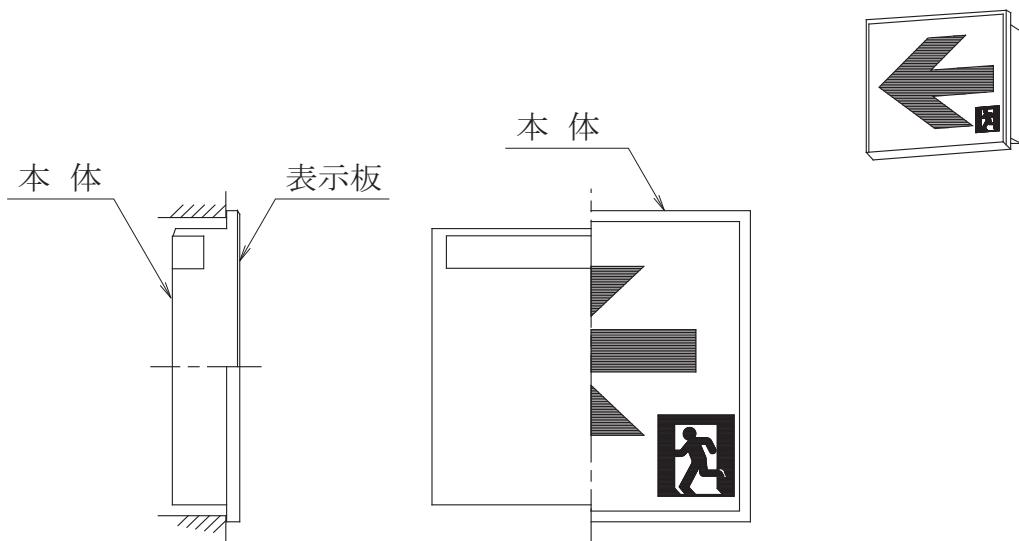


器種	摘要
ST1-FBF22 -C	<ol style="list-style-type: none">消防法関連法令による通路誘導灯とする。電池内蔵形とする。個別制御方式自動点検機能付きとする。ただしA級は除く。表示する文字及びシンボルは、打合せによる。片面、壁直付形とする。仕様による区分は次のとおりとする。<ol style="list-style-type: none">末尾に60を付した場合は60分間定格とする。末尾にSを付した場合は集中制御方式自動点検機能付きとする。 (例:ST1-FBF22-C60S)
ST1-FBF22 -BL	
ST1-FBF22 -BH	
ST1-FBF22 -A	

誘導灯

通路誘導灯4

ST1-FBC22

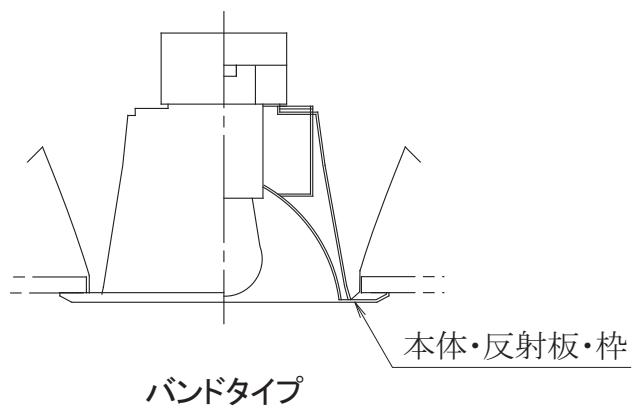
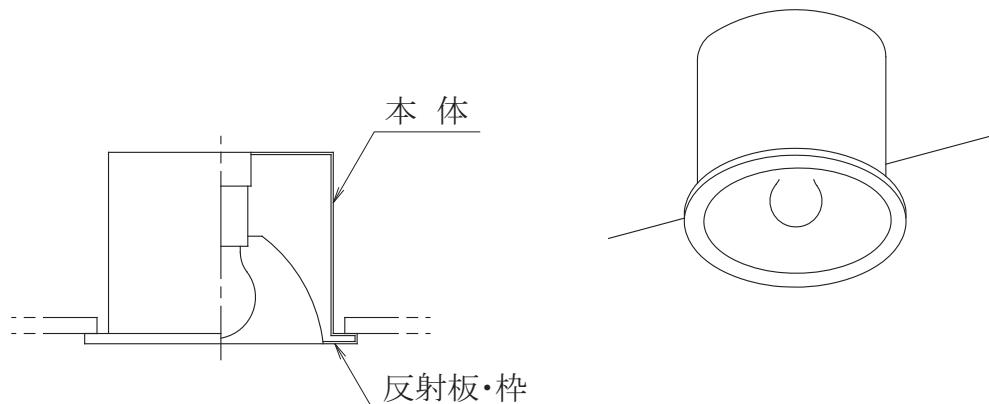


器種	摘要
ST1-FBC22 -C	1. 消防法関連法令による通路誘導灯とする。 2. 電池内蔵形とする。 3. 個別制御方式自動点検機能付きとする。ただしA級は除く。 4. 表示する文字及びシンボルは、打合せによる。 5. 片面、壁埋込形とする。 6. 仕様による区分は次のとおりとする。 (1) 末尾に60を付した場合は60分間定格とする。 (2) 末尾にSを付した場合は集中制御方式自動点検機能付きとする。 (例:ST1-FBC22-C60S)
ST1-FBC22 -BL	
ST1-FBC22 -BH	
ST1-FBC22 -A	

白熱灯

非常用埋込天井灯1

K0-IRS5



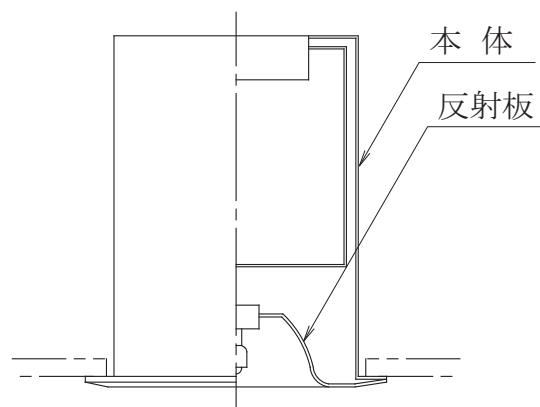
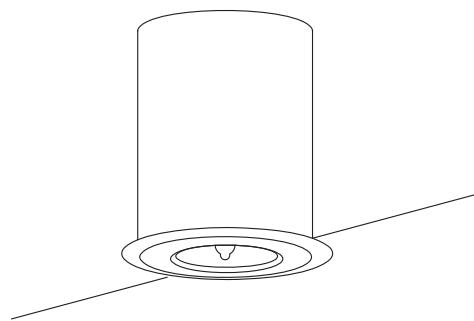
器種	材質		
	本体	枠	反射板
K0-IRS5-40	SPC	SPC ZDC ADC A1P	SPC ZDC ADC A1P

- 備考 (1) ミニ電球の下面は、枠下面とほぼ同じとする。
(2) 本体形状は、バンドタイプでもよい。
(3) 非常用光源は、通常時消灯、非常時点灯とする。

白熱灯

非常用埋込天井灯2

K1-IRS4



[単位 mm]

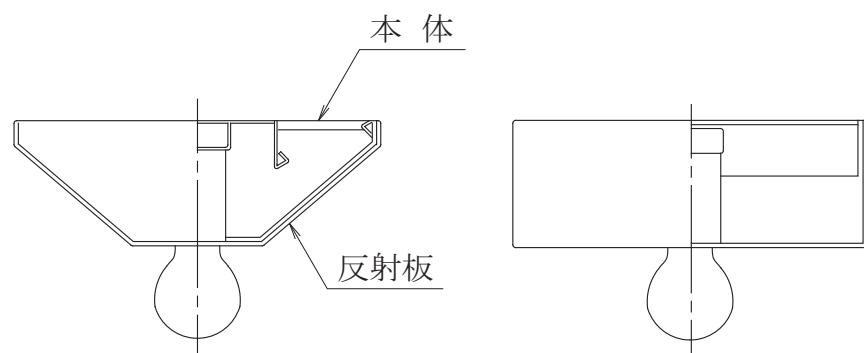
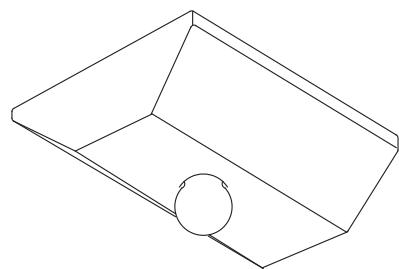
器種	材質		天井切込み寸法
	本体	反射板	
K1-IRS4-JE9			
K1-IRS4-JE13	SPC	SPC A1P	Φ 100
K1-IRS4-JE30			

備考 非常用光源は、通常時消灯、非常時点灯とする。

白熱灯

非常用直付天井灯1

K0-ISS6

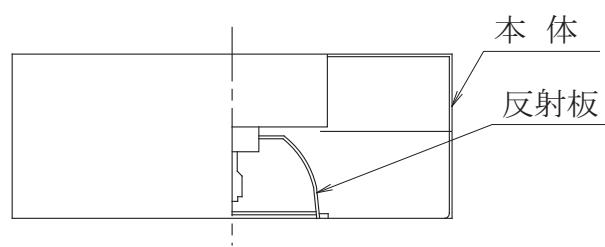
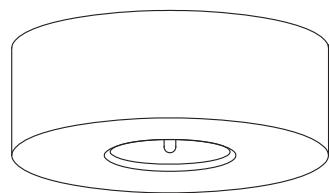


器種	摘要
K0-ISS6-40	非常用光源は、通常時消灯、非常時点灯とする。

白熱灯

非常用直付天井灯2

K1-ISS4



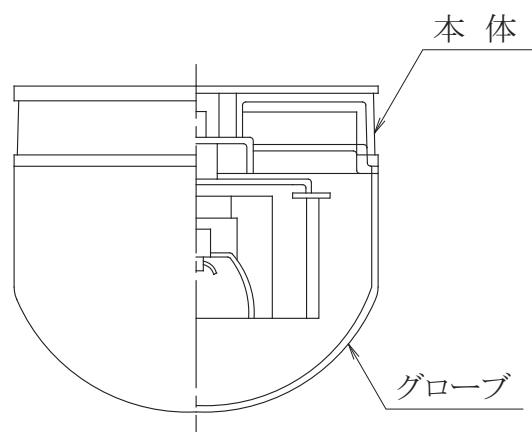
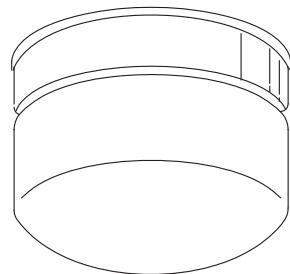
器種	材質	
	本体	反射板
K1-ISS4-JE9		
K1-ISS4-JE13	SPC	SPC A1P
K1-ISS4-JE30		

備考 非常用光源は、通常時消灯、非常時点灯とする。

白熱灯

非常用直付天井灯3

K1-ISC14MP



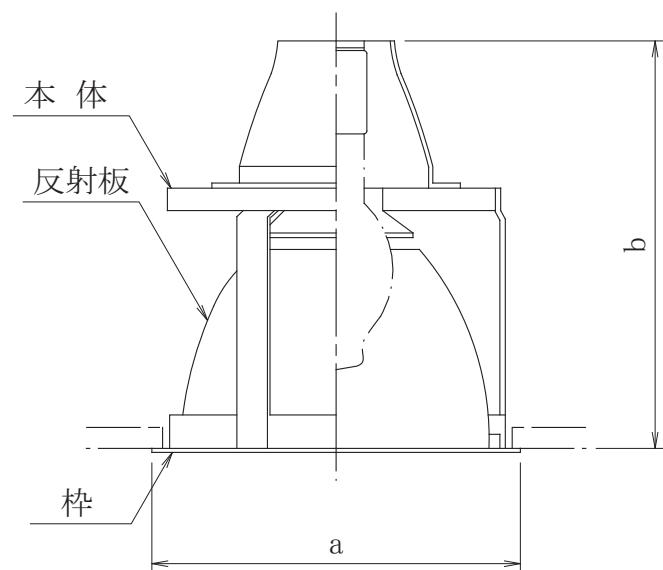
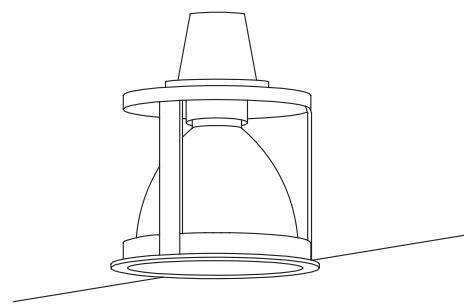
器種	材質	
	本体	グローブ
K1-ISC14MP-JE13	AC ADC A1P SPC	ガラス
K1-ISC14MP-JE30		

備考 (1) 口出し線付又は端子台付とする。
(2) 天井付専用とする。
(3) 非常用光源は、通常時消灯、非常時点灯とする。

HID灯

埋込天井灯1

HRS3



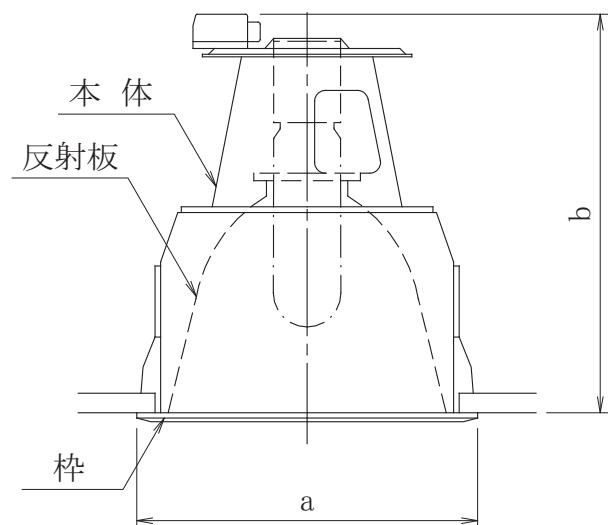
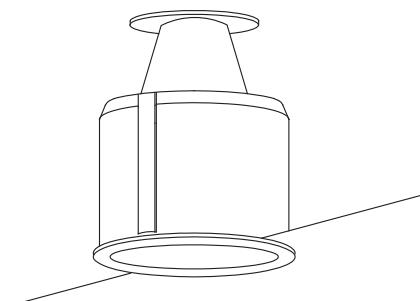
[单位 mm]

器種	寸法		材質・材厚			天井切込み寸法
	a	b	本体	枠	反射板	
HRS3-100M	180~230	180~300	SPC0.5 A1P0.6	SPC0.5 ADC	SPC0.5 A1P0.6	Φ175 Φ200
HRS3-190~250 (CML、M)	260~350	290~390				Φ250 Φ300

HID灯

埋込天井灯2

HRS4



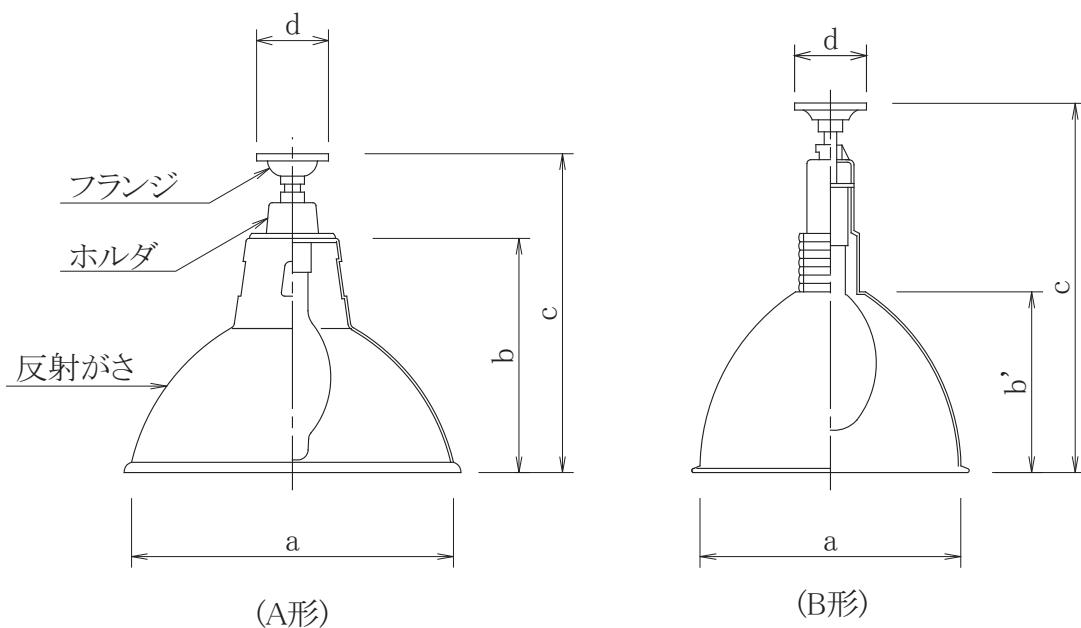
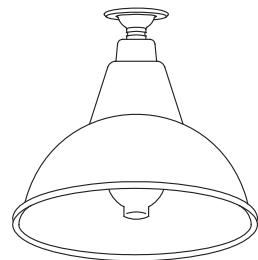
〔単位 mm〕

器種	寸法		材質			天井切込み寸法
	a	b	本体	枠	反射板	
HRS4-70CM						
HRS4-100CM	165～230	170～255	SPC ADC	SPC ADC A1P	A1P	φ 150 φ 175 φ 200
HRS4-150CM						

備考 反射板は、鏡面仕上げとする。

HID灯

直付天井灯

HSR1M
HSR1W

[単位 mm]

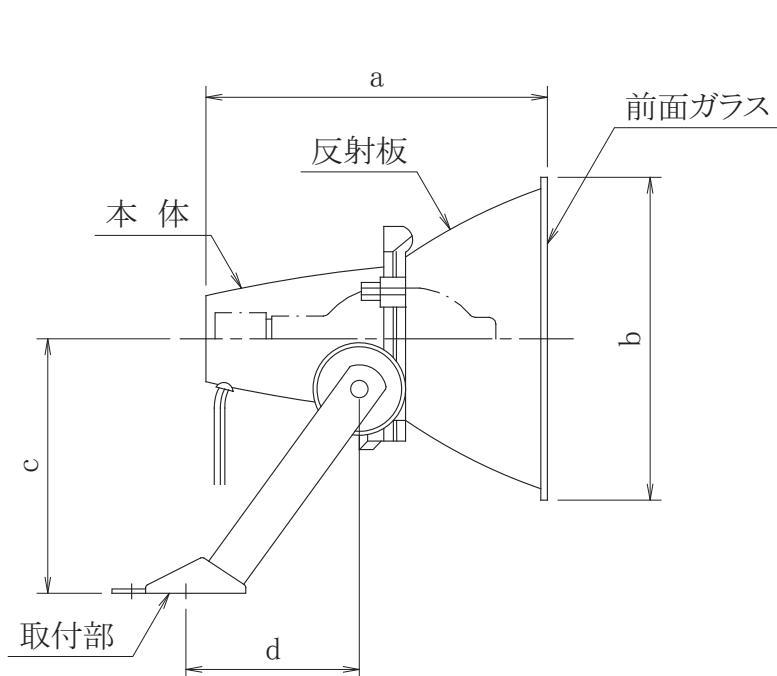
器種	寸法					材質・材厚	
	a	b(A形)	b'(B形)	c	d	ホルダ・フランジ	反射がさ
HSR1M-180~400 (CML、M、NH)	360~435	280~320	170~275	345~580	90~100	SPC0.8 AC ADC ZDC	A1P1.2
HSR1M-660~1k (M、NH)	470~600	350~425	300~395	435~835			
HSR1W-180~400 (CML、M、NH)	335~425	280~335	170~275	335~575			
HSR1W-660~1k (M、NH)	470~555	390~425	300~395	445~830			

備考 (1) Mは、JIS C 8113「投光器」の配光性能の分類30°以上、60°未満とする。
(2) Wは、JIS C 8113「投光器」の配光性能の分類60°以上とする。

HID灯

投光器1

HPJ1N
HPJ1M
HPJ1W



[単位 mm]

器種	寸法				材質・材厚			
	a	b	c	d	本体	反射板	取付部	前面ガラス
HPJ1N-180~400 (CML、M、NH)	380	350	250	180	AC	A1P1.0		
HPJ1M-180~400 (CML、M、NH)	470	440	360	275	ADC A1P1.0 SPC0.8			
HPJ1W-180~400 (CML、M、NH)							FC AC ADC SS SPH	GH GR
HPJ1N-660~1k (M、NH)								
HPJ1M-660~1k (M、NH)	490	510	290	180	AC ADC A1P1.2 SPC1.0	A1P1.2		
HPJ1W-660~1k (M、NH)	600	590	420	325				

備考 (1) 口出線付とする。

(2) Nは、JIS C 8113「投光器」の配光性能の分類30° 未満とする。

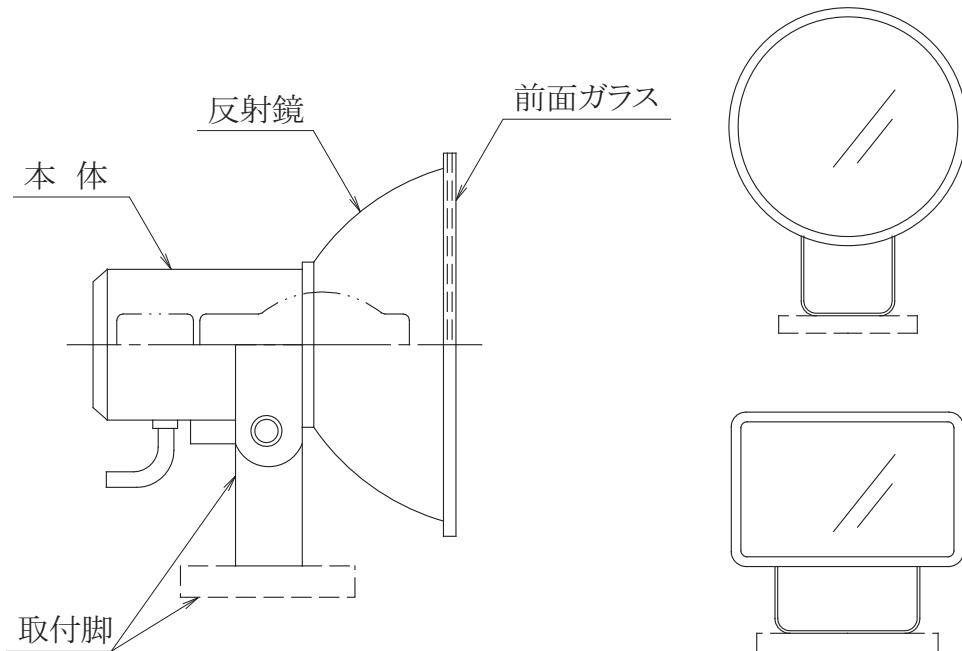
(3) Mは、JIS C 8113「投光器」の配光性能の分類30° 以上、60° 未満とする。

(4) Wは、JIS C 8113「投光器」の配光性能の分類60° 以上とする。

HID灯

投光器2

HPJ2N
HPJ2M
HPJ2W



器種	材質・材厚			
	本体	反射板	取付部	前面ガラス
HPJ2N-70~75(NH)				
HPJ2M-70~75(NH)				
HPJ2N-110~400 (CML、M、NH)	AC ADC A1P	A1P	ADC SPH	GH GR
HPJ2M-110~400 (CML、M、NH)				
HPJ2W-110~400 (CML、M、NH)				

備考 (1) 110ワットは、NHのみとする。

(2) 取付脚(部)の形状は問わない。

(3) Nは、JIS C 8113「投光器」の配光性能の分類30° 未満とする。

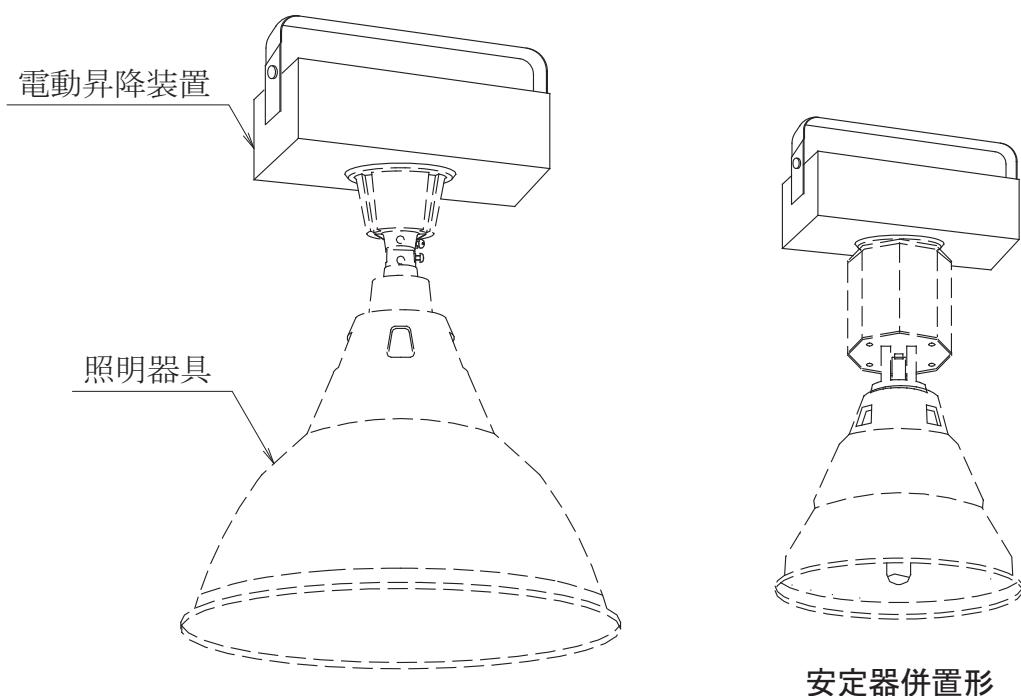
(4) Mは、JIS C 8113「投光器」の配光性能の分類30° 以上、60° 未満とする。

(5) Wは、JIS C 8113「投光器」の配光性能の分類60° 以上とする。

HID灯

昇降装置

ML1
ML2

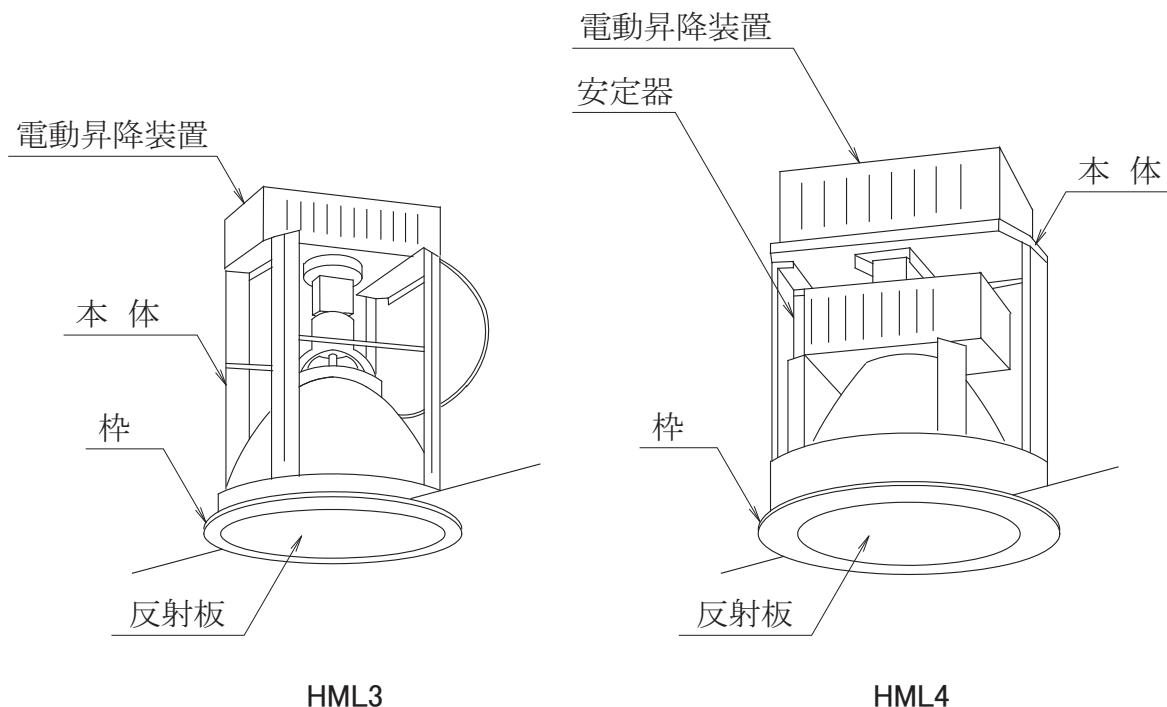


安定器併置形

器種	昇降可能質量	昇降可能高さ	摘要
ML1	5kg	15m	<ol style="list-style-type: none">昇降用の操作盤は、別途とする。昇降可能質量とは装置に取付ける照明器具、ランプ等の総質量をいう。ML2は、昇降可能質量の範囲内で安定器併置形照明器具を取付けることができる。
ML2	10kg		

HID灯

昇降装置付埋込天井灯

HML3
HML4

HML3

HML4

〔単位 mm〕

器種	材質			天井切込み寸法	昇降可能高さ	適合ランプ
	本体	枠	反射板			
HML3	SPC	SPC ADC	A1P	φ350 φ450	15m	190～370CML 200～400M 110～360NH
HML4						

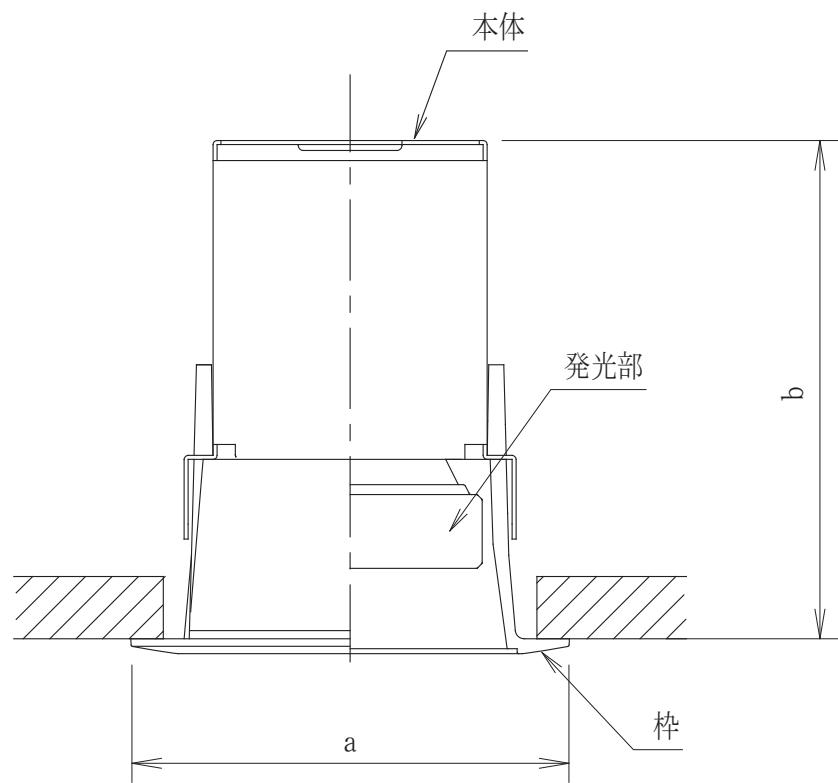
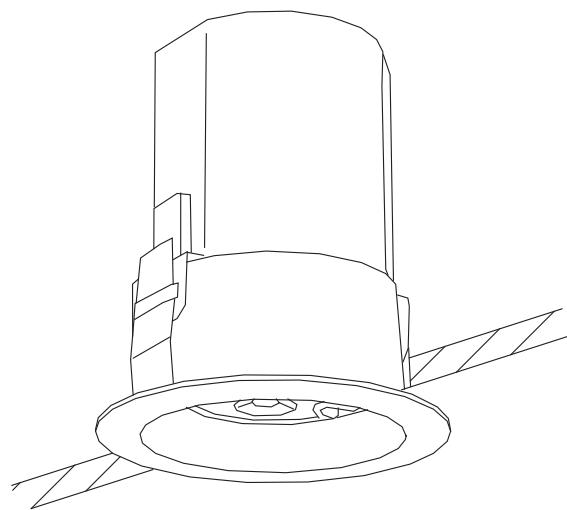
備考 (1) 昇降用の操作盤は、別途とする。

(2) HML4は、安定器内蔵形とし、安定器は、200Vの一般形高力率形とする。

LED 灯

埋込天井灯

LRS1
LRS1RP



LED 灯

埋込天井灯

LRS1
LRS1RP

〔単位 mm〕

器種	器具光束	消費電力	入力容量	定格入力電圧	ビームの開き ^{*1}	寸法		材質		天井切込み寸法
						a	b	本体	枠	
LRS1 -400LM ^{*2}	400lm 以上	10W 以下	20VA 以下	100V	40 100度	110 145	160 185	SPC A1P ADC P	φ 100 φ 125	φ 125 φ 150
LRS1 -800LM	800lm 以上	20W 以下	40VA 以下			135 185				
LRS1 -1300LM	1,300lm 以上	25W 以下	50VA 以下	100V 200V	100度	160 185	160 以下	SPC ADC A1P	φ 150	φ 150
LRS1 -1800LM	1,800lm 以上	30W 以下				95 145				
LRS1RP -350LM ^{*2}	350lm 以上	10W 以下	20VA 以下	100V		135 185	SPC A1P ADC P	φ 85 φ 100 φ 125	φ 125 φ 150	φ 125 φ 150
LRS1RP -700LM	700lm 以上	20W 以下	40VA 以下			95 145				

備考 (1) LEDの寿命は、初期全光束の70%に低下するまでの時間とし、40,000時間以上とする。

(2) 光源色は、相関色温度4,000～5,500K(白色相当)とする。

(3) 平均演色評価数(Ra)は、65以上とする。

(4) 消費電力が25Wを超える器具の力率は、85%以上とする。

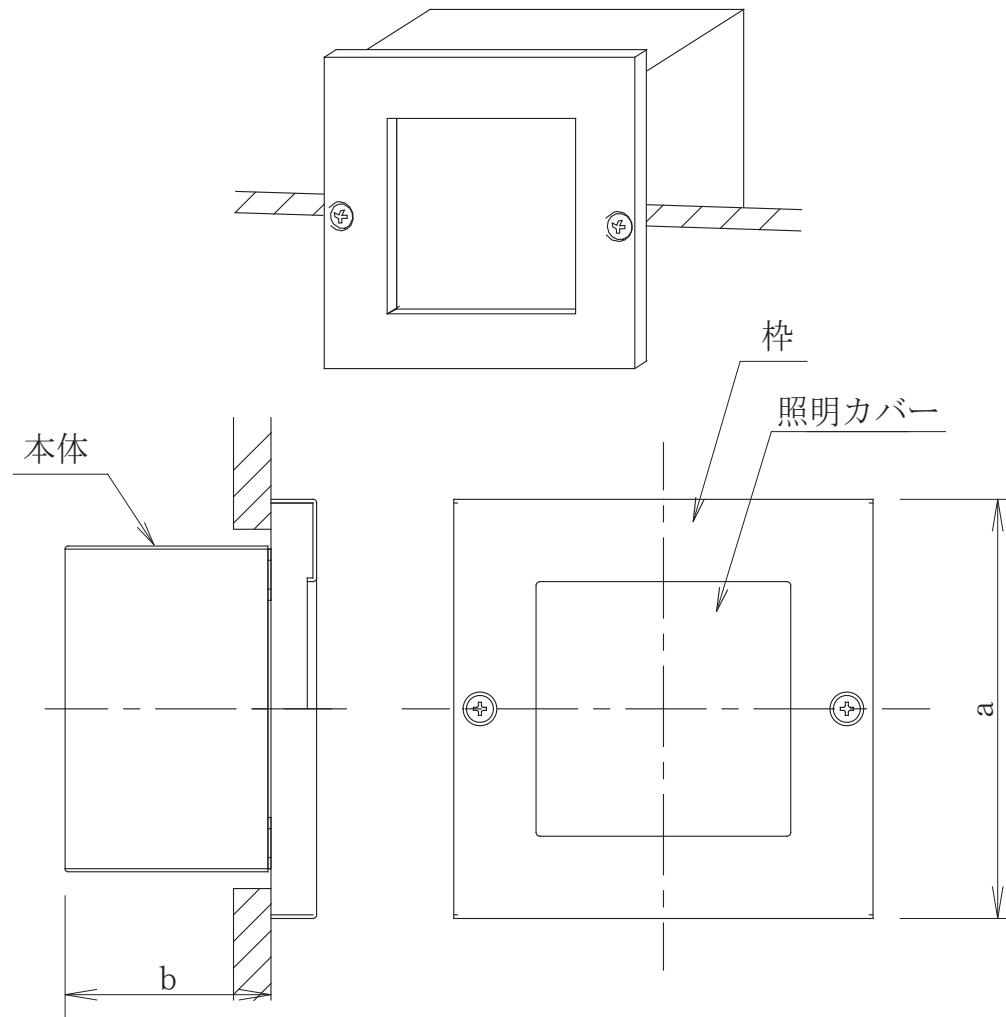
注 *1 最大光度の1/2に等しい値になる左右2方向の広がり角度のこと

*2 LED制御装置は、連続調光形(PZ)は除く。

LED 灯

ブラケット

LBF1



[単位 mm]

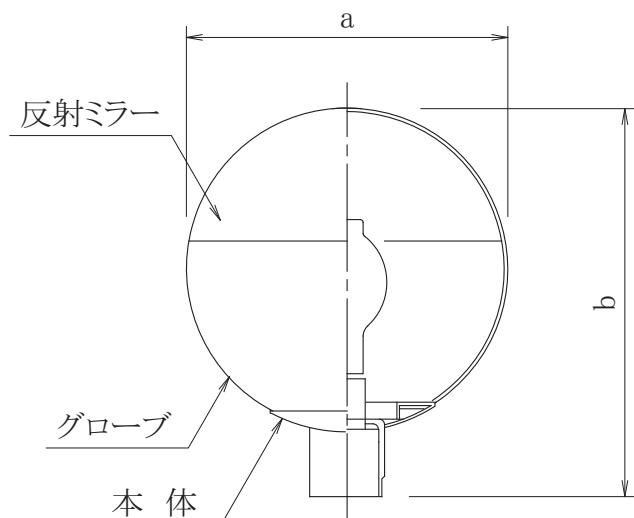
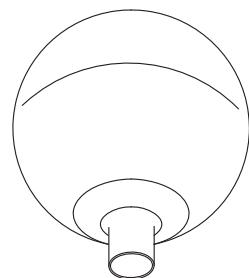
器種	寸法		材質		
	a	b	本体	枠	カバー
LBF1	100~130	60以下	SUS	SUS A1P ADC	P

- 備考 (1) 器具光束は、25lm以上とし、消費電力は、LED制御装置を含めて3W以下、入力容量は6VA以下とする。
- (2) LEDの寿命は、初期全光束の70%に低下するまでの時間とし、40,000時間以上とする。
- (3) 光源色は、相関色温度4,000~5,500K(白色相当)とする。
- (4) 平均演色評価数(Ra)は、65以上とする。
- (5) 発光部は、容易に交換できない構造でもよい。
- (6) LED制御装置を内蔵する。
- (7) LED制御装置は、連続調光形(PZ)は除く。

HID灯

屋外灯1

HST5A



[単位 mm]

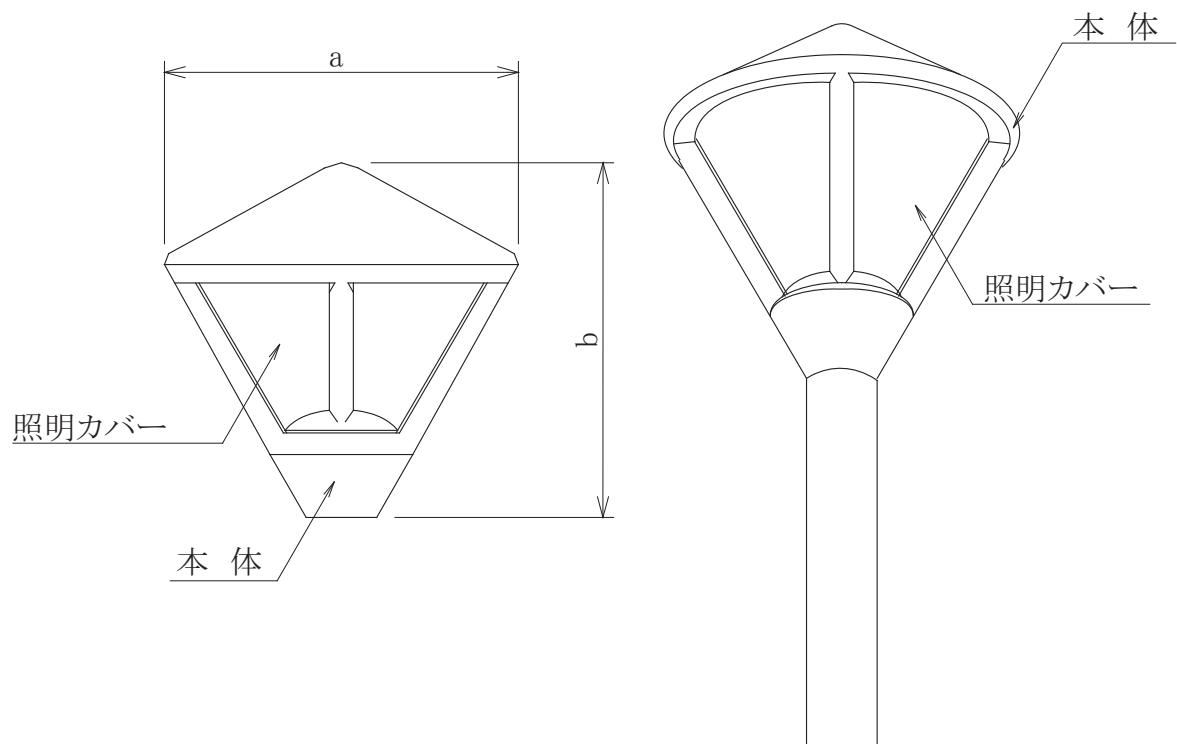
器種	寸法		材質・材厚		適合ポール
	a	b	グローブ	本体	
HST5A-70CM~150CM	300~400	330~535	GH P	AC ADC SPC0.8	T(B)3.5 T(B)4
HST5A-180~300 (CML, M, NH)	400~520	500~650		FC STK	T(B)4.5、T(B)5 T(B)5.5

備考 上方光束比は、15%以下とする。

HID灯

屋外灯2

HST9



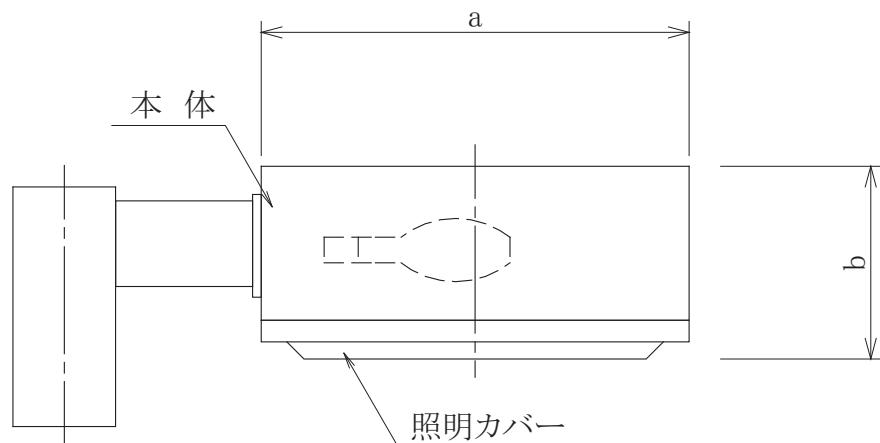
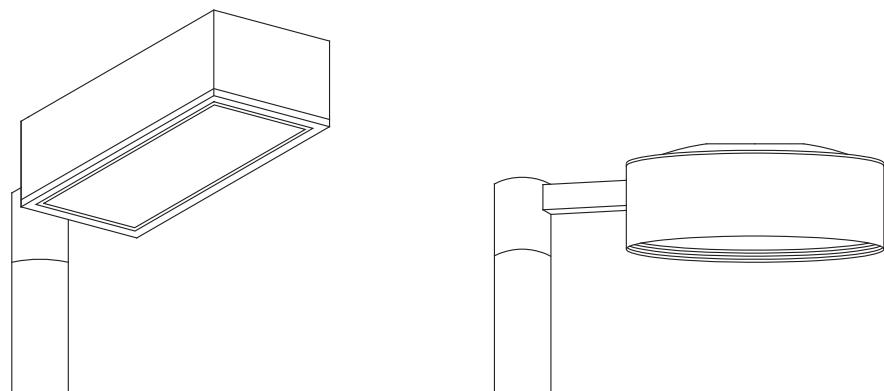
[单位 mm]

器種	寸法		適合ポール
	a	b	
HST9-110~250(CML、M、NH)	400~700	435~700	T(B)3.5 T(B)4 T(B)4.5 T(B)5
HST9-70CM~150CM			

備考 (1) 上方光束比は、5%以下とする。
(2) 配光は、全方向配光とする。

HID灯

屋外灯3

HSA8
HSA8A

[単位 mm]

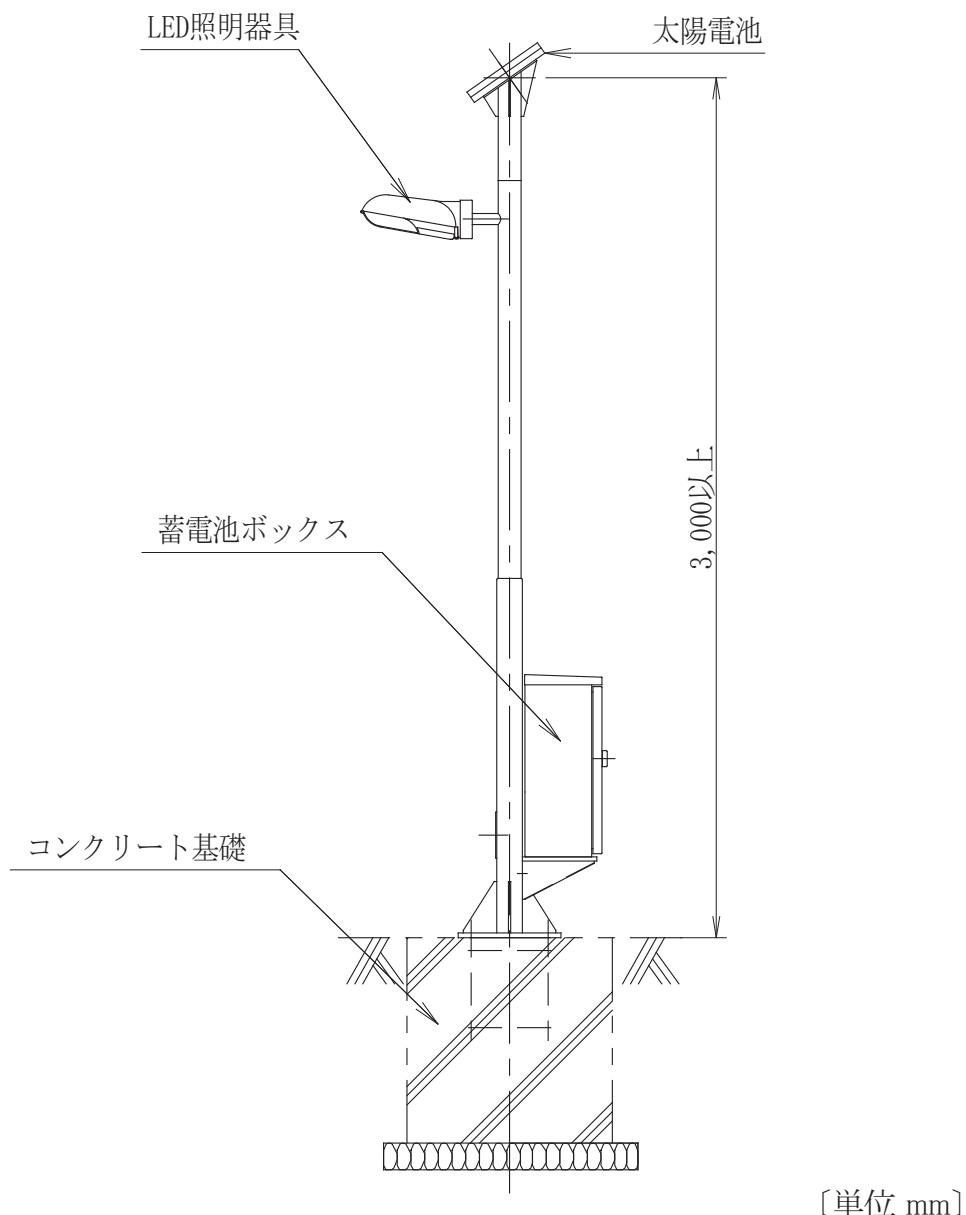
器種	寸法		適合ポール
	a	b	
HSA8-110~250(CML、M、NH)			T(B)3.5
HSA8A-110~250(CML、M、NH)	400~560	160~260	T(B)4
HSA8-70CM~150CM			T(B)4.5
HSA8A-70CM~150CM		90~260	T(B)5

- 備考 (1) 上方光束比は、5%以下とする。
(2) Aを付した器種は、上方光束比0%とする。
(3) 灯具の形状は、丸形又は角形とする。

LED 灯

屋外灯

LSA1

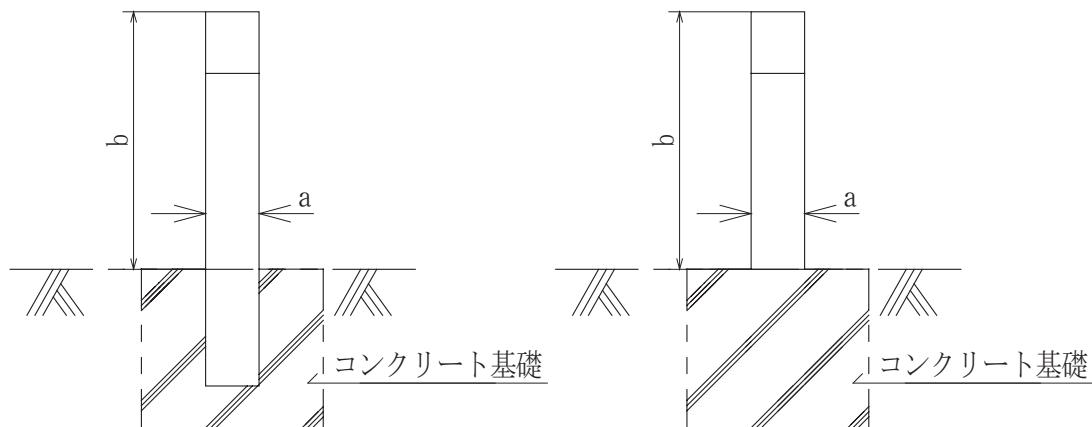
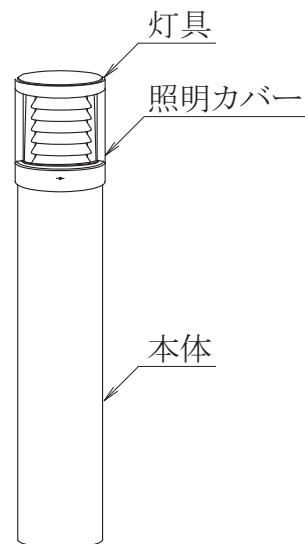


器種	摘要
LSA1	<ol style="list-style-type: none"> 器具光束は300lm以上、LEDモジュールの消費電力は15W以下とする。 LEDの寿命は初期全光束の70%に低下するまでの時間とし、40,000時間以上とする。 光源色は、相関色温度4,000～5,500K(白色相当)とする。 平均演色性評価数(Ra)は65以上とする。 日中太陽電池の発電で充電した内蔵蓄電池により、日没を検出後点灯し、タイマで設定した時間に消灯できるものとする。 タイマによる点灯時間は、製造者が定める標準日射量地域で1日5時間以上とする。 日照不足時、製造者が定める標準日射量地域及び製造者の標準仕様点灯時間で、5日間以上点灯できるものとする。 太陽電池の向きは、灯具の向きに関係なく設置できるものとする。 ポールは、ベースプレート式とする。 コンクリート基礎は、JIL 1003「照明用ポール強度計算基準」による基礎の寸法とする。 LED制御装置は、連続調光形(PZ)は除く。 その他の仕様については、製造者の標準とする。

LED 灯

ガーデンライト

LPT1



埋込式の場合

ベースプレート式の場合

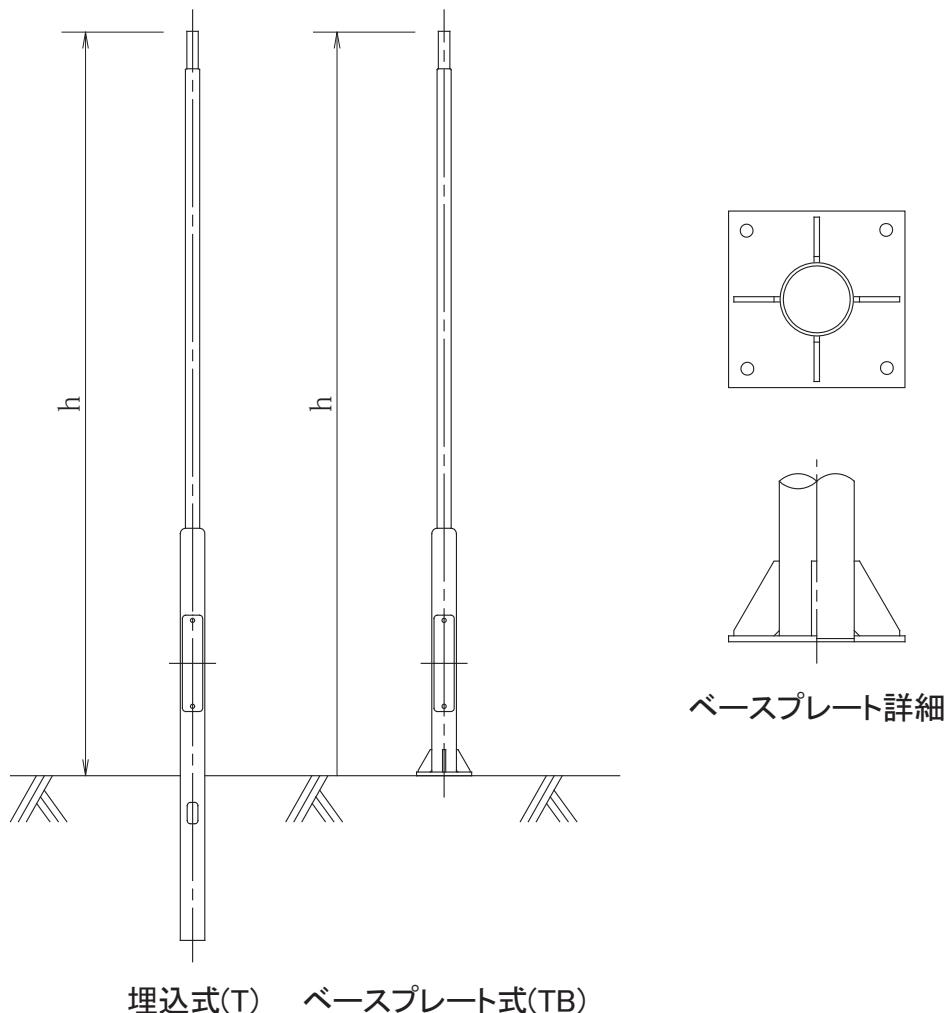
[単位 mm]

器種	寸法		摘要
	a	b	
LPT1	200以下	1,100以下	<ol style="list-style-type: none"> 器具光束は100lm以上、消費電力はLED制御装置を含め10W以下、入力容量20VA以下とする。 LEDの寿命は初期全光束の70%に低下するまでの時間とし、40,000時間以上とする。 光源色は、相関色温度4,000～5,500K(白色相当)とする。 平均演色性評価数(Ra)は65以上とする。 定格入力電圧は100Vとする。 照明カバーの材質は、ガラス又は合成樹脂とする。 埋込式又はベースプレート式とする。 コンクリート基礎の形状及び寸法は特記による。 LED制御装置は、連続調光形(PZ)は除く。

屋外灯

ポーラル

T
TB



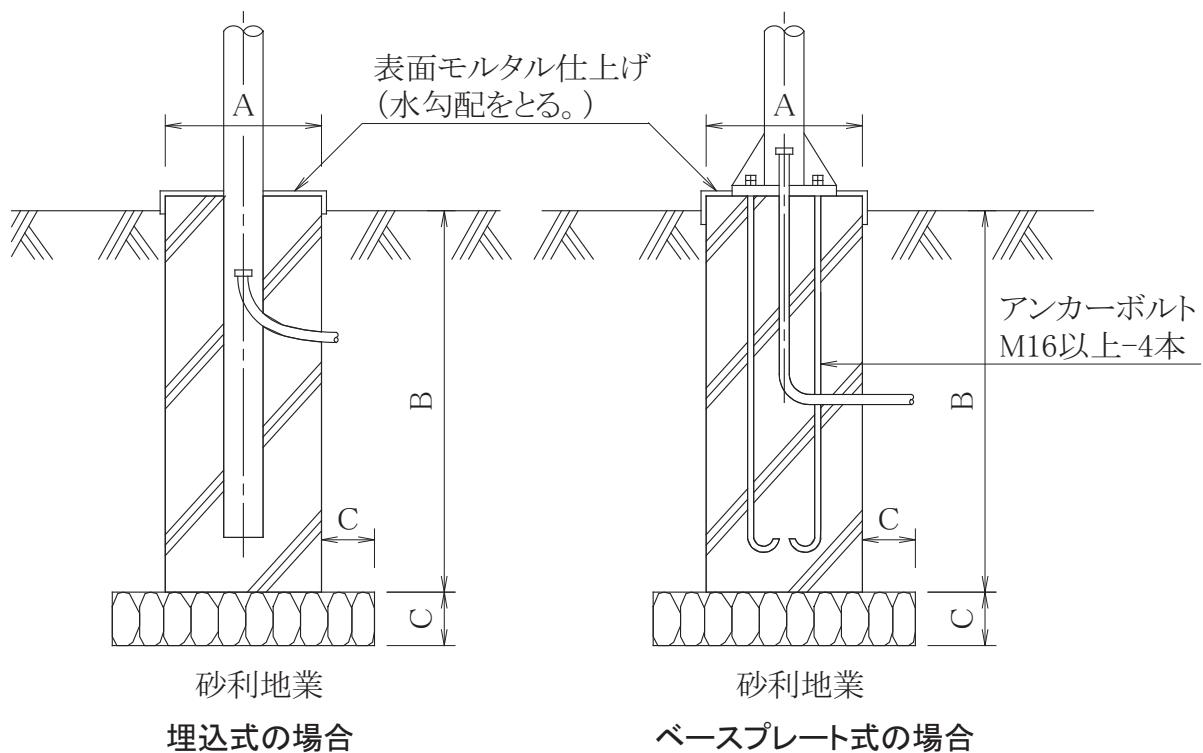
埋込式(T) ベースプレート式(TB)

[単位 m]

器種	材質
T3.5	
T4	SS400
T4.5	STK400
T5	SM490
T5.5	SMA490 SGP

備考 (1) 接地端子内蔵のものとする。
(2) ベースプレートを使用する場合は、Tの後にBを付記する。
(例:TB3.5)
(3) T(B)の後の数値は、hを示す。

屋外灯 基 硙



[単位 mm]

器種(ポール)	適合器具	基礎の寸法		
		A	B	C
T(B) 3.5	HST9-110~250(CML、M、NH) HST9-70CM~150CM			
T(B) 3.5、4	HST5A-70CM~150CM			
T(B) 3.5~5	HSA8-110~250(CML、M、NH) HSA8-70CM~150CM HSA8A-110~250(CML、M、NH) HSA8A-70CM~150CM	400×400 又はφ 500	1,100	100
T(B) 4.5	HST5A-180~300(CML、M、NH)			
T(B) 4.5、5	HST9-110~250(CML、M、NH) HST9-70CM~150CM	600×600 又はφ 700	1,300	100
T(B) 5、5.5	HST5A-180~300(CML、M、NH)			

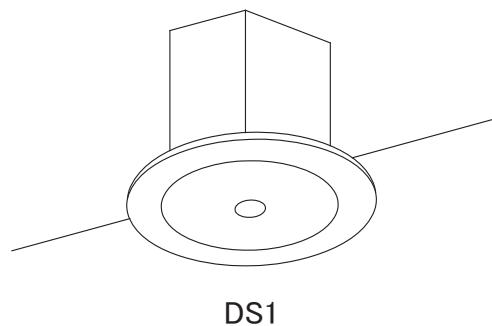
備考 (1) 図は、一例を示す。

(2) 表以外の器種(ポール)、適合器具を組合せる場合及び設置場所の耐風速が40m/sを超えることが予想される場合は、JIL 1003「照明用ポール強度計算基準」による基礎の寸法とする。

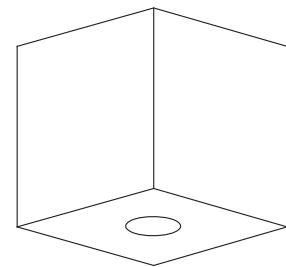
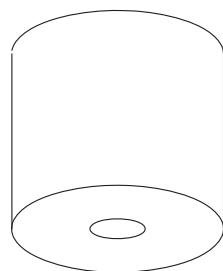
照明制御

照明制御装置

DS1
DS2



DS1



DS2

照明制御

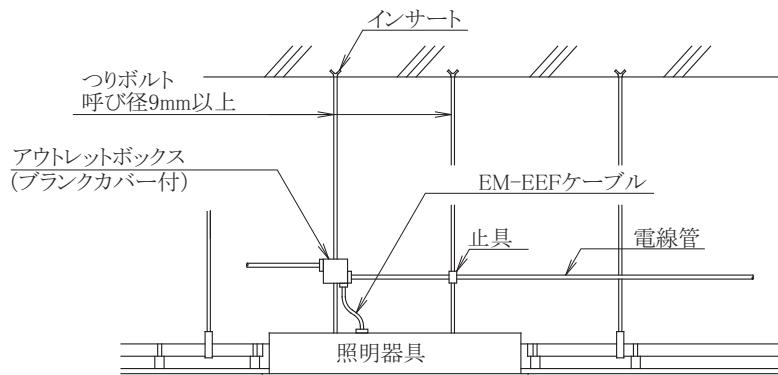
照明制御装置

DS1
DS2

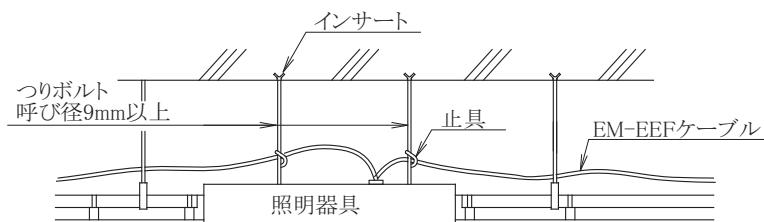
器種	摘要			
	制御方式	センサ	照明制御部	制御台数等
DS1- DS2-	A	明るさセンサ 内蔵形・連続 調光タイプ	明るさセンサ	明るさセンサが感知した光量 に応じて調光ができるものと する。 調光の設定は、最大光束に 対して内蔵された安定器等 の調光下限値まで調光がで きるものとする。
	AN	明るさセンサ ・人感センサ 内蔵形・連続 調光タイプ	明るさセンサ 人感センサ	人感センサが、設定された明 るさ以上で点灯し、明るさセ ンサが感知した光量に応じ て調光ができるものとする。 人感センサが、感知されなく なってから設定された時間後 に減光するものとする。 減光の設定は、最大光束に 対して内蔵された安定器等 の調光下限値まで調光がで きるものとする。 調光信号を 送出し、25台 以上の照 明 器 具 の 制 御 が 可 能 の と す る。
	NT	人感センサ内 蔵形・段調光 タイプ	人感センサ	感知後100%で点灯し、感知 されなくなってから、設定され た時間後に減光するものとす る。 減光の設定は、最大光束に 対して内蔵された安定器等 の調光下限値まで調光がで きるものとする。
	N	人感センサ内 蔵形・点滅タ イプ	人感センサ	感知後100%又は初期照度 補正の明るさで点灯し、感知 されなくなってから、設定され た時間後に消灯するものとす る。 照 明 器 具 へ、 電 源 送 り が 4A 以 上 可 能 の と す る。

備考 DS1は、天井埋込形とし、DS2は、天井直付形とする。

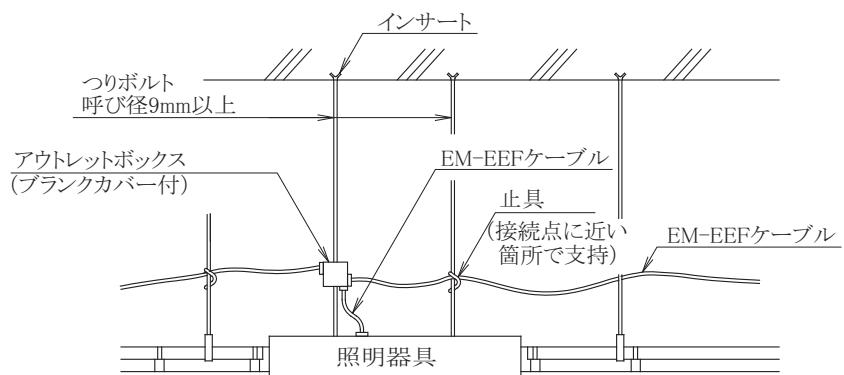
照明器具の取付と配線1 埋込器具



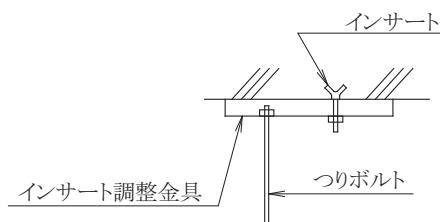
電線管配線の場合



ケーブル配線(送り接続)の場合



ケーブル配線の場合

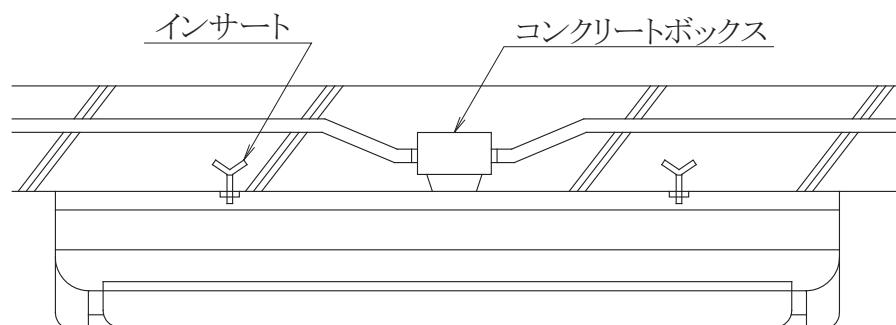


インサート位置がずれた場合

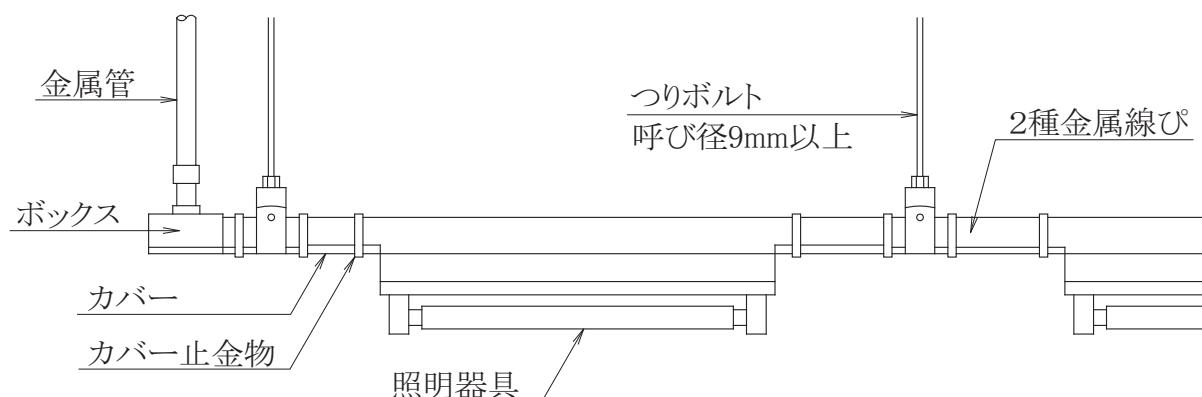
- 備考 (1) 図は、一例を示す。
 (2) 器具用の天井開口及び開口部補強は、別途工事とする。
 (3) 断熱材打込み等の場合は、これに適するインサートを用いる。

照明器具の取付と配線2

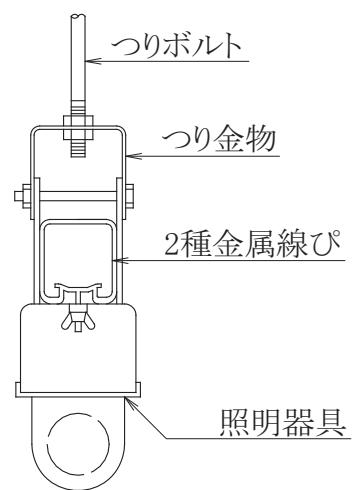
直付器具



スラブへの取付



金属線びへの取付（1）

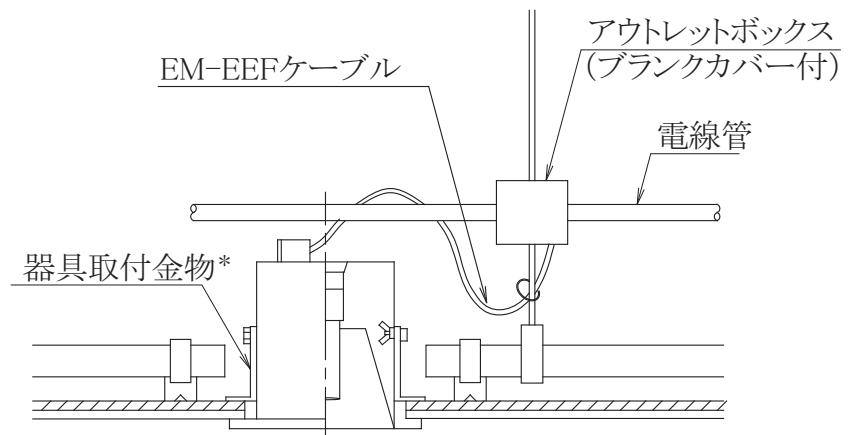


金属線びへの取付（2）

備考 図は、一例を示す。

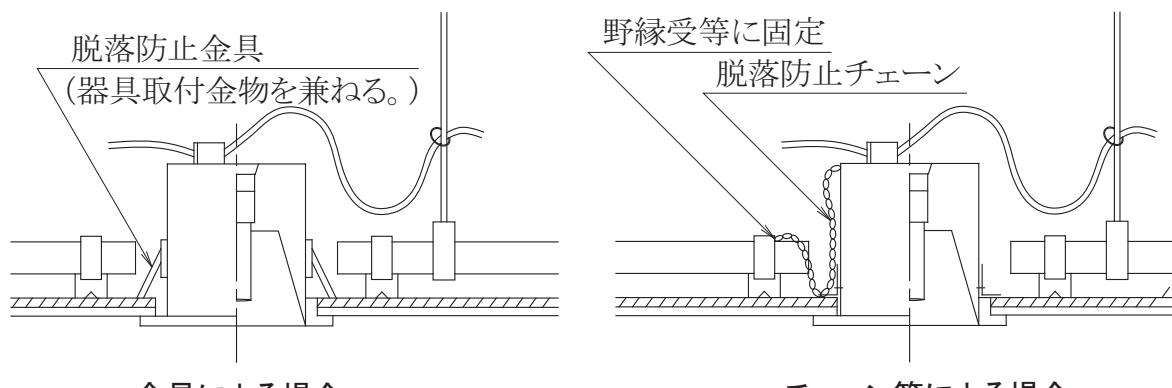
照明器具の取付と配線3

ダウンライト器具

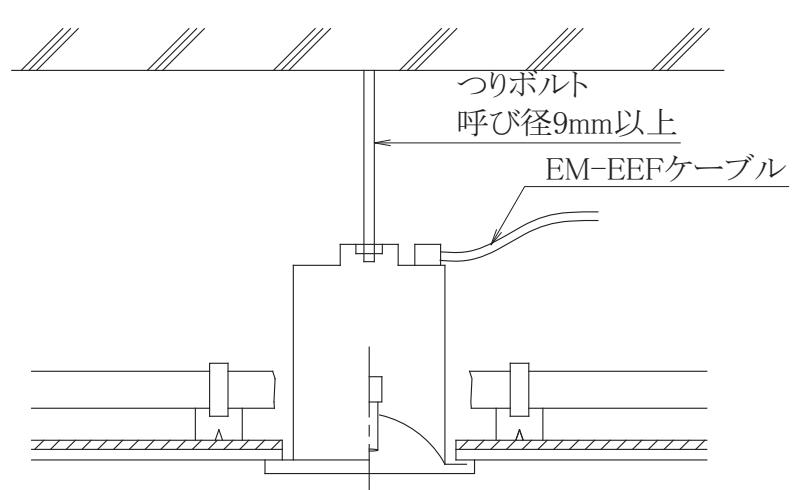


注 * 器具取付金物は、バネ構造、L形構造等とする。

器具質量が1.5kg以下の場合



器具質量が1.5kg超過、3kg以下の場合(脱落防止処置)



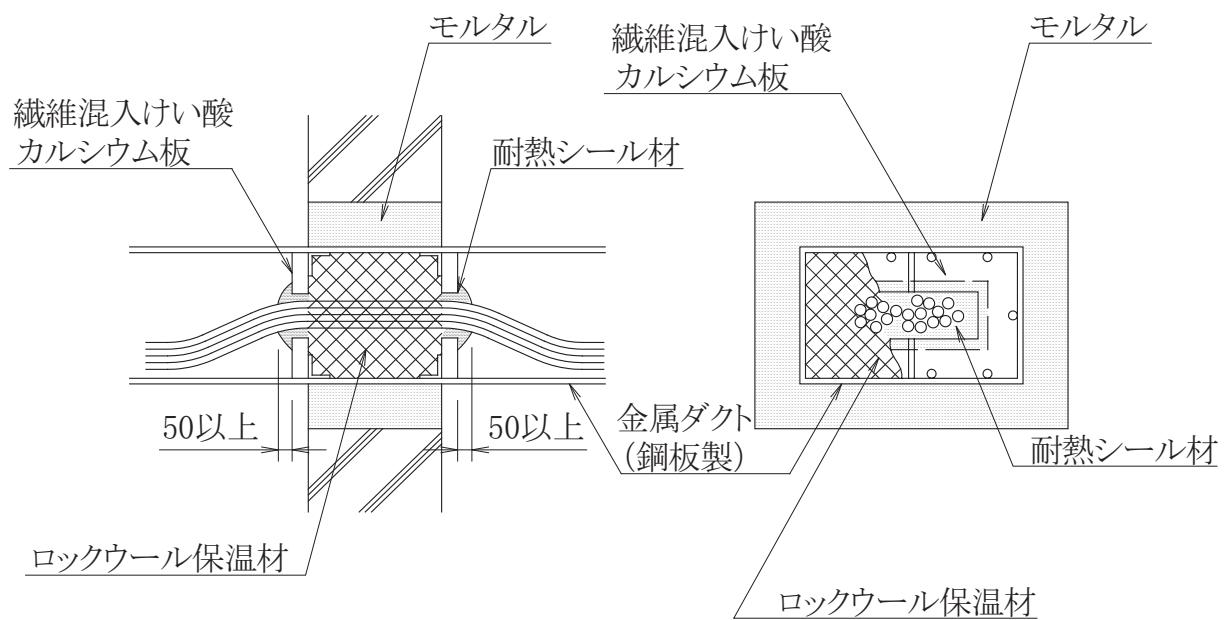
器具質量が3kg超過の場合

- 備考 (1) 図は、一例を示す。
(2) 天井は、二重張りの場合を示す。

配管類1

金属ダクトの防火区画貫通例

[単位 mm]

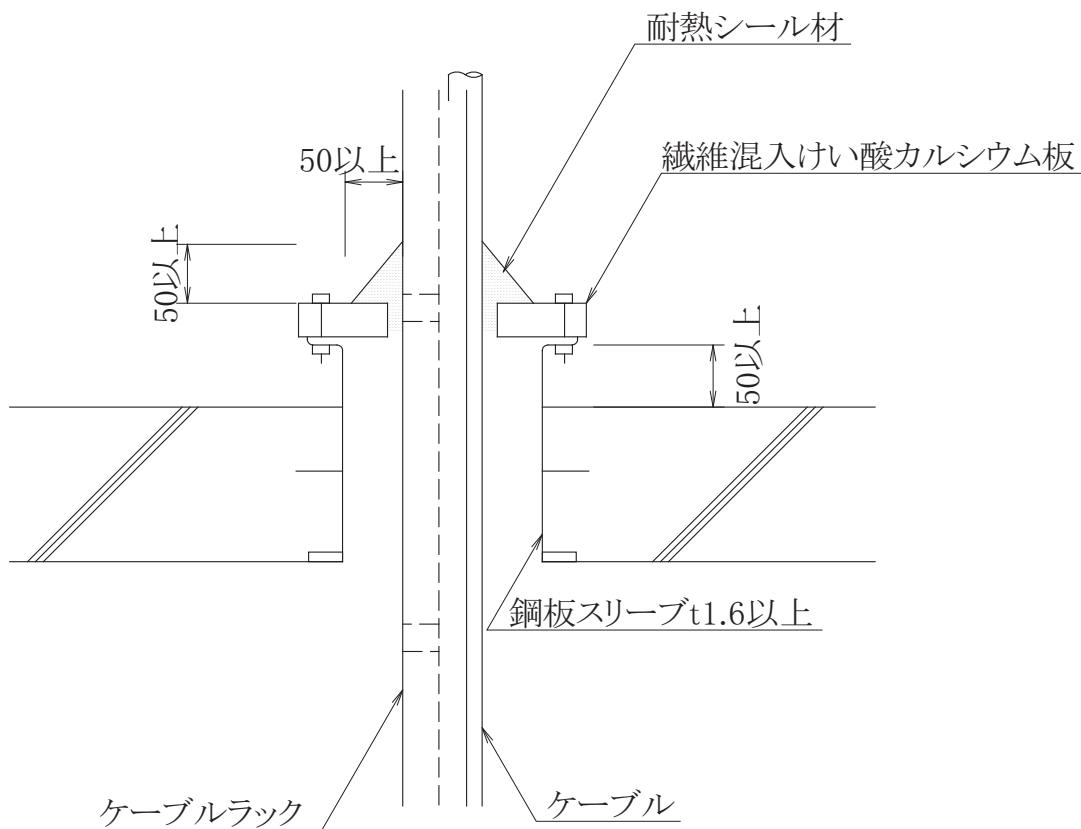


備考 ロックウール保温材の密度は、 $150\text{kg}/\text{m}^3$ 以上、繊維混入けい酸カルシウム板の厚さは、25mm以上とする。

配管類2

延焼防止を考慮したケーブル等の
床貫通部例

[単位 mm]

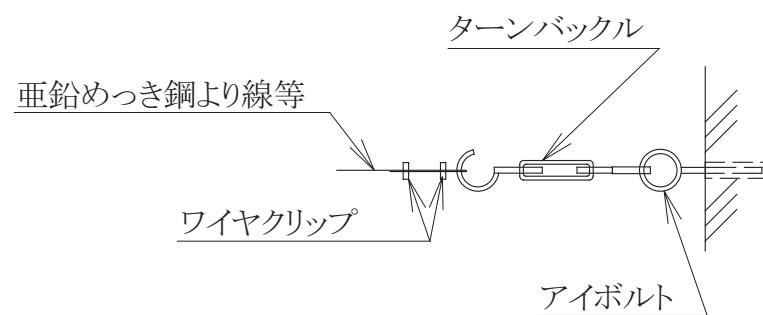
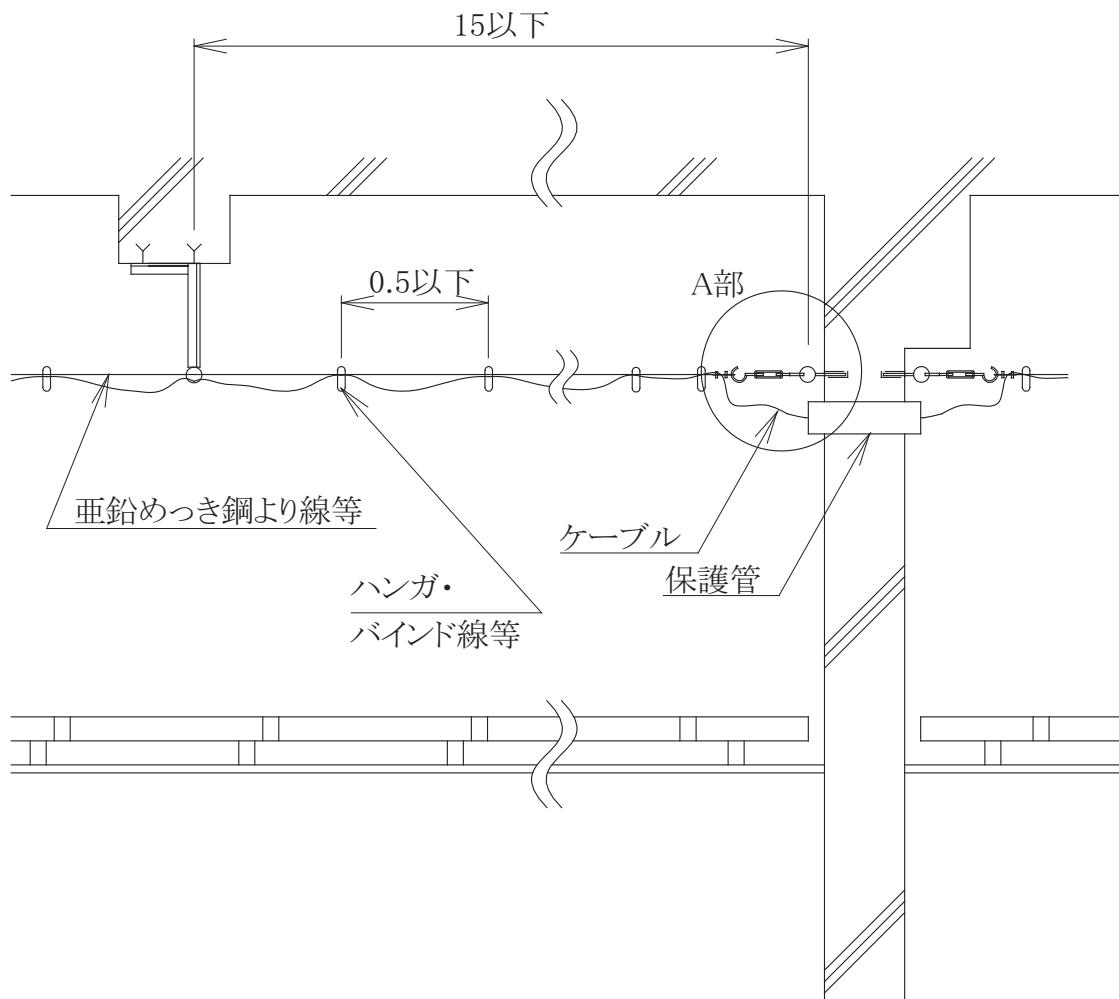


- 備考 (1) 繊維混入けい酸カルシウム板の厚さは、25mm以上とする。
(2) 増設用予備配管は、両側に1m以上突出し、管端は金属製のふたで閉そくするか又は耐熱シール材を充てんする。
(3) 増設用予備配管の太さ及び本数は、特記による。
(4) 金属ダクト及びバスダクトの場合も本図に準ずる。

配管類3

ちょう架配線例

[単位 m]

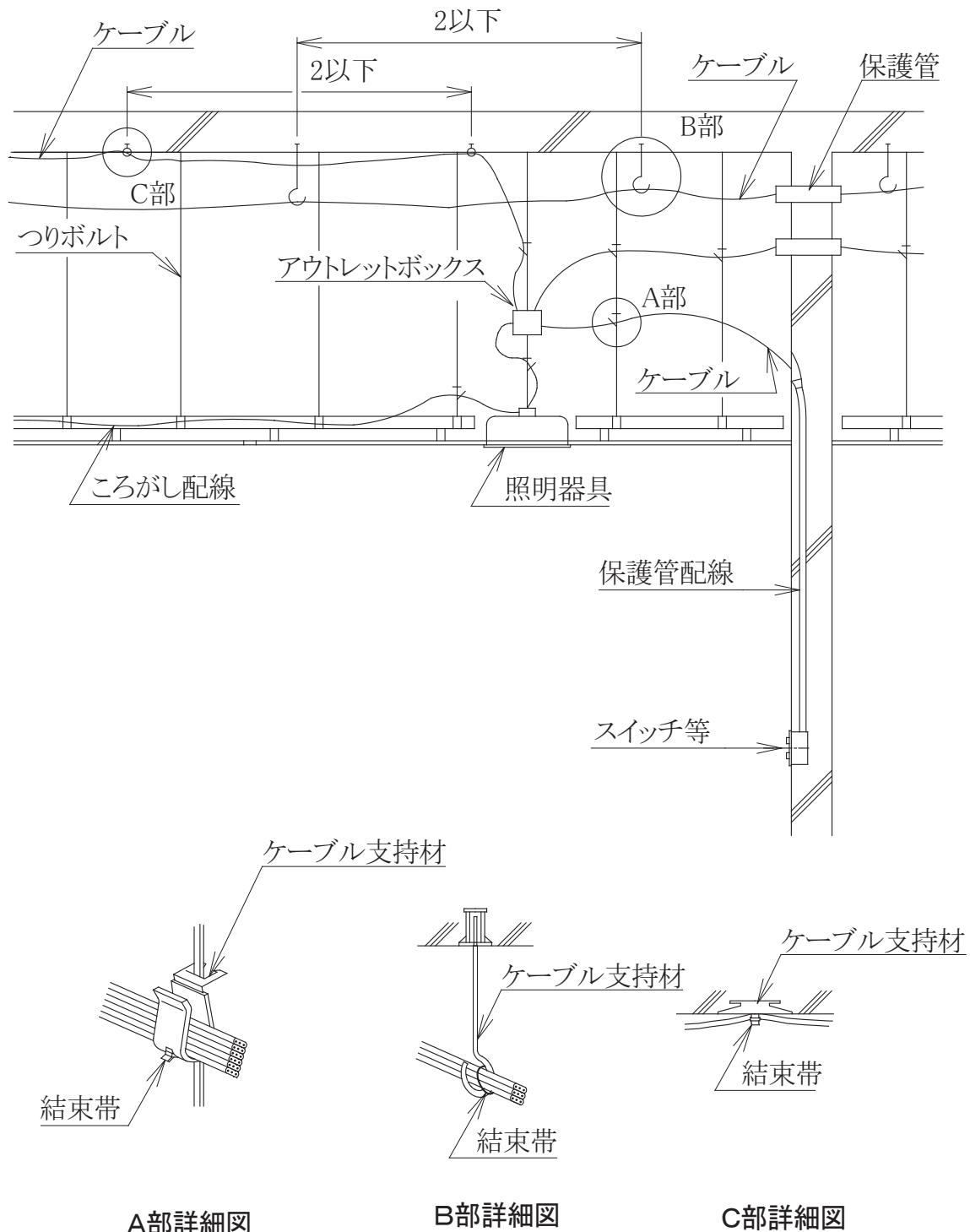


A部詳細図

配管類4

二重天井内配線例

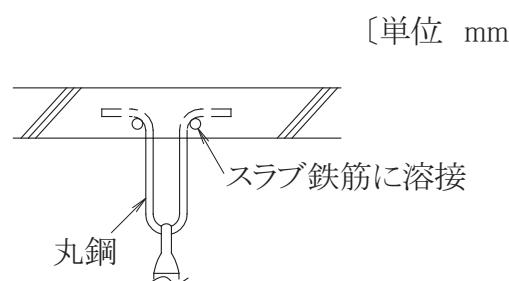
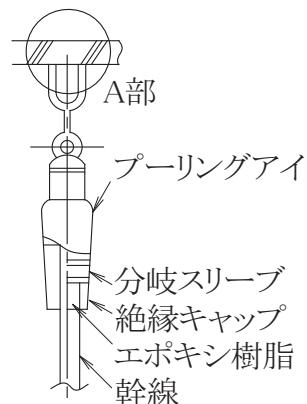
[単位 m]



備考 ケーブル支持材の形状は、一例を示す。

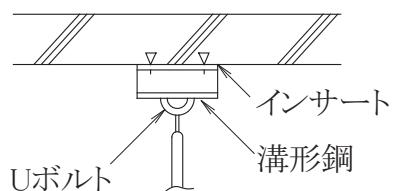
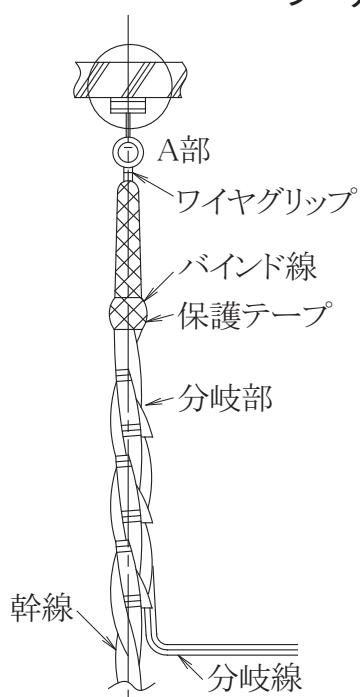
配管類5

垂直幹線ケーブルの一点支持例



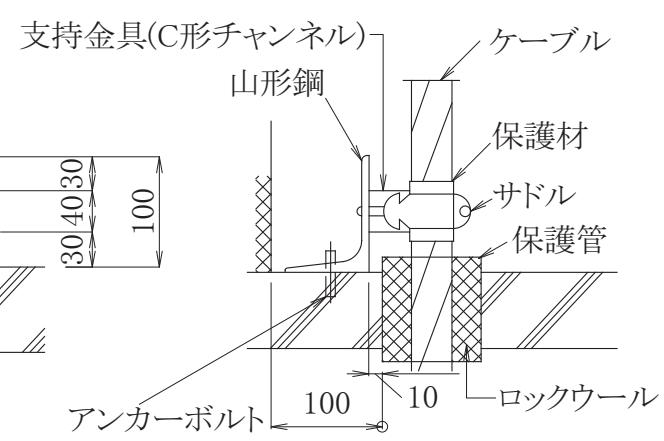
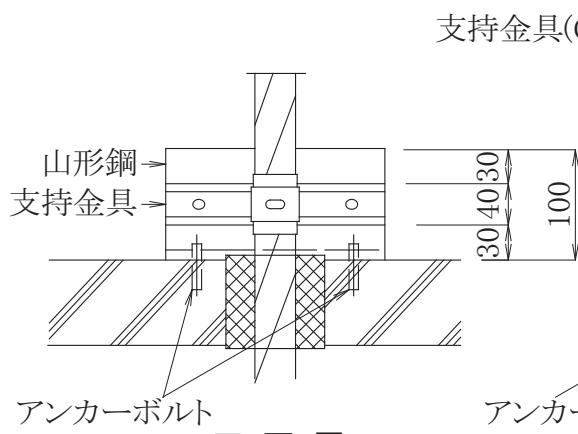
A部詳細図(1)

プーリングアイ方式



A部詳細図(2)

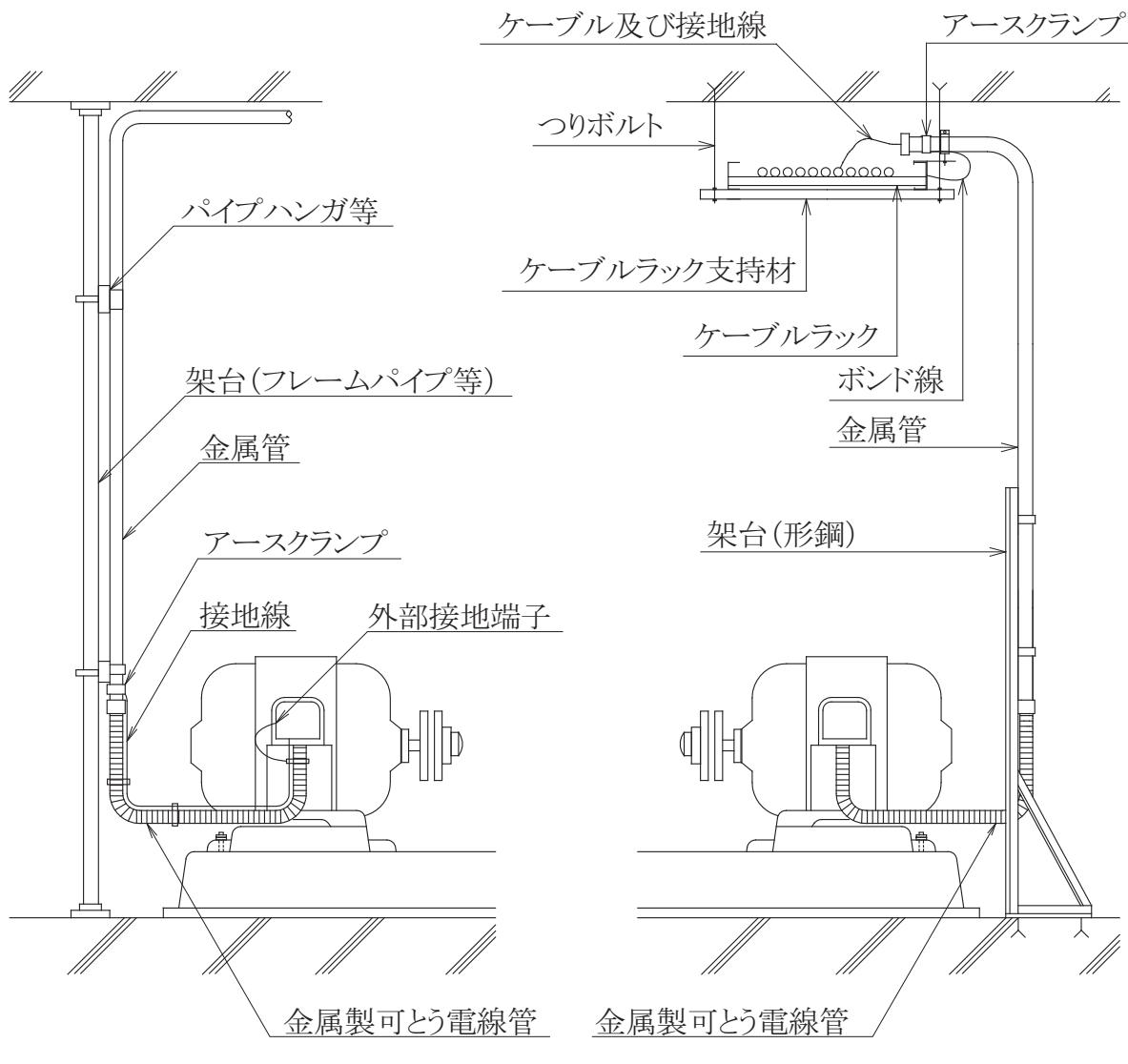
ワイヤグリップ方式



振止支持

配管類6

電動機への配線例



金属管配線の場合

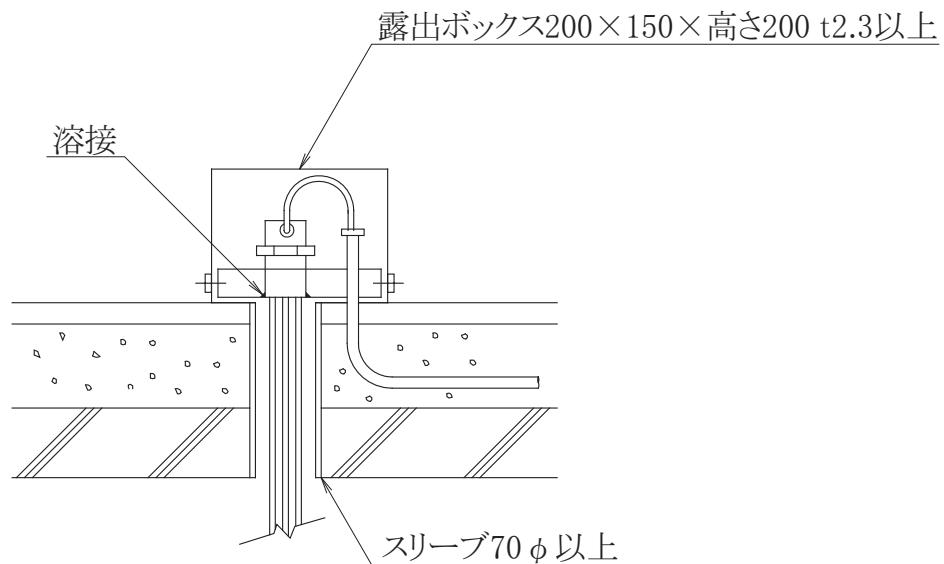
ケーブル配線の場合

備考 金属管配線の場合、電動機の接地は、金属管のボンディングを利用して、電動機端子箱の外部接地端子に接続した場合を示す。

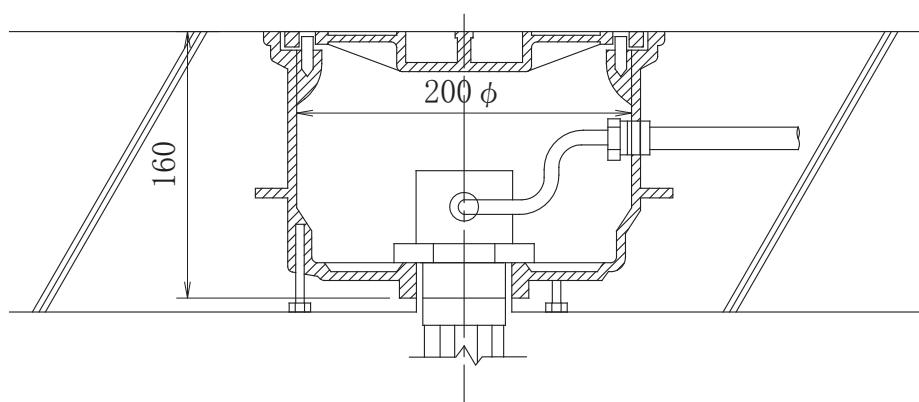
配管類7

電極棒への配線例

[単位 mm]



鋼板ボックスの場合



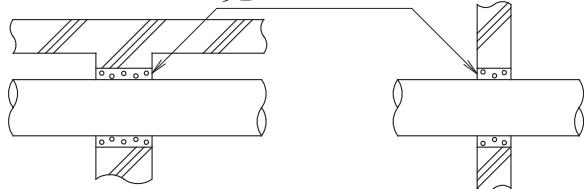
鋳鉄製ボックスの場合

- 備考 (1) 管端は、シール材等で密閉する。
(2) ボックス内配線は、テープ巻きをするか又はビニルチューブに収める。

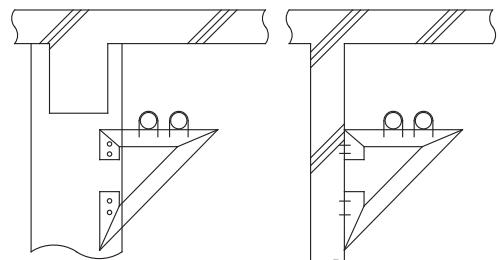
配管類8

耐震支持例

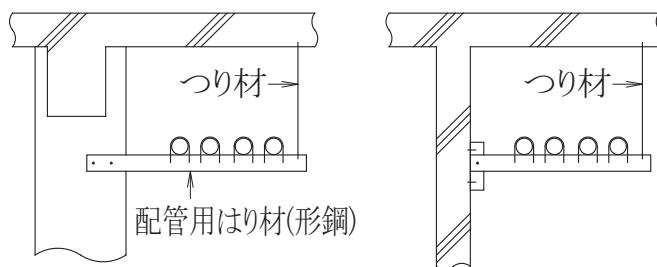
モルタル等で
充てん



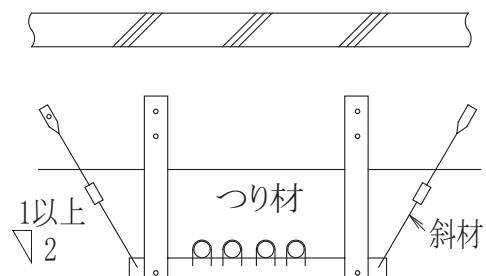
a) はり・壁等の貫通部



b) ブラケット支持する方法

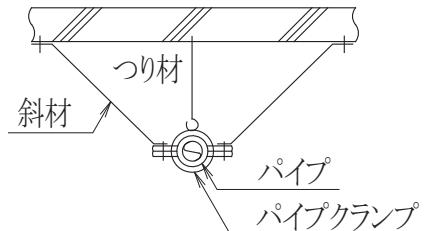
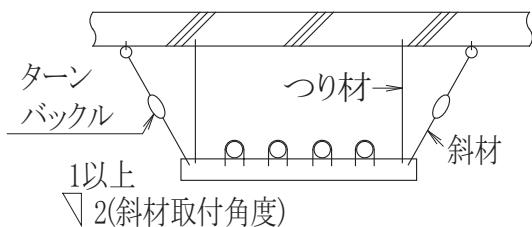


c) 柱・壁等を利用する方法



d) はりや天井スラブより
つり下げる方法

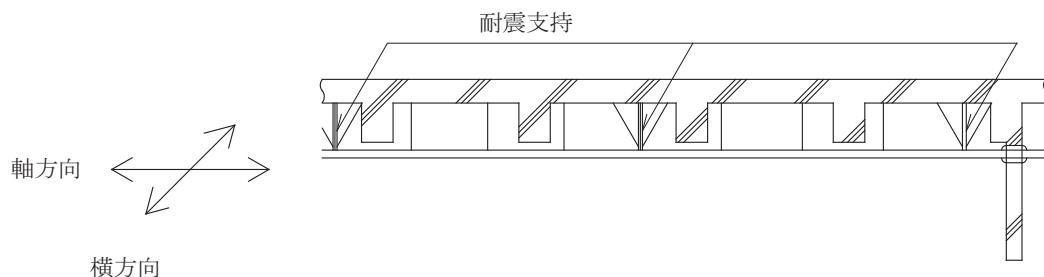
A種耐震支持の例



水、油配管の場合

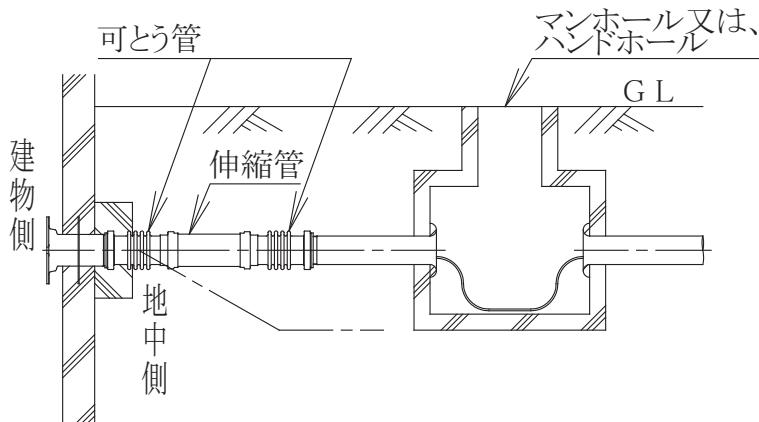
斜材は、つり材と同等以上の部材とする。

B種耐震支持の例(はりや天井スラブよりつり下げる方法)



軸方向の耐震支持の例

配管類9

配管引込部の地盤変位への対応例
(電気配管)

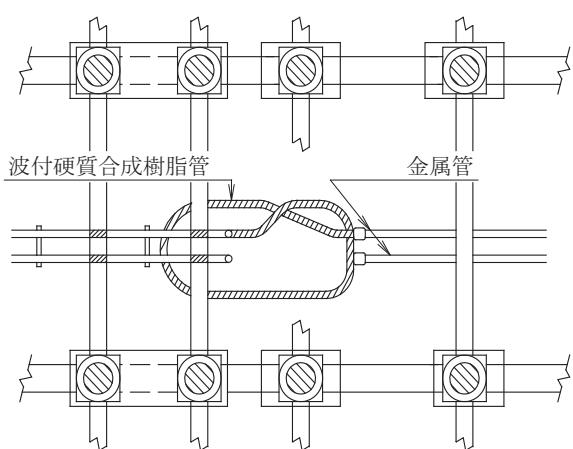
断面図

想定沈下量	記号	波付硬質合成樹脂管の場合	記号	钢管の場合
小規模 0.2m 以下	F _s	<p>建物側 地中側 緩衝パイプ又は緩衝防護管</p>	P _s	<p>建物側 地中側 可動部又は可とう管</p>
中規模 0.6m 以下	F _M	<p>建物側 地中側 異種管接続材(鋼管/波付硬質合成樹脂管) 鋼製可とう管</p>	P _M	<p>建物側 地中側 鋼管 可とう管 伸縮管 可とう管</p>
大規模 1.0m 以下	F _L	<p>建物側 地中側 異種管接続材(鋼管/波付硬質合成樹脂管) 伸縮管 鋼製可とう管</p>	P _L	<p>建物側 地中側 鋼管 可とう管 伸縮管 可とう管</p>

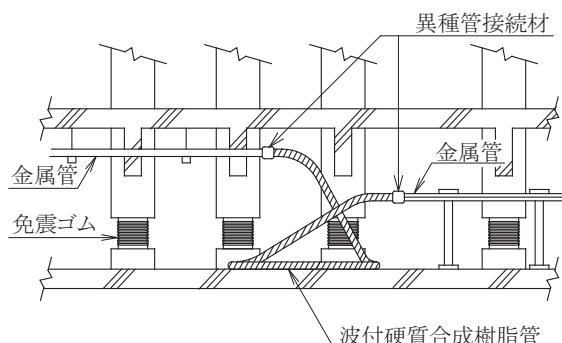
備考 マンホール・ハンドホール内では、配線に余長を見込む。

配管類10

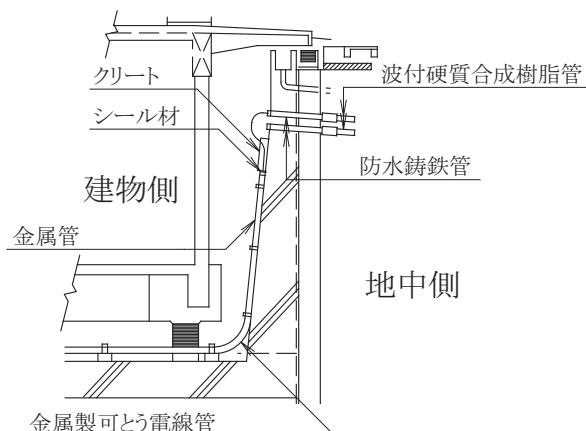
免震建物導入部の引込配線例



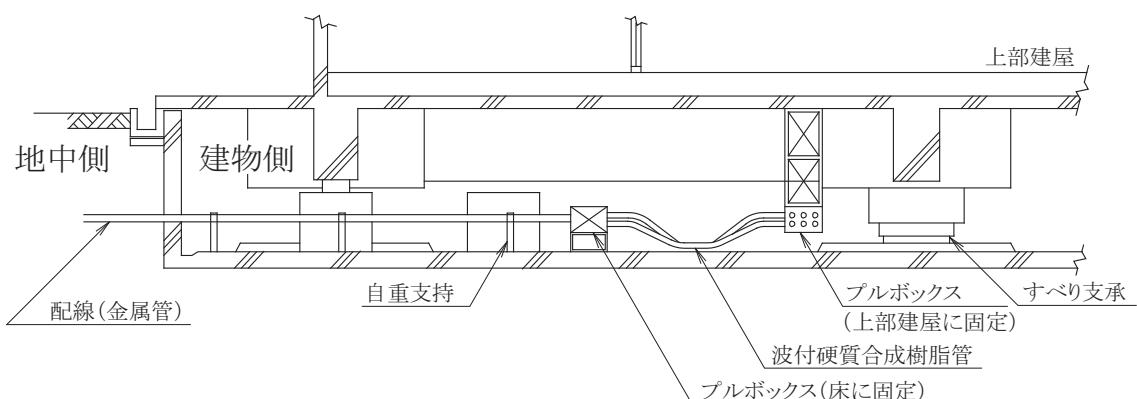
(平面)



(断面)

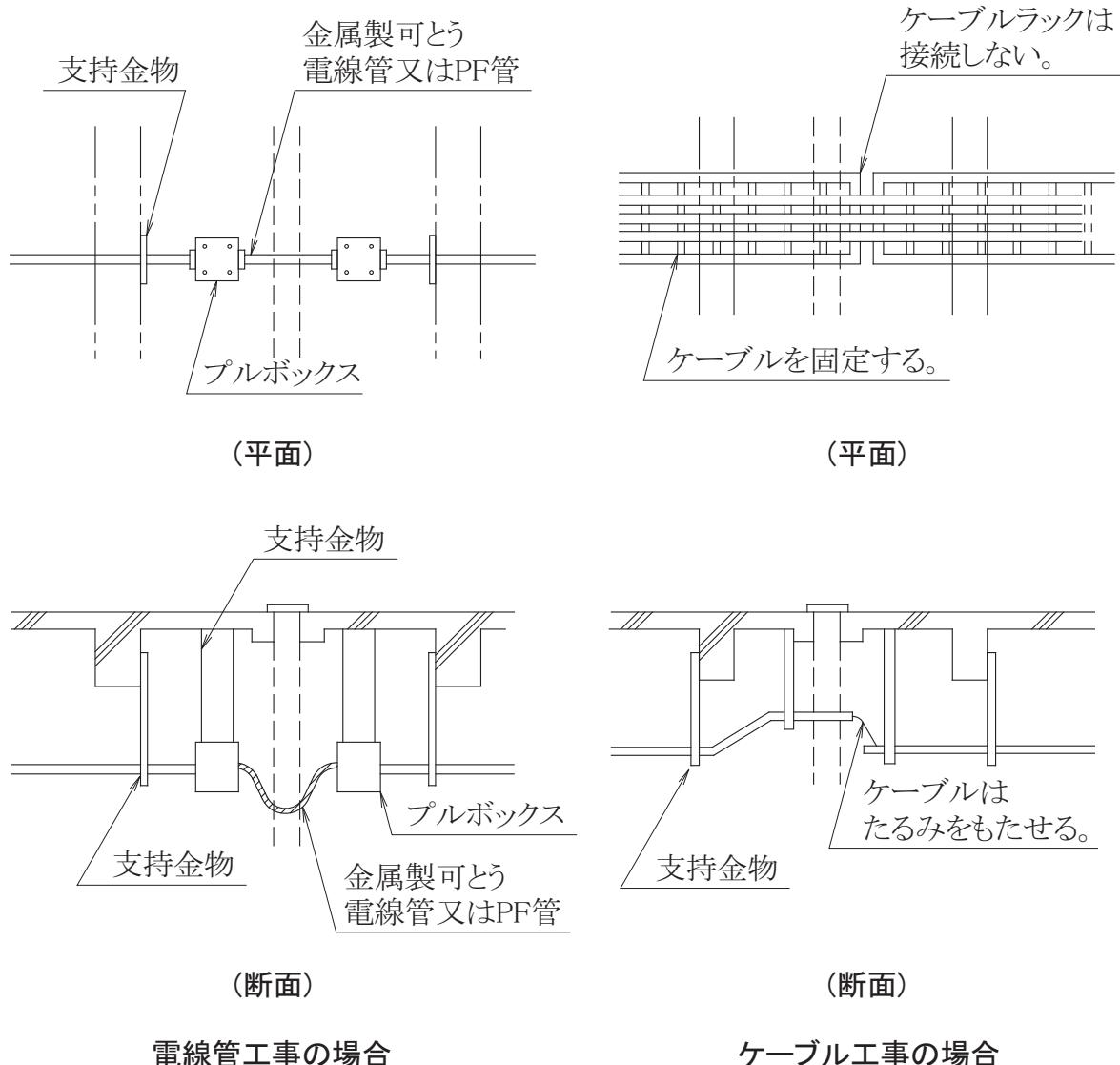


(断面)



(断面)

配管類11 エキスパンションジョイント部の配線例



備考 プルボックスは、特記による。

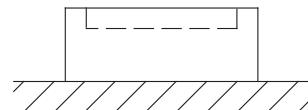
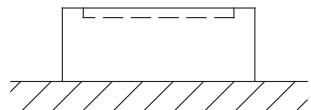
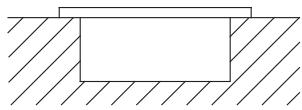
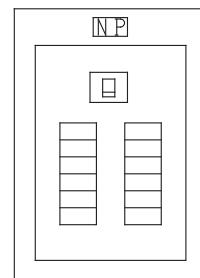
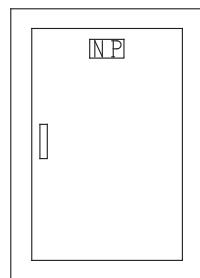
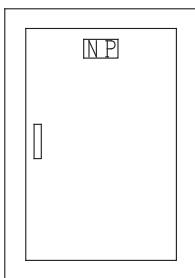
分電盤1 形式

(1) 記号

記号	種別	形式	備考
G	一般形	埋込形	
T			ドアのある構造
D		露出形	ドアのない構造 (ただし、電源別置形非常用照明回路部分は除く。)
1G	一種 耐熱形	埋込形	コンクリート壁等又はこれと同等の耐熱処理を施した壁に埋込むもの
1H			耐熱処理が施されていない壁に埋込むもの
1T	二種 耐熱形	露出形	
2G		埋込形	
2T		露出形	

備考 耐熱形分電盤は、関係法令に適合したものとする。

(2) 形式



埋込形
G・1G・1H・2G

露出形
T・1T・2T

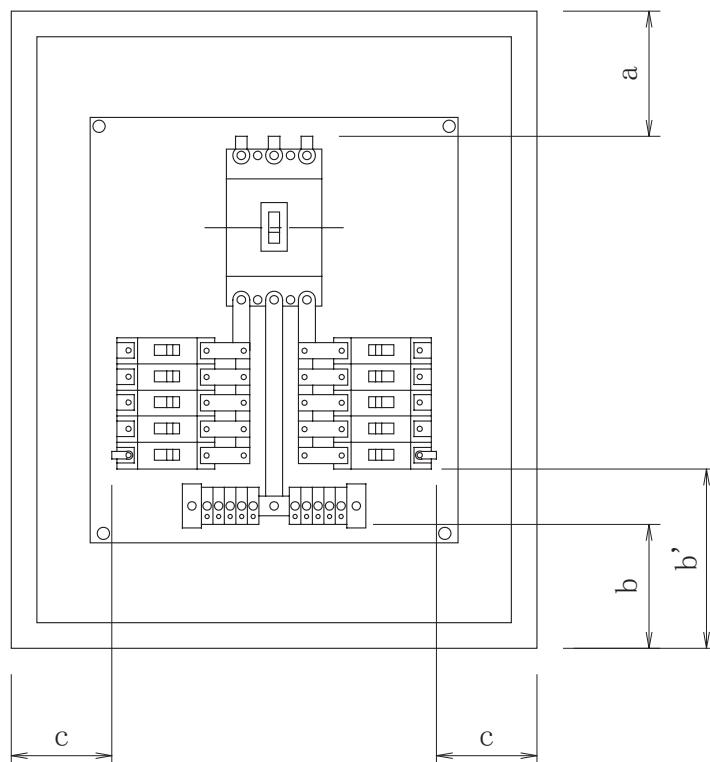
露出形
D

備考 図は、一例を示し、前面枠の取付方法、枠幅の大小、周囲又は上下に枠のないもの、両開き等の形状の詳細は拘束しない。

分電盤2

ガタースペースの寸法

[単位 mm]



種別	EM-IE、HIV等						EM-EE、EM-CE、EM-CET、NH-FP-C等					
	上			下			上			下		
幹線方向	a	b (b')	c	a	b又はb'	c	a	b (b')	c	a	b又はb'	c
幹線 位置 太さ(mm^2)	a	b (b')	c	a	b又はb'	c	a	b (b')	c	a	b又はb'	c
5.5 以下	75	50(50)	25	50	75	25	100	50(50)	25	50	100	25
8 以下	75	75(75)	50	75	75	50	125	75(75)	50	75	125	50
14 以下	100	75(75)	50	75	100	50	150	75(75)	50	75	150	50
22 以下	100	100(100)	75	100	100	75	200	100(100)	75	150	200	75
38 以下	140	100(100)	80	125	125	80	225	100(100)	80	175	225	80
60 以下	150	140(100)	100	140	140	100	250	140(100)	100	200	250	100
100 以下	225	150(100)	100	150	200	100	350	150(100)	100	200	350	100
150 以下	250	200(125)	125	200	225	125	425	200(125)	125	225	400	125
200 以下	275	200(150)	150	200	250	150	450	200(150)	150	225	425	150
250 以下	300	200(150)	150	250	275	150	525	200(150)	150	250	500	150

備考 (1) 表の値は、最小値を示す。

(2) b' は、ニュートラルスイッチの取付がない場合に適用する。

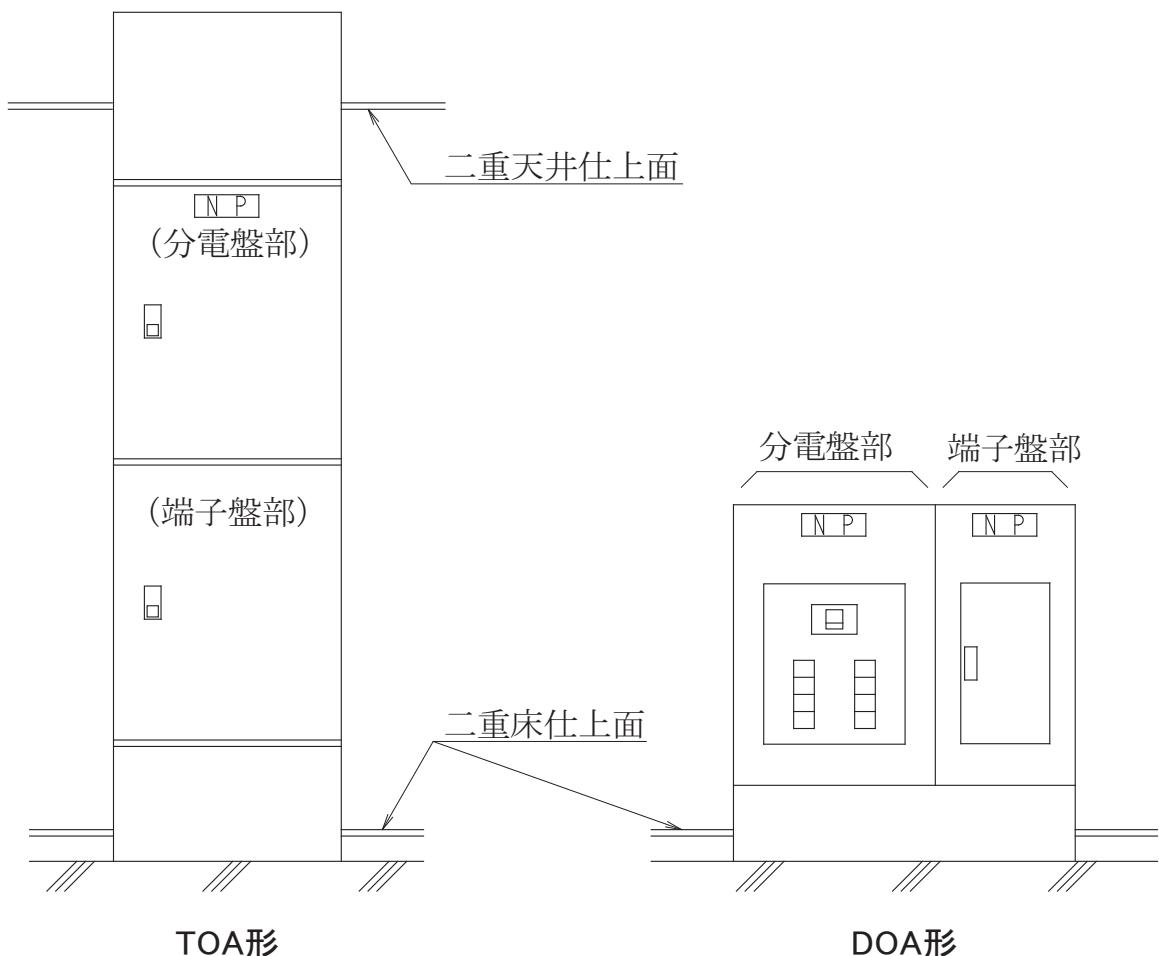
OA盤

形 式

(1) 記 号

記 号	形 式	備 考
TOA	露出形	分電盤部と端子盤部は、上下に配置する。 分電盤部は、ドアのある構造とする。 配線スペースを、上部及び下部に設ける。
DOA		分電盤部と端子盤部は、左右に配置する。 分電盤部は、ドアのない構造とする。 配線スペースを、下部に設ける。

(2) 形 式



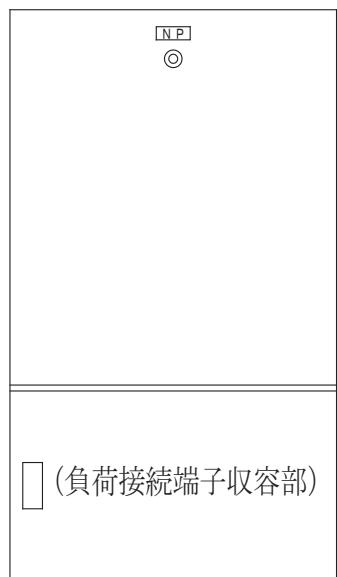
備考 図は、一例を示す。

実験盤 形式

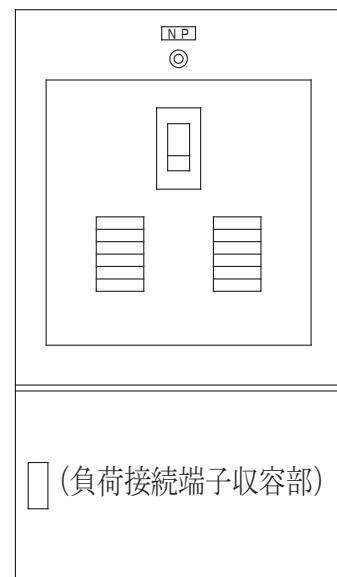
(1) 記号

記号	形式	備考1	備考2
TJ-U	露出形	ドアのある構造	負荷接続端子が上部にあるもの
TJ-D			負荷接続端子が下部にあるもの
DJ-U		負荷接続端子収容部のみ ドアのある構造	負荷接続端子が上部にあるもの
DJ-D			負荷接続端子が下部にあるもの

(2) 形式



T J - D 形



D J - D 形

備考 図は、一例を示し、前面枠の取付方法、枠幅の大小、周囲又は上下に枠のないもの、両開き等の形状の詳細は拘束しない。

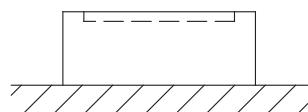
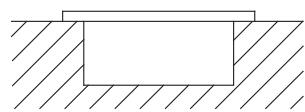
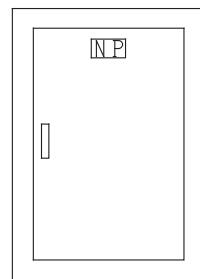
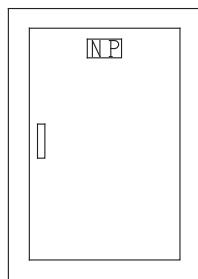
開閉器箱

形 式

(1) 記 号

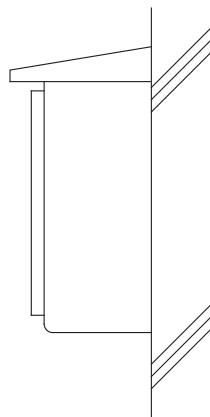
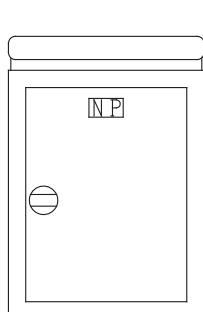
記号	形 式	記号	備 考
G	埋込形	—	屋内形
T	露出形	WP	屋外形

(2) 形 式



埋込形
G

露出形
T



屋外形
T(WP)

備考 図は、一例を示し、前面枠の取付方法、枠幅の大小、周囲又は上下に枠のないもの、両開き等の形状の詳細は拘束しない。

制御盤1 キャビネット形式及び単位装置の記号

(1) キャビネット形式

記号	形式
V	自立形
W	壁掛形

(2) 単位装置の記号*1

(イ) 始動方式

記号	方式
L	直入
Y	Y-△

(ロ) 操作・制御方式

記号	方式
1	手動
2-1 2-1a	手動-遠方
2-2 2-2a	試験-遠方
2-3	便所排気ファン
3	手動-自動*2
4-1 4-2	試験-自動*2
5	給水又は排水
6	警報付給水又は排水
7	消火ポンプ(遠方始動)
8-1	消火ポンプ(連動始動)
8-2	スプリンクラーポンプ
8-3	排煙ファン
9	複式自動交互運転
10	複式自動交互同時運転
11-1	手動交互運転(手動)
11-2	手動交互運転(試験-自動)
12	湯沸室排気ファン(電磁弁)
13-1	湯沸室排気ファン(ガス圧スイッチ)
13-2	湯沸室排気ファン(水圧スイッチ)
14-1	油ポンプ(単式)
14-2	油ポンプ(複式)
15-1	可変速運転(バイパス回路なし)
15-2	可変速運転(バイパス回路付)
15-3	可変速運転(可変速運転用インバータ2重化)

(ハ) 操作・制御スイッチ

記号	名 称
B	押しボタンスイッチ
I	連動スイッチ
T _i	タイムスイッチ
V	真空スイッチ
P	圧力スイッチ (ガス圧スイッチ、水圧スイッチ等)
T _h	温度スイッチ
H _u	湿度スイッチ
L _i	リミットスイッチ
L _e	レベルスイッチ
F ₁	フロートスイッチ
F ₂	フロートスイッチ(油用)
G ₀	液面 給水又は排水
G ₁	空転防止又は高架水槽減水警報付給水
G ₂	満水警報付排水
G ₃	満減水警報付給水又は排水
G ₄	受水槽空転防止付満減水警報及び高架水槽満減水警報付給水
G ₅	警報用
TD	外部信号(インバータ制御用)

注 *1 単位装置とは、制御の基本構成であり、1つの回路を構成することにより制御を行えるものをいう。

*2 自動には、連動を含む。

制御盤2

単位装置の機能1

(1) 機能の共通事項

- (イ) 運転表示用の赤表示灯(運転)及び緑表示灯(停止)を設ける。
- (ロ) 交流過電流継電器(1E、2E、3E)の動作時及びインバータの故障(過電流、過電圧等)時の制御及び表示は、次による。
 - 1) 電動機を停止させ、赤表示灯(運転)及び緑表示灯(停止)を消灯する。ただし、消防ポンプはこの限りでない。
 - 2) ブザー及び橙表示灯を設ける。
 - 3) 遠方監視用接点を設ける。
- (ハ) 配線用遮断器、漏電遮断器の動作時又は漏電継電器の動作時の制御及び表示は、次による。
 - 1) 単位装置の操作・制御方式に「B」が追記されたものは、ブザー及び橙表示灯を設ける。
なお、表示灯は(ロ)2)の橙表示灯と同一表示灯としてもよい。
 - 2) 単位装置の操作・制御方式に「A」が追記されたものは、遠方監視用接点を設ける。
- (二) Y-△切換は、タイマ又は電流要素のいずれでもよい。
- (ホ) 切換スイッチの「試験」「手動」は、次による。
 - 1) 「試験」は、直接電動機を始動できるものとする。
 - 2) 「手動」は、押ボタンスイッチによる「入」「切」が可能なものとし、停止優先回路とする。
- (ヘ) 液面制御装置は、液面継電器等により構成し、次による。
 - 1) 電動機の制御又は液面の警報が可能なものとする。
 - 2) 液面警報は、ブザー及び橙表示灯によるものとし、遠方監視用接点を設ける。
- (ト) 警報用ブザー及び表示灯は、次による。
 - 1) 警報用ブザーは、停止回路付きとし、制御盤ごとに一括とする。また、消防ポンプに用いる場合は、ブザーの代わりにベルを使用する。
 - 2) 警報用表示灯は、ブザーを停止させても、警報が復帰するまでは継続する。
- (チ) 電動機等の制御回路は、原則として単位装置の配線用遮断器又は漏電遮断器の2次側より分岐し、液面制御装置の警報回路、(ハ)1)の橙表示灯回路及び複式自動交互同士運転の共通部分の回路は、1次側より分岐する。
- (リ) 他の機器を連動させる場合は、試験運転時に連動させないようにする。

制御盤3

単位装置の機能2

(2) 個別機能

(イ) 操作・制御方式の機能

記号	方 式	機 能
1	手 動	1) 押しボタンスイッチによる「入」「切」
2-1	手動－遠方	1) 切換スイッチによる「手動」「停止」「遠方」の選択 2) 「遠方」時は、遠方の押しボタンスイッチ(運転表示灯付)による「入」「切」 3) 4線で遠方の押しボタンスイッチと接続
2-1a		1) 切換スイッチによる「手動」「停止」「遠方」の選択 2) 「遠方」時は、遠方の有電圧パルス信号による「入」「切」(遠方制御回路保護用サーボキラー付)
2-2	試験－遠方	1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「遠方」の選択 2) 「遠方」時は、遠方の押しボタンスイッチ(運転表示灯付)による「入」「切」 3) 4線で遠方の押しボタンスイッチと接続
2-2a		1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「遠方」の選択 2) 「遠方」時は、遠方の有電圧パルス信号による「入」「切」(遠方制御回路保護用サーボキラー付)
2-3	便所排気ファン (遠方操作)	1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「遠方」の選択による運転 2) 「遠方」時は、タンブ拉斯イッチからの信号による運転及び遠方への運転表示 なお、電源変圧器(2次側100V回路保護装置付)を介して、4線式配線(うち2線は遠方への運転表示用)によりタンブ拉斯イッチ及び運転表示ランプと接続
3	手動－自動*	1) 切換スイッチによる「手動」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、他機器の無電圧a接点による自動運転
4-1	試験－自動*	1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、他機器の無電圧a接点による自動運転
4-2		1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、他機器の有電圧連続信号による自動運転
5	給水又は排水	1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、液面制御装置等の信号による自動運転
6	警報付給水 又は排水	1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、液面制御装置等の信号による自動運転 3) 液面警報付

制御盤4

単位装置の機能3

記号	方 式	機 能
7	消火ポンプ (遠方始動)	<p>1) 消火栓箱の起動用押しボタンスイッチ(電源表示灯及び運転表示灯付)による遠方始動。 なお、電源変圧器(2次側24V又は48V)及び配線用遮断器又はヒューズを介して共通な4線で遠方始動回路と接続</p> <p>2) 制御盤の押しボタンスイッチによる「入」「切」 3) キープ継電器による運転・停止状態の保持 4) ブザーによる運転表示(ブザー停止回路付) 5) ベルによる保護継電器(1E、2E、3E)の動作表示及び呼水槽減水警報付</p>
8-1	消火ポンプ (連動始動)	<p>1) 火災報知受信機による連動始動とし、盤内に消火ポンプ起動装置取付けスペースを確保 なお、配線用遮断器又はヒューズを介して消火ポンプ起動装置と接続</p> <p>2) 制御盤の押しボタンスイッチによる「入」「切」 3) キープ継電器による運転・停止状態の保持 4) ブザーによる運転表示(ブザー停止回路付) 5) ベルによる保護継電器(1E、2E、3E)の動作表示及び呼水槽減水警報付</p>
8-2	スプリンクラー ポンプ	<p>1) 圧力スイッチによる連動始動 2) 制御盤の押しボタンスイッチによる「入」「切」 3) キープ継電器による運転・停止状態の保持 4) ブザーによる運転表示(ブザー停止回路付) 5) ベルによる保護継電器(1E、2E、3E)の動作表示及び呼水槽減水警報付</p>
8-3	排煙ファン	<p>1) 連動制御器による連動始動(連動制御器に係る制御回路の電源は、電源変圧器及び配線用遮断器又はヒューズを介し、電圧は、24V又は48Vとする。) 2) 制御盤の押しボタンスイッチによる「入」「切」 3) キープ継電器による運転・停止状態の保持 4) ブザーによる運転表示(ブザー停止回路付) 5) ベルによる保護継電器(1E、2E、3E)の動作表示</p>
9	複式自動 交互運転	<p>1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、液面制御装置等の信号による自動運転 3) 切換スイッチ等による「No.1」「交互」「No.2」の選択 4) 「交互」時は、交互運転</p>

制御盤5

単位装置の機能4

記号	方式	機能
10	複式自動交互同時運転	<p>1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択</p> <p>2) 「自動」時は、液面制御装置等の信号による自動運転</p> <p>3) 切換スイッチ等による「No.1」「交互同時」「同時」「No.2」の選択</p> <p>4) 「交互同時」時は、異常時に同時運転及び正常時に交互運転</p>
11-1	手動交互運転(手動)	<p>1) 切換スイッチによる「No.1」「停止」「No.2」の選択</p> <p>2) 押ボタンスイッチによる「入」「切」</p>
11-2	手動交互運転(試験－自動)	<p>1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択</p> <p>2) 「自動」時は、他機器の無電圧の接点による自動運転</p> <p>3) 切換スイッチによる「No.1」「No.2」の選択</p>
12	湯沸室排気ファン(電磁弁)	<p>1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「遠方」の選択</p> <p>2) 「遠方」時は、操作盤からの信号による運転 なお、電源変圧器(2次側24V又は48Vヒューズ付)を介して、共通4線式配線で操作盤と接続</p> <p>3) 操作盤の機能は次による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 押ボタンスイッチによる排気ファンの遠方操作及び電磁弁の開閉。ただし、電磁弁の開閉は、排気ファンとインターロック 2. 表示灯による電磁弁の開表示及び排気ファンの運転表示 3. 白色のアクリル板に赤色で「操作する時は、ガス器具の栓が閉じていることを確認して下さい。」と記載した注意表示板取付
13-1	湯沸室排気ファン(ガス圧スイッチ)	<p>1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「遠方」の選択</p> <p>2) 「遠方」時は、操作スイッチからの信号による運転 なお、電源変圧器(2次側24V又は48Vヒューズ付)を介して、4線式配線(うち2線は共通)により、操作スイッチと接続</p> <p>3) 操作スイッチの機能は、次による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タンブ拉斯イッチ及び外部のガス圧スイッチによる排気ファンの遠方操作 2. ランプによる排気ファンの運転表示 3. 白色のアクリル板に赤色で「ガスコンロを使用する場合は、手動スイッチにより換気して下さい。」と記載した注意表示板取付

制御盤6

単位装置の機能5

記号	方式	機能
13-2	湯沸室排気ファン (水圧スイッチ)	1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「遠方」の選択 2) 「遠方」時は、操作スイッチからの信号による運転 なお、4線式配線により操作スイッチと接続 3) 操作スイッチの機能は、次による。 1. 外部の水圧スイッチ(有電圧信号)による排気ファン の遠方操作 2. ランプによる排気ファンの運転表示 3. 白色のアクリル板に赤色で「ガスコンロを使用する場合、手動スイッチにより換気して下さい。」と記載した注意表示板取付
14-1	油ポンプ (単式)	1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、フロートスイッチによる自動給油運転 3) 満油時は、表示灯及びブザー(ブザー停止付)による警報及び油ポンプ停止
14-2	油ポンプ (複式)	1) 切換スイッチによる「試験」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、フロートスイッチによる自動給油運転 3) 切換スイッチによる「No.1」「No.2」の選択 4) 満油時は、表示灯及びブザー(ブザー停止付)による警報及び油ポンプ停止
15-1	可変速運転 (バイパス回路なし)	1) 切換スイッチによる「手動」「停止」「自動」の選択 2) 「自動」時は、電圧、電流等の外部信号に応じた周波数制御による可变速運転 3) 「手動」時は、周波数設定器又はインバータ附属のパラメータによる加变速運転 4) 周波数計又はインバータ内蔵の表示器による出力周波数の表示 5) 電流計又はインバータ内蔵の表示器による出力電流の表示 6) 電圧計又はインバータ内蔵の表示器による出力電圧の表示
15-2	可変速運転 (バイパス回路付)	1) 次によるほか、15-1の機能による。 1. 切換スイッチによる「直接」「インバータ」の選択 2. 「直接」時は、インバータを経由しない運転 3. 「インバータ」時は、インバータによる可变速運転
15-3	可変速運転 (可变速運転用 インバータ2重化)	1) 次によるほか、15-1の機能による。 1. 切換スイッチによる「インバータ1」「インバータ2」の選択

備考 15-1、15-2、15-3は、他の制御回路(1、2-1、2-1a、2-2、2-2a、3等)と組合せて使用することができる。

注 * 自動には、連動を含む。

制御盤7

単位装置の機能6

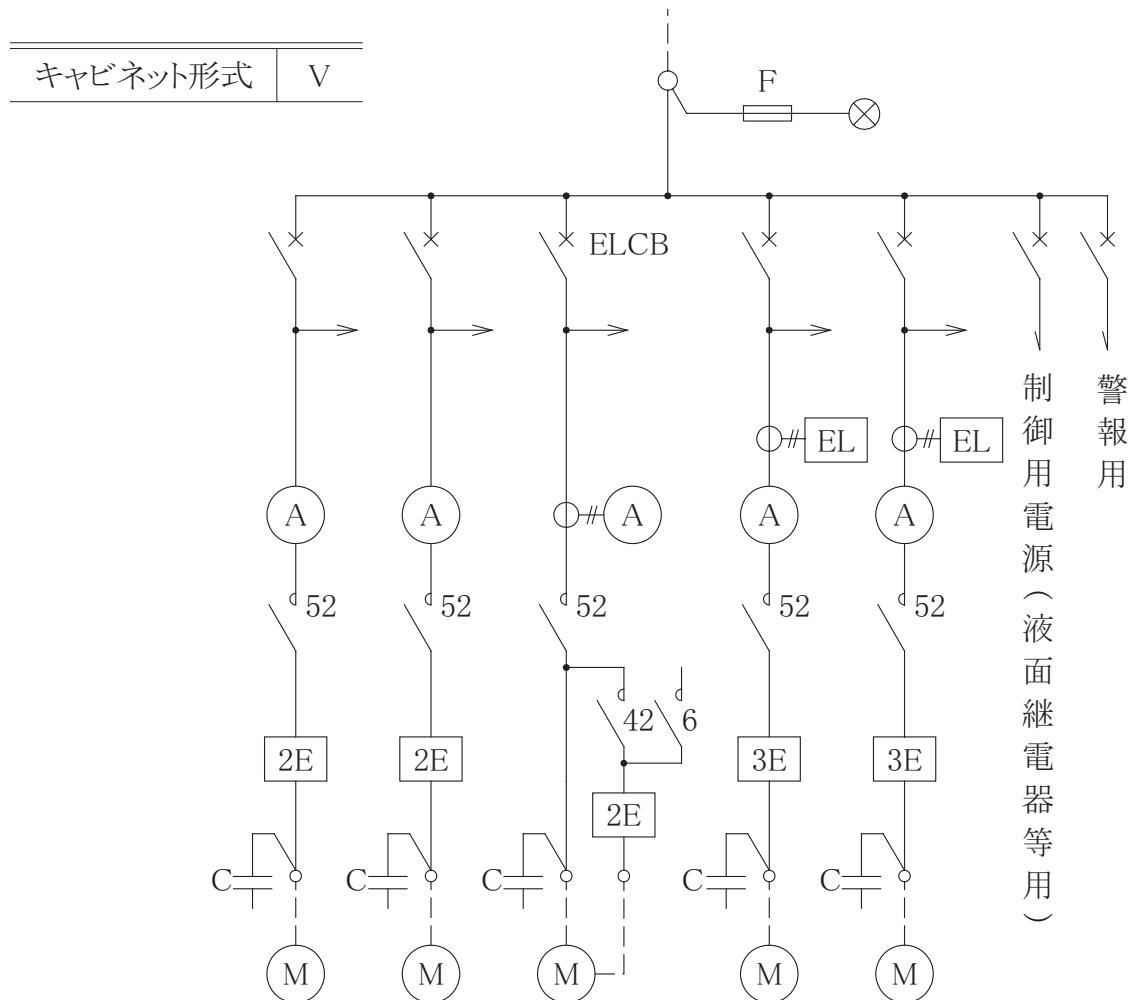
(ロ) 液面継電器の機能

記号	名称	用途	機能
G ₀	給水又は排水	給水運転	停止、始動
		排水運転	始動、停止
G ₁	空転防止又は高架水槽減水警報付給水	空転防止付 給水運転	高架水槽側:停止、始動 受水槽側:始動、停止(空転防止)及び減水警報
		高架水槽減水 警報付き給水運転	停止、始動、減水警報及び停止 (渴水時停止)
G ₂	満水警報付排水	単式又は複式自動 交互排水運転	満水警報、始動、停止
		複式自動交互同時 排水運転	満水警報及び2台目始動、1台目始動、停止
G ₃	満減水警報付 給水又は排水	単式又は複式自動 交互給水運転	満水警報、停止、始動、減水警報
		複式自動交互同時 給水運転	満水警報、停止、1台目始動、減水警報及び2台目始動
		単式又は複式自動 交互排水運転	満水警報、始動、停止、減水警報
		複式自動交互同時 排水運転	満水警報及び2台目始動、1台目始動、停止、減水警報
G ₄	受水槽空転防止付 満減水警報及び高 架水槽満減水警報 付給水	同左	高架水槽側:満水警報、停止、始動、減水警報 受水槽側:満水警報、始動、減水警報及び停止
G ₅	警報用		呼水槽に使用 減水警報 一般用 満水警報、減水警報

備考 機能欄の停止、始動等の表現は、水位の上位レベルより順次表現している。

制御盤8

単線接続図例1

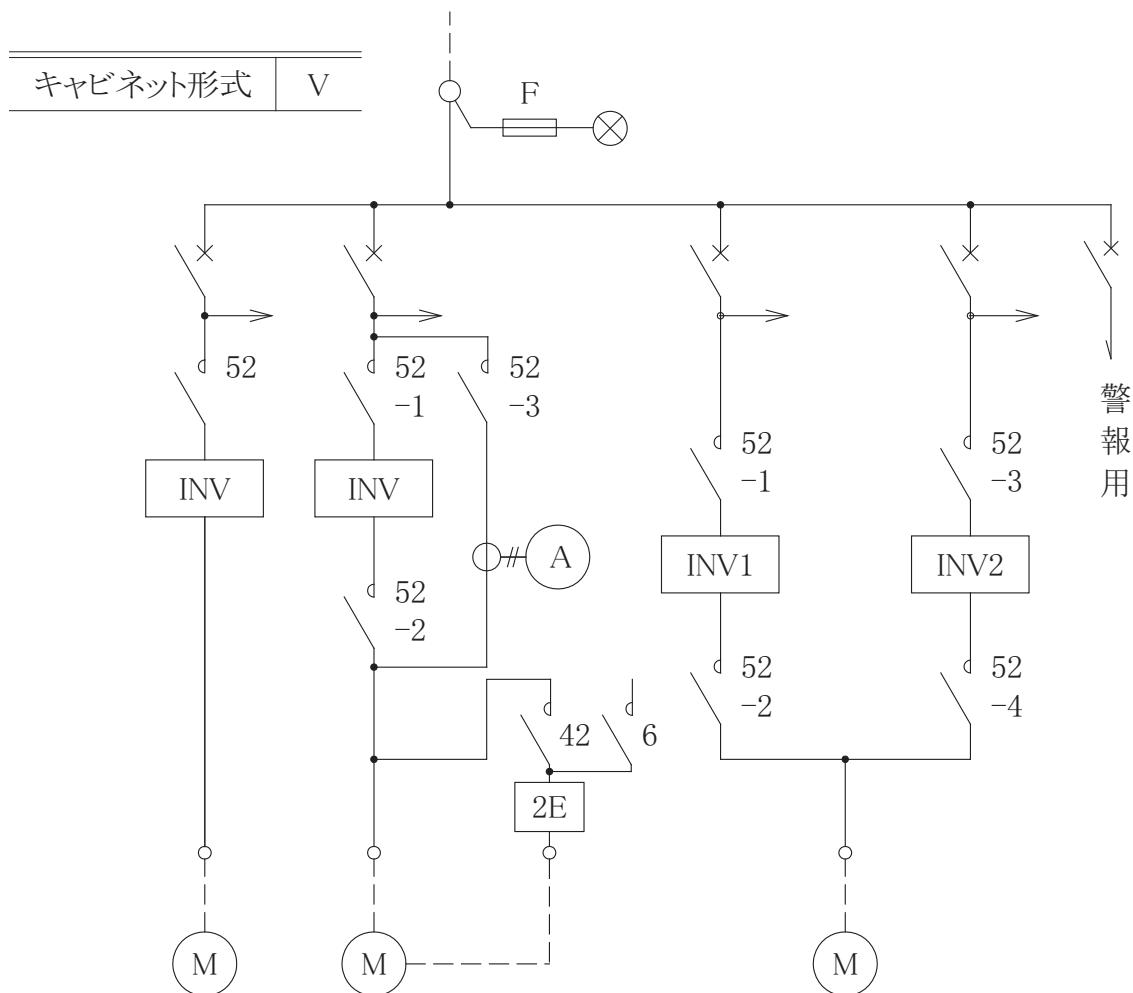


負荷名称	給気ファン	排気ファン	給水ポンプ	排水ポンプ
負荷容量(kW)	0.4	0.4	11	1.5
単位装置	始動方式	L	L	Y
	操作・制御方式	1AB	4-1AB	6AB
	操作・制御スイッチ	B	I	G ₄
連動				10AB
インターロック			火災報知設備	

備考 (1) 図は、低圧進相コンデンサを設けた場合を示す。
(2) 図は、過負荷と欠相を保護する継電器及び過負荷と欠相と反相を保護する継電器を設けた場合を示す。

制御盤9

単線接続図例2



負荷名称	空調機	排気ファン	冷温水ポンプ	
負荷容量(kW)	5.5	11	11	
単位装置	始動方式 操作・制御方 式 操作・制御スイッチ	L 15-1AB I、TD	Y 15-2AB I、TD	L 15-3AB I、TD
連動				
インターロック			火災報知設備	

- 備考 (1) 可変速運転用インバータは、保護装置、高調波対策装置等を含むものとする。
(2) 火災報知設備により強制停止するための電磁接触器(52)を設置した一例を示す。
(3) 図は、過負荷と欠相を保護する継電器を設けた場合を示す。

電熱装置

記号、表示例及び施工例

(1) 記号

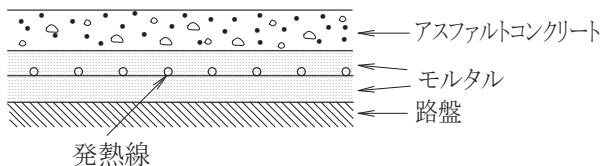
発熱体種類		定格電圧[V]		発熱量	発熱体の構造	
EH	電気ヒータ	1	100	n [W/m ²]	U	発熱線ユニット
		2	200	n [W/m]	S	発熱シート
					L	発熱線

備考 発熱線ユニットは、発熱線により構成された面状発熱体とする。

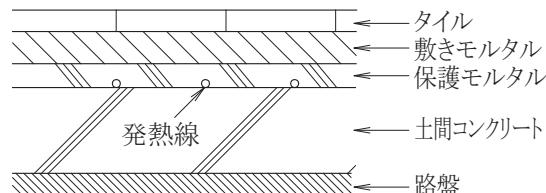
(2) 表示例

例	記号	説明
例1	EH1-80U	定格電圧100V、発熱量80W/m ² の発熱線ユニット
例2	EH2-100S	定格電圧200V、発熱量100W/m ² の発熱シート
例3	EH1-25L	定格電圧100V、発熱量25W/mの発熱線

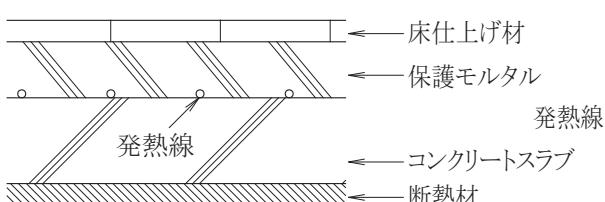
(3) 施工例



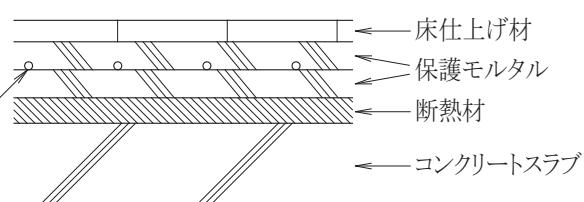
構内歩道(アスファルト)



構内歩道(タイル貼り)



床スラブ(顯熱蓄熱式)



床スラブ(非蓄熱式)

備考 図は、一例を示す。

プルボックス1

記号、形式及び表示例

(1) 形式、ふたの止め方等の記号

[単位 mm]

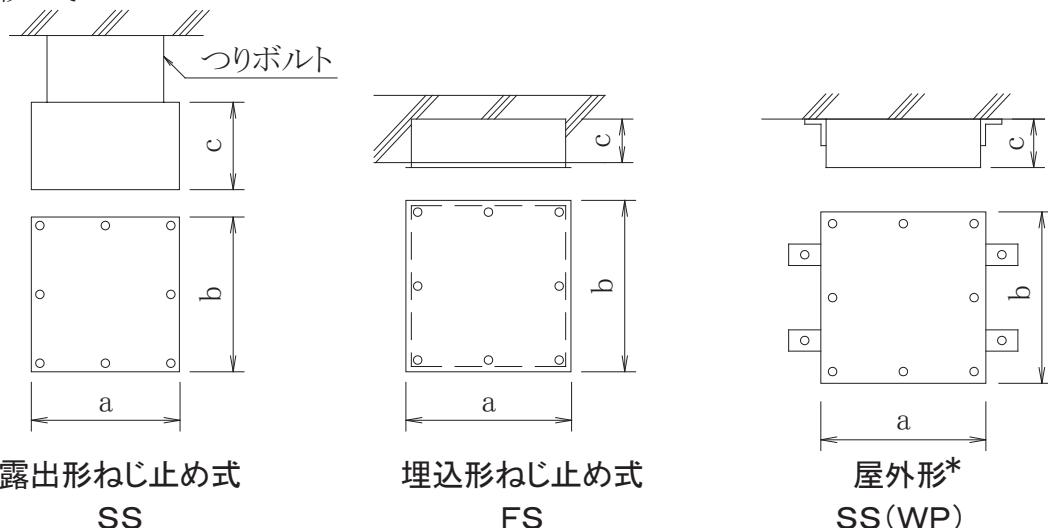
記号	形 式	記号	ふたの止め方	寸 法	記号	備 考
S	露出形	S	ねじ止め式	$a \times b \times c$	—	屋内形
F	埋込形	—	ふたなし		C	屋内形(隠ぺい部)
					WP	屋外形

(2) 材質・材厚及び仕上げの記号

記号	材質・材厚及び仕上げ
—	SPC 1.6
Z35	SPC 1.6にJIS H 8641「溶融亜鉛めつき」に規定するHDZ35以上の溶融亜鉛めつきを施したもの又は同等以上の耐食性を有するもの
SUS	SUS 1.2
V	合成樹脂製

備考 セパレータも含む。

(3) 形 式



注 * 長辺が200mm以上の場合を示す。

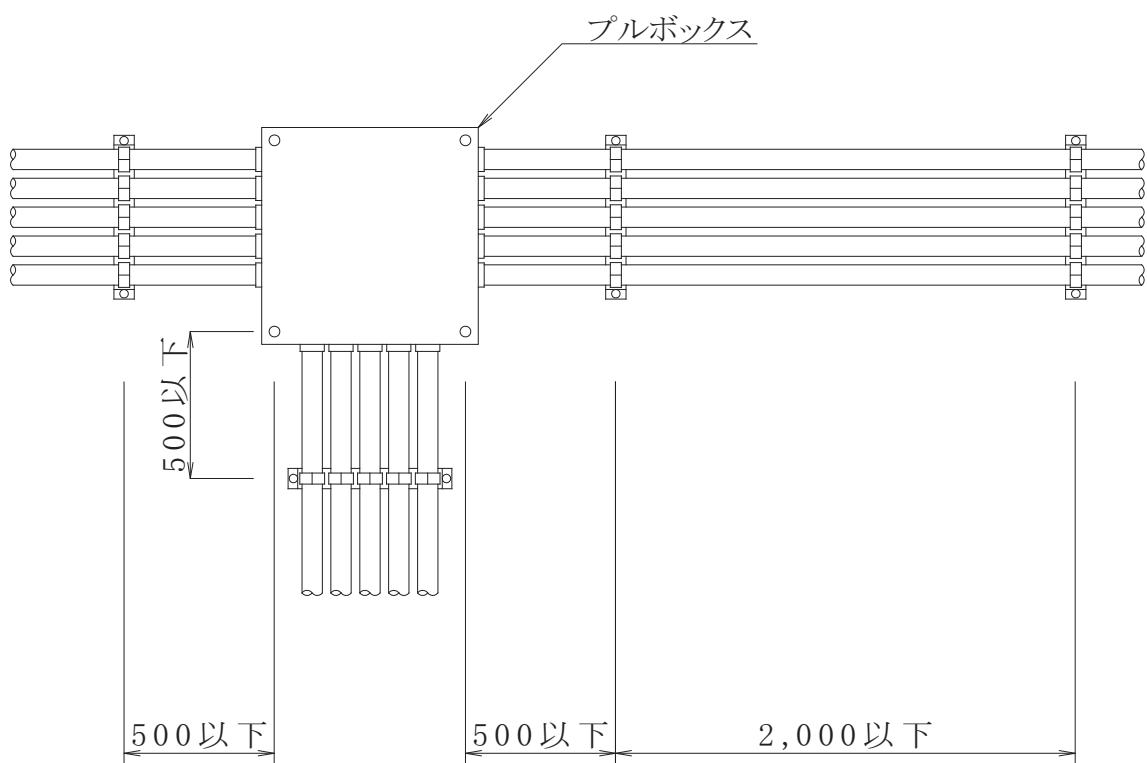
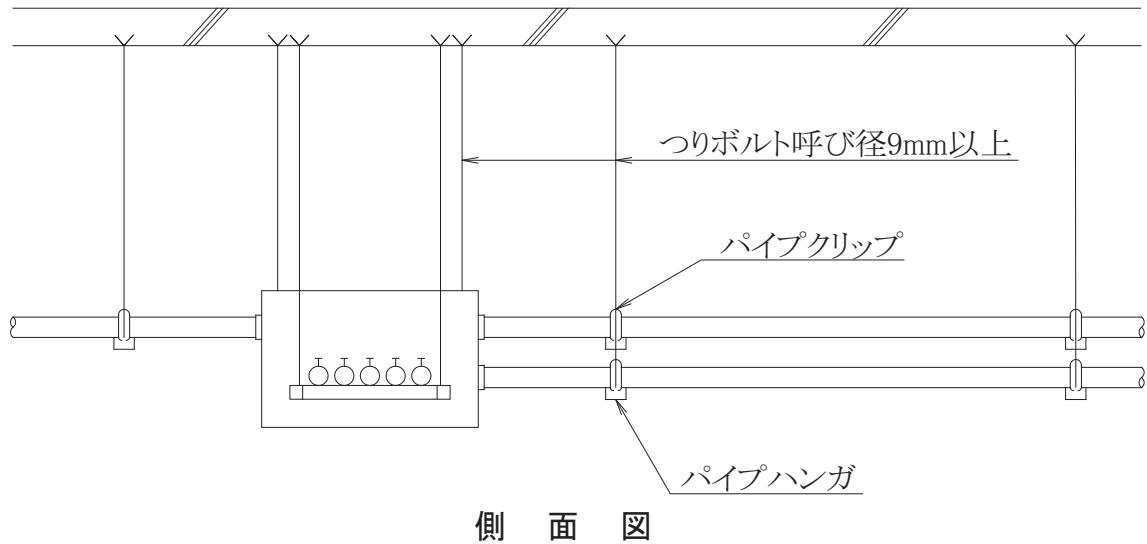
(4) 表示例

例	記 号	説 明
例1	SS300×300×200C	露出形ねじ止め式で寸法300mm×300mm×200mmのもので、隠ぺい部に取付けるもの
例2	FS200×200×80	埋込形ねじ止め式で寸法200mm×200mm×80mmのもの
例3	F200×200×80	裏ボックスとして使用するもので、埋込形ふたなし寸法200mm×200mm×80mmのもの
例4	SS300×300×200WP-Z35	露出形ねじ止め式で寸法300mm×300mm×200mmのもので、溶融亜鉛めつきを施した屋外形のもの
例5	SS300×300×200WP-SUS	露出形ねじ止め式で寸法300mm×300mm×200mmのもので、ステンレス製屋外形のもの
例6	SS200×200×200-V	露出形ねじ止め式で寸法200mm×200mm×200mmのもので、合成樹脂製のもの

プルボックス2

プルボックスと配管の支持例

[単位 mm]



平 面 図

金属ダクト

記号、形式及び表示例

[単位 mm]

(1) 形状、ふたの止め方等の記号

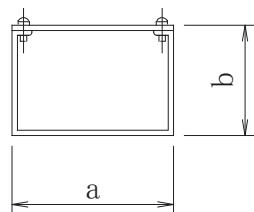
記号	形 状	記号	ふたの止め方	寸 法
A	A 形	S	ねじ止め式	a × b
		H	ちょう番式	

(2) 材質・材厚及び仕上げの記号

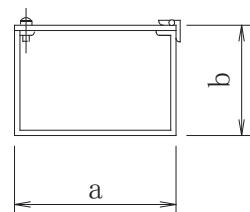
記号	材質・材厚及び仕上げ
—	SPC 1.6
Z35	SPC 1.6にJIS H 8641「溶融亜鉛めつき」に規定するHDZ35以上の溶融亜鉛めつきを施したもの又は同等以上の耐食性を有するもの

備考 セパレータも含む。

(3) 形 式



A形ねじ止め式
AS



A形ちょう番式
AH

(4) 表示例

例	記 号	説 明
例1	AS400×200	A形ねじ止め式で寸法が400mm×200mmのもの
例2	AH400×200	A形ちょう番式で寸法が400mm×200mmのもの
例3	AH400×200-Z35	A形ちょう番式で寸法が400mm×200mmのもので、溶融亜鉛めつきを施したもの

金属トラフ

記号、形式及び表示例

[単位 mm]

(1) 形状、ふたの止め方等の記号

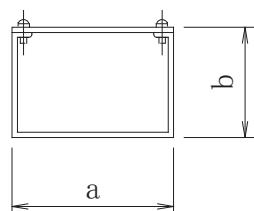
記号	形 状	記号	ふたの止め方	寸 法	記号	備 考
T-A	T-A形	S	ねじ止め式	a×b	—	屋内形
					WP	屋外形

(2) 材質・材厚及び仕上げの記号

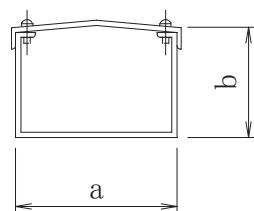
記号	材質・材厚及び仕上げ
—	SPC 1.2
Z35	SPC 1.6にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZ35以上の溶融亜鉛めつきを施したもの又は同等以上の耐食性を有するもの
SUS	SUS 1.0

備考 セパレータも含む。

(3) 形 式



屋内形
T-AS



屋外形
T-AS(WP)

(4) 表示例

例	記 号	説 明
例1	T-AS400×200	T-A形ねじ止め式で寸法が400mm×200mmのもの
例2	T-AS400×200WP-Z35	T-A形ねじ止め式で寸法が400mm×200mmのもので、溶融亜鉛めつきを施した屋外形のもの

ケーブルラック1

記 号

(1) 材料及び仕上げの記号

記 号	材 料 及 び 仕 上 げ
ZM	亜鉛の両面付着量100g/m ² 以上の溶融亜鉛めっき鋼板にメラミン焼付塗装、粉体塗装等を施したはしご形のもの
Z35	鋼板又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZ35以上の溶融亜鉛めっきを施したはしご形のもの又は溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板を用いたはしご形のもので、前記と同等の耐食性能を有するもの
AL	アルミニウム合金に陽極酸化皮膜を施したはしご形のもの
ZT	亜鉛の両面付着量275g/m ² 以上の溶融亜鉛めっき鋼板に透明塗装を施したトレー形のもの

備考 記号の末尾にWPを付記したものは、ケーブルラックと同じ仕上げのカバーを取付ける。

(2) 寸法及び強度の記号

記 号	内面寸法[mm]	許容積載静荷重	
		親げた1本[N/m]	子げた1本[N]
はしご形	200 A	180	216 以上
	300 A	280	295 以上
	400 A	380	373 以上
			1,011 以上
			1,383 以上
	500 A	480	452 以上
			1,089 以上
			1,540 以上
	600 A	580	530 以上
			1,170 以上
			1,697 以上
	800 A	780	687 以上
			1,324 以上
			2,011 以上
トレー形	1,000 A	980	844 以上
			1,481 以上
			2,325 以上
	1,200 A	1,180	1,001 以上
			1,638 以上
			2,639 以上
	200	190	187 以上
	300	290	295 以上
	400	390	344 以上
	500	490	481 以上
	600	590	599 以上

備考 (1) 内面寸法とは、ケーブルラック内面の最小寸法をいう。

(2) 許容積載静荷重の算出基準は次による。

(イ) 両端ピン支持による等分布荷重とする。

(ロ) ケーブルラックのたわみは、支持間隔の1/300以下とする。

(ハ) ケーブルラックの水平支持間隔は、鋼製で2m、アルミ製で1.5mとする。

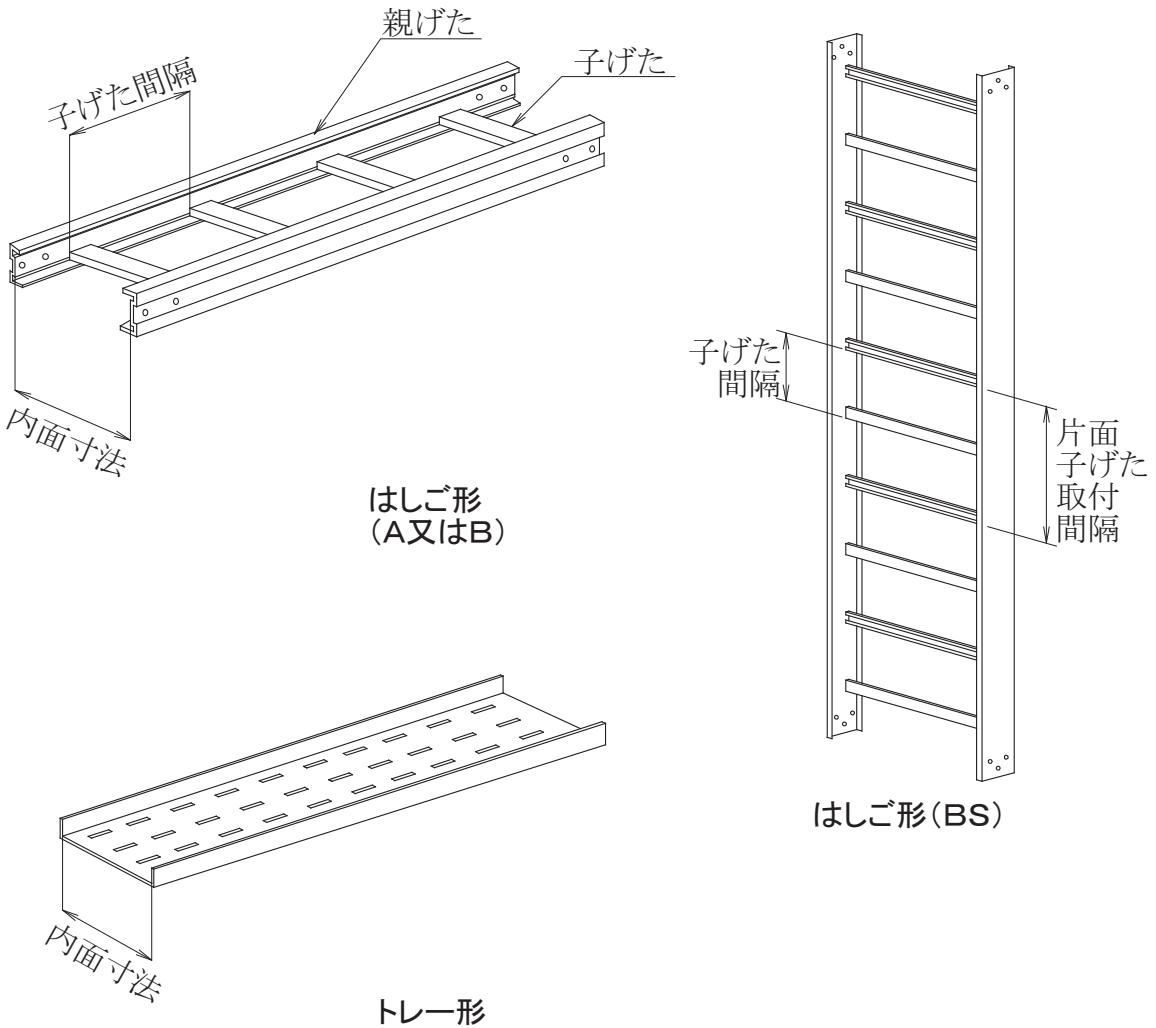
(3) BSは、垂直支持(立上り配線)専用の両面形とし、材料及び仕上げがALのものは除く。

(4) 子げたの許容積載静荷重は、水平及び垂直両方向に対して耐えるものとする。

ケーブルラック2

形 式

(3) 形 式



備考 図は、一例を示す。

ケーブルラック3

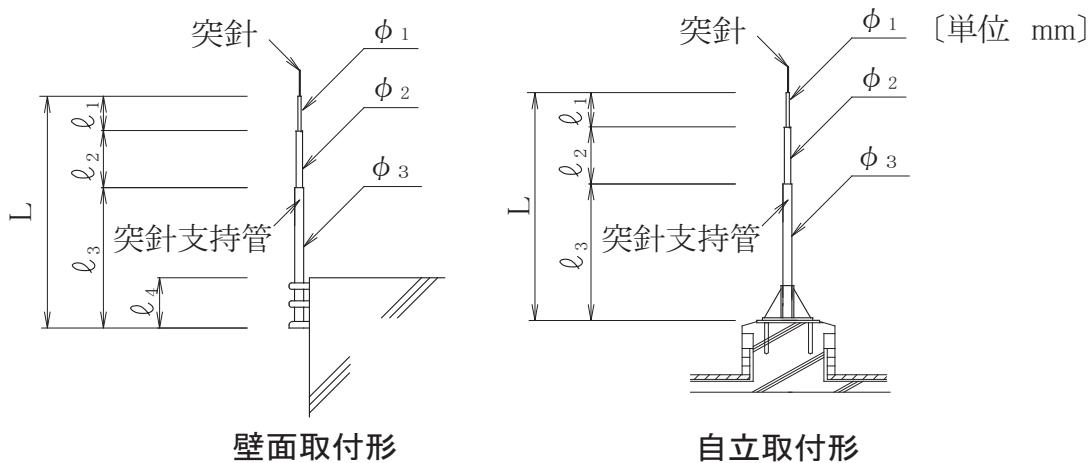
表示例

(4) 表示例

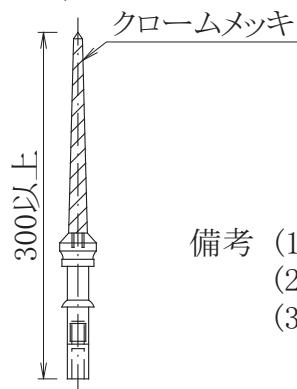
例	記号	説明
例1	ZM-600B	亜鉛の両面付着量100g/m ² 以上の溶融亜鉛めっき鋼板にメラミン焼付塗装、粉体塗装等を施したもので、内面寸法が580mmのものを2m間隔で水平に支持した場合に、親げた1本1m当たり1170N以上、子げた1本当たり265N以上の等分布積載静荷重に耐えるもの
例2	ZM-800BS	立上り配線専用の両面形であって、亜鉛の両面付着量100g/m ² 以上の溶融亜鉛めっき鋼板にメラミン焼付塗装、粉体塗装等を施したもので、内面寸法が780mmのもの 部材としての許容積載静荷重は、水平支持間隔2mにおいて、親げた1本1m当たり2011N以上とし、ケーブルラックの垂直支持において、子げた1本当たり688N以上の等分布荷重に耐えるもの 子げたの取付間隔は、片面につき、0.6m以下
例3	ZT-200	亜鉛の両面付着量275g/m ² 以上の溶融亜鉛めっき鋼板に透明塗装を施したもので、内面寸法が190mmのものを2m間隔で水平に支持した場合に、1m当たり187N以上の等分布積載静荷重に耐えるもの
例4	Z35-600A-WP	鋼板又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZ35以上の溶融亜鉛めっきを施したもの又は溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板を用いたもので、前記と同等の耐食性能を有するもので、内面寸法が580mmものを2m間隔で水平に支持した場合に、親げた1本1m当たり530N以上、子げた1本当たり265N以上の等分布積載静荷重に耐えるもの ケーブルラックと同じ仕上げのカバーを取付ける。

雷保護1

突針及び突針支持管



(1) 突針 (記号:LR1)



備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) 脱落防止を施す。
(3) 材質は銅としクロームメッキを施す。ただし、
クロームメッキは、先端部分のみでもよい。

(2) 突針支持管

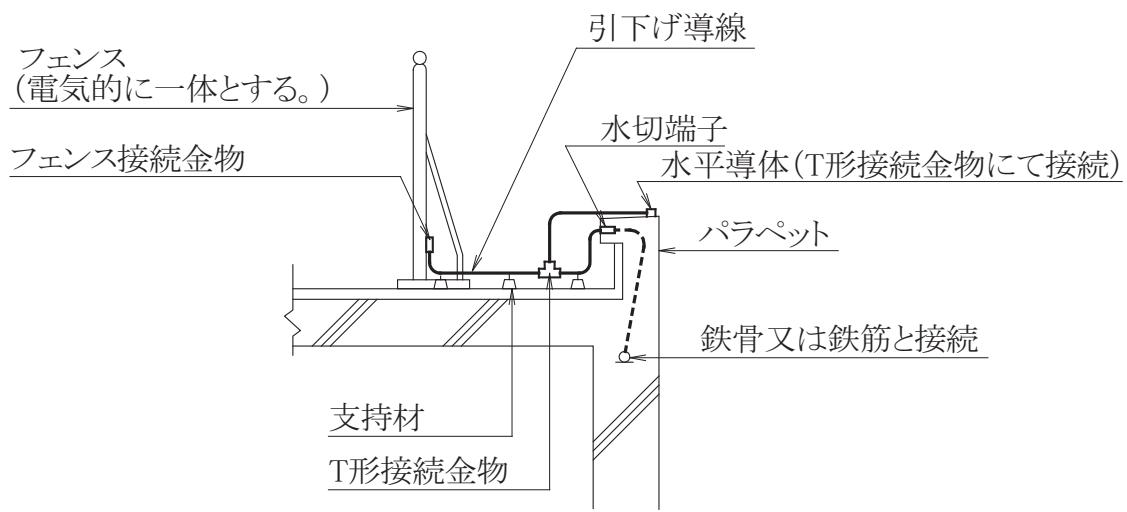
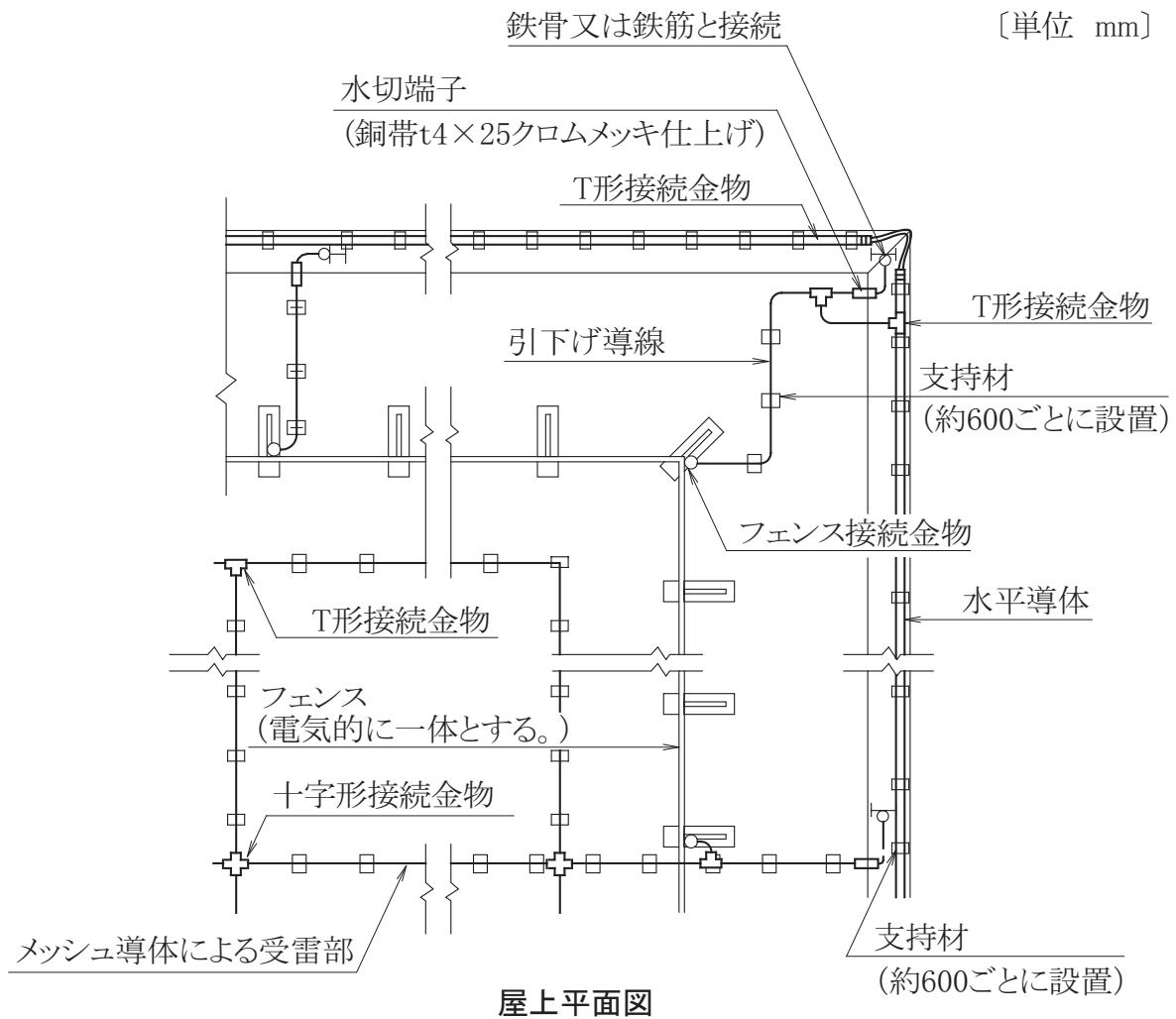
材質	記号	L	ℓ_1	ℓ_2	ℓ_3	
鋼 製	S - 4	4,000	-	-	4,000	
	S - 5	5,000	-	-	5,000	
	S - 6	6,000	-	500	5,500	
	S - 7	7,000	-	1,500		
	S - 8	8,000	-	2,500		
	S - 9	9,000	-	3,500		
	S - 10	10,000	-	4,500		
ステンレス 製	SUS - 4	4,000	-	-	4,000	
	SUS - 5	5,000	-	1,000		
	SUS - 6	6,000	-	2,000		
	SUS - 7	7,000	-	3,000		
	SUS - 8	8,000	500	3,500		
	SUS - 9	9,000	1,500			
	SUS - 10	10,000	2,500			

備考 (1) 支持管の管径(ϕ_1 、 ϕ_2 、 ϕ_3)及び管の仕様は建築基準法施行令第87条による耐風力を満足するものとする。

(2) ℓ_4 は1,500~2,000mmとする。

雷保護2

屋上受雷部の施工例

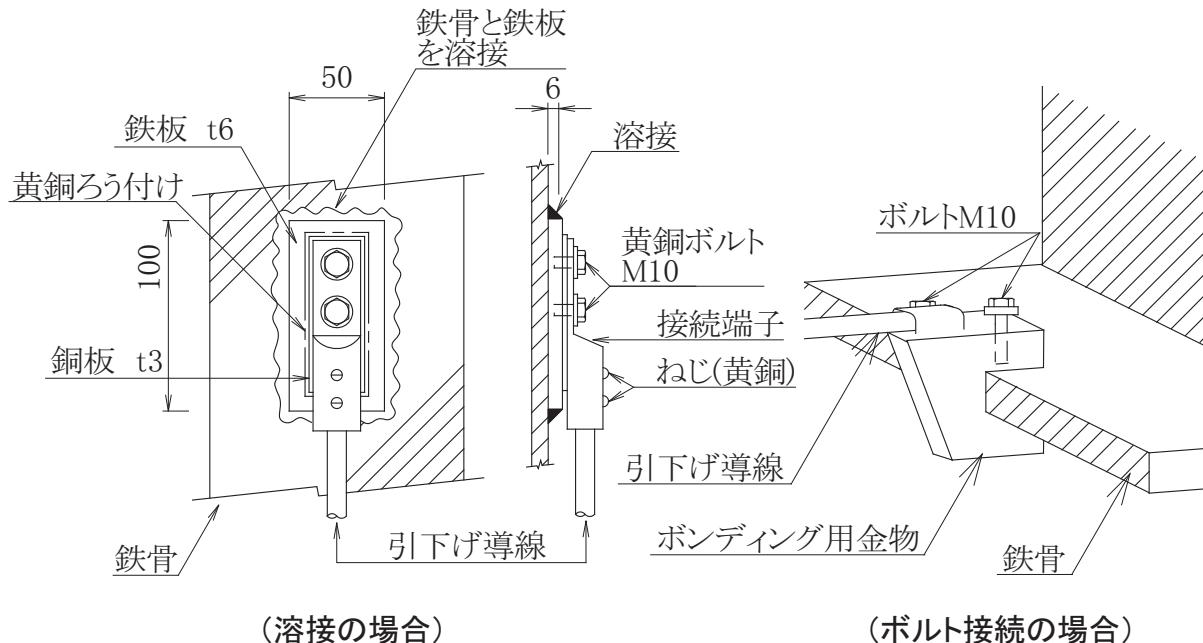


断面図

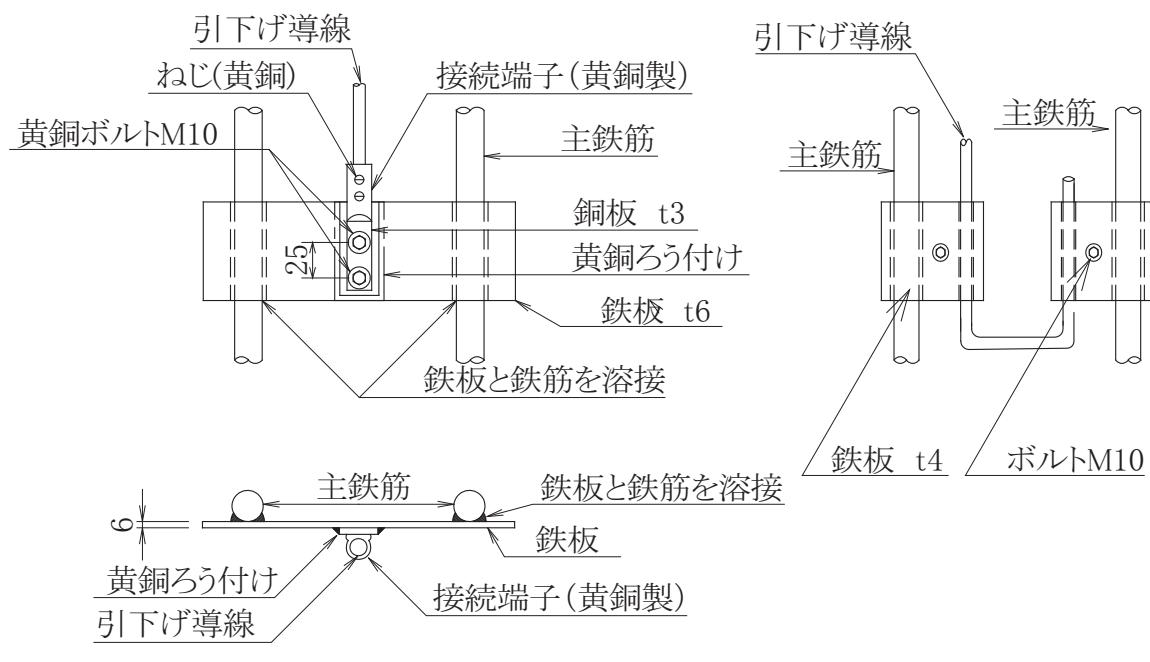
雷保護3

引下導線と構造体の接続例

[単位 mm]



鉄骨との接続



鉄筋との接続

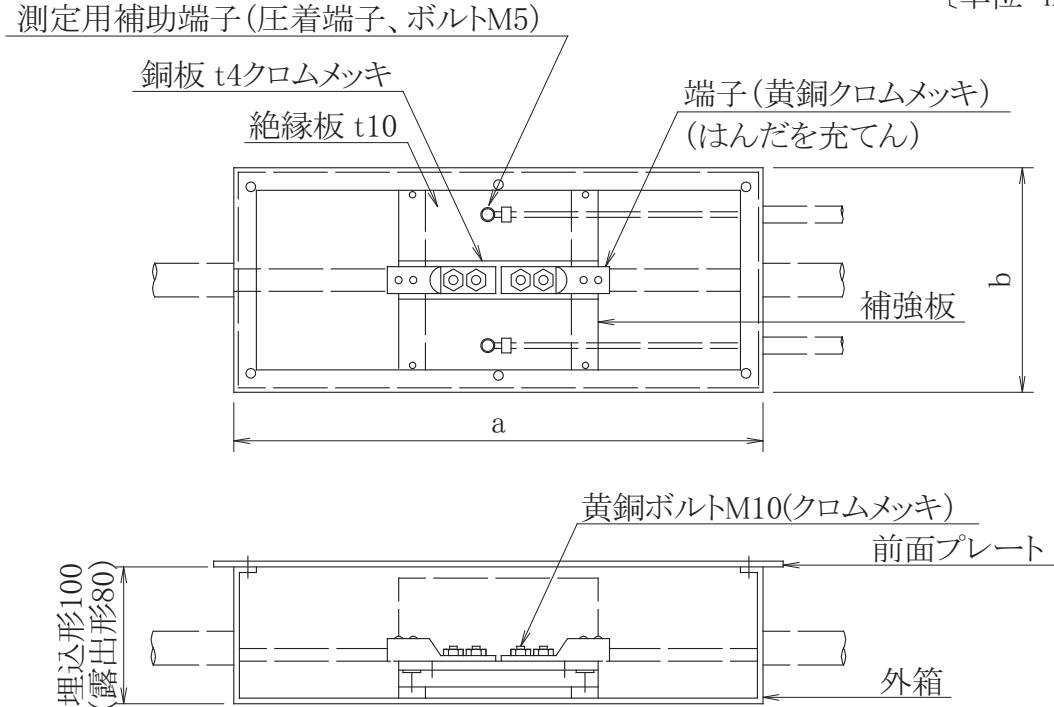
- 備考 (1) 溶接部が露出の場合には、溶接部分に防食塗料を塗布する。
 (2) JIS A 4201「建築物等の避雷設備(避雷針)-1992」による場合は、溶接とする。

雷保護4

試験用接続端子箱

TB-A
TB-S

[単位 mm]



記号	材質	記号	キャビネット形式	記号	端子数	寸法	
						a	b
TB	A	F	埋込形平板式	1	1組	400	120
		S	露出形平板式	1A	1組+測定用1組		200
	S	G	埋込形折曲式				
		T	露出形折曲式	Y	3方分岐1組		

備考 (1) 寸法は最小値を示す。

- (2) 黄銅製は、外箱厚さ1.5mm以上、前面プレートは平板式厚さ2.0mm以上、折曲式厚さ2.0mm以上とし、前面プレートは、ホワイトブロンズ仕上げとする。
- (3) ステンレス製は、外箱厚さ1.5mm以上、前面プレートは平板式厚さ2.0mm以上、折曲式厚さ2.0mm以上とし、前面プレートは、ヘアーライン仕上げとする。
- (4) 前面プレートには、黄銅ビス又はステンレスビス止めとし、正面に用途名称板を設ける。
- (5) 埋込形の前面プレートのちりは、15~25mmとする。

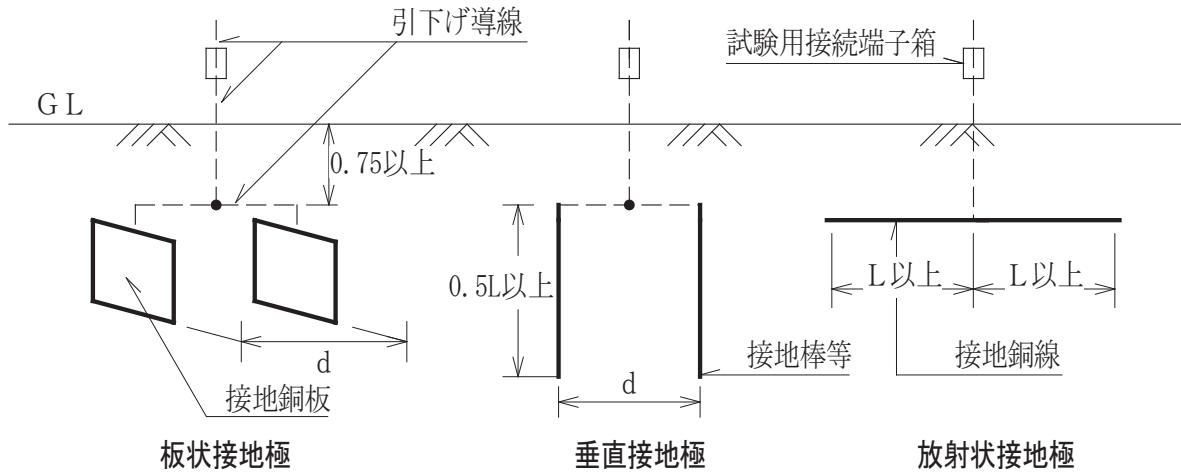
表示例

例	記号	説明
例 1	TB-AF1A	黄銅製、埋込形平板式、端子数1組、測定用補助端子1組の端子箱
例 2	TB-SSY	ステンレス製、露出形平板式、端子数3方分岐端子1組の端子箱

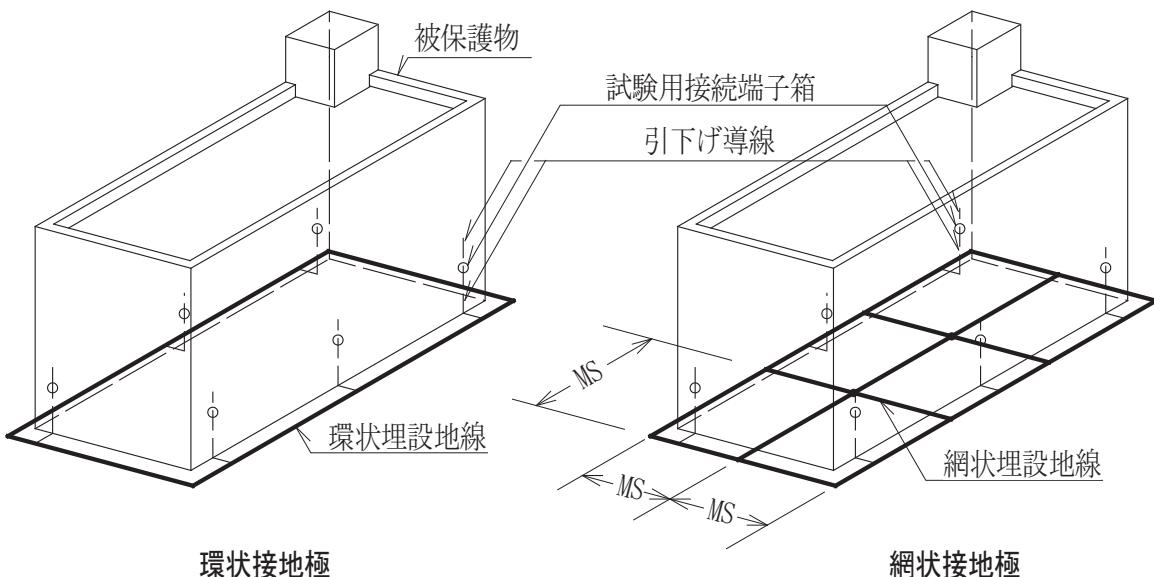
雷保護5

接 地 極

[単位 m]



- 備考 (1) 接地棒等及び接地銅線の長さLは、保護レベルに応じた接地極の最小長さに定める大地抵抗率との関連において算出する。ただし、特記による保護レベルIII及びIVは、大地抵抗率に関係なく、 $L=5m$ とする。
- (2) 接地銅板及び接地棒等の間隔dは、その接地極の長辺の3倍以上離して配置する。
- (3) 垂直接地極と放射状接地極は組合せて設けることができる。



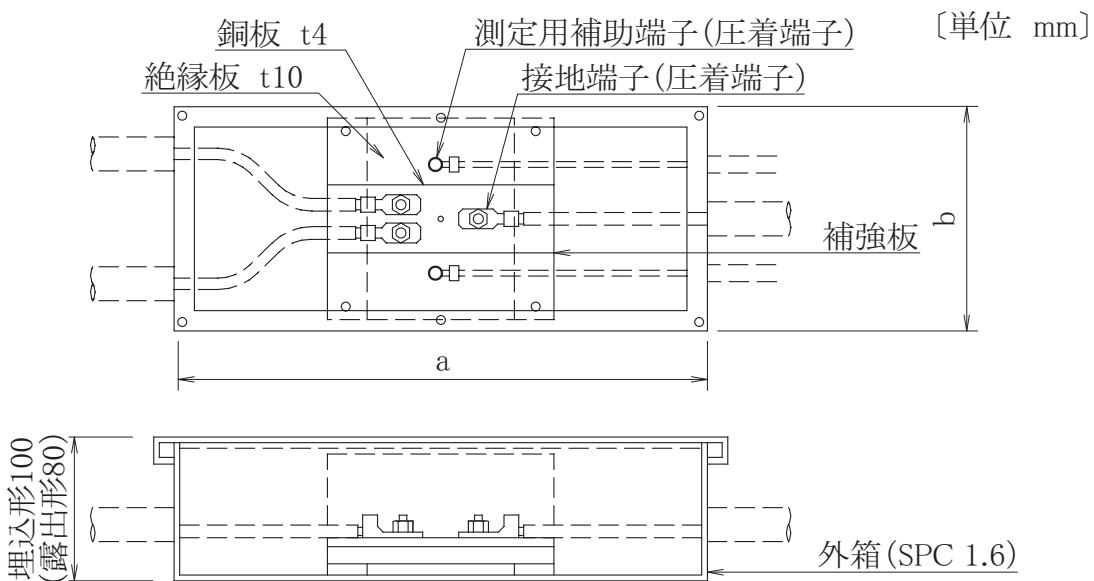
- 備考 (1) MSは特記による。

- (2) 環状埋設地線及び網状埋設地線は、各引下げ導線と接続する。
- (3) 地表面下0.75m以上の深さに埋設する。

接地1

接地端子箱1

TB-B



記号	キャビネット形式	記号	端子数	寸法	
				a	b
TB-B	G 埋込形折曲式	1	1組	400	120
		1A	1組+測定用1組		200
		Y	3方分岐1組		
		2	2組		
	T 露出形折曲式	YA	3方分岐1組+測定用1組	250	
		2A	2組+測定用1組		
		3A	3組+測定用1組		
		4A	4組+測定用1組		350

- 備考 (1) 端子数n組の端子箱の幅寸法は、 $100 + 50n$ とする。ただし3方分岐端子は、2組として数えるものとする。
 (2) 寸法は最小値を示す。
 (3) 箱寸法で幅が120mmのものは、ビス止プレートとし、200mm以上のものはドア付とする。
 (4) 埋込形の前面枠のちりは、15~25mmとする。

接地線の太さと適合ねじの呼び

接地線の太さ	ねじの呼び(最小)
2.0mm以下	M5
5.5mm ² 、8mm ²	M6
14mm ²	M8
22~60mm ²	M10
100mm ² 、150mm ²	M12

表示例

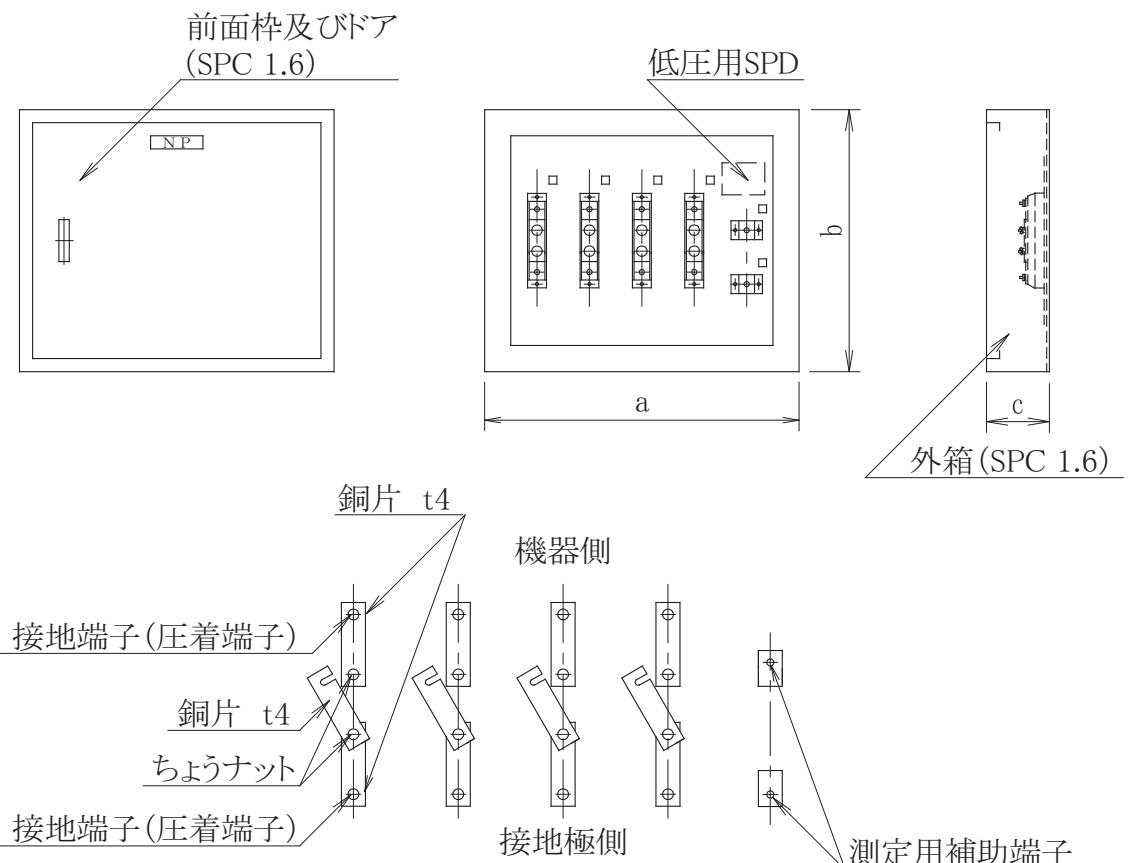
記号	説明
TB-BGYA	埋込形折曲式、3方分岐端子1組、測定用補助端子1組の接地端子箱

接地2

接地端子箱2

TB-C

〔単位 mm〕



記号	キャビネット形式	記号	端子数	寸法		
				a	b	c
TB-C	T	2A	2組+測定用1組	400	500 ^{*1}	100 ^{*2}
		3A	3組+測定用1組	500		
		4A	4組+測定用1組	600		
		5A	5組+測定用1組	700		
		6A	6組+測定用1組	800		
		7A	7組+測定用1組	900		

備考 (1) 寸法は最小値を示す。

(2) 端子数n組の端子箱の幅寸法は、 $200 + 100n$ とする。

(3) 接地線の太さと適合ねじの呼びは、「接地端子箱1」による。

(4) 絶縁離隔距離は、10mm以上とする。

注 *1 低圧用SPDを設ける場合は、600mm以上とする。

*2 低圧用SPDを設ける場合は、120mm以上とする。

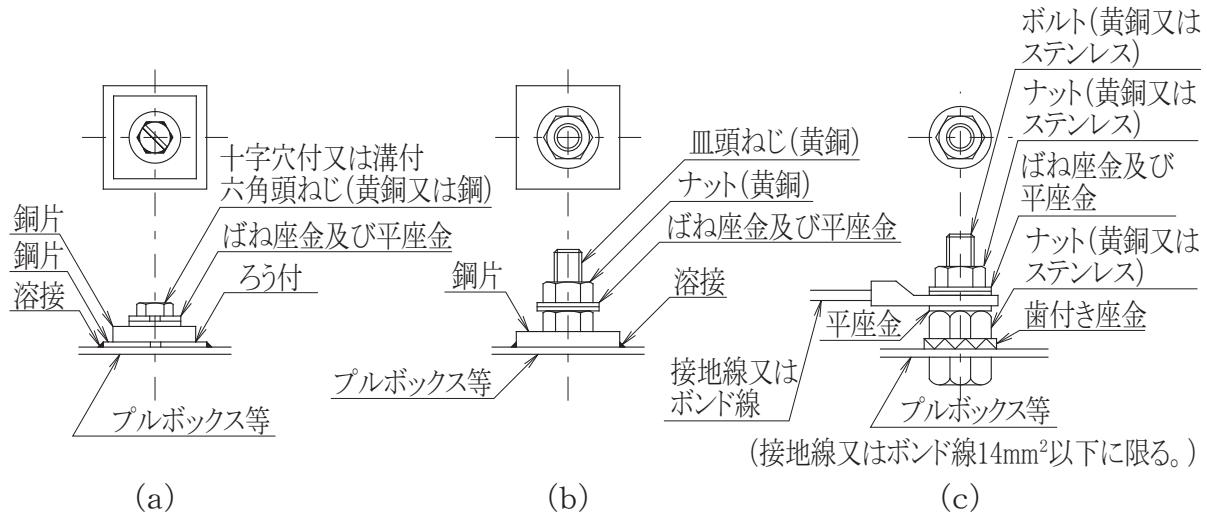
表示例

記号	説明
TB-CT4A	端子4組、測定用補助端子1組の接地端子箱

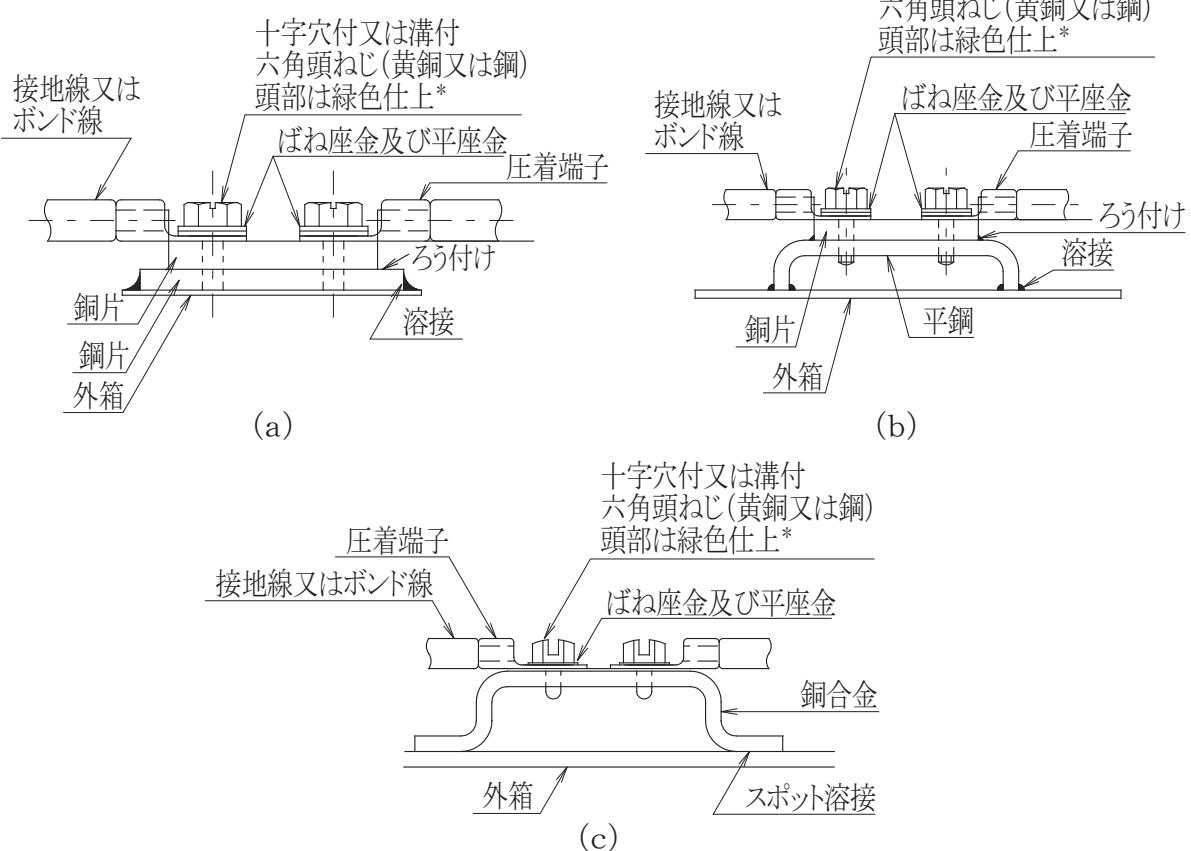
接地3

接地端子座

(1) 電力用のプルボックス、金属ダクト、金属トラフ、ケーブルラック



(2) 分電盤、制御盤、開閉器箱のキャビネット



- 備考 (1) 接地線の太さと適合ねじの呼びは「接地端子箱1」による。
(2) アルミ製ケーブルラックのボルト、ナット、座金等は、ステンレス製M8以上とする。
(3) ねじ締付け作業が容易に行えるように、接地端子座は傾斜取付けとしてもよい。

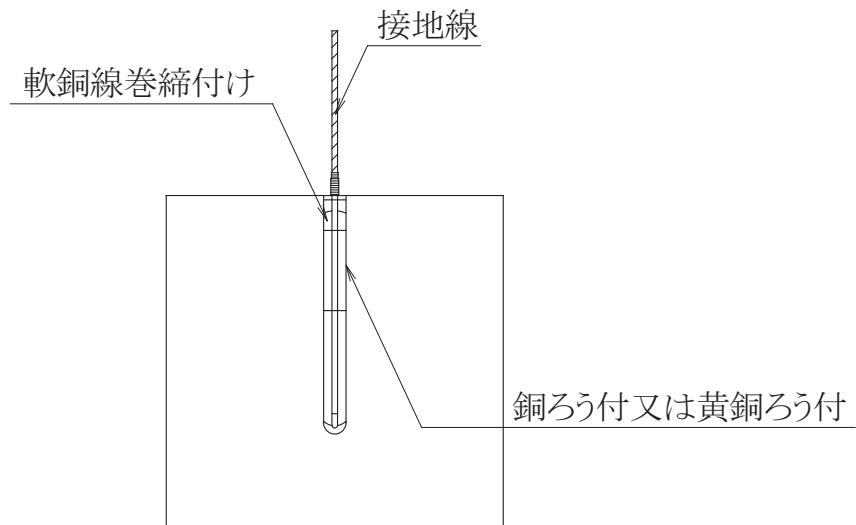
注 * ねじの頭部を緑色としない場合は、近傍にアースマークを貼付する。

接地4

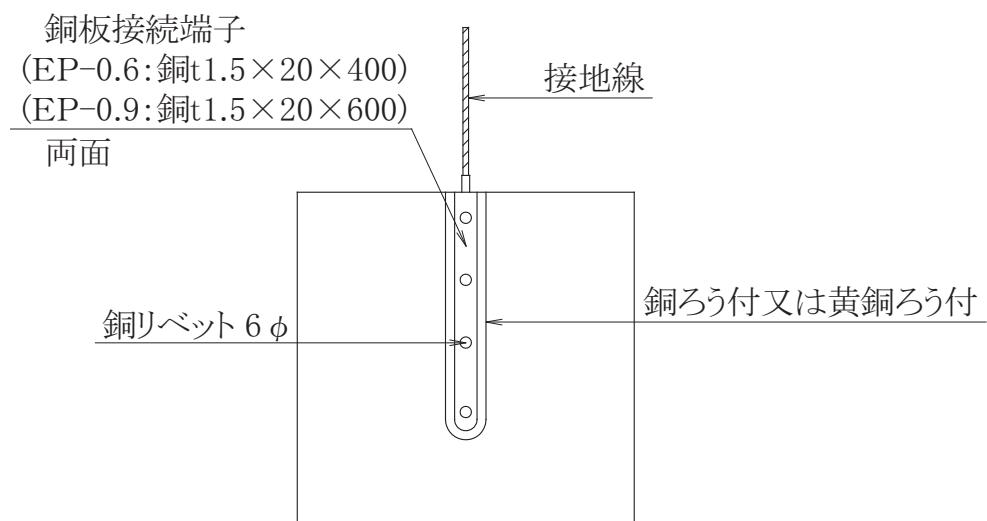
接地銅板

EP

[単位 mm]



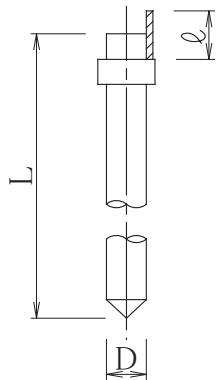
接地線を直接ろう付する場合



銅板接続端子を用いる場合

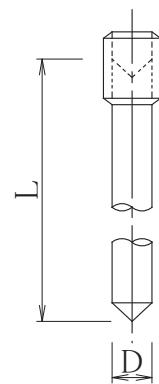
記号	寸法	材料
EP-0.6	t1.5×600×600	銅板(JIS H 3100 「銅及び銅合金の板並びに条」)
EP-0.9	t1.5×900×900	

接地5



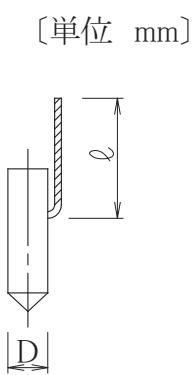
単独打込みの場合

接地棒



連結打込みの場合

EB

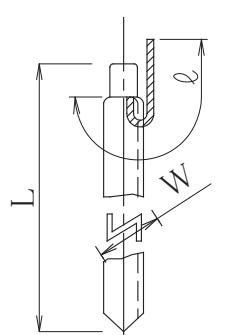


リード端子

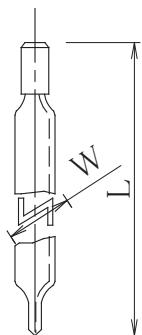
〔単位 mm〕

打込方式	寸法	D	L	l (より線)	リード端子	材質
単 独	10	10	1,000	8mm ² ×300	—	銅又は 銅覆鋼製 接地棒
	10	10	1,500	8mm ² ×300	—	
	14	14	1,500	22mm ² ×300	—	
連 結	10	10	1,000	—	8~38mm ² × 300~500	銅覆鋼製 接地棒
	10	10	1,500	—		
	14	14	1,500	—		

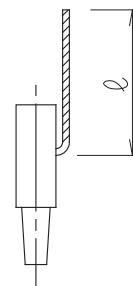
備考 D及びLの寸法は、特記による。



単独打込みの場合



連結打込みの場合



リード端子

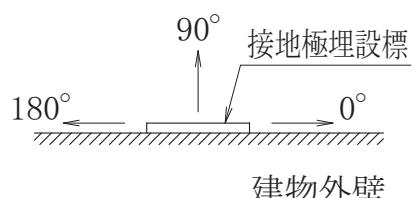
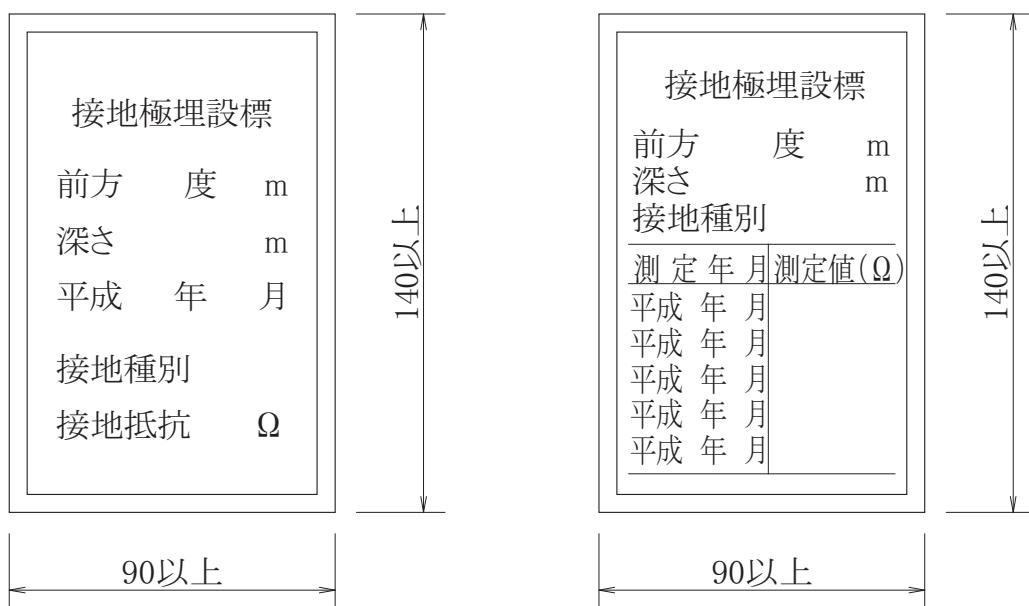
打込方式	寸法	W	L	l (より線)	リード端子	材質
単 独	30	30	900	8mm ² ×300	—	銅覆鋼製 接地棒
	30	30	1,200	8mm ² ×300	—	
	40	40	1,500	22mm ² ×300	—	
連 結	30	30	1,200	—	8~38mm ² × 300~1,500	銅覆鋼製 接地棒
	40	40	1,200	—		
	40	40	1,500	—		

備考 W及びLの寸法は、特記による。

接地6

接地極埋設標

[単位 mm]



角度の表示

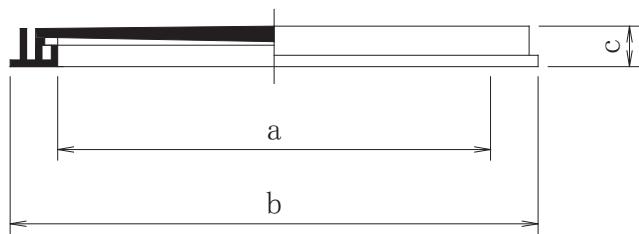
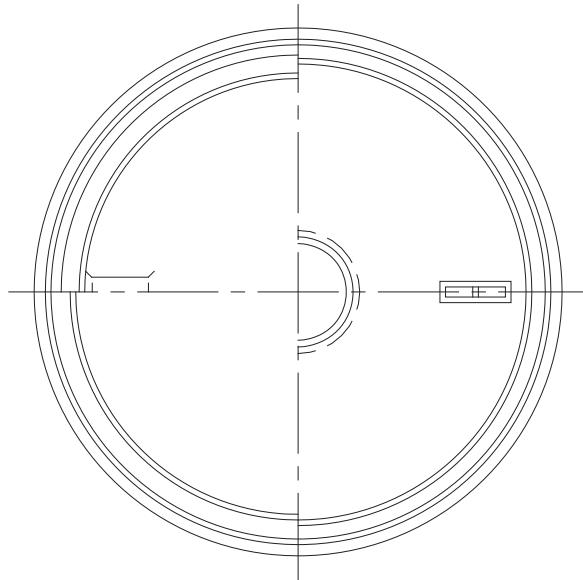
- 備考 (1) 図は、一例を示し、いずれでもよい。
- (2) 黄銅板製で厚さ1.0mm以上とする。
- (3) 文字は、腐食加工とする。
- (4) 必要数字及び種別は、刻記による。
- (5) 角度は、上図によって表示する。
- (6) 接地種別の記号は第1編共通事項「機器等の図記号及び文字記号」による。
ただし、接地極を共用する場合は、その該当 種別をすべて表示する。

地中線1

鉄 ふ た 1

R2K
R8K

〔単位 mm〕



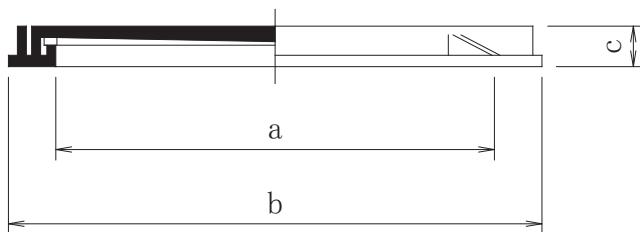
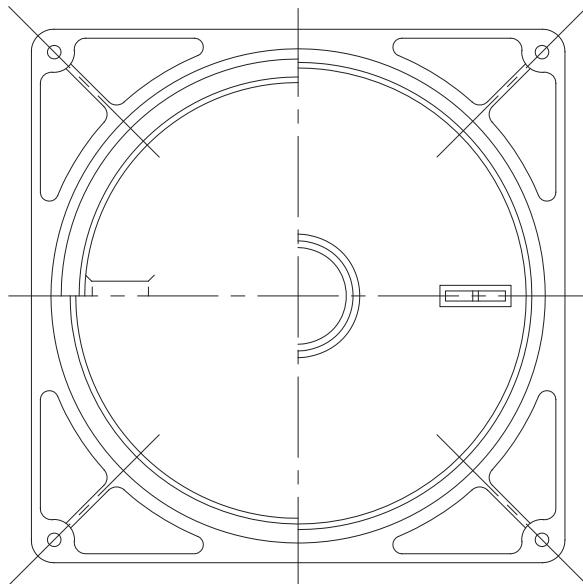
記 号	寸 法		
	a	b	c
R2K-60	600	690～730	45～60
R2K-75	750	860～910	50～60
R8K-60	600	700～740	50～65
R8K-75	750	860～910	55～65

備考 (1) 形状は、一例を示す。

- (2) R2Kの破壊荷重は20kN、R8Kの破壊荷重は80kNとする。
- (3) 簡易防水形とする。
- (4) 本体又は枠と、ふたを鎖で連結する。
- (5) ふたは、リブ付でも、リブなしでもよい。また、ふたの表面はすべり防止を施す。

地中線2

鉄ふた2

S2K
S8K〔単位 mm〕
現場打用

記号	寸法		
	a	b	c
S2K-60	600	680～720	45～60
S2K-75	750	860～900	55～70
S8K-60	600	700～730	50～65
S8K-75	750	860～900	55～70

備考 (1) 形状は、一例を示す。

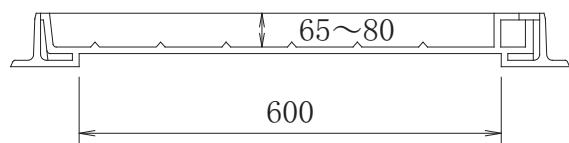
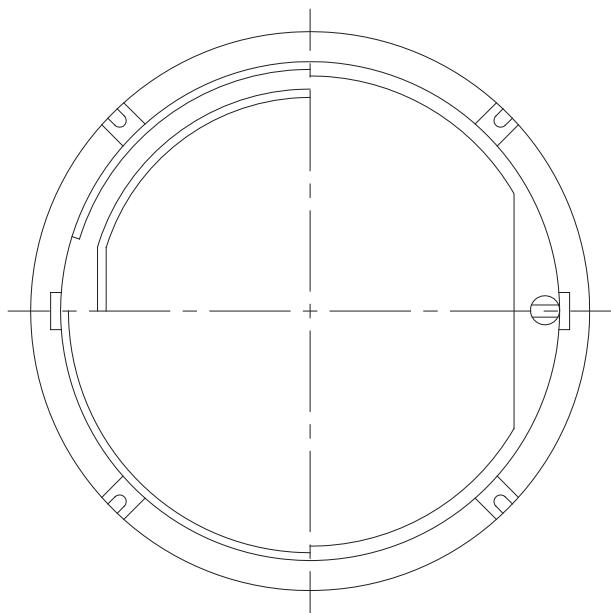
- (2) S2Kの破壊荷重は20kN、S8Kの破壊荷重は80kNとする。
- (3) 簡易防水形とする。
- (4) 本体又は枠と、ふたを鎖で連結する。
- (5) ふたは、リブ付でも、リブなしでもよい。また、ふたの表面はすべり防止を施す。

地中線3

化粧用鉄ふた1

RB2K-60

[単位 mm]



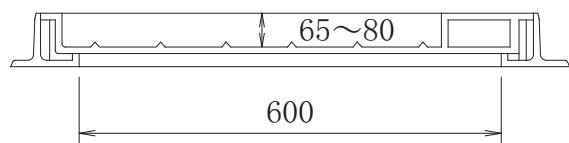
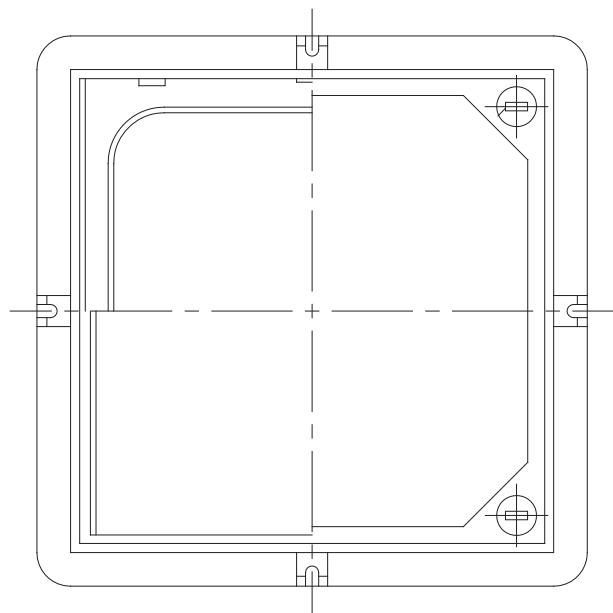
- 備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) 破壊荷重は、20kNとする。
(3) 簡易防水形とする。
(4) インターロッキングブロックで仕上できるものとする。
(5) ふたは、リブ付でも、リブなしでもよい。

地中線4

化粧用鉄ふた2

SB2K-60

[単位 mm]



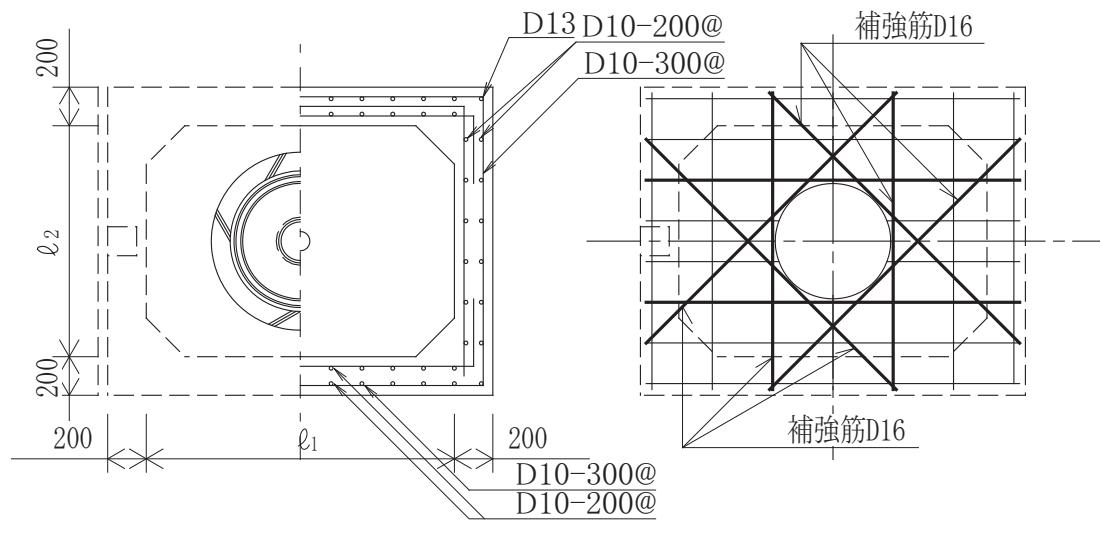
- 備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) 破壊荷重は、20kNとする。
(3) 簡易防水形とする。
(4) インターロッキングブロックで仕上できるものとする。
(5) ふたは、リブ付でも、リブなしでもよい。

地中線5

現場打マンホール

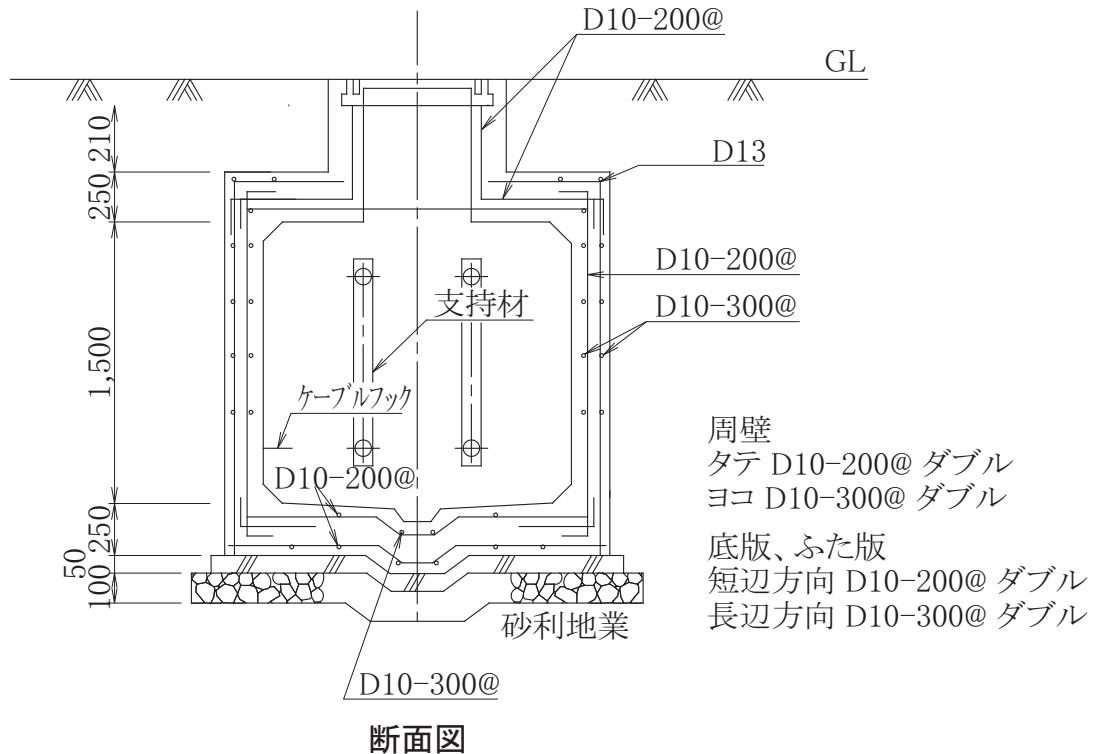
M₁

[単位 mm]



平面図

開口補強筋



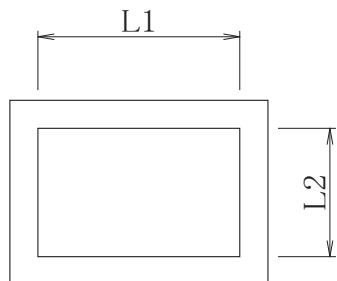
断面図

- 備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) 内法寸法 ℓ₁、ℓ₂ は、特記による。
(3) 鉄筋の重ね継手及び定着の長さは、40d以上とする。
(4) 内面コーナは、直角でもよい。
(5) 鉄ふたは、S2K又はS8Kを適用するものとする。

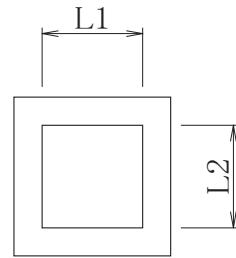
地中線6 ブロックマンホール・ブロックハンドホール1

H_1, H_2
 M_3, M_4

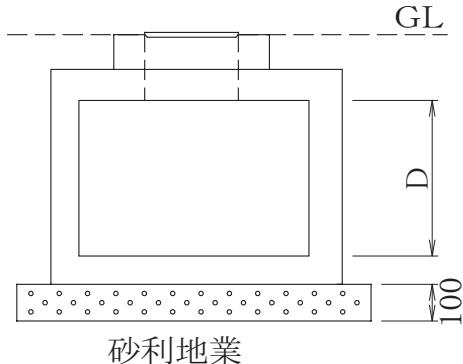
[単位 mm]



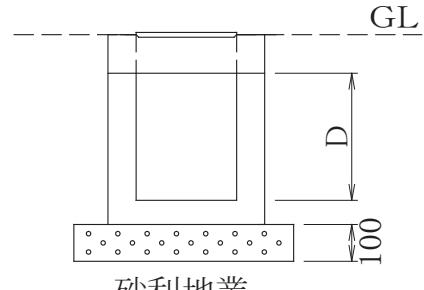
(M_3, M_4)



(H_1, H_2)



(M_3, M_4, H_2)



(H_1)

記号		有効寸法(内部)*			構造体標準厚さ	
		L_1	L_2	D	側面	底面
マンホール	M_3	1,800	1,000	1,500	150	200
	M_4	2,300	1,300	1,500	150	200
ハンドホール	H_{1-6}	600	600	600	60	80
	H_{1-9}	600	600	900	60	80
	H_{2-6}	900	900	600	70	90
	H_{2-9}	900	900	900	70	90

- 備考 (1) 図は、一例とし、種別に応じた有効寸法を有するものとする。
 (2) H_1 及び H_2 は、現場打ハンドホールとすることができます。
 (3) 構成は、一体形・多分割形いずれでもよい。ただし、多分割形の場合は各部がずれないように一体化する。
 (4) 配管用ノックアウトを有するほか、マンホール内には、支持材、ボルト、ケーブルフックを、ハンドホール内には、インサートを設ける。

注 * L_1 及び L_2 は、±5%以内、 D は最小値とする。

地中線7 ブロックマンホール・ブロックハンドホール2

ブロックマンホール、ブロックハンドホールの構造条件

種別	許容水平荷重 [kN/m ²]	許容鉛直荷重 [kN]	材料強度その他
M ₃	15	55 + 本体総質量 (鉄ふたを 含む。)	①鉄筋許容応力度 [N/mm ²] SD295A:180 SD345:200 SR235:140 SR295:160
M ₄	15		②コンクリート許容圧縮応力度 $= 7 \text{ [N/mm}^2\text{]}$
H ₁₋₆	21		③コンクリートと鉄筋の弾性比率=15
H ₁₋₉	17		④鉄筋のかぶり最小値[mm] $= 12 + \text{鉄筋径}/2$
H ₂₋₆	21		
H ₂₋₉	17		

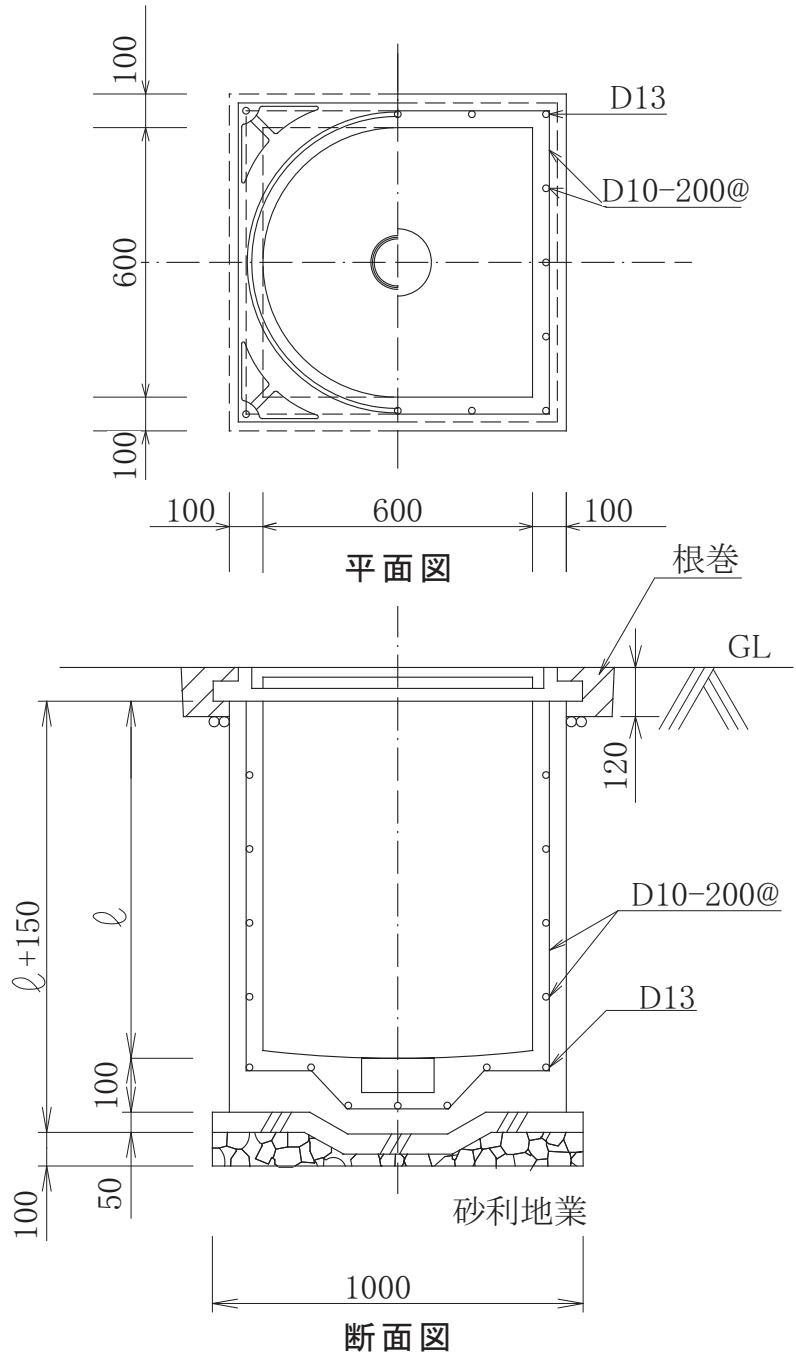
- 備考 (1) 種別は、「ブロックマンホール・ブロックハンドホール1」による。
(2) 構造条件で、本表に規定されていないものは、製造者の社内規格による。
(3) 車両の走行速度を十分に制限した構内(衝撃係数=0.1)に使用するものとする。

地中線8

現場打ハンドホール1

H₁₋₆
H₁₋₉

[单位 mm]



種 別	ℓ
H ₁₋₆	600
H ₁₋₉	900

備考 (1) 形状は、一例を示す。

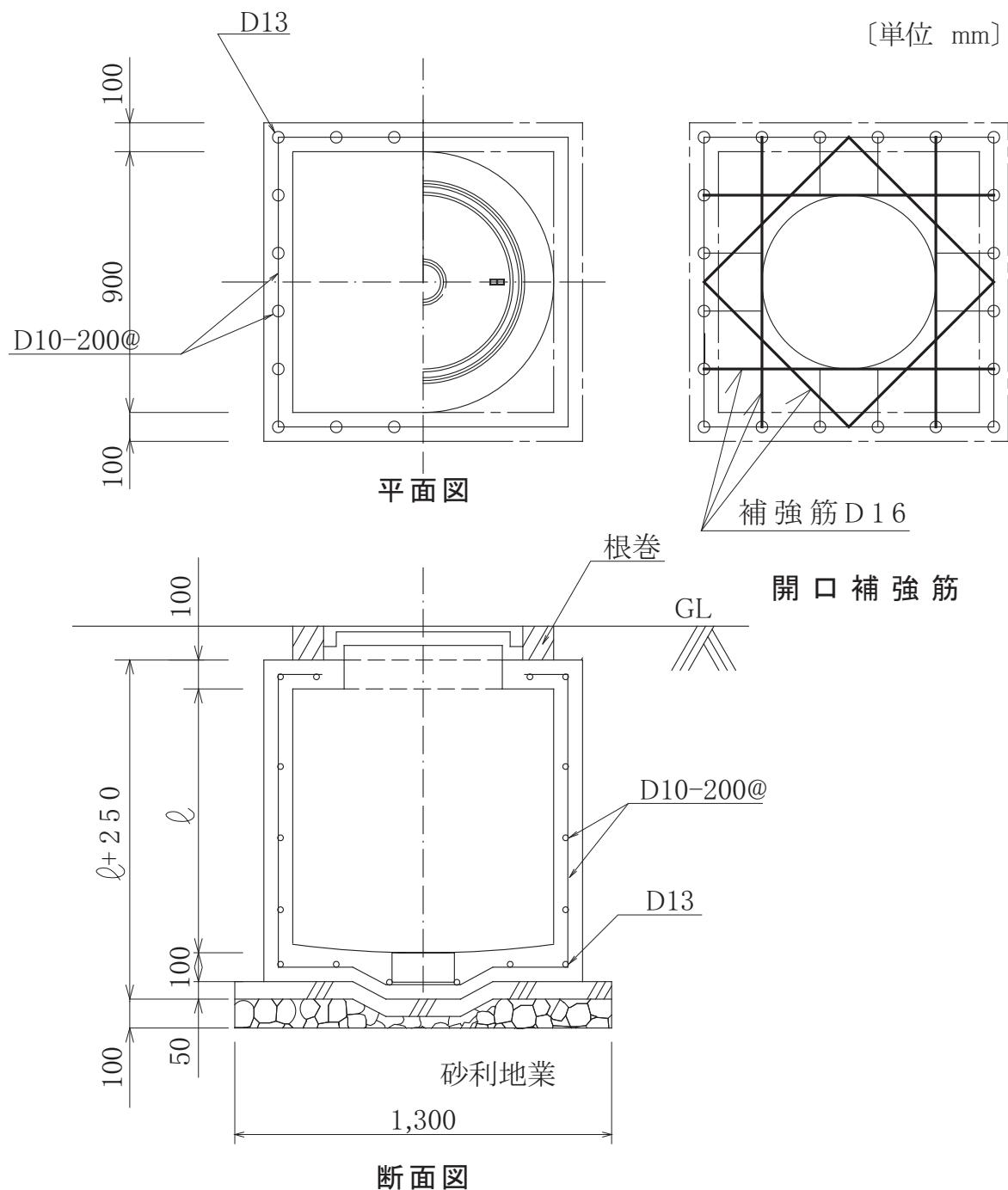
(2) 鉄筋の重ね継手及び定着の長さは、40d以上とする。

地中線9

現場打ハンドホール2

 H_{2-6}
 H_{2-9}

〔単位 mm〕



種 別	ℓ
H_{2-6}	600
H_{2-9}	900

備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) 鉄筋の重ね継手及び定着の長さは、40d以上とする。

地中線10

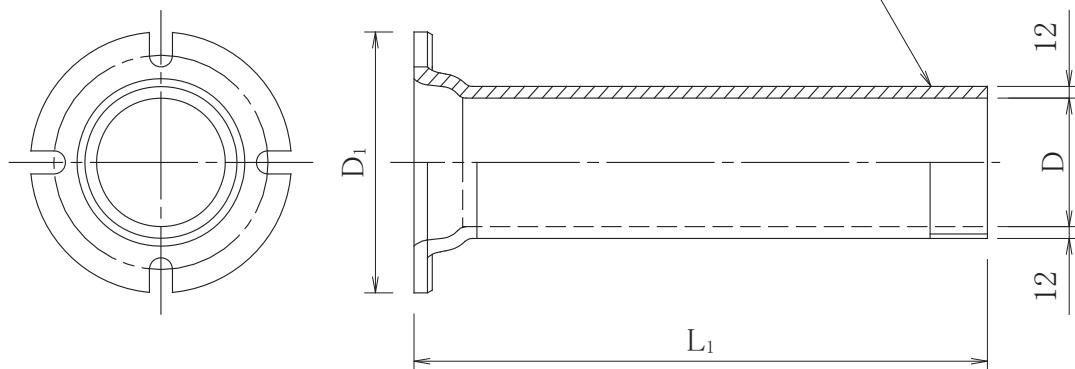
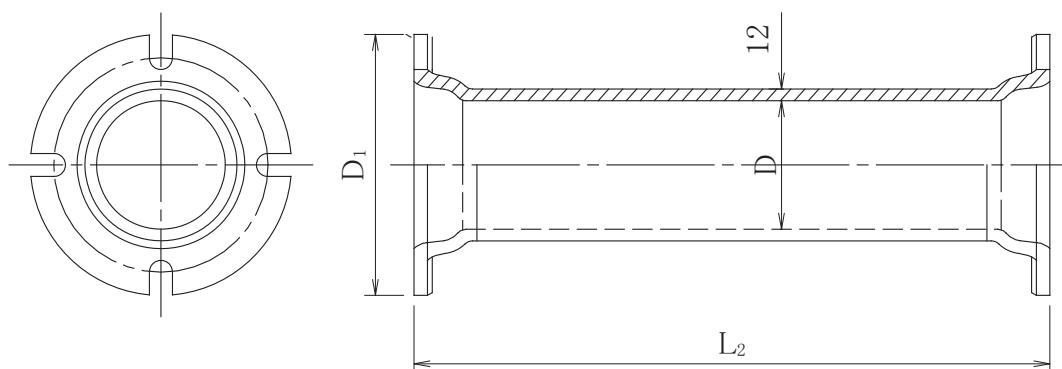
防水鋳鉄管

WI₁
WI₂

〔単位 mm〕

JIS B 0203「管用テーパねじ」に準ずる。

テーパ1/16 11山/25.4

片R (WI₁)両R (WI₂)

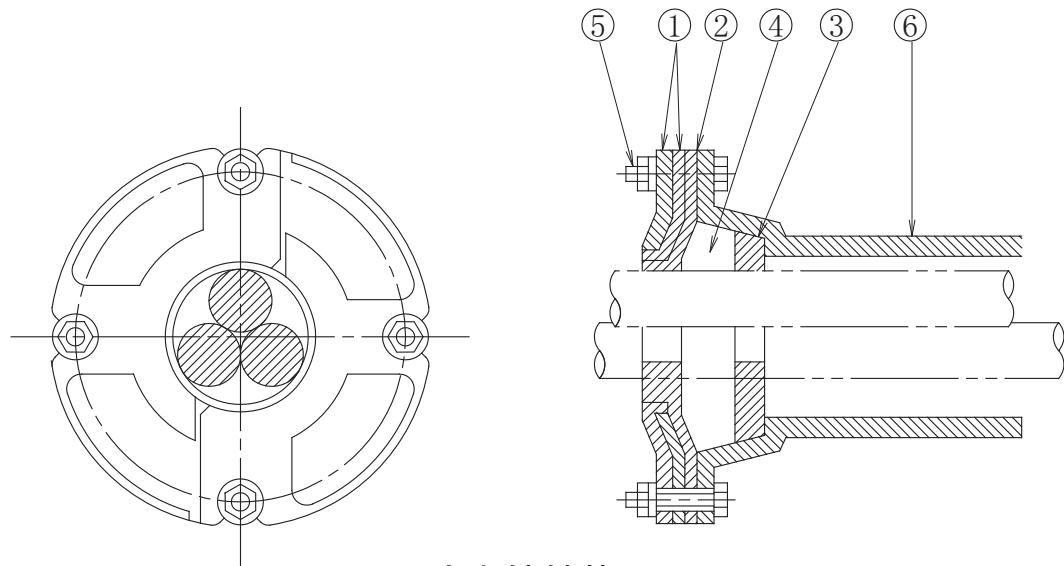
記号	寸法				
	D	D ₁	L ₁	L ₂	
WI ₁	-75	-6	75	600	650
		-9		900	950
	-100	-6	100	600	650
		-9		900	950
WI ₂	-130	-6	130	600	650
		-9		900	950
	-150	-6	150	600	650
		-9		900	950

- 備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) 本体とねじ付フランジを組合せたものとすることができる。
(3) 記号にAを付したものは、水切つば付とする。

地中線11

管路口防水装置

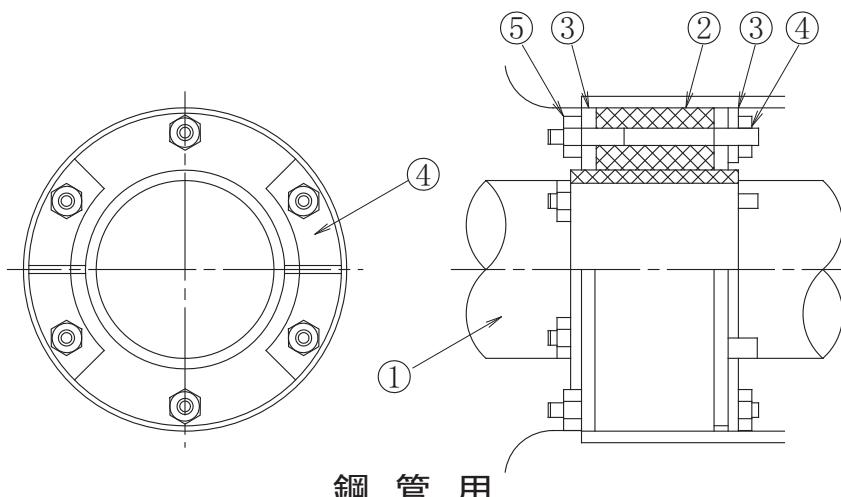
PEW1



防水鉄管用

番号	名称	番号	名称
1	締付金具	4	水密コンパウンド
2	パッキン	5	ボルト
3	パッキン	6	防水鉄管

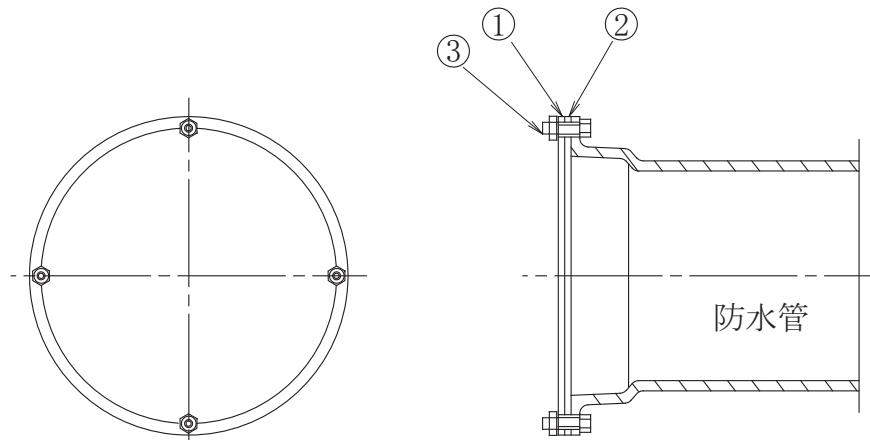
備考 形状は、一例を示す。



鋼管用

番号	名称	番号	名称	番号	名称
1	ケーブル	3	締付金具	5	締付ボルト、ナット
2	パッキン	4	連結板		

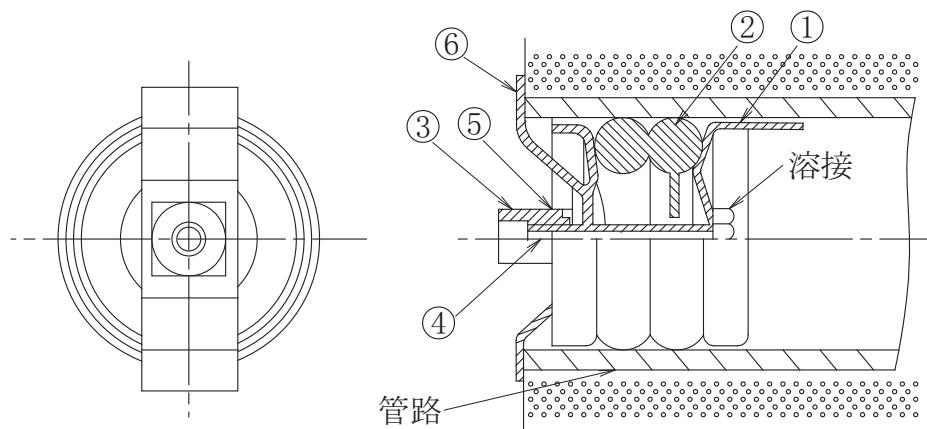
備考 形状は、一例を示す。



防水鉄管用

番号	名称
1	ふた
2	パッキン
3	ボルト

備考 形状は一例を示す。



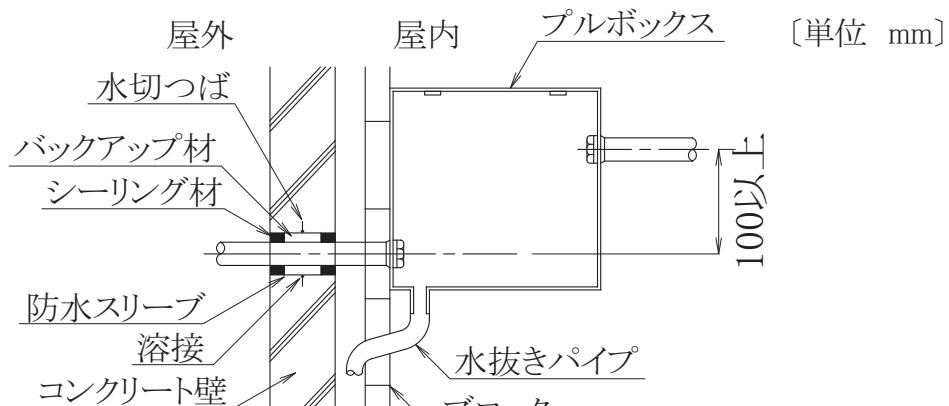
鋼管用

番号	名称	番号	名称
1	本体	4	六角ボルト
2	ゴム輪	5	平座金
3	特殊ナット	6	移動防止金物

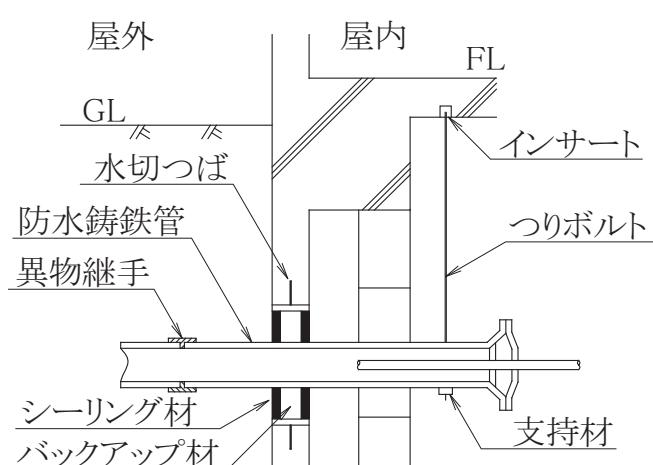
備考 形状は、一例を示す。

地中線13

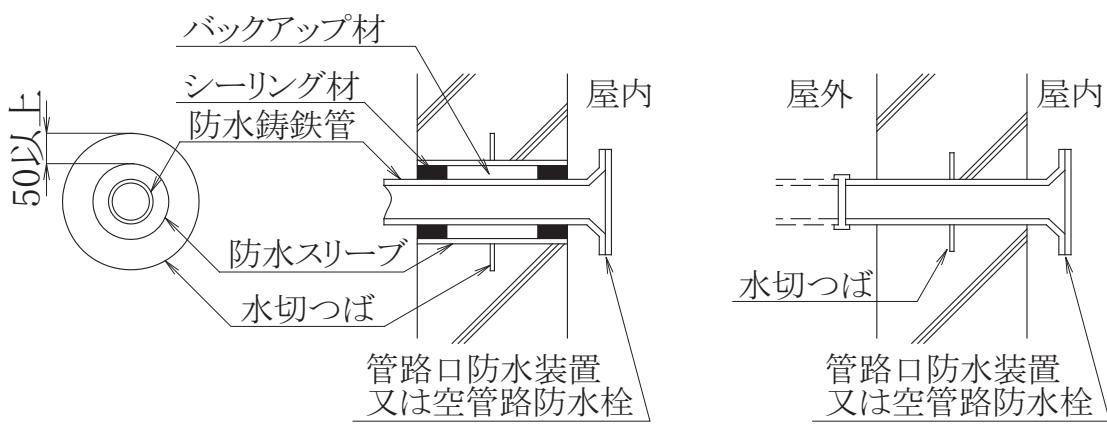
建物外壁貫通部



防水スリーブ使用の場合



防水铸鉄管使用の場合(スリーブ貫通)



(スリーブ貫通)
防水铸鉄管使用の場合

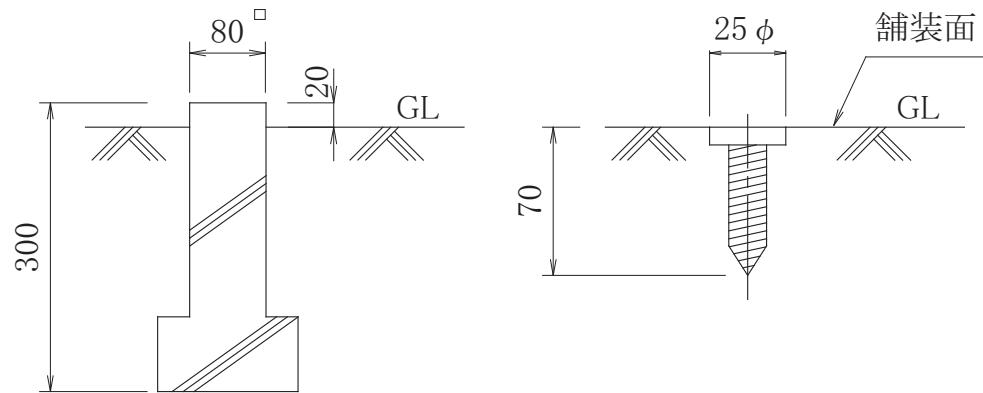
(直埋貫通)

- 備考 (1) 図は、一例を示す。
 (2) 水切つばは、50mm以上の鋼板、厚さ6mm以上とし、全周溶接とする。

地中線14

埋 設 標

[単位 mm]

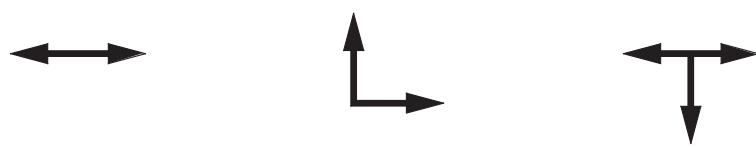


コンクリート製

鉄 製

図は舗装してない場合を示し
舗装した場合は、舗装面に合
わせる。

(アスファルト舗装の場合に限る。)



矢印

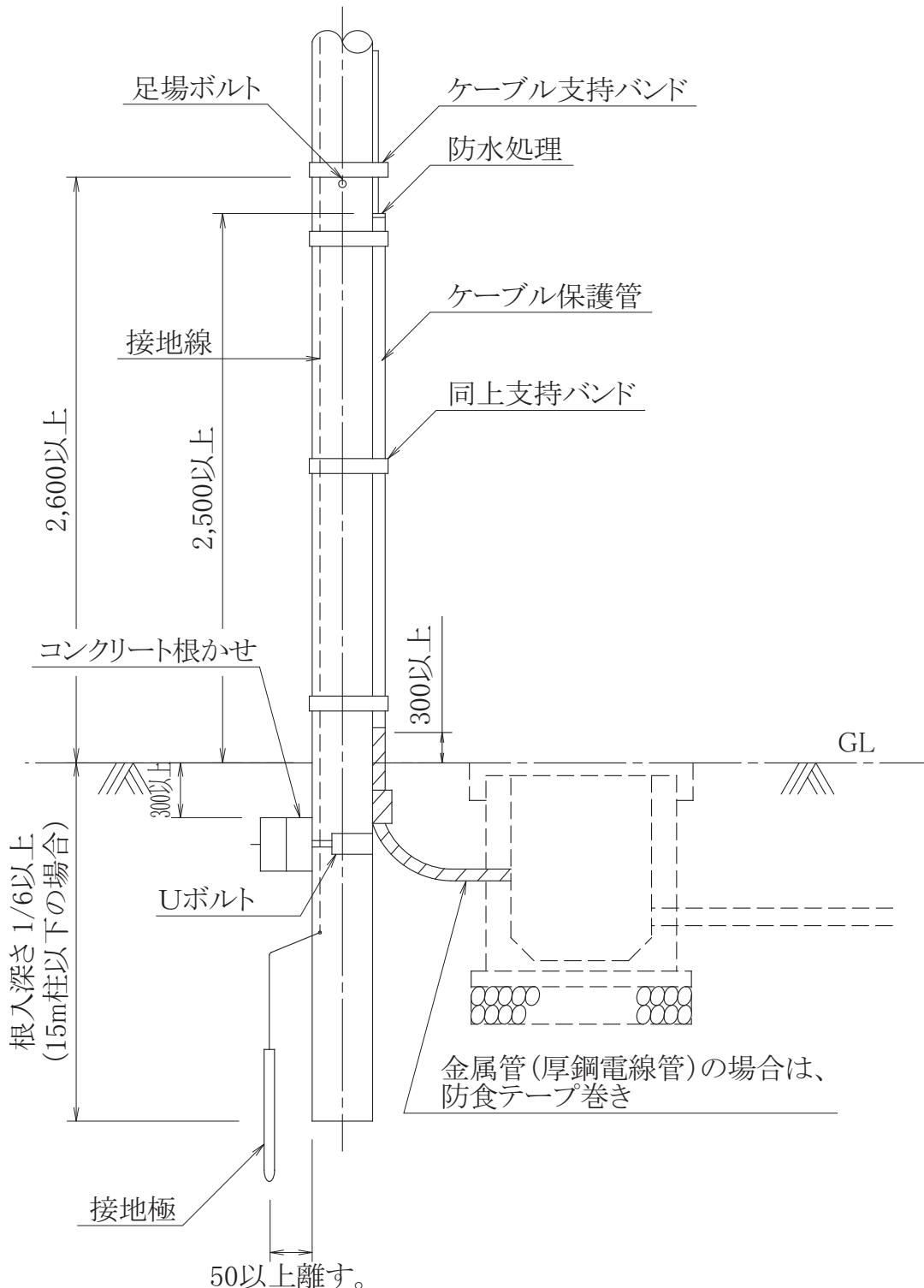
備考 (1) 図は、一例を示す。

(2) 頭部には、図示の矢印を表示する。矢印の色は、電力用は赤、通信用は
黄とする。

地中線15

引込柱及びケーブル保護管

[単位 mm]



備考 図は、一例を示す。

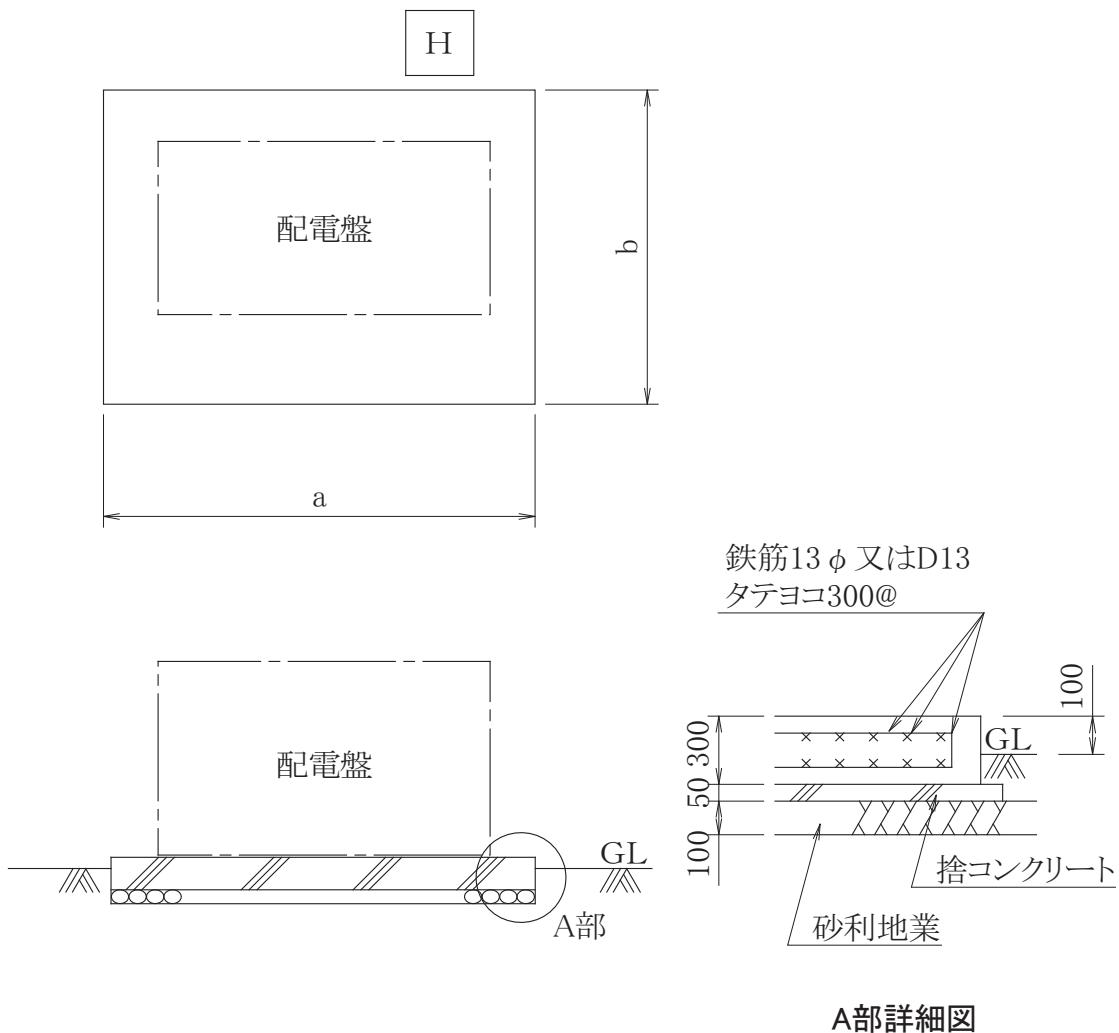
第 3 編

受変電設備工事

基礎

屋外用配電盤等の基礎

[単位 mm]



A部詳細図

- 備考 (1) 図は、一例を示す。
 (2) 地上部分は、モルタル仕上とし、水勾配を考慮する。
 なお、ふちは面取を施す。
 (3) a及びb寸法は、特記による。

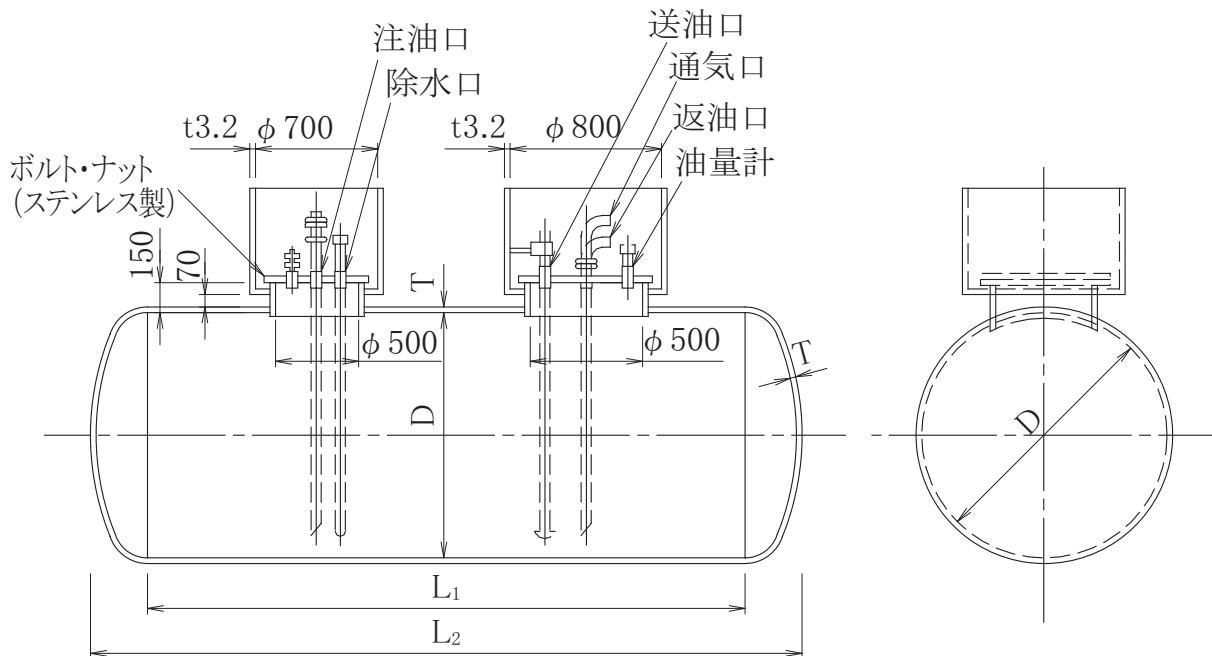
第 4 編

発電設備工事

貯油槽1

地下貯油槽

[単位 mm]



記号	容量 [ℓ]	寸法								
		D	L ₁	L ₂	T	注油口	送油口	返油口	通気口	除水口
TO- 0.95	950	750	2,100	2,441	4.5	65	25	40	32	40
TO- 1.5	1,500	850	2,600	2,982	6.0	65	25	40	32	40
TO- 1.9	1,900	950	2,600	3,020	6.0	65	25	40	32	40
TO- 3	3,000	1,200	2,600	3,118	6.0	65	25	40	32	40
TO- 4	4,000	1,300	2,850	3,406	6.0	65	25	40	32	40
TO- 5	5,000	1,300	3,650	4,206	6.0	65	25	40	32	40
TO- 6	6,000	1,400	3,750	4,346	6.0	65	25	40	32	40
TO- 7	7,000	1,500	3,800	4,434	6.0	65	25	40	32	40
TO- 8	8,000	1,500	4,400	5,034	6.0	65	25	40	32	40
TO- 10	10,000	1,600	4,850	5,542	9.0	65	32	50	32	40
TO- 12	12,000	1,800	4,500	5,270	9.0	65	32	50	50	40
TO- 13	13,000	1,800	4,950	5,720	9.0	65	32	50	50	40
TO- 15	15,000	1,800	5,750	6,520	9.0	65	32	50	50	40
TO- 18	18,000	1,900	6,200	7,010	9.0	65	40	65	50	40
TO- 20	20,000	1,900	6,950	7,760	9.0	65	40	65	50	40
TO- 25	25,000	2,000	7,900	8,748	9.0	65	40	65	50	40
TO- 30	30,000	2,200	7,800	8,726	9.0	65	40	65	50	40

備考 (1) 形状及び寸法は、一例を示す。

(2) 危険物の規制に関する政令及び関係法令により製作する。

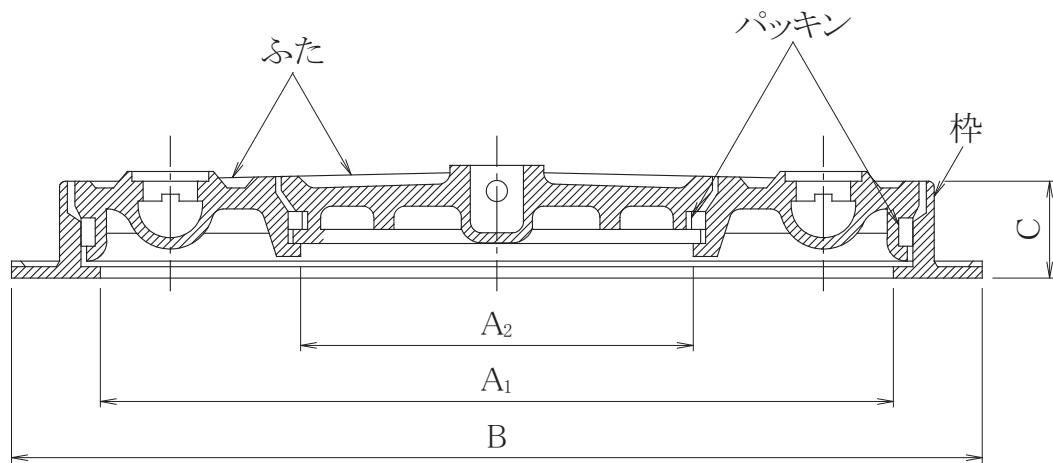
(3) マンホールふたは、油槽ふた(二重ふた付)とする。

貯油槽2

油槽ふた(二重ふた付)

WPM-AW
WPM-DW

〔単位 mm〕



記号	寸法			
	A ₁	A ₂	B	C
WPM-70AW(DW)	700	300	860以上	75以上
WPM-80AW(DW)	800	300	1,040以上	100以上

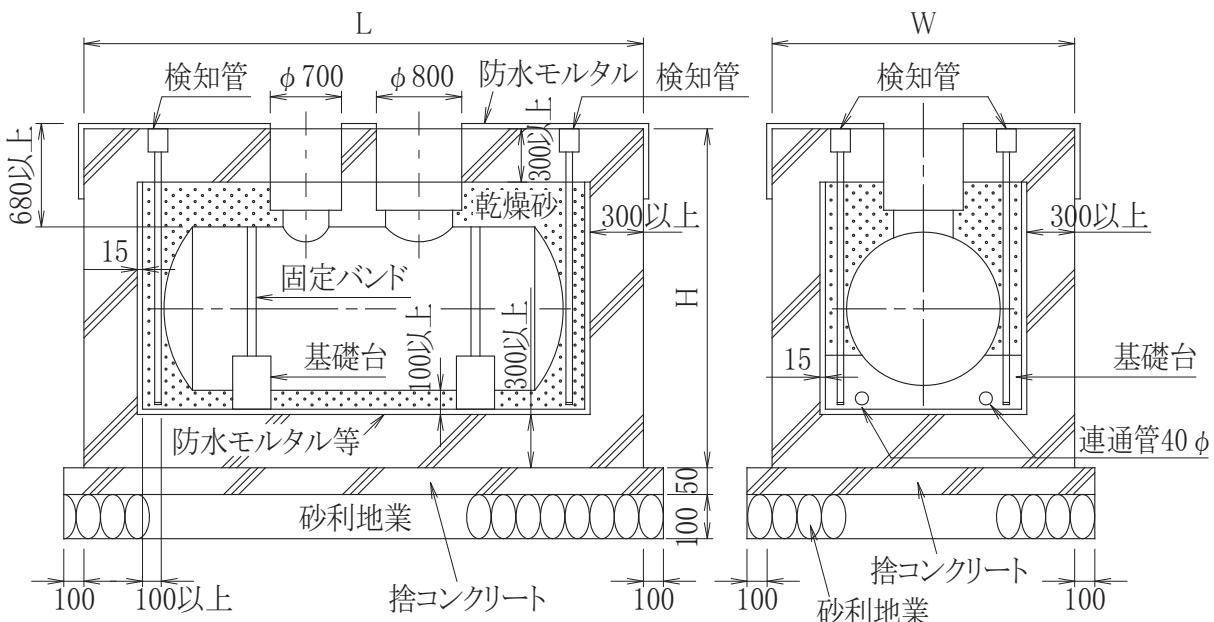
備考 (1) AW形は、鋳鉄製、DW形は球状黒鉛鋳鉄製とし、ふた表面に「油槽」の文字を鋳出す。

(2) AW形の破壊荷重は、60kN、DW形の破壊荷重200kNとする。

貯油槽3

地下貯油槽据付け例

[単位 mm]



記号	寸法		
	L	W	H
TO- 0.95	3,800	2,000	1,850
TO- 1.5	4,300	2,100	1,950
TO- 1.9	4,350	2,200	2,050
TO- 3	4,450	2,450	2,300
TO- 4	4,800	2,550	2,400
TO- 5	5,600	2,550	2,400
TO- 6	5,850	2,650	2,500
TO- 7	5,900	2,750	2,600
TO- 8	6,500	2,750	2,600
TO- 10	7,150	2,850	2,700
TO- 12	6,800	3,050	2,900
TO- 13	7,200	3,050	2,900
TO- 15	8,000	3,050	2,900
TO- 18	8,550	3,150	3,000
TO- 20	9,250	3,150	3,000
TO- 25	10,250	3,250	3,100
TO- 30	10,300	3,450	3,300

備考 (1) 形状及び寸法は、一例を示す。

(2) 危険物の規制に関する政令及び関係法令による構造及び据付けとする。

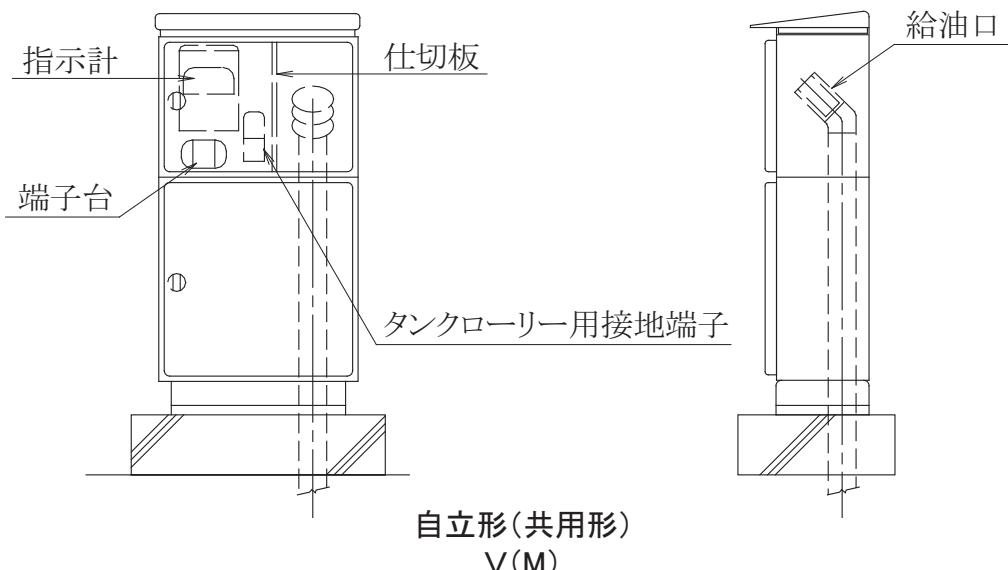
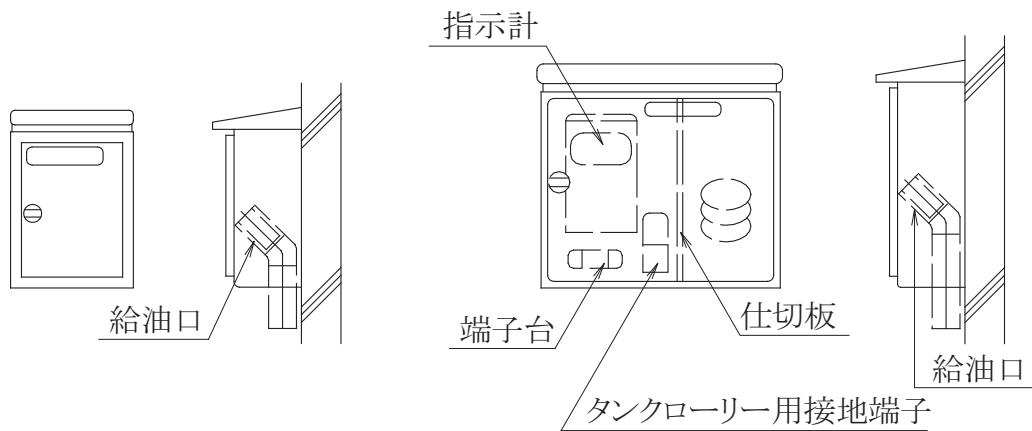
貯油槽4

給油ボックス

(1) 記号

記号	形 式	記号	備 考
V	自立形	—	単独形
W	壁掛形	M	共用形(指示計等収容)

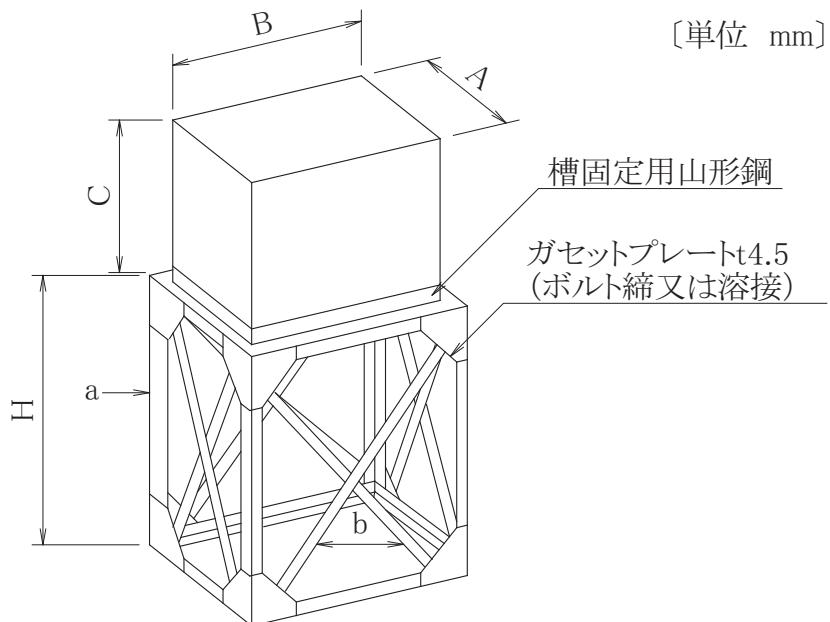
(2) 形式



備考 図は、一例を示す。

小出槽1

燃料小出槽、減圧水槽・初期注水槽及び架台



備考 槽の固定方法、補強鋼材bの本数、方法等は、一例を示す。

(1) 燃料小出槽及び減圧水槽・初期注水槽の容量、寸法及び板厚

名称	記号	容量[ℓ]	槽寸法			板厚			点検口
			A	B	C	底板	側板	上板	
燃料小出槽	TOSG-100	100	400	450	615	3.2	3.2	3.2	$\phi 250$
	TOSG-150	150	500	500	665				
	TOSG-190	190		600	700				
	TOSG-300	300	600	650	855				
	TOSG-390	390	650	870	790				
	TOSG-500	500	800	850	815				
	TOSG-950	950	1,000	1,000	1,055	4.5	3.2	3.2	
減圧水槽	TEG-200	200	700	850	550	3.2(3.0)	2.0(2.0)	2.0(2.0)	$\square 250$
	TEG-500	500	800	900	950	3.2(3.0)	2.0(2.0)	2.0(2.0)	
	TEG-1000	1,000	850	1,200	1,250	4.5(4.0)	3.2(3.0)	2.6(2.5)	

備考 (1) 寸法は、一例を示す。

(2) 板厚は、最低値を示し、()内は、ステンレス製の場合を示す。

(2) 架台の高さ及び寸法

名称	記号	架台高さ		本体鋼材	補強鋼材		
		H	a				
燃料小出槽	TOSG-100	1,500	L-40×40×5	L-40×40×5	L-40×40×5		
	TOSG-150						
	TOSG-190						
	TOSG-300	2,000	L-50×50×6				
	TOSG-390						
	TOSG-500						
	TOSG-950						
減圧水槽	TEG-200	1,500	L-50×50×6	L-40×40×5	L-60×60×6		
	TEG-500						
	TEG-1000	2,000	L-65×65×6				

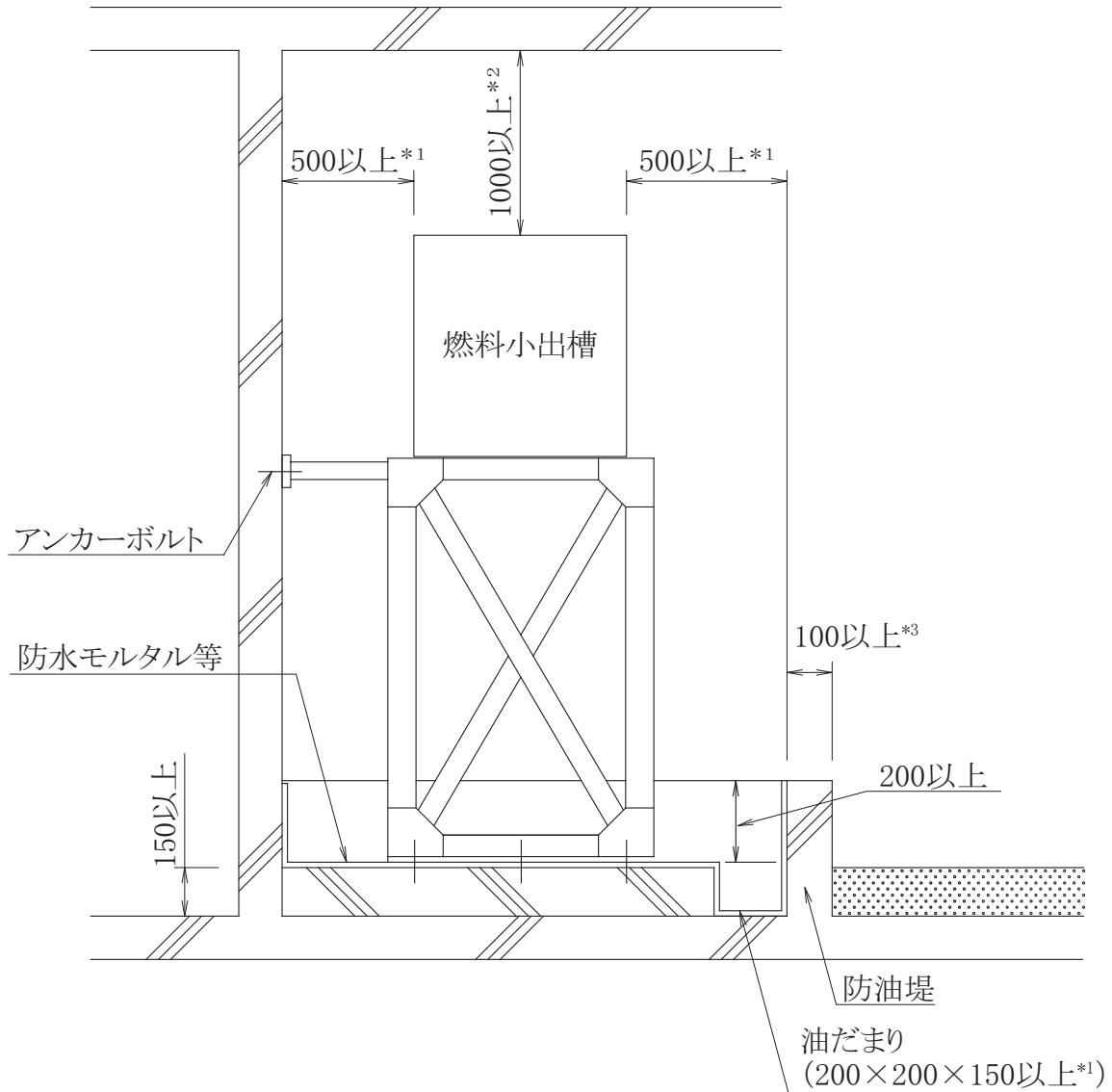
備考 (1) 架台高さHは、参考値とし、原動機高さに応じた高さとする。

(2) 本体鋼材a及び補強鋼材bの寸法は、最低値を示す。

小出槽2

燃料小出槽据付例

[単位 mm]



備考 防油堤に貯められる油量は、燃料小出槽の容量以上とする。

注 *1 条例により検討する。

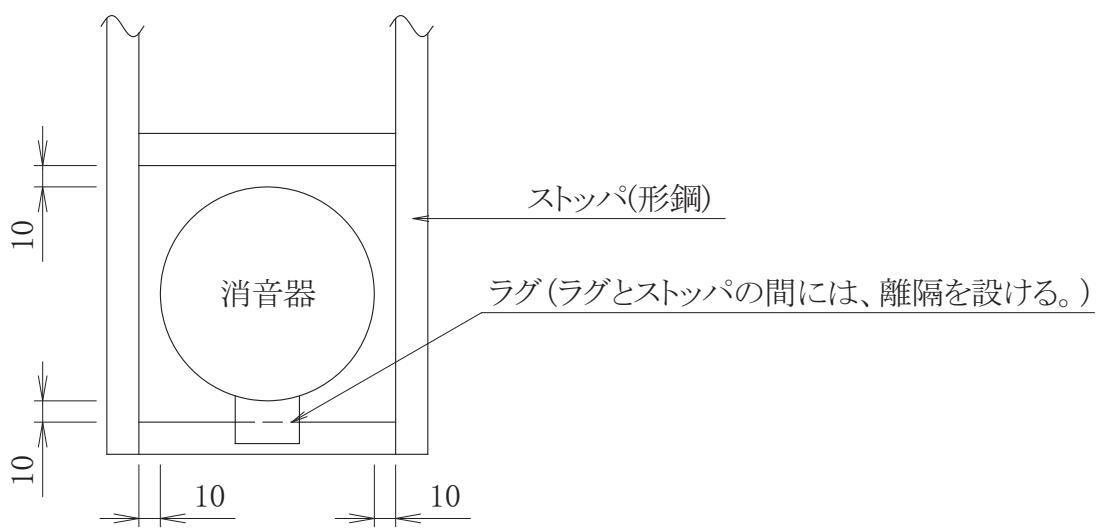
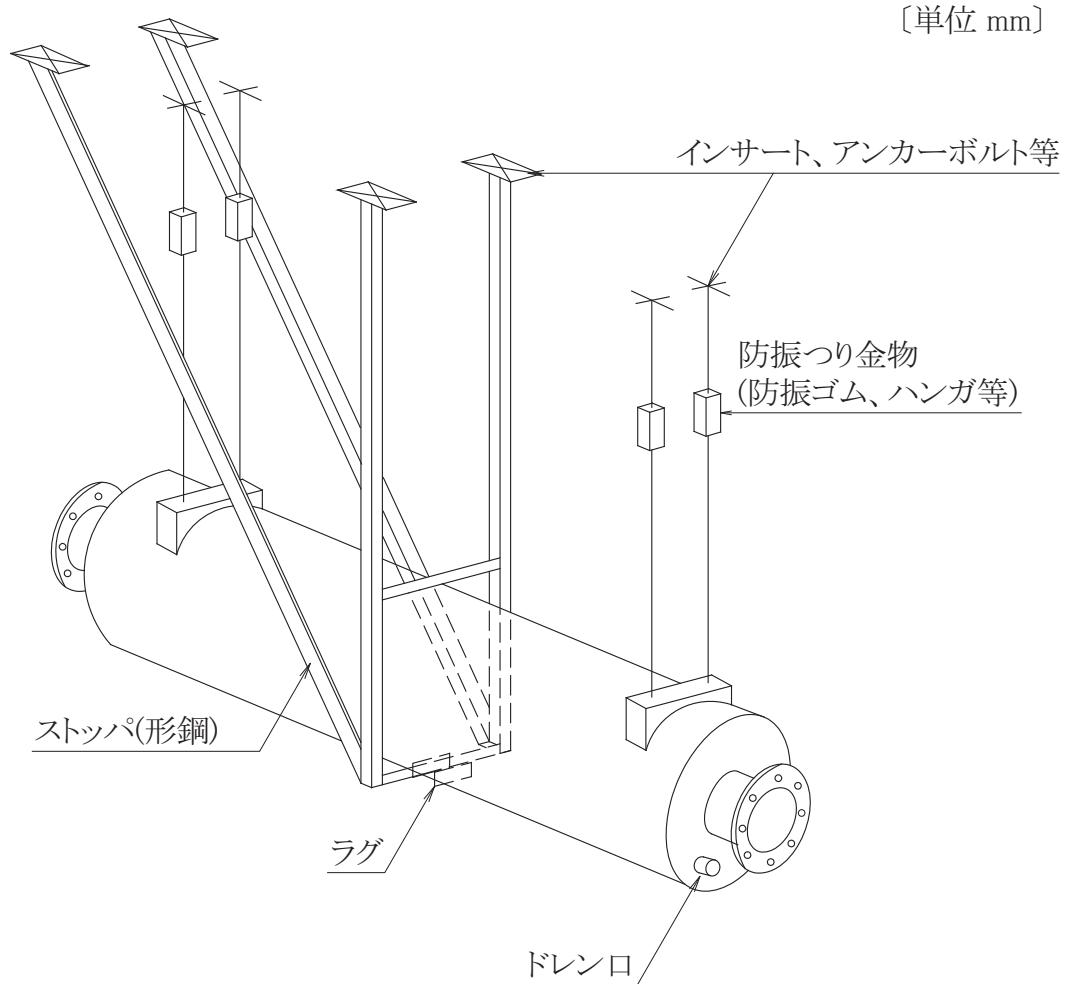
*2 メンテナンススペースを確保する。

*3 コンクリート、コンクリートブロック等の場合を示す。

消音器

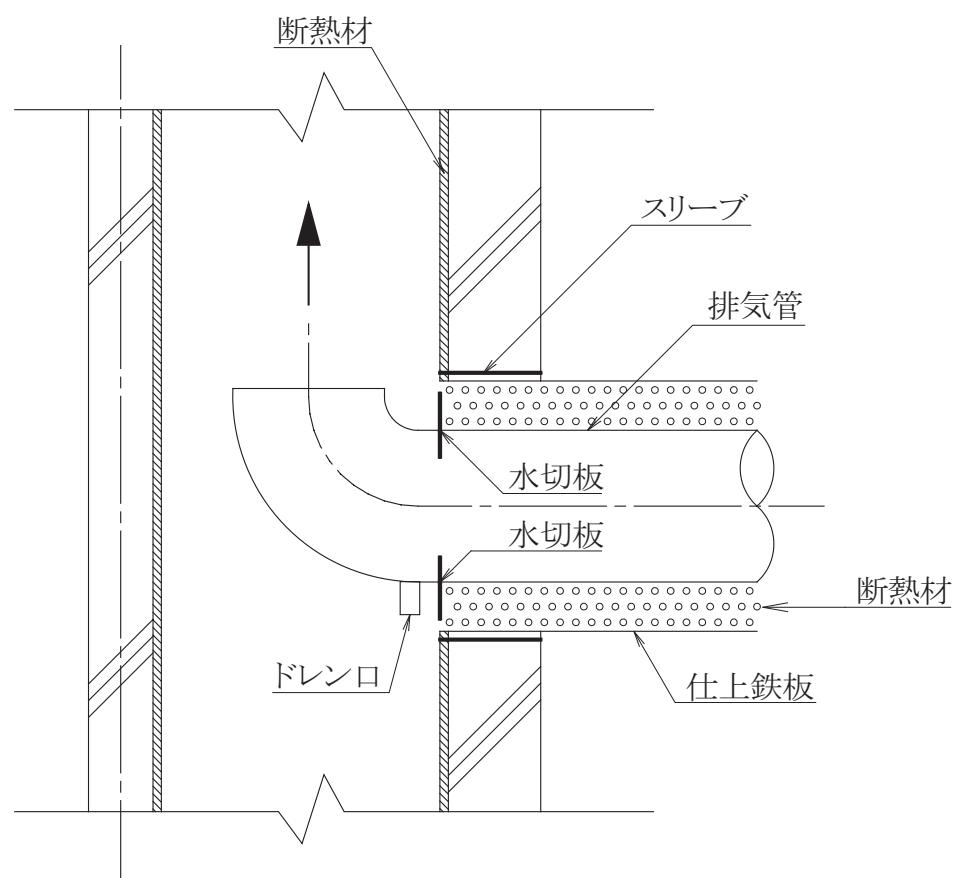
消音器支持例

[単位 mm]



排気管

排気管と煙突の接続例

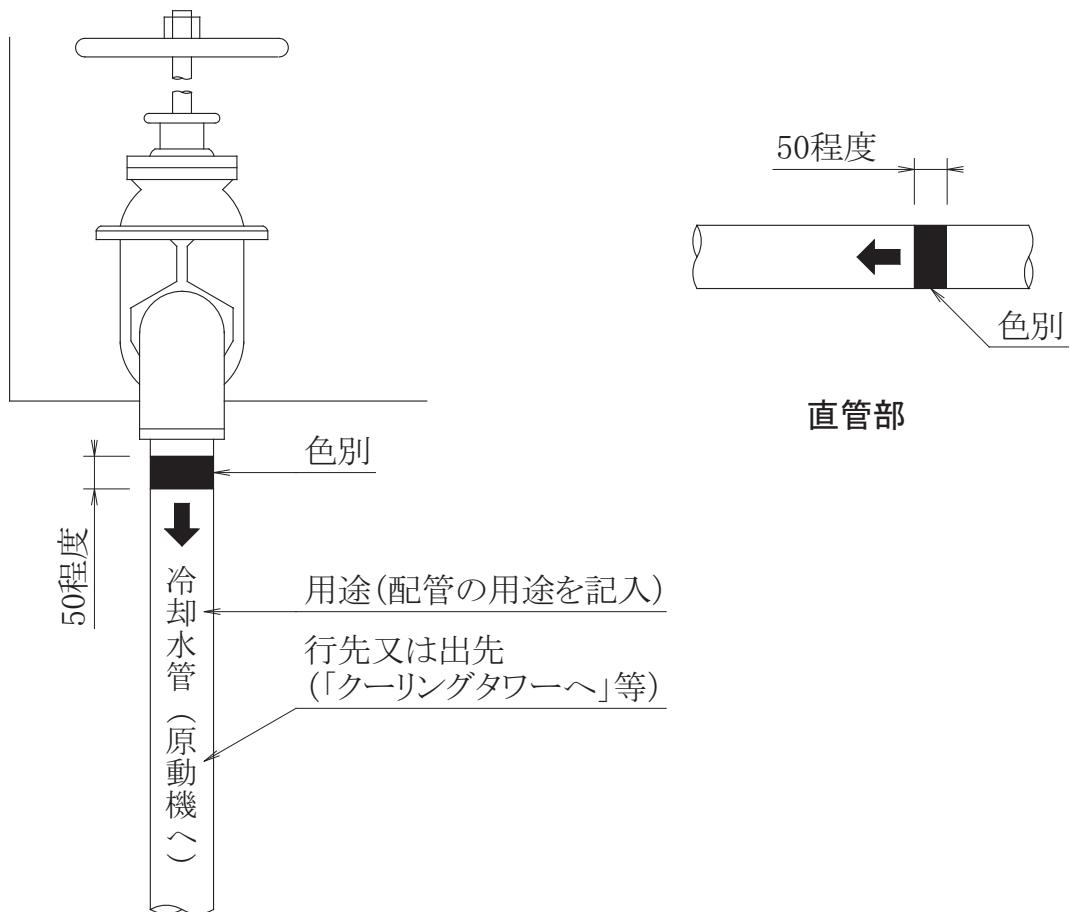


成形煙突との接続例

配管

配管色別の施工例

[単位 mm]



機器の出入口

配管の用途	燃料油配管	冷却水配管	空気配管	潤滑油配管	燃料ガス配管
色	赤	青	白	黄	うすい黄

- 備考 (1) 通気管は、その流体の種類の色とし、通気と明示する。
 (2) 通気管の屋外露出部分は、指定色とする。
 (3) 矢印、文字の色は、下地により白又は黒とする。

第 5 編

通信・情報設備工事

端子盤1

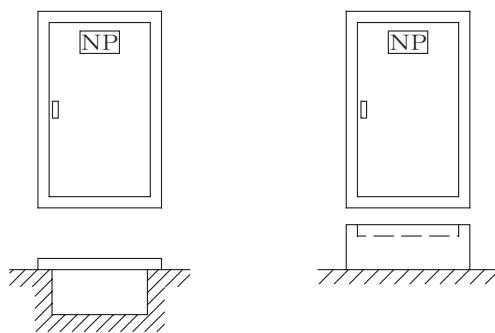
端子盤、集合保安器箱

(1) 記号

キャビネット形式		端子板又は集合保安器		列数
		種類	実装数と容量	
G	埋込形 折曲式	B	B形	実装数/容量*
		E1	E1形	
		E2	E2形	
T	露出形 折曲式	D	D形	4 5 6
		F	F形	
		G	G形	
		H	集合保安器	

注 * 実装数/容量は、対数(P)を示す。

(2) 形式



埋込形折曲式
G

露出形折曲式
T

備考 図は、一例を示し、前面枠の取付方法、枠幅の大小、周囲又は上下に枠のないもの、両開き等の形状の詳細は拘束しない。

(3) 表示例

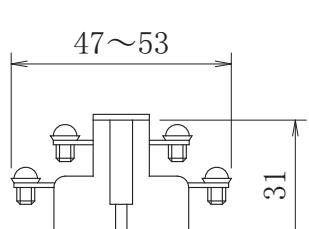
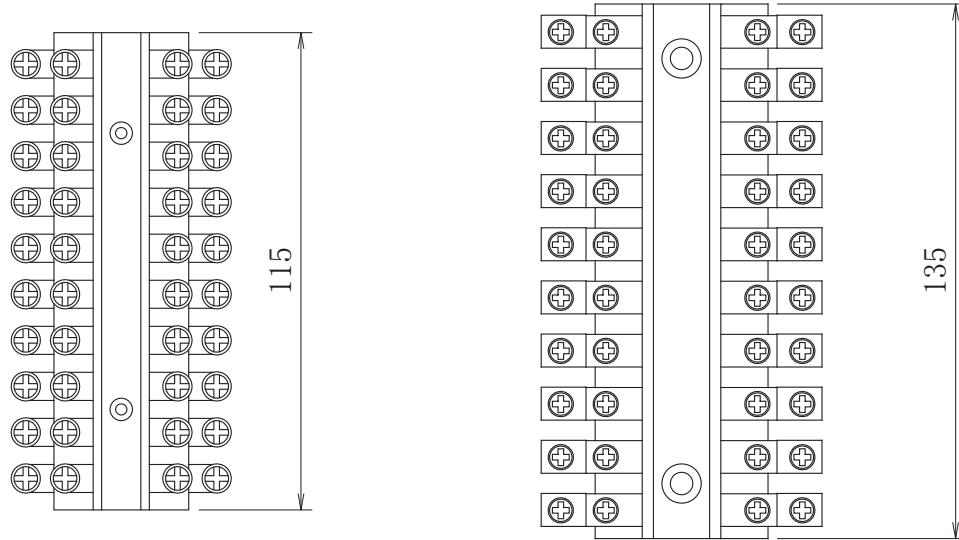
例	記号	説明
例1	GF-70/90-3	キャビネット形式G形、端子板の種類F形、端子板の容量90P、実装70P、端子板の列数3の端子盤
例2	TH-0/20-2	キャビネット形式T形、集合保安器容量20P、実装0、通信用SPDの列数2の集合保安器箱
例3	T[H-0/15-1] [E1-0/80-2]	キャビネット形式T形、集合保安器(容量15P、実装0、列数1)及び端子板(種類E1形、容量80P、実装0、列数2)を収容する集合保安器箱

端子盤2

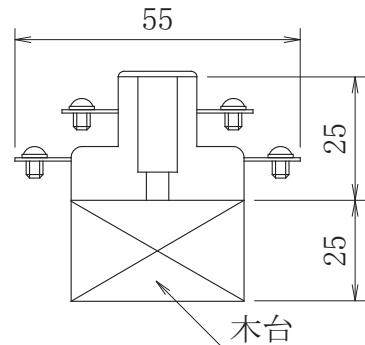
端 子 板 1

B・D

[単位 mm]



B形端子板(10対)
(両ねじ)



D形端子板(10対)
(両ねじ)

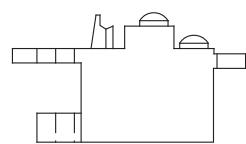
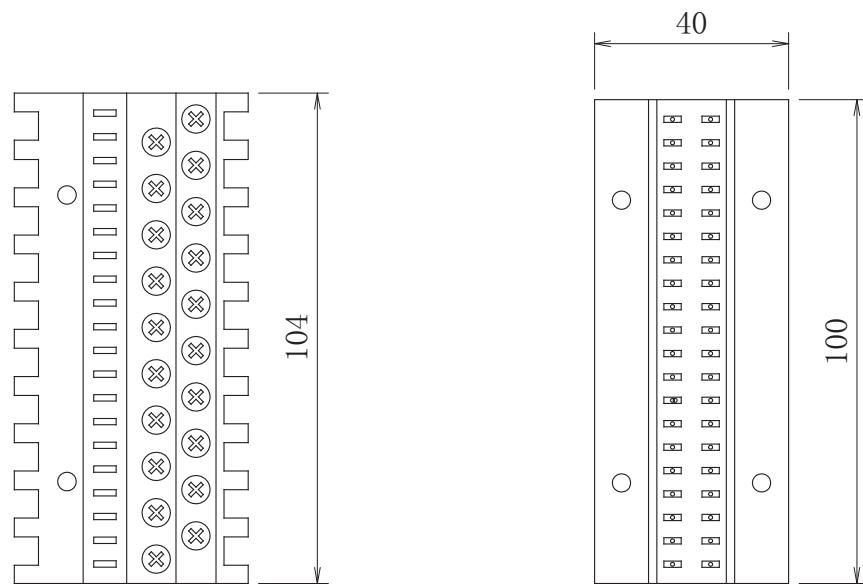
備考 (1) 形状及び寸法は、一例を示す。
(2) 必要に応じ座金を使用する。

端子盤3

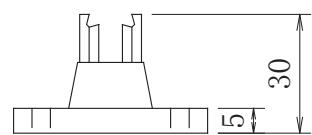
端 子 板 2

E1・E2

[单位 mm]



E1形端子板(10対)
(片ねじ、片クリップ)



E2形端子板(10対)
(両クリップ)

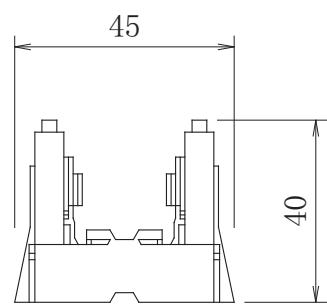
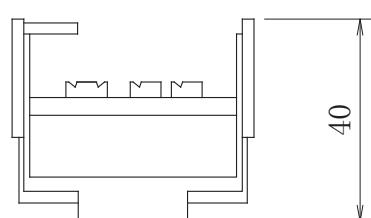
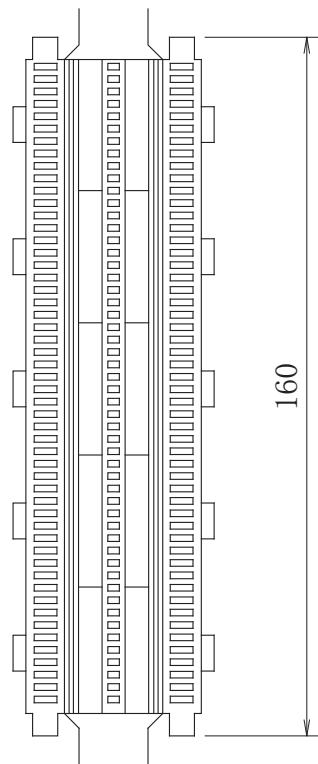
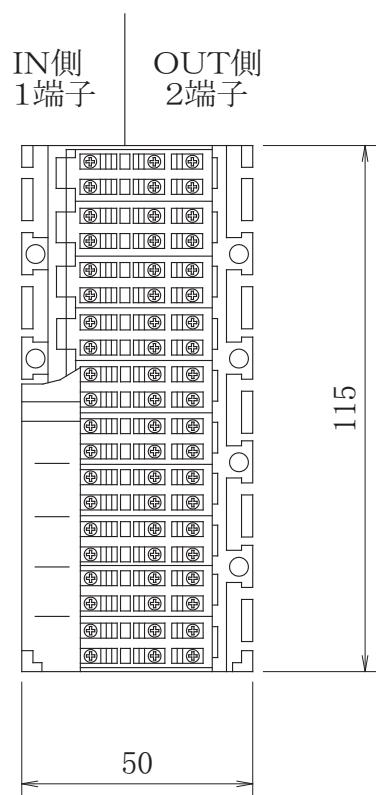
備考 (1) 形状及び寸法は、一例を示す。
(2) 必要に応じ座金を使用する。

端子盤4

端 子 板 3

F・G

[单位 mm]



F形端子板(10対)

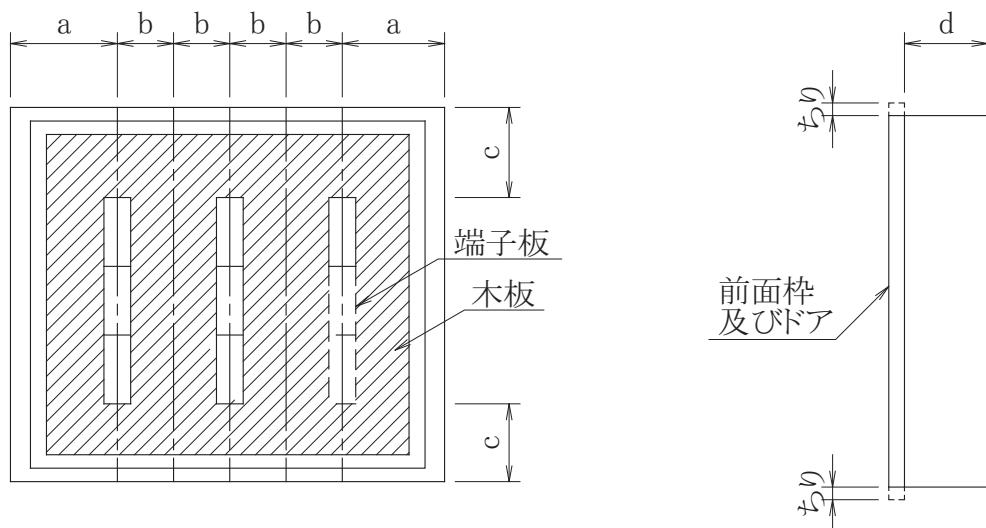
G形端子板(25対)
(圧接接続端子)

備考 形状及び寸法は、一例を示す。

端子盤5

端子盤の標準寸法

[単位 mm]



備考 前面枠の破線部分は、埋込形の場合を示し、ちりは15~25mmとする。

1列の端子 列の対数 (最大)	B・E1・E2・F形端子板			D形端子板		
	a	b	c	a	b	c
10P	110	60	110	120	65	120
20P	120	60	120	130	65	130
30P	130	70	140	140	75	150
40P	140	70	160	150	75	170
50P	150	70	180	160	75	190
60P	160	85	200	170	90	210

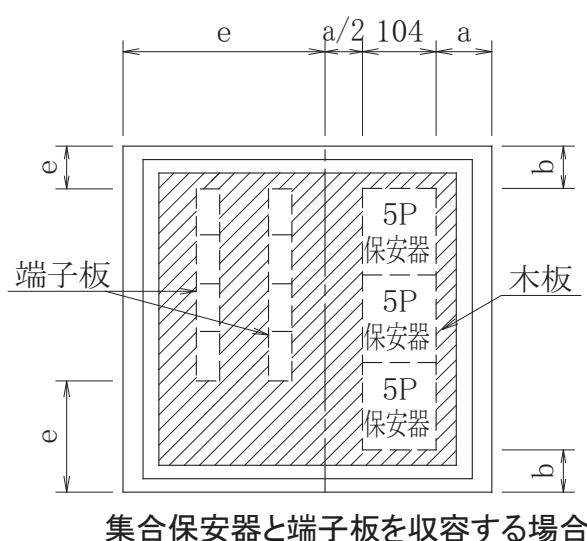
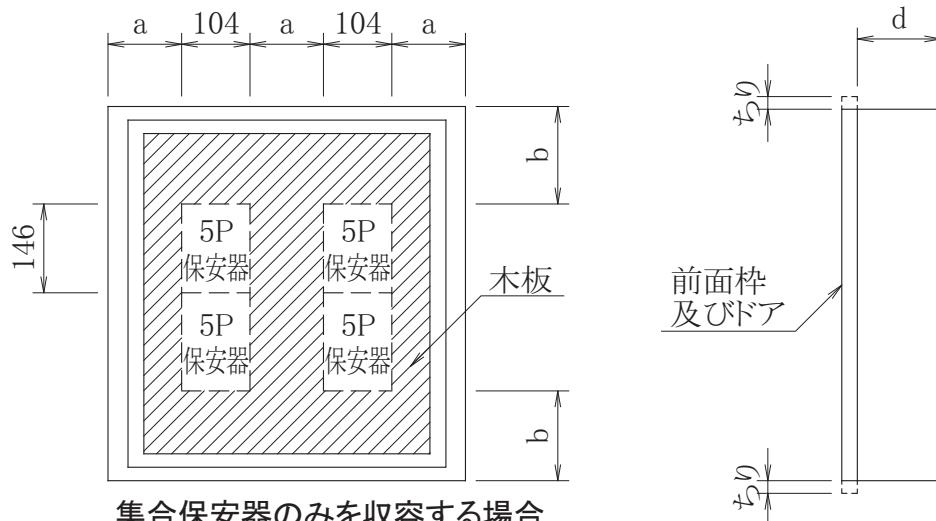
1列の端子 列の対数 (最大)	G形端子板			端子盤の容量	d
	a	b	c		
25P	110	70	110	40P以下	90
50P	150	70	180	40Pを超える150P以下	100
100P	190	90	250	150Pを超えるもの	120

備考 (1) 木板は、配線の施工に必要な大きさとする。
(2) セパレータを設ける場合は、セパレータと端子板間の距離を1.5bとする。
(3) 寸法は、最小値を示す。

端子盤6

集合保安器箱の標準寸法

[単位 mm]



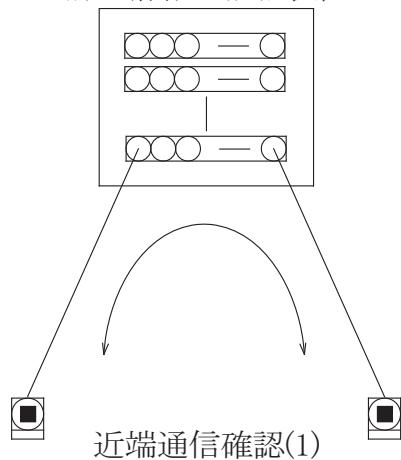
保安器の容量	a	b	d	e
40P以下	100	120	100	「端子盤の標準寸法」による。
40Pを超え80P以下	120	140	100	

- 備考 (1) 木板は、配線の施工に必要な大きさとする。
(2) 集合保安器と端子板を収容する場合で、端子板の合計が150Pを超えるものは、d寸法を120mmとする。
(3) 前面枠の破線部分は、埋込形の場合を示し、ちりは15~25mmとする。
(4) 寸法は、最小値を示す。

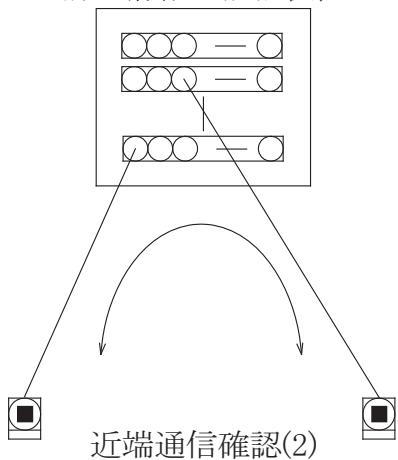
構内情報通信網

施工試験方法

構内情報通信網装置

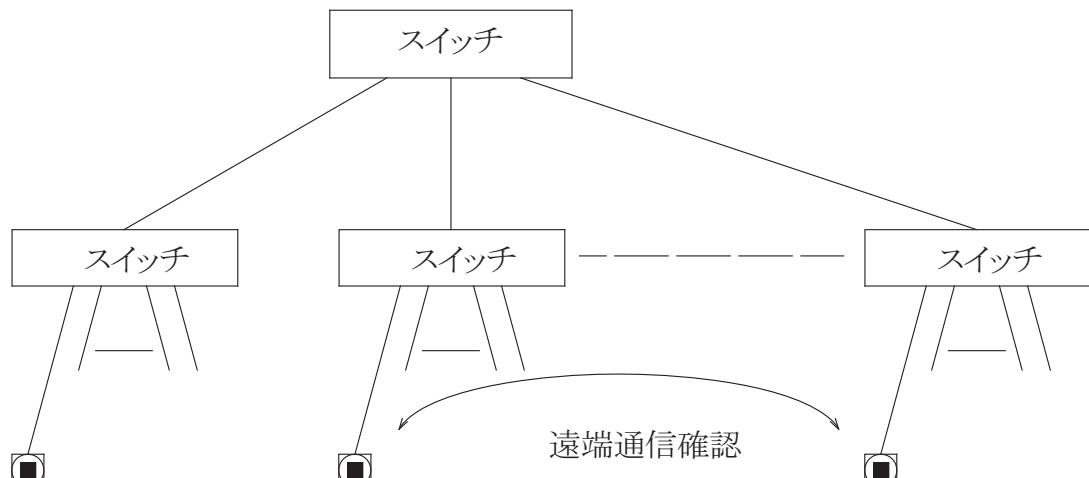


構内情報通信網装置



□○○ — ○ インタフェースボード

近端通信確認

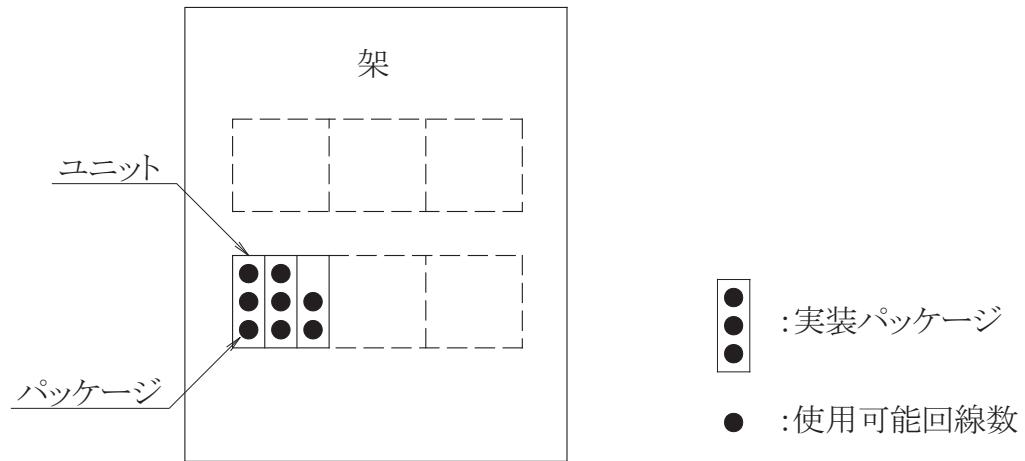


遠端通信確認

構内交換

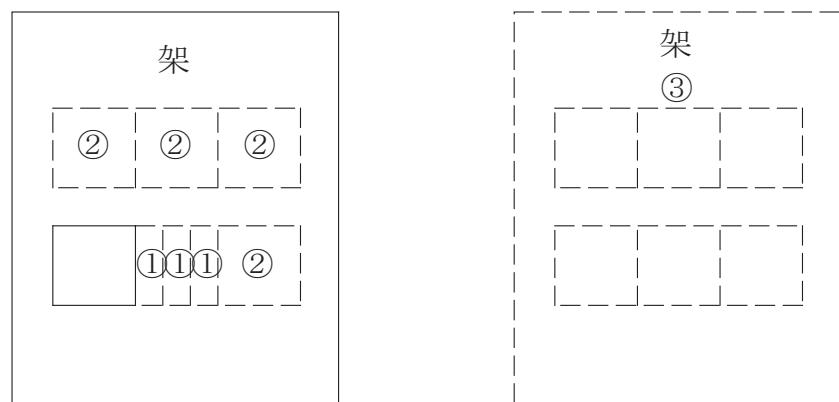
交換機の実装数／容量

(1) 実装数



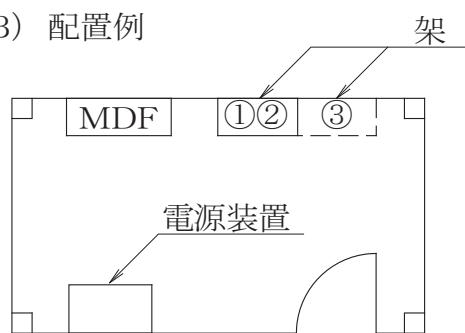
備考 当初に実装されたパッケージの範囲内で使用可能な回線数とする。

(2) 容量



備考 ①パッケージの増設、②ユニットの増設、③架の増設等により収容可能となる回線数とする。

(3) 配置例



備考 電源装置は、容量に応じたものとする。ただし、ユニット又は架の中に電源装置の増設が可能な場合は、この限りではない。

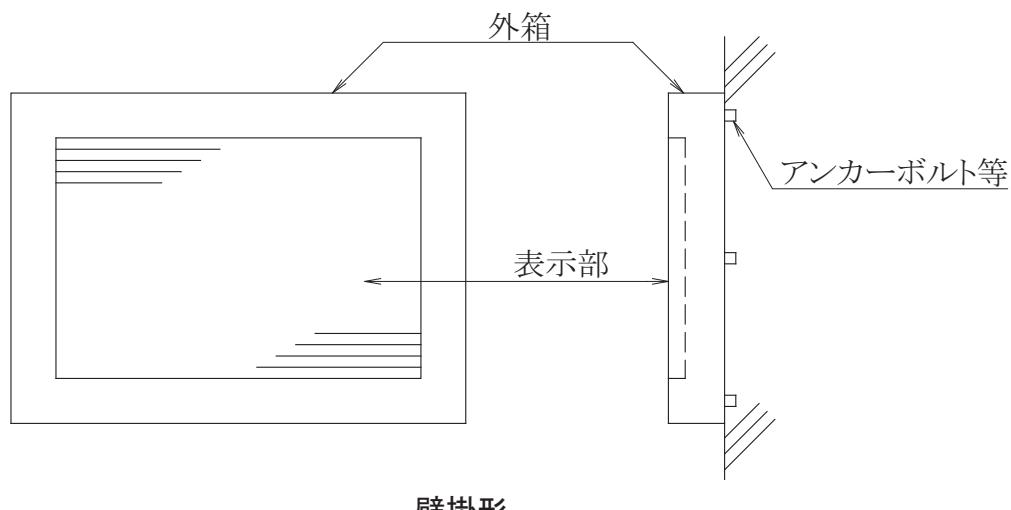
情報表示

マルチサイン装置の記号

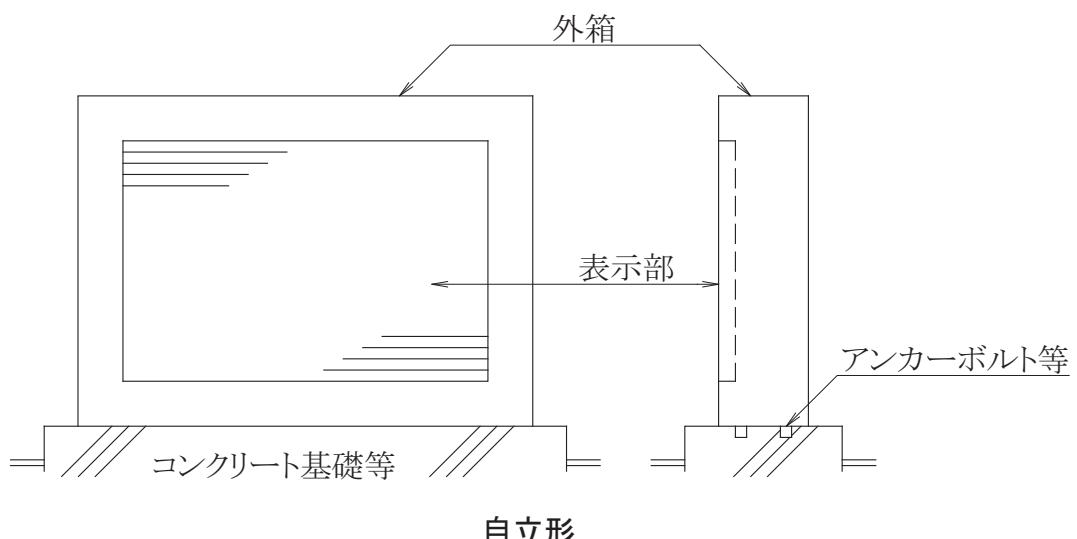
(1) 記号

分類	記号	内 容
表示方式	JD4	発光ダイオード(4色)式
	JDF	発光ダイオード(フルカラー)式
	JP	プラズマ式
	JL	液晶式
形式	W	壁掛形
	V	自立形

(2) 形式



壁掛形



自立形

備考 図は、一例を示す。

出退表示1発光ダイオード式表示盤の記号及び表示例

(1) 記号

分類	記号	内容
機種	I _P	パルス伝送式表示盤
表示方式	2D	2モード形発光ダイオード
	4D	4モード形発光ダイオード
回路方式	1	発信回路を内蔵しないもの
	2	発信回路を内蔵するもの*
形式	W _V	壁掛形で縦書のもの
	W _H	壁掛形で横書のもの
表示窓の大きさ	10	30mm×100mm
窓数	⑩	⑩窓

備考 卓上式表示器の記号もこれに準じる。ただし、表示窓の大きさ及び本体寸法は、製造者の標準とする。

注 * 設計図書の機能を満足する場合に限り、発信器に内蔵することができる。

(2) 表示例

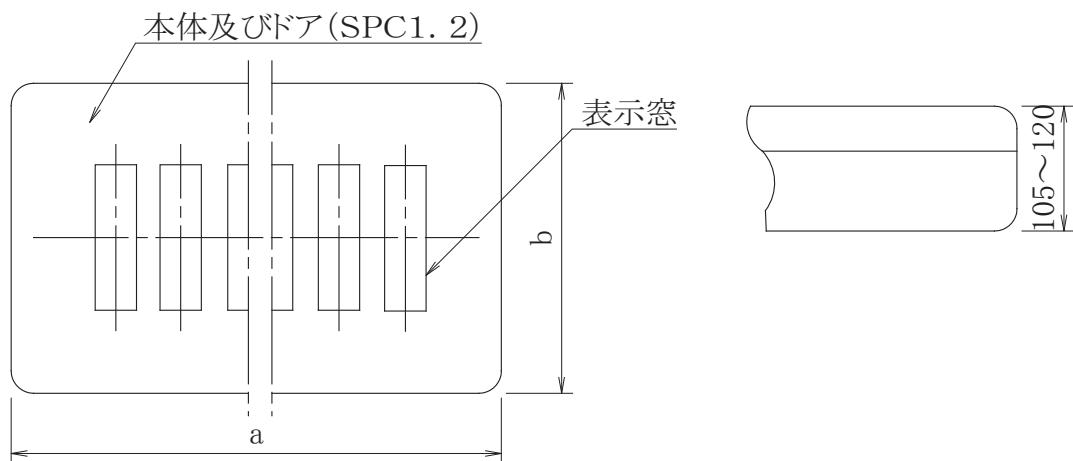
例	記号	説明
例1	I _P 2D1W _V 10-8	発信回路なし、壁掛形で縦書、窓数8、パルス伝送式2モード形発光ダイオード式表示盤
例2	I _P 4D2W _H 10-16	発信回路内蔵、壁掛形で横書、窓数16、パルス伝送式4モード形発光ダイオード式表示盤

出退表示2

表示盤、壁掛形、縦書

W_v

〔単位 mm〕



記号	窓数 (n)	段数	寸法	
			a	b
I _P (K) D (m) W _v 10-(n)	2	1	275~400	200~250
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	8	2	275~400	300~360
	10			
	12			
	14			
	16			
	455~720			

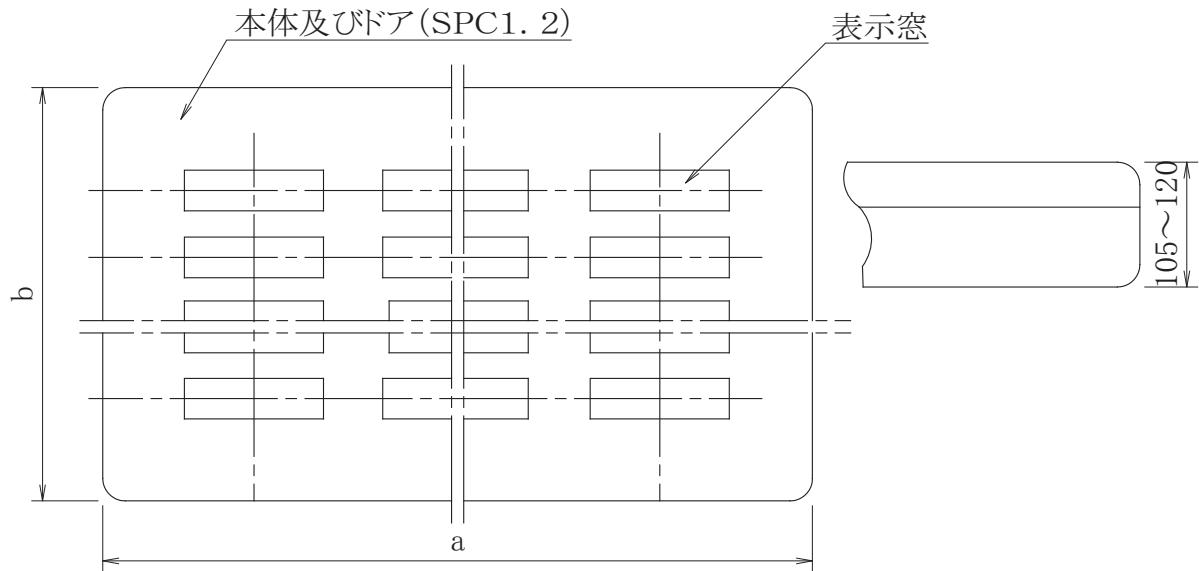
備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) (K)Dは、2モード、4モードの別を示す。
(3) (m)は、回路方式を示す。

出退表示3

表示盤、壁掛形、横書

 W_H

〔単位 mm〕



記号	窓数 ⑩	段数	寸法	
			a	b
I _P (K) D (m) W _H 10-⑩	2	1	360~400	185~250
	4	2		
	6	3		
	9	400~540	200~250	
	12	400~680		
	16	4	540~680	250~275

- 備考 (1) 形状は、一例を示す。
 (2) (K)Dは、2モード、4モードの別を示す。
 (3) (m) は、回路方式を示す。

出退表示4

発信器の記号及び表示例

(1) 記 号

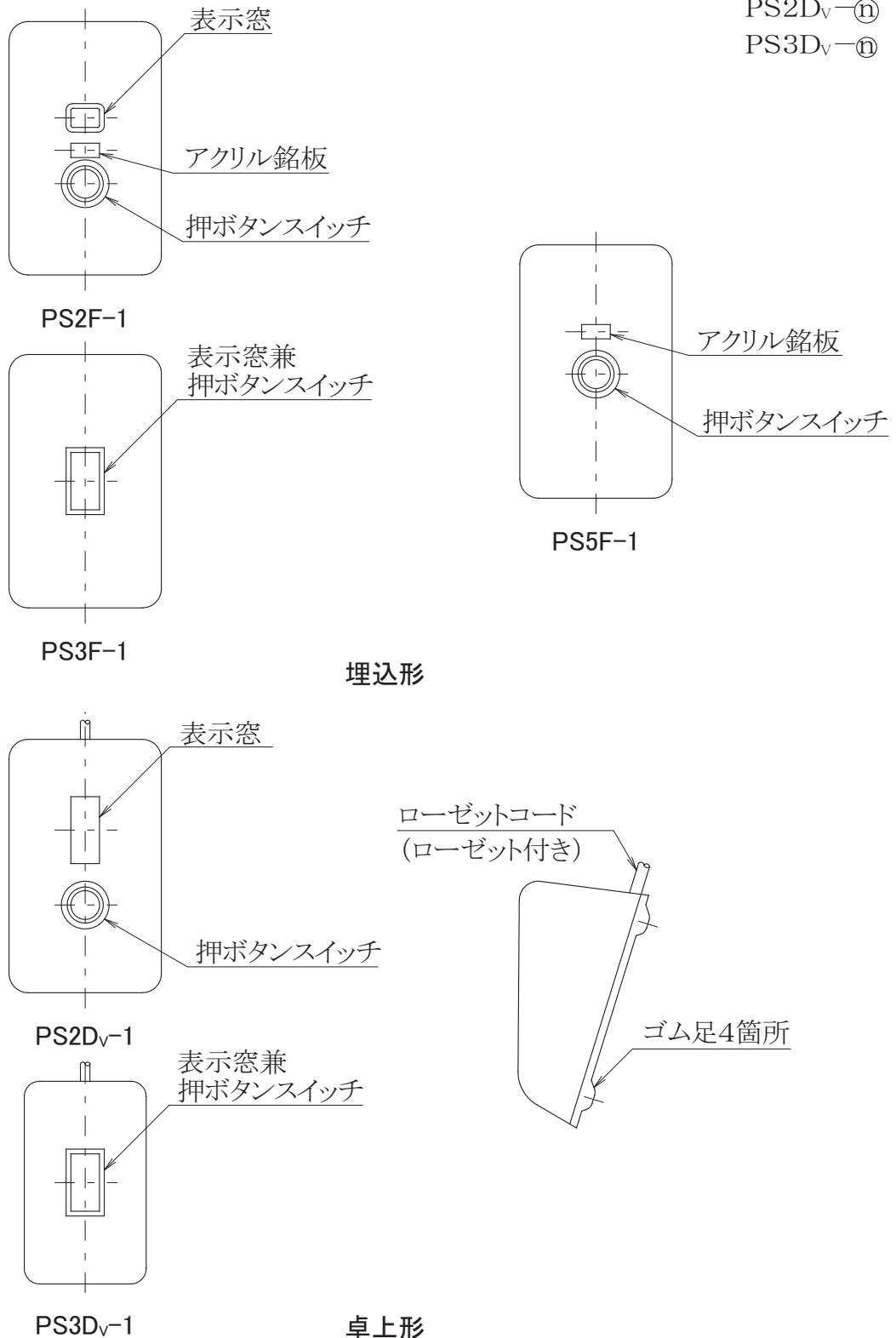
分 類	記 号	内 容
方 式	P	パルス伝送式
形 状	S2	押ボタンスイッチ+表示窓
	S3	表示窓兼押ボタンスイッチ
	S5	押ボタンスイッチ
形 式	F	埋込形
	D _v	卓上形
發 信 数	ⓝ	發信数⑩

(2) 表示例

記 号	説 明
PS2F-1	パルス伝送式の発信器、押ボタンスイッチ+表示窓、埋込形、發信数1

出退表示5 発信器(埋込形、卓上形)

PS2F-⑨
 PS3F-⑨
 PS5F-⑨
 PS2D_V-⑨
 PS3D_V-⑨



備考 (1) 形状は、一例を示す。
 (2) 図は、発信数1の場合を示す。

時刻表示1 親時計の記号及び表示例

CR
CW

(1) 記号

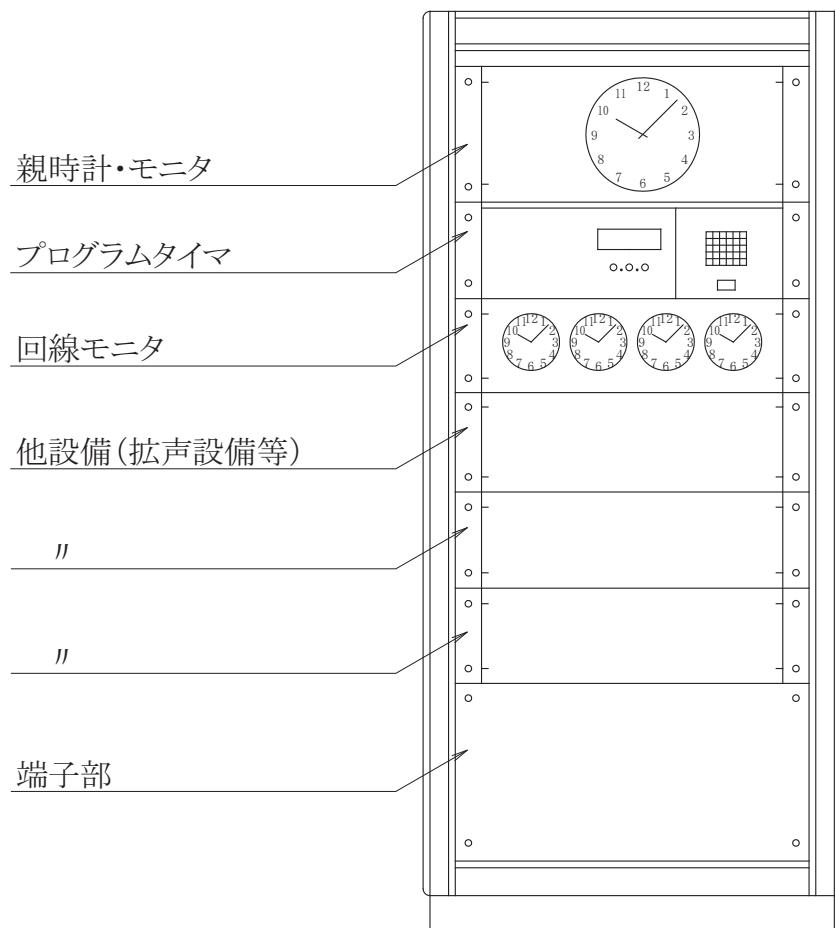
分類	記号	内容
親時計の種類	ラック形	CR _(m)
	壁掛形	CW _(m)
組込機器	P _(n)	プログラムタイマ
	M	電子式チャイム

備考 ⑮、⑯は、出力回線数及び回路数を記載する。

(2) 表示例

記号	説明
CR ₄ -P ₁ M	ラック形水晶式親時計4回線、1回路のプログラムタイマ及び電子式チャイム組込み

(3) ラック形水晶式親時計4回線の組合せ例



時刻表示2

子時計の記号1

〔単位 mm〕

(1) 記号

分類	記号	内 容	
時計の種類	S	アナログ	子時計
	D	デジタル	子時計
形 式	W	壁掛形	
	E	半埋込形	
	F	埋込形	
	T	天井つり下げ片面形	
	Tw	天井つり下げ両面形	
	B	サイドブラケット片面形	
	Bw	サイドブラケット両面形	
	R ₂₅	丸形 D	250
	R ₃₀		300
	R ₃₅		350
	R ₄₂		410
アナログ子時計 公称寸法	—	角形	縦寸法D ₁
	A ₂₂		250
	A ₃₃		300
	A ₂₃		250
	A ₃₄		300
	A ₃₅		350
	G _p	表面 平面ガラス付	
アナログ子時計 表 面	N	文字板及び文字片を露出し、 表面ガラスのないもの	
	H ₀₈	文字高 a	80
デジタル子時計 公称寸法	H ₁₀		100
	H ₁₂		120
	H ₂₀		200
デジタル子時計 表示形式	LE	発光ダイオード式	
	LD	液晶式	

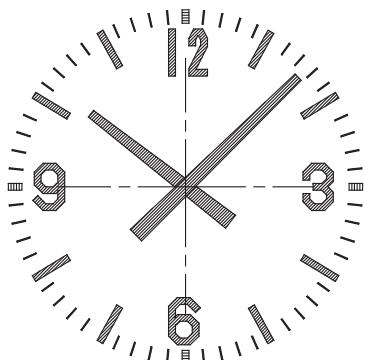
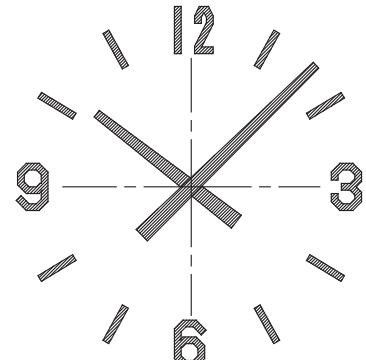
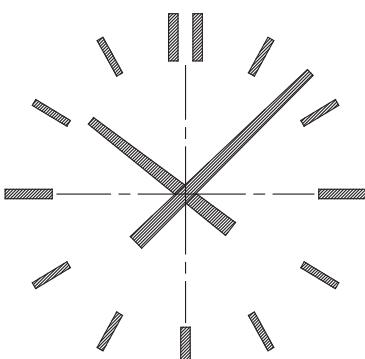
備考 (1) アナログ子時計の公称寸法とは壁掛形又は半埋込形子時計の場合は、箱体の最小寸法をいう。また、埋込形子時計の場合は文字片外側の最小寸法をいう。

(2) デジタル子時計の公称寸法とは文字高の最小寸法をいう。

時刻表示3

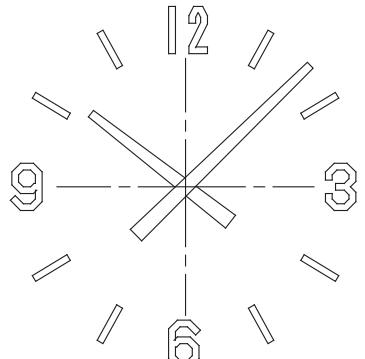
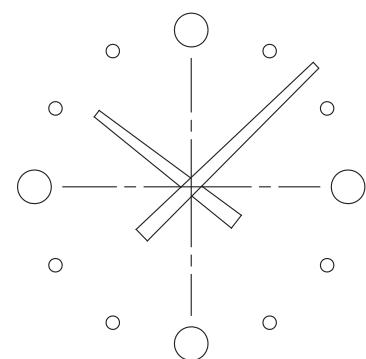
子時計の記号2

(2) 記号(アナログ子時計文字形式、印刷文字)

文字形式	B ₁	B ₂
形 状		
文字形式	D ₂	
形 状		

備考 印刷文字は、文字板に印刷したものとする。

(3) 記号(アナログ子時計文字形式、文字片取付)

文字形式	J ₁ (取付形状:円)	L ₁ (文字片が円板状のもの)
	J ₂ (取付形状:橢円)	L ₂ (文字片が球状のもの)
形 状		

備考 (1) 文字片は、A1P又はBSP 3.0(指定色)とする。

(2) 文字片取付は、子時計表面がNの場合に適用する。

時刻表示4

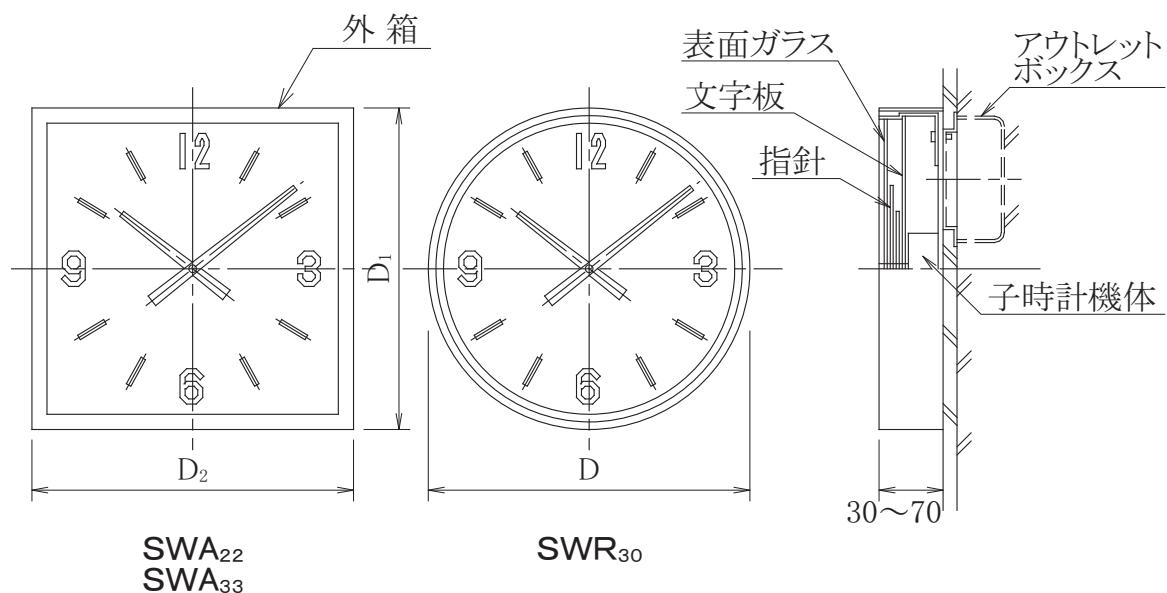
子時計の表示例

例	記号	説明
例1	SWR ₃₀ -G _P B ₁	壁掛形アナログ子時計、丸形公称寸法300mm、表面平面ガラス付、文字形式B ₁ の子時計
例2	SEA ₂₃ -NJ ₁	半埋込形アナログ子時計、角形公称寸法250mm×350mm、文字板及び文字片露出、文字形式J ₁ の子時計
例3	DTwH ₁₂ -LE	天井つり下げ両面形デジタル子時計、文字高公称寸法120mm、表示形式発光ダイオード式

時刻表示5 アナログ子時計(壁掛形)

SW A₂₂-G_P (S)
SW A₃₃-G_P (S)
SW R₃₀-G_P (S)

[単位 mm]



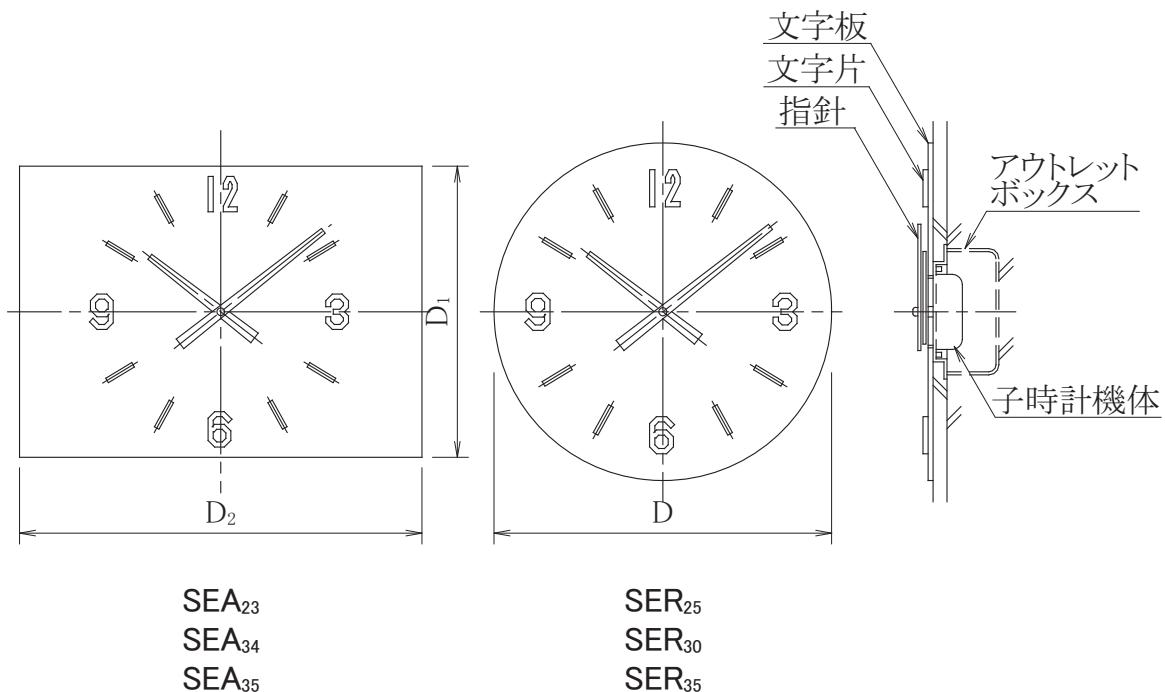
外 箱	SPC 0.5 (指定色)
文 字 板	SPC又はSPCで補強したA1P 0.5(白色)
指 鈎	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(黒色)
表 面 ガ ラ ス	t2.0
文 字	印刷文字

備考 (1) 図は、文字形式のうちB₂の場合を示す。
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。
 (3) (S)は、文字形式を示す。

時刻表示6 アナログ子時計(半埋込形)

SEA₂₃-N(S)
 SEA₃₄-N(S)
 SEA₃₅-N(S)
 SER₂₅-N(S)
 SER₃₀-N(S)
 SER₃₅-N(S)

[単位 mm]



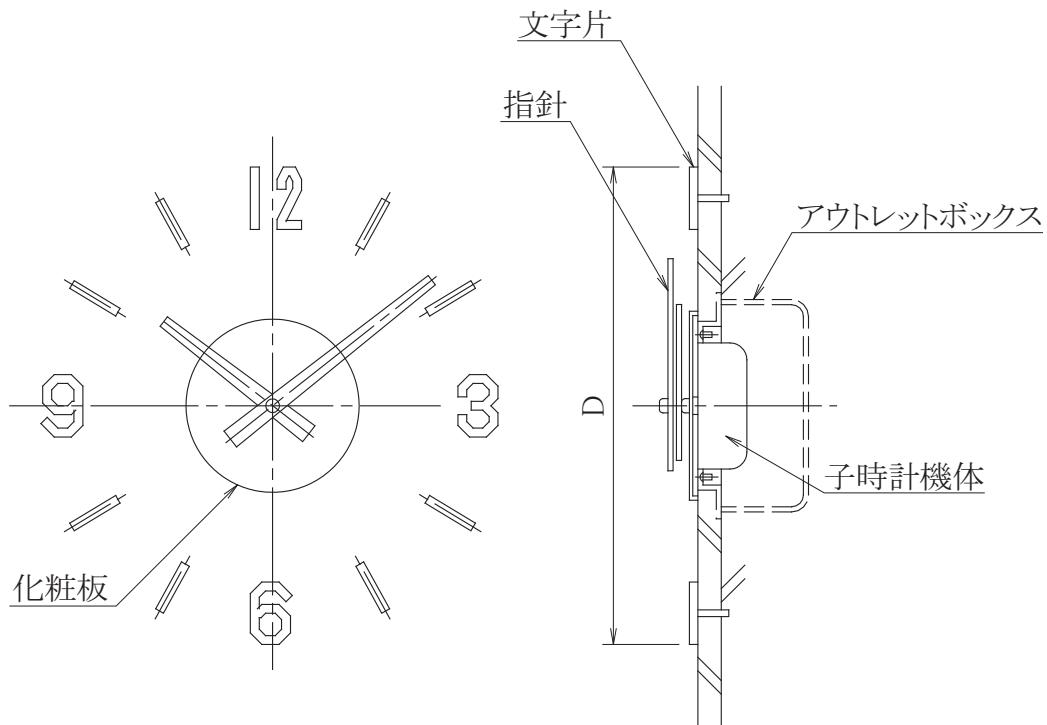
文 字 板	PMMA 3.0 (指定色)
指 針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(指定色)
文 字	文字片取付

備考 (1) 図は、文字形式のうちJ₁の場合を示す。
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。
 (3) (S)は、文字形式を示す。

時刻表示7 アナログ子時計(埋込形)

SFR₃₀-N(S)
SFR₃₅-N(S)
SFR₄₂-N(S)

[単位 mm]



化粧板	BSP 0.8(指定めつき)
指針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(指定色)
文字	文字片取付

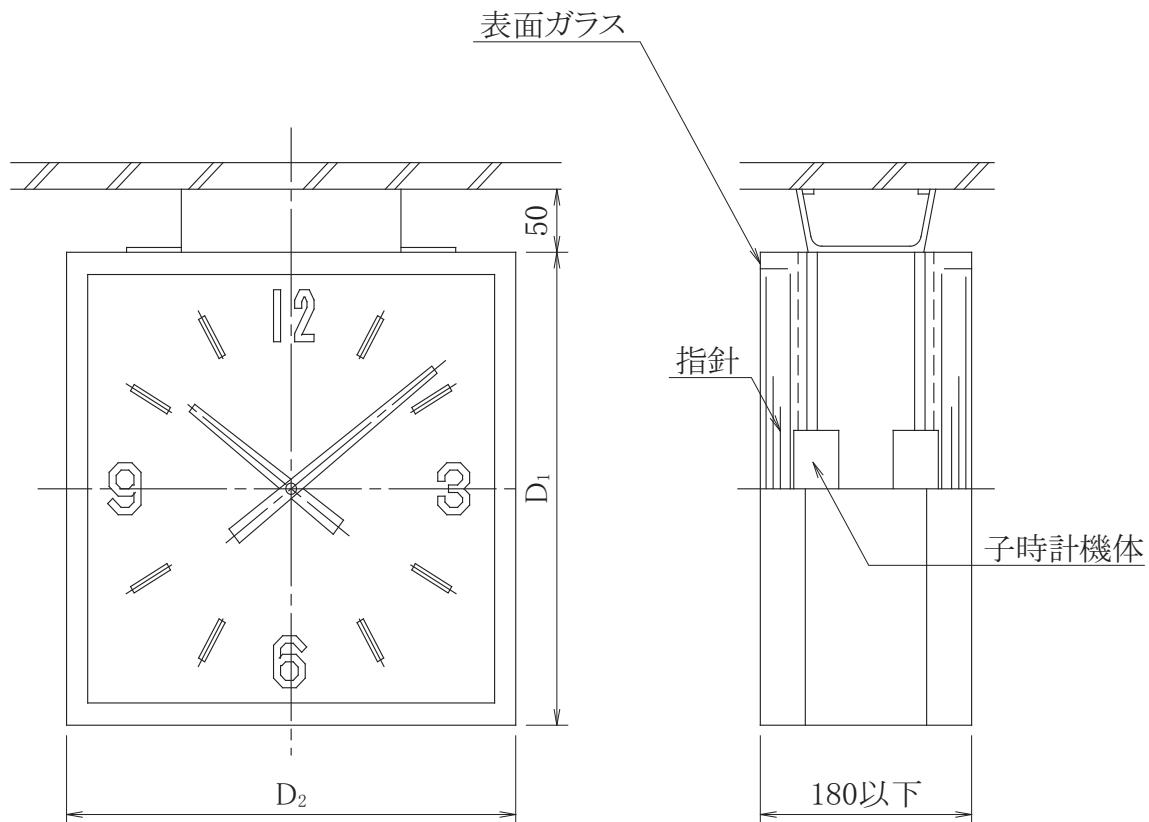
備考 (1) 図は、文字形式のうちJ₁の場合を示す。
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。
 (3) (S)は、文字形式を示す。

時刻表示8

アナログ子時計
(天井つり下げ形)

ST_WA₃₃-G_P(S)
STA₃₃-G_P(S)

[単位 mm]

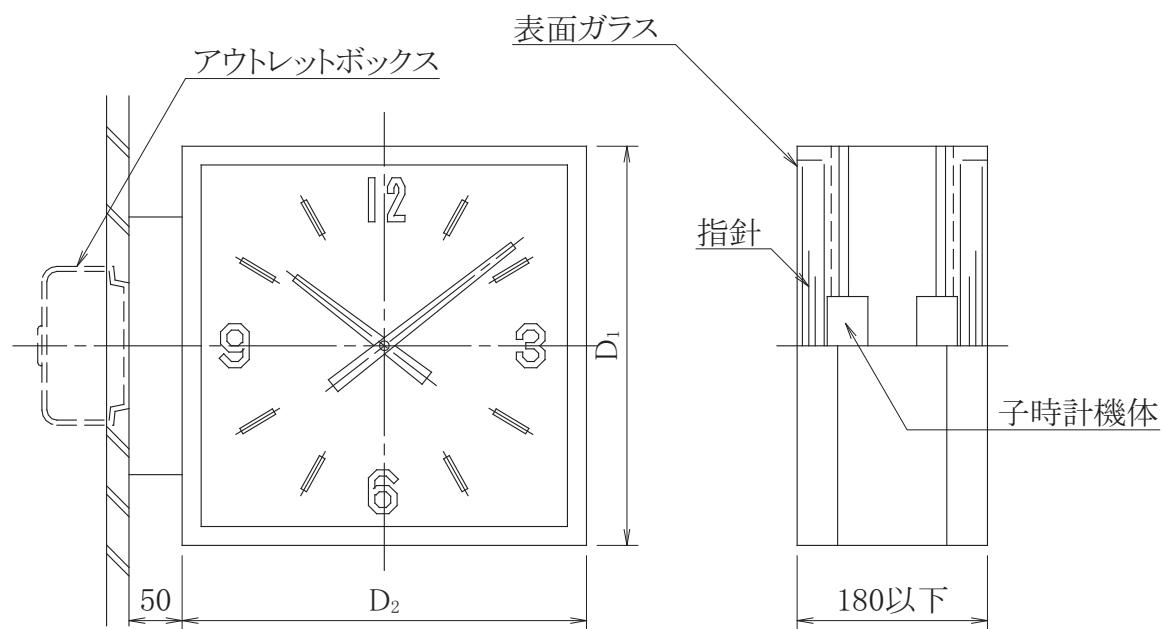


外 箱	SPC 0.6(指定色)
文 字 板	SPC又はSPCで補強したA1P 0.5(白色)
指 針	A1P、SPC 0.3又はBSP 0.2(黒色)
表 面 ガ ラ ス	t2.0
文 字	印刷文字

備考 (1) 図は、文字形式のうちB₂の場合を示す。
(2) (S)は、文字形式を示す。

時刻表示9 アナログ子時計(サイドブラケット形) SB_WA₃₃-G_P(S)
SBA₃₃-G_P(S)

[単位 mm]

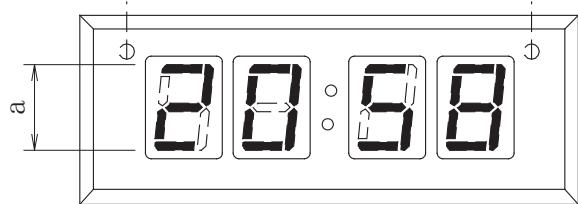


外 箱	SPC 0.6(指定色)
文 字 板	SPC又はSPCで補強したA1P 0.5(白色)
指 針	A1P、SPC 0.3又は黒BSP 0.2(黒色)
表 面 ガ ラ ス	t2.0
文 字	印刷文字

備考 (1) 図は、文字形式のうちB₂の場合を示す。
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。
 (3) (S)は、文字形式を示す。

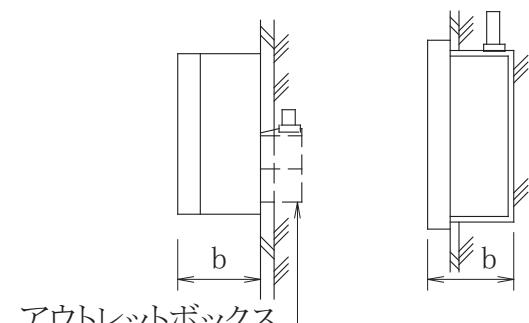
時刻表示10

デジタル子時計
(壁掛形・半埋込形)



DWH₀₈ - (S)
DWH₁₀ - (S)
DWH₁₂ - (S)
DWH₂₀ - (S)
DEH₀₈ - (S)
DEH₁₀ - (S)
DEH₁₂ - (S)
DEH₂₀ - (S)

[単位 mm]



D W D E
(壁掛形) (半埋込形)

形 式	b
H ₀₈	
H ₁₀	121以下
H ₁₂	
H ₂₀	135以下

外 箱	SPC 0.6(指定色)
表 面	透明ガラス又はアクリル
表 示	発光ダイオード式又は液晶式
文 字	白色

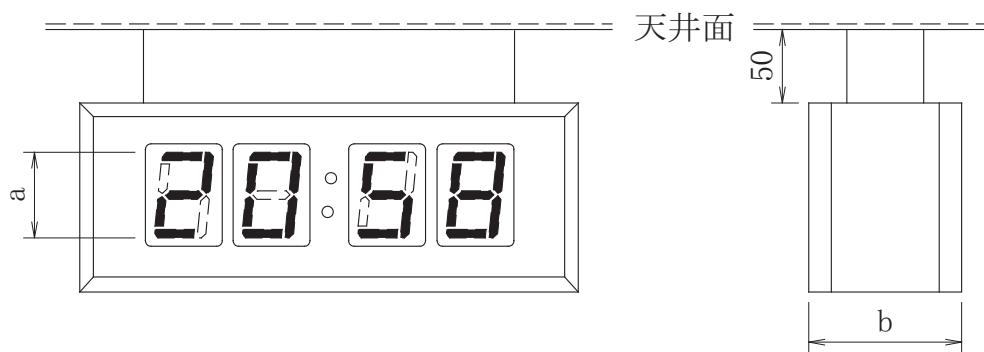
- 備考 (1) 形状は、一例を示す。
 (2) アウトレットボックスの位置は、一例を示す。
 (3) (S)は、表示形式を示す。

時刻表示11

デジタル子時計
(天井つり下げ形)

DTwH₀₈ - (S)
DTwH₁₀ - (S)
DTwH₁₂ - (S)
DTwH₂₀ - (S)

[単位 mm]



形 式	b
H ₀₈	200以下
H ₁₀	220以下
H ₁₂	
H ₂₀	250以下

外 箱	SPC 0.6(指定色)
表 面	透明ガラス又はアクリル
表 示	発光ダイオード式又は液晶式
文 字	白色

備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) (S)は、表示形式を示す。

映像・音響1

プロジェクタ及びスクリーンの記号

(1) プロジェクタの記号

分類種類	記号	内 容	
形 式	P	プロジェクタ	
	F1	前面投写式	天井つり下げ形
	F2	前面投写式	床置形
	B1	背面投写式	反射透過形
	B2	背面投写式	キャビネット形
	B3	背面投写式	キャビネット組合せ形
明るさ*	B4	背面投写式	直射透過形
	I	1,000lm以上	
	II	2,000lm以上	
解像度	III	3,000lm以上	
	A	1,024×768ドット以上	
	B	1,280×1,024ドット以上	
コントラスト	C	1,600×1,200ドット以上	
	X	400:1以上	
	Y	1,000:1以上	

備考 明るさの測定方法は、JIS X 6911「データプロジェクタの仕様書様式」附属書2による。

注 * 投写方式が、F1、F2、B1、B4の場合に適用する。

(2) スクリーンの記号

分類	記号	内 容	
形 式	S1	反射マット形	
	S2	反射ビーズ形	
	S3	反射ストライプ形	
	S4	透過形	
収納方式	W	壁固定式	
	E	電動巻上式	
	S	ばね巻上式	
	F	床収納式	

備考 背面投写式の収納方式は、壁固定式とする。

(3) スクリーンサイズ

記 号	スクリーン概略寸法	
60	1,524 mm	(60インチ)
70	1,778 mm	(70インチ)
80	2,032 mm	(80インチ)
90	2,286 mm	(90インチ)
100	2,540 mm	(100インチ)
110	2,794 mm	(110インチ)
120	3,048 mm	(120インチ)
130	3,302 mm	(130インチ)
140	3,556 mm	(140インチ)
150	3,810 mm	(150インチ)
160	4,064 mm	(160インチ)
170	4,318 mm	(170インチ)
180	4,572 mm	(180インチ)
190	4,826 mm	(190インチ)
200	5,080 mm	(200インチ)

備考 (1) キャビネット組合せ形のサイズは、適用しない。

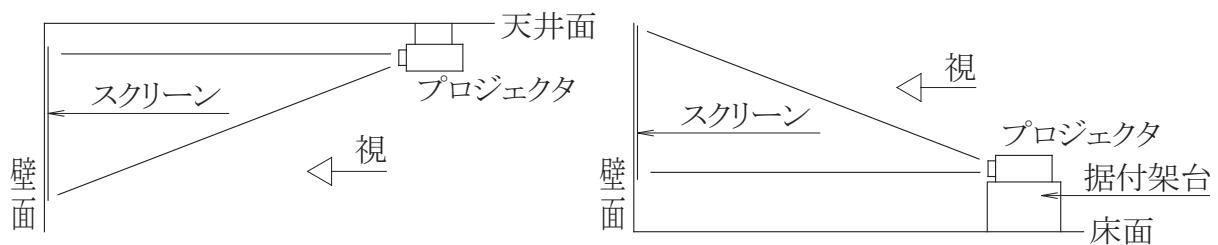
(2) 概略寸法は、画面対角線上での寸法を示す。

なお、標準形(縦横比3:4)以外を使用する場合のスクリーン形状は、特記による。

映像・音響2

プロジェクタの形式

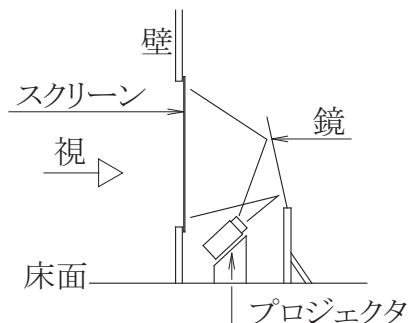
前面投写式



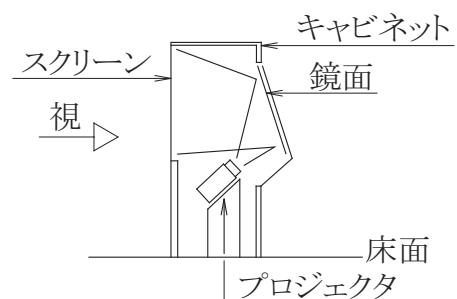
天井つり下げ形(F1)

床置形(F2)

背面投写式

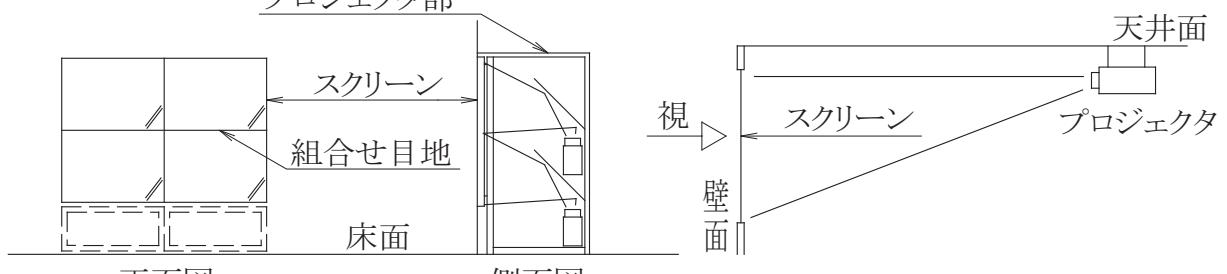


反射透過形(B1)



キャビネット形(B2)

キャビネット及び
プロジェクタ部



キャビネット組合せ形 (B3)

直射透過形(B4)

備考 図は、一例を示す。

映像・音響3

表 示 例

例	記 号	説 明
例1	PF1 I AX-S1E-100	前面投写式天井つり下げ形のプロジェクタで、プロジェクタの明るさはI形、プロジェクタの解像度はA形、コントラストはX形のもの、スクリーンは電動巻上反射マット形100インチのもの
例2	PB1IIBY-S4W-120	背面投写式透過形のプロジェクタで、プロジェクタの明るさはII形、プロジェクタの解像度は、B形、コントラストはY形のもの、スクリーンは透過形壁固定式120インチのもの
例3	PB2CY-S4-80	背面投写式キャビネット形のプロジェクタで、プロジェクタの解像度はC形、コントラストはY形のもの、スクリーンは透過形80インチのもの

拡声1

スピーカの記号及び表示例

(1) 記号

分類	記号	内 容			
名 称	S	スピーカ			
形 式	-	スピーカ取付形式	キャビネット	キャビネット材質	バッフル面又は化粧パネル材質
	W ₁	壁 掛 形	有	合成樹脂製	合成樹脂製
	W ₂			木 製	布 張 り
	C ₁	天井埋込形	無(防じん袋入又は防じんカバー)	木製、金属製又は合成樹脂製	合成樹脂製
	C ₃				金 属 製
	C ₄			—	合成樹脂製
	C ₆			—	金 属 製
	H	ホーンスピーカ			
性 能 ^{*1}	H _i	H _i 増幅器用スピーカ			
	L _o	L _o 増幅器用スピーカ			
定格入力	(n)	(n)W以上のもの			
アッテネータ ^{*1}	V ₀	アッテネータを内蔵しないもの			
	V ₂	2線式アッテネータを内蔵するもの			
	V ₃	3線式アッテネータを内蔵するもの			
化粧パネル の形状 ^{*1*2}	K	角形			
	M	丸形			

注 *1 ホーンスピーカには適用しない。

*2 天井埋込形のスピーカのみに適用する。

(2) 表示例

例	記 号	説 明
例1	SW ₂ H _i -3V ₀	壁掛形木製キャビネット、バッフル面布張りで性能H _i 形、定格入力3W以上、アッテネータを内蔵しないスピーカ
例2	SC ₄ H _i -1V ₃ -K	天井埋込形防じん袋入で化粧パネルが角形合成樹脂製、性能H _i 形、定格入力1W以上、3線式アッテネータを内蔵するスピーカ
例3	SH-10	定格入力10W以上のホーンスピーカ

拡声2

壁付アンテナ

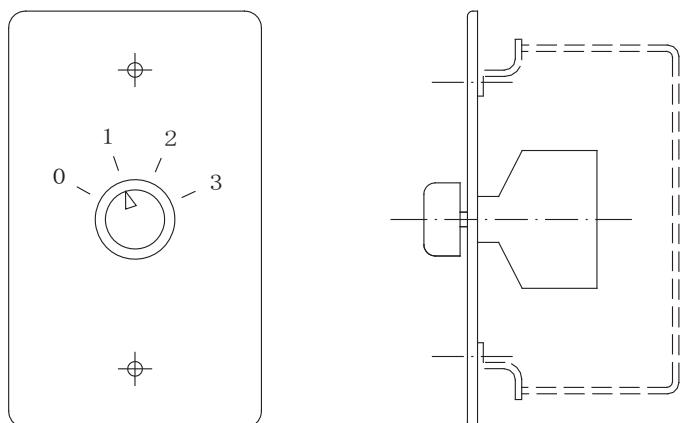
(1) 記号

分類	記号	内容
名称	V	3線式アンテナ
定格容量	(n)	(n) W以上のもの
プレートの種類	S	金属製
	P	合成樹脂製

備考 (1) 図は、一例を示す。

- (2) 3段以上の切替式調節つまみを設ける。
- (3) 調節目盛付とし、調節目盛は、プレート又はつまみに設ける。

(2) 形式

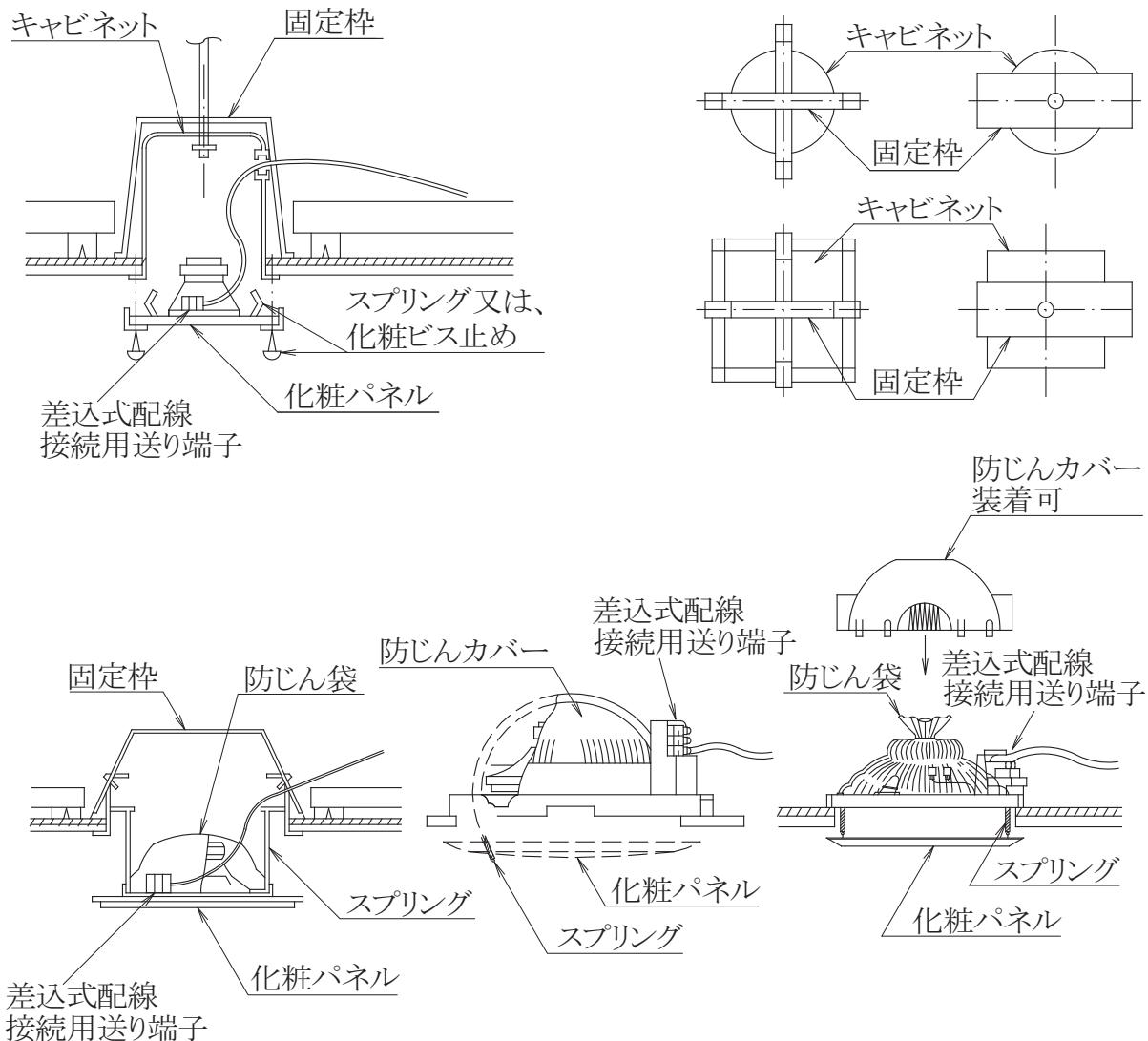


(3) 表示例

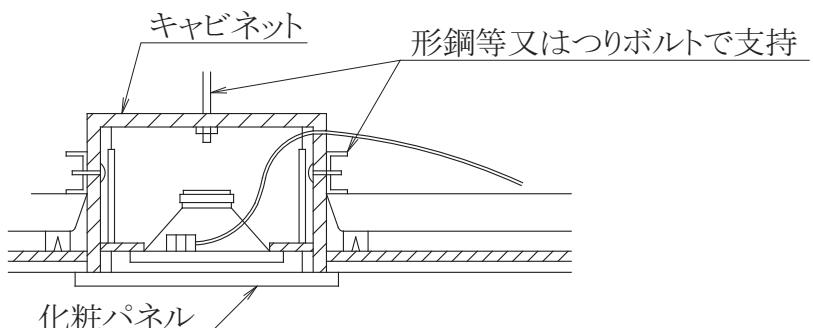
例	記号	説明
例1	V-1S	定格容量1W以上、金属製プレートの3線式アンテナ
例2	V-3P	定格容量3W以上、合成樹脂製プレートの3線式アンテナ

拡声3

天井埋込形スピーカの取付例



軽量形の場合(3kg以下)

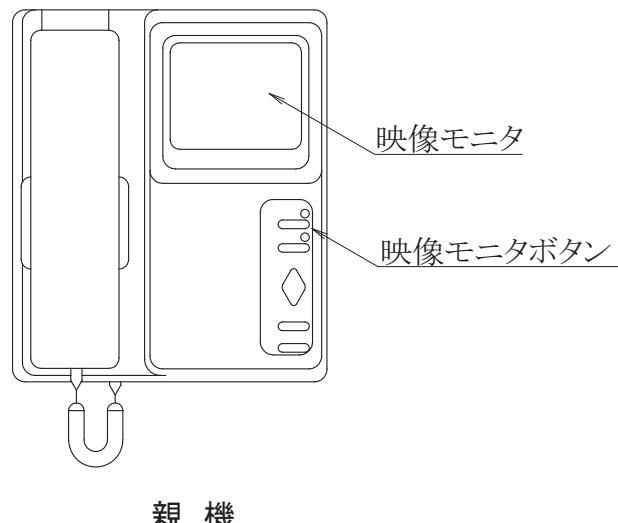


軽量形以外の場合(3kg超過)

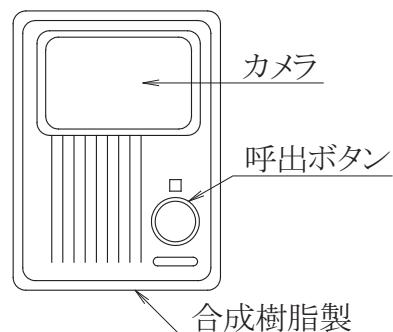
備考 スピーカの質量が1.5kgを超えるものは、チェーン、ワイヤ等により脱落防止処置を施す。

誘導支援1

テレビインターホン



親 機

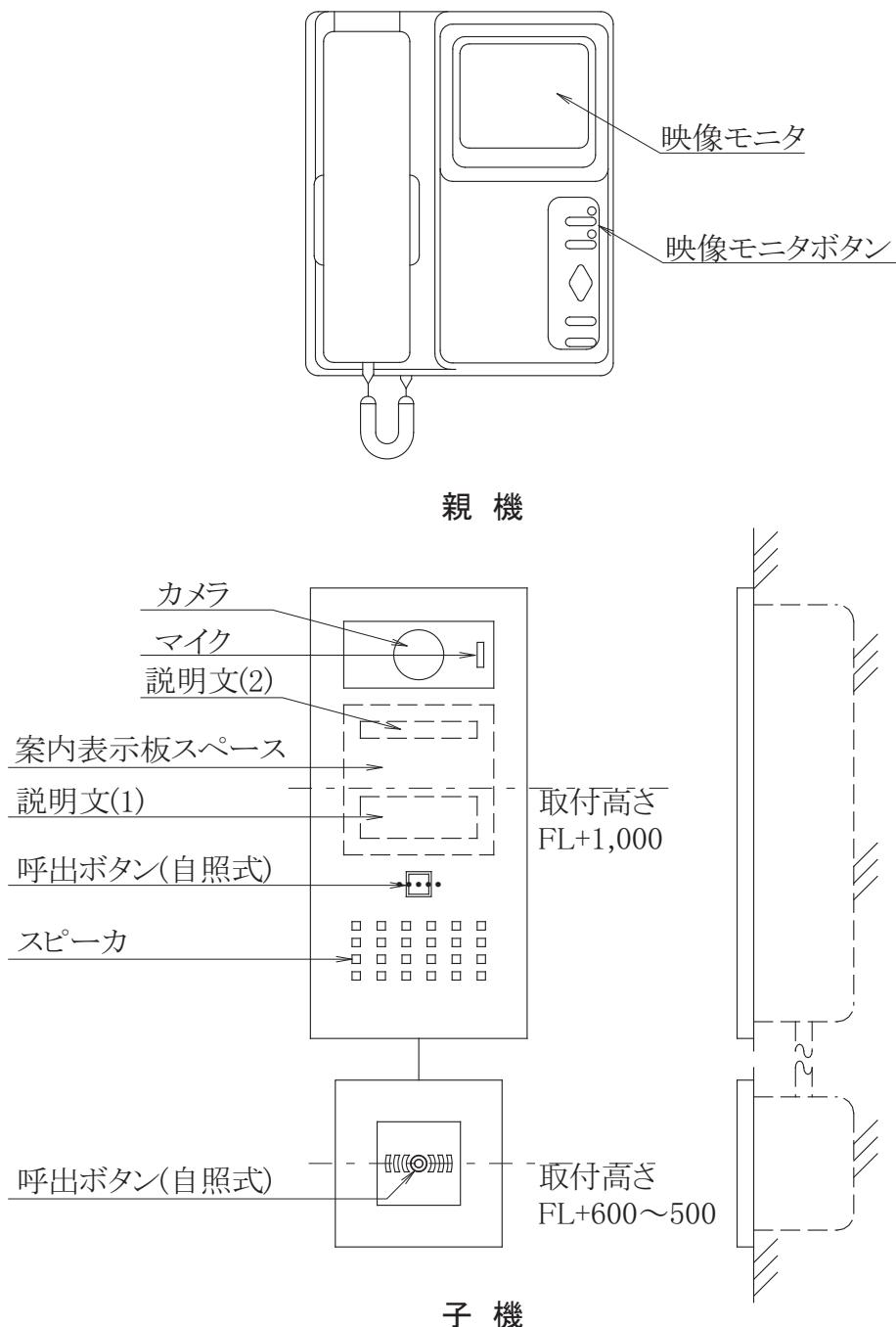


子 機

備考 (1) 形状は、一例を示す。
(2) 子機は、防雨形とする。

誘導支援2

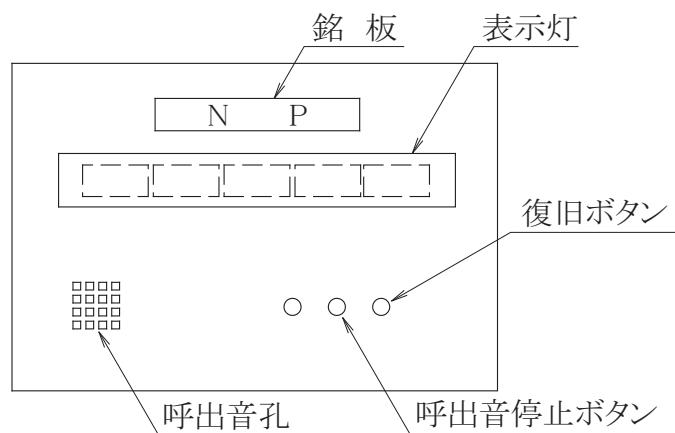
外部受付用インターфон



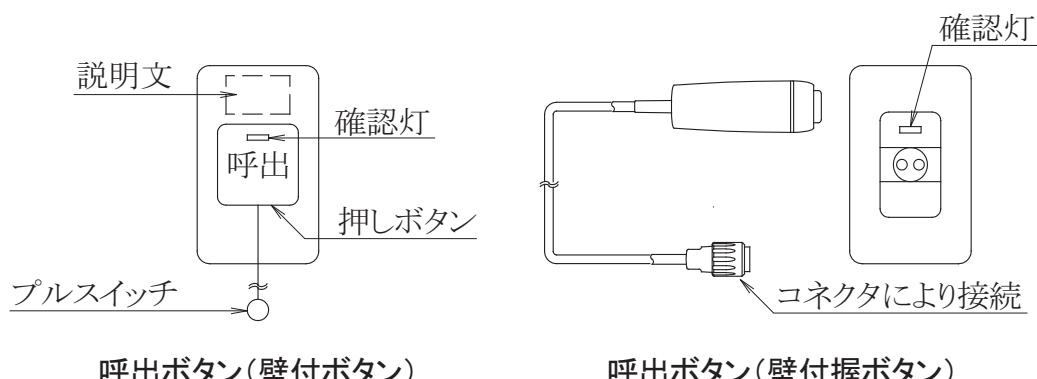
- 備考 (1) 形状は、一例を示す。
 (2) 子機は、防雨形とする。
 (3) 子機の破線部分は、取扱い説明文等の記載位置を示す。また、説明文以外に点字も記載する。
 　説明文(1)の例…「御用の方は、ボタンを押してからお話しください。」
 　説明文(2)の例…「インターфон」
 (4) 図は、子機の呼出確認表示灯と呼出ボタンを兼用した場合を示す。

誘導支援3

トイレ等呼出

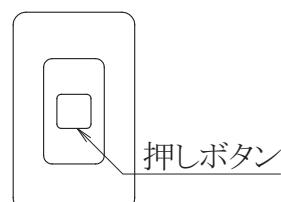


トイレ等呼出表示器

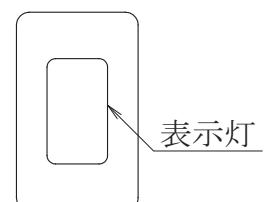


呼出ボタン(壁付ボタン)

呼出ボタン(壁付握ボタン)



復帰ボタン



呼出表示灯

備考 (1) 形状は、一例を示す。

(2) 呼出ボタンの破線部分は、用途等を点字にて記載する。

(説明文の例・・・「呼出ボタン」)

(3) 呼出ボタンのプルスイッチ及び握ボタンの長さは特記による。

テレビ共同受信1

アンテナ1

形 式	U・V・BS別	部 品	材 料	適 合 規 格
AV-1	VHF	アーム	耐食アルミ	JIS H 4080「アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管」に規定するA 6063 TD
		素 子	アルミニウム	JIS H 4080「アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管」に規定するA 1050 TD
AU-1	UHF	アーム	耐食アルミ	JIS H 4080「アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管」に規定するA 6063 TD
		素 子	アルミニウム	JIS H 4080「アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管」に規定するA 1050 TD
AV-2	VHF	アーム	ステンレス	JIS G 3459「配管用ステンレス鋼管」に規定するSUS 304 TP又はJIS G 3446「機械構造用ステンレス鋼鋼管」に規定するSUS 304 TKA/TKC
		素 子		
AU-2	UHF	アーム	ステンレス	JIS G 3459「配管用ステンレス鋼管」に規定するSUS 304 TP又はJIS G 3446「機械構造用ステンレス鋼鋼管」に規定するSUS 304 TKA/TKC
		素 子		
CSBSA-60 CSBSA-75 CSBSA-90 (100)	BS • 110° CS	反射板	FRP(繊維強化プラスチック)、アルミニウム又は鋼板	鉄部は、すべてJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定する2種、又は同等以上の防錆処理とする。
		コンバータ、支持機構、方向調整機構	ステンレス、アルミニウム又は鉄	
CSA-75 CSA-90 (100)	CS	反射板	FRP(繊維強化プラスチック)、アルミニウム又は鋼板	鉄部は、すべてJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定する2種、又は同等以上の防錆処理とする。
		コンバータ、支持機構、方向調整機構	ステンレス、アルミニウム又は鉄	

テレビ共同受信2

アンテナ2

VHFアンテナ(AV)の種類及び電気的特性

種類		チャンネル	周波数帯域 [MHz]	動作利得 [dB]	電圧 定在波比	半値幅 [度]	前後比 [dB]
帯域	素子数						
全帯域用	12	テレビローチャンネル (1~3)	90~108	4.0以上	3.0以下	70以下	9以上
		テレビハイチャンネル (4~12)	170~222	7.0以上		60以下	12以上
専用帯域用	5	FM	76~90	4.5以上	2.5以下	70以下	9以上

備考 ()内は、チャンネルを示す。

UHFアンテナ(AU)の種類及び電気的特性

種類		チャンネル	周波数帯域 [MHz]	動作利得 [dB]	電圧 定在波比	半値幅 [度]	前後比 [dB]	
帯域	素子数							
低域用	20以上	13~30	470~578	8.0以上	50以下	15以上		
		31~44	578~662	9.0以上				
		45~62	662~770	9.0以上				
中域用		470~578	662~770	9.0以上	2.5以下	55以下		
		13~62	578~662	8.5以上				
		662~770	662~770	9.0以上				

BS・110° CSアンテナの種類及び電気的特性

性能形式	周波数 [GHz]	アンテナ利得 [dBi]	電圧定在波比	受信偏波	性能指数G/T比 [dB/k]
CSBSA-60	11.70~12.75	35.9以上	1.3以下	右旋円偏波	13以上
CSBSA-75		37.4以上			14.1以上
CSBSA-90 (100)		39.0(39.9) 以上			15.7(16.6) 以上

CSアンテナの種類及び電気的特性

性能形式	周波数 [GHz]	アンテナ利得 [dBi]	電圧定在波比	受信偏波	性能指数G/T比 [dB/k]
CSA-75	12.20~12.75	37.8以上	1.3以下	直線偏波	15.5以上
CSA-90 (100)		39.4(40.3) 以上			17.3(18.0) 以上

テレビ共同受信3

増幅器

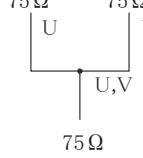
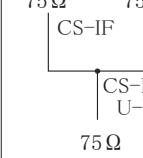
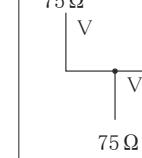
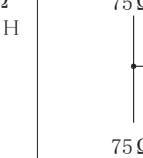
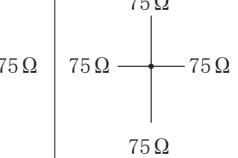
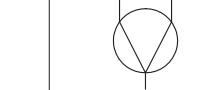
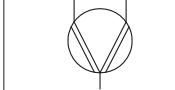
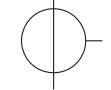
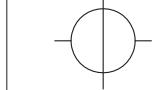
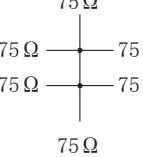
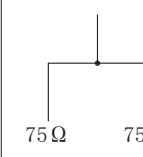
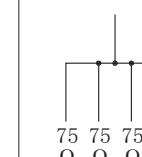
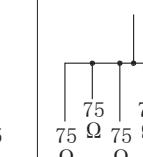
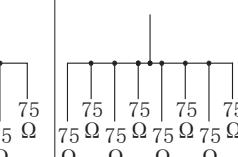
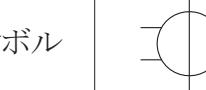
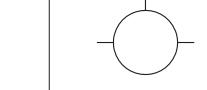
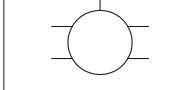
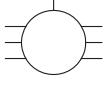
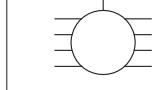
增幅器の種類及び電気的特性

項目形式	周波数帯域 [MHz]		利得 [dB]	利得調整範囲 [dB]	定格出力 [dB μ]	帯域内周波数特性 [dB]
CS・BS -1	BS-IF	1,000～2,150	35/40以上	10以上	100/105 (24波)	任意の34.5MHzで±1.0以内、全帯域で±2.5以内 ²
	CS-IF	76～108 (Hi)	30以上 35以上		105(2波) 110(5波)	任意の6MHzで±1.0以内及び1～3、4～12chで±2.0以内
CS・BS・UV-1	VHF	76～108 UHF	30以上 470～770	35/40以上	10以上 連続可変	任意の6MHzで±1.0以内及び任意の100MHzで±2.0以内
	(Hi)	170～222	35以上			
	BS-IF	1,000～2,150	35/40以上			任意の34.5MHzで±1.0以内、全帯域で±2.5以内 ²
	CS-IF	76～108 (Hi)	30以上 35以上			任意の6MHzで±1.0以内及び1～3、4～12chで±2.0以内
CS・BS・UV-1W	VHF	76～108 UHF	30以上 470～770	35以上	10以上 連続可変	任意の6MHzで±1.0以内及び任意の100MHzで±2.0以内
	(Hi)	170～222	35以上			
	BS-IF	1,000～2,602	30/40以上			任意の34.5MHzで±1.0以内、全帯域で±2.5以内 ²
	CS-IF	76～108 UHF	30以上 470～770	35/40以上		任意の6MHzで±1.0以内及び任意の100MHzで±2.0以内
CATV -1	CATV	10～55 70～770	30以上 38以上	10以上 連続可变	105(2波) 107(74波)	全帯域で±1.0以内 全帯域で±2.0以内
CATV・CS・BS -1	CATV	10～55 70～770	30以上 38以上	10以上	105(2波) 107(74波)	全帯域で±1.0以内 全帯域で±2.0以内
	BS-IF	1,000～2,150	35/40以上		100/105 (24波)	任意の34.5MHzで±1.0以内、全帯域で±2.5以内 ²
CATV・CS・BS -2W	CATV	10～55 70～770	30以上 38以上	10以上	110(2波) 107(74波)	全帯域で±1.0以内 全帯域で±2.0以内
	BS-IF	1,000～2,602	30/40以上		103/113 (BS12波・CS24波)	任意の34.5MHzで±1.0以内、全帯域で±2.5以内 ²

注 *1 アナログ7波とデジタル9波伝送時の値とする。ただしデジタル9波は、-10dB 運用とする。

*2 チルト調整機能(固定又は連続)を有すること。

テレビ共同受信4 混合(分波)器、分岐器、分配器

機器名 分類	混合(分波)器			分岐器	
	1分岐	2分岐			
形 式	M-UV-7 MC-UV-7	CS-M CS-MC	CS-VHMC	CS-C1W	CS-C2W
回路図					
シンボル					
機器名 分類	分岐器	分配器			
	4分岐	2分配	4分配	6分配	8分配
形 式	CS-C4W	CS-D2W	CS-D4W	CS-D6W	CS-D8W
回路図					
シンボル					

備考 M-UV-7、CS-Mは、屋内形とし、MC-UV-7、CS-MC、CS-VHMCは、屋外形とする。

混合(分波)器の電気的特性

形式 項目	M-UV-7 MC-UV-7		CS-M CS-MC		CS-VHMC	
周波数帯域 [MHz]	76~222	470~770	10~770	1,000~ 2,150	1,000~ 1,533	1,590~ 2,072
通過帯域減衰量 [dB]	1.0以下	1.5以下	1.3以下	2.5以下	3.0以下	3.0以下
阻止帯域減衰量 [dB]	25以上	25以上	20以上	18以上	15以上	15以上
電圧定在波比	1.5以下	1.8以下	1.6以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下

テレビ共同受信5

分岐器

分岐器の電気的特性

形式 項目	1 分岐器					
	CS-C1W					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
挿入損失 [dB]	1.6以下	1.3以下	1.5以下	2.0以下	3.0以下	4.0以下
結合損失 [dB]	12以下	11以下	12以下	13以下	14以下	14.5以下
逆結合損失 [dB]	15以上	25以上	20以上	18以上	16以上	16以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
形式 項目	2 分岐器					
	CS-C2W					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
挿入損失 [dB]	2.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.5以下	6.0以下
結合損失 [dB]	12以下	11以下	12以下	13以下	14以下	15以下
逆結合損失 [dB]	15以上	25以上	20以上	18以上	16以上	16以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
形式 項目	4 分岐器					
	CS-C4W					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
挿入損失 [dB]	4.5以下	3.5以下	4.5以下	5.5以下	6.0以下	6.5以下
結合損失 [dB]	12以下	11以下	12以下	13以下	15以下	16.5以下
逆結合損失 [dB]	15以上	25以上	20以上	18以上	16以上	16以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下

テレビ共同受信6

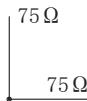
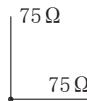
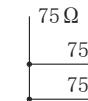
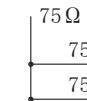
分配器

分配器の電気的特性

形式 項目	2 分 配 器					
	CS-D2W					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
分配損失 [dB]	4.0以下	3.8以下	4.0以下	4.5以下	5.5以下	6.5以下
端子間結合損失 [dB]	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.0以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
形式 項目	4 分 配 器					
	CS-D4W					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
分配損失 [dB]	8.0以下	7.5以下	8.0以下	9.0以下	10.5以下	11.5以下
端子間結合損失 [dB]	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
形式 項目	6 分 配 器					
	CS-D6W					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
分配損失 [dB]	11.0以下	10.0以下	11.0以下	12.0以下	14.0以下	16.0以下
端子間結合損失 [dB]	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.5以下	1.6以下	1.6以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下
形式 項目	8 分 配 器					
	CS-D8W					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
分配損失 [dB]	12.5以下	12.0以下	12.5以下	13.5以下	17.0以下	18.5以下
端子間結合損失 [dB]	13以上	20以上	18以上	15以上	15以上	15以上
電圧定在波比	2.5以下	1.8以下	1.8以下	2.0以下	2.0以下	2.5以下

テレビ共同受信7

テレビ端子1

機器名	テレビ端子1端子形		テレビ端子2端子形	
記号	CS-7FW	CS-7FSW	CS-77FW	CS-77FSW
回路図				
シンボル	 W	 SW	 W	 SW

- 備考 (1) 記号及びシンボルの傍記Wは、2,602MHz用とする。
(2) 記号及びシンボルの傍記Sは、上り信号カット機能付とする。

テレビ端子1端子形の電気的特性

項目	CS-7FW(2,602MHz対応)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
挿入損失 [dB](以下)	0.8	0.4	0.6	0.8	1.5	2.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	2.0
項目	CS-7FSW(上り信号カット機能付)(2,602MHz対応)					
周波数帯域 [MHz]	10~55 双向	70~300 片方向	300~770 双向	1,000~1,336 片方向	1,336~2,150 双向	2,150~2,602 片方向
挿入損失 [dB](以下)	1.0 40以上	1.0 3.0	1.0 2.0	1.5 2.5	2.0 3.0	4.0 5.0
電圧定在波比 (以下)	2.0	-	2.0	2.0	2.0	2.5

テレビ共同受信8

テレビ端子2

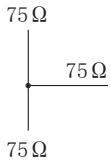
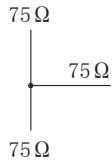
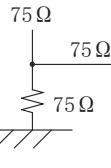
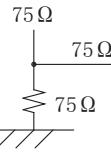
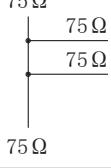
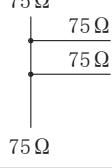
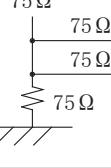
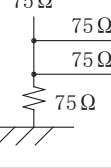
テレビ端子2端子形の電気的特性

項目 \ 形式	CS-77FW(2,602MHz対応)					
周波数帯域 [MHz]	10~76	76~300	300~770	1,000~1,336	1,336~2,150	2,150~2,602
挿入損失 [dB](以下)	5.0	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0
端子間結合損失 [dB](以上)	13	20	18	15	15	15
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	2.0

項目 \ 形式	CS-77FSW(上り信号カット機能付)(2,602MHz対応)											
周波数帯域 [MHz]	10~55		70~300		300~770		1,000~1,336		1,336~2,150		2,150~2,602	
	双方	片	双方	片	双方	片	双方	片	双方	片	双方	片
挿入損失 [dB](以下)	5.0	40以上	5.0	7.0	6.0	7.0	7.0	8.0	8.0	9.0	9.5	10
端子間結合損失 [dB](以上)	13	13	20	20	18	18	15	15	15	15	15	15
電圧定在波比 (以下)	2.0	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5

テレビ共同受信9

直列ユニット1

機器名	直列ユニット1端子形			
記号	CS-7F-7	CS-7F-7W	CS-7F-R	CS-7F-RW
回路図				
シンボル				
機器名	直列ユニット2端子形			
記号	CS-77F-7	CS-77F-7W	CS-77F-R	CS-77F-RW
回路図				
シンボル				

備考 (1) 記号及びシンボルの傍記Rは、終端抵抗器付を示す。

(2) 記号及びシンボルの傍記Wは、2,602MHz用とする。

テレビ共同受信10

直列ユニット2

直列ユニット1端子形の電気的特性

項目 \ 形式	CS-7F-7(中間用)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	
挿入損失 [dB](以下)	1.8	1.3	1.8	2.0	3.4	
結合損失 [dB](以下)	12.0	11.0	12.0	13.0	15.0	
逆結合損失 [dB](以上)	15.0	25.0	20.0	18.0	15.0	
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	
項目 \ 形式	CS-7F-7W(中間用)(2,602MHz対応)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
挿入損失 [dB](以下)	2.0	1.8	2.0	3.8	4.2	5.5
結合損失 [dB](以下)	12.0	12.0	12.5	13.0	15.0	16.0
逆結合損失 [dB](以上)	15.0	23.0	20.0	18.0	15.0	15.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0
項目 \ 形式	CS-7F-R(端末用)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	
結合損失 [dB](以下)	9.0	8.5	9.0	10.0	11.0	
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	
項目 \ 形式	CS-7F-RW(端末用)(2,602MHz対応)					
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
結合損失 [dB](以下)	10.0	9.5	10.0	11.0	12.5	13.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	2.0

テレビ共同受信11

直列ユニット3

直列ユニット2端子形の電気的特性

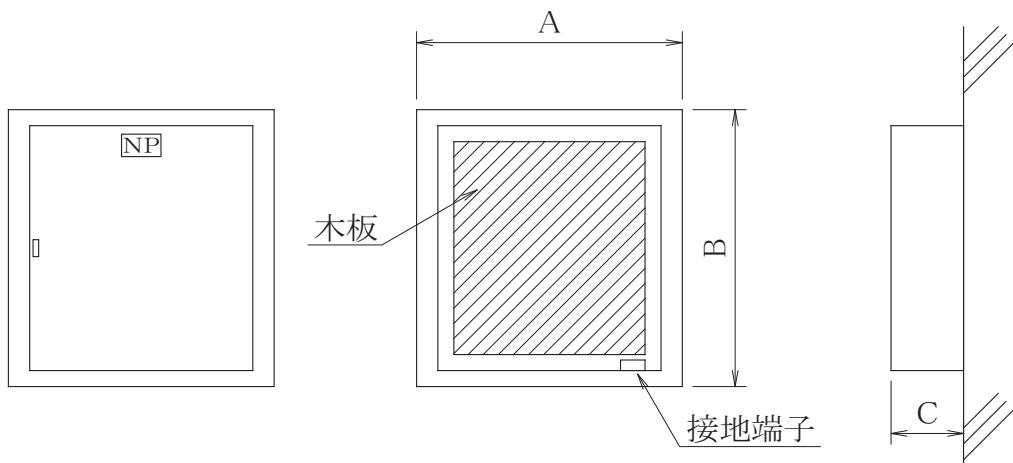
項目	形式	CS-77F-7(中間用)				
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	
挿入損失 [dB](以下)	2.0	1.5	2.0	2.2	3.4	
結合損失 [dB](以下)	16.0	15.0	16.0	17.5	18.5	
逆結合損失 [dB](以上)	15.0	25.0	20.0	18.0	15.0	
端子間結合損失 [dB](以上)	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0	
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	
項目	形式	CS-77F-7W(中間用)(2,602MHz対応)				
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
挿入損失 [dB](以下)	2.0	1.8	2.0	2.5	4.0	5.0
結合損失 [dB](以下)	16.0	15.0	16.0	17.5	19.0	20.0
逆結合損失 [dB](以上)	15.0	25.0	20.0	18.0	15.0	15.0
端子間結合損失 [dB](以上)	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0	15.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.8	1.8	2.0	2.0	2.5
項目	形式	CS-77F-R(端末用)				
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	
結合損失 [dB](以下)	13.0	12.0	13.0	14.5	15.0	
端子間結合損失 [dB](以上)	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0	
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.6	1.6	1.8	2.0	
項目	形式	CS-77F-RW(端末用)(2,602MHz対応)				
周波数帯域 [MHz]	10~ 76	76~ 300	300~ 770	1,000~ 1,336	1,336~ 2,150	2,150~ 2,602
結合損失 [dB](以下)	13.0	12.0	13.0	14.5	15.5	16.5
端子間結合損失 [dB](以上)	13.0	20.0	18.0	15.0	15.0	15.0
電圧定在波比 (以下)	2.5	1.8	1.8	2.0	2.0	2.5

テレビ共同受信12

機器収容箱

TV

〔単位 mm〕



分類	記号	表示容内		
		A	B	C
名称	TV	機器収容箱		
キャビネット形式	T	露出形折曲式		
寸法	-	A	B	C
	1	300	300	120
	2	400	400	
	3	450	450	
	4	500	500	
	5		600	
	6		1,000	
	7		1,100	
	8		1,000	
	9		1,200	

備考 (1) 寸法は、最小値を示す。

(2) キャビネット形式及び鋼板の厚さは、端子盤の項による。

(3) 木板は、電線、機器を取付けるのに十分な大きさとする。

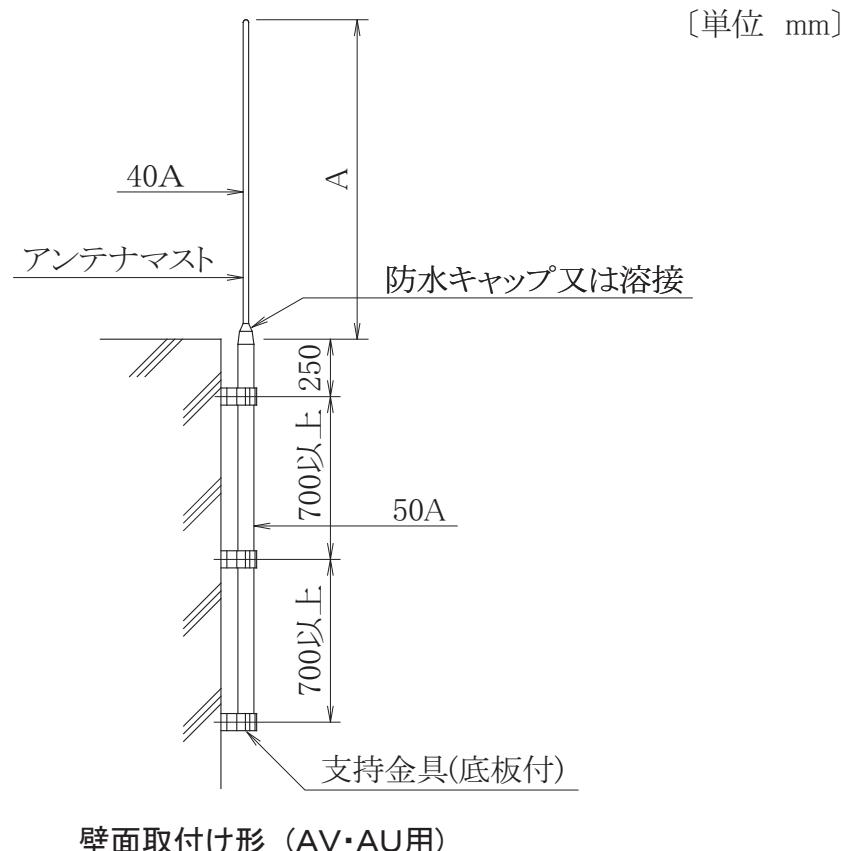
(4) 増幅器を収容するものは、放熱口を設ける。

表示例

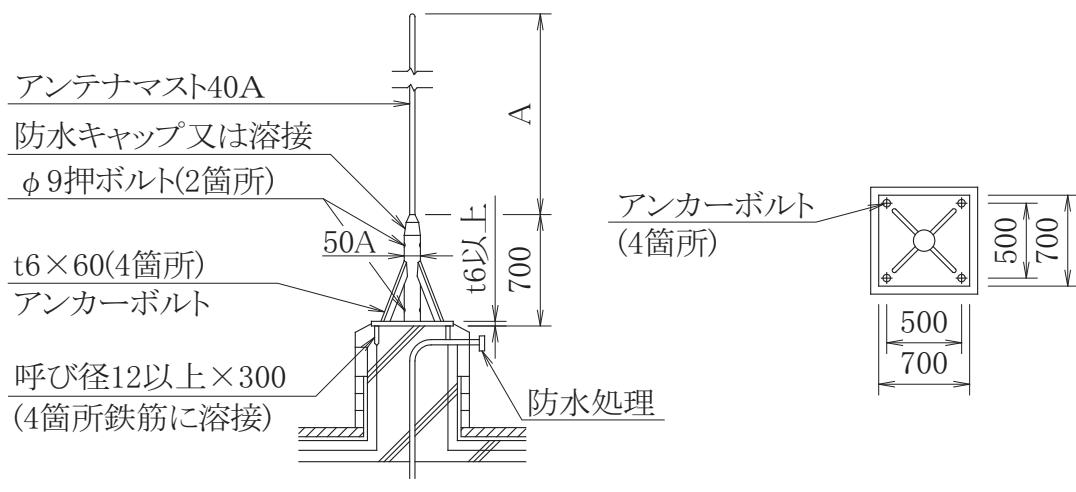
記号	説明
TV-T3	露出形折曲式で箱寸法450mm×450mm×120mmの機器収容箱

テレビ共同受信13

アンテナマストの取付1



壁面取付け形 (AV・AU用)



自立形 (AV・AU用)

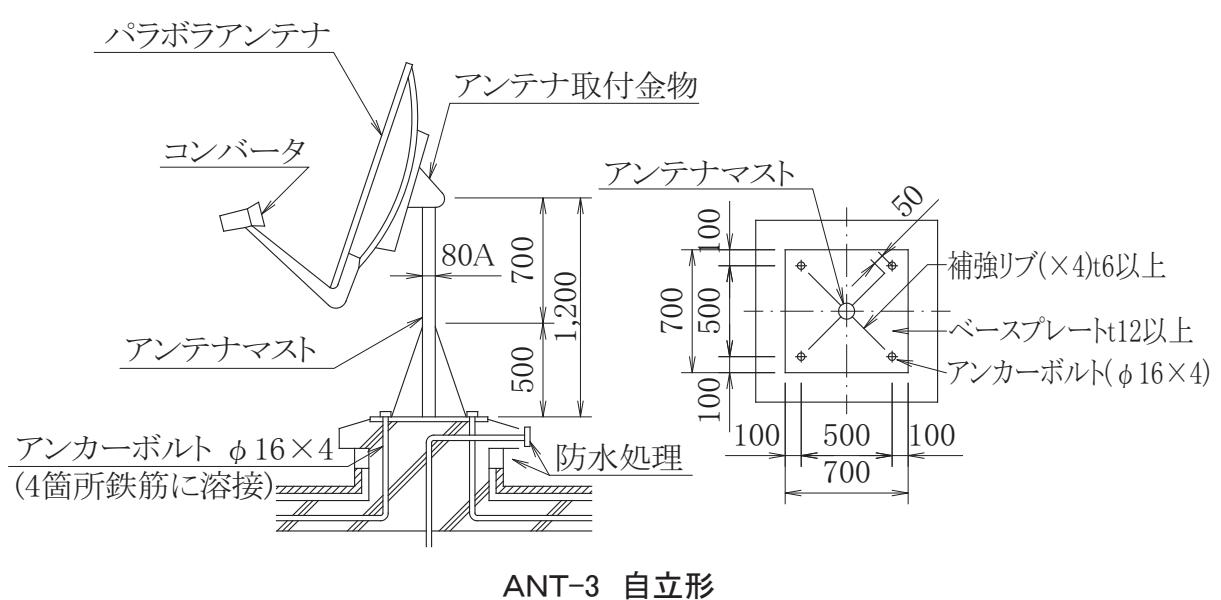
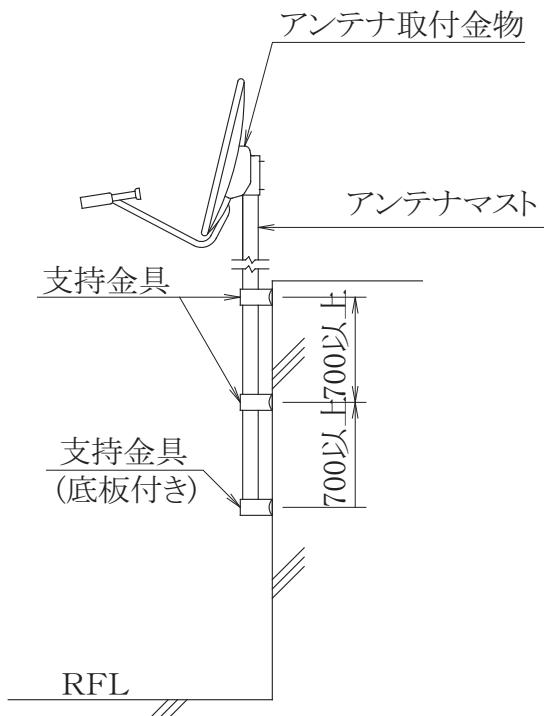
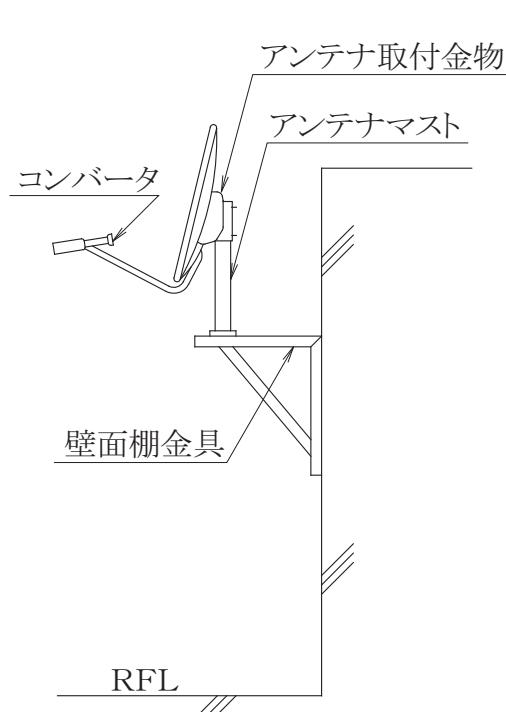
備考

- (1) 図は、アンテナマスト下部にSTPG38-50Aを使用した場合の一例を示す。
- (2) アンテナマストの管径及び管の仕様は、建築基準法施行令第87条による風圧力に耐えるものとする。
- (3) A=3,000を標準とする。

テレビ共同受信14 アンテナマストの取付2

ANT-1
ANT-2
ANT-3

[単位 mm]



備考 (1) 図は、一例を示す。

(2) アンテナマストの管径及び管の仕様は、建築基準法施行令第87条による風圧力に耐えるものとする。

テレビ電波障害1 増幅器、電源供給器

VA・UVA・
VB-1・VB-2・
UVB・MA-1

(1) 増幅器

項 目	幹 線 分 岐 增 幅 器						線 路 增 幅 器											
	VHF用		VHF・UHF用				VHF用		VHF・UHF用									
	VA		UVA				VB-1	VB-2	UVB									
	出力端子	分岐端子	出力端子	分岐端子	VHF	UHF			VHF	UHF								
周波数帯域[MHz]	76~108 170~222		76~222	470~770	76~222	470~770	76~108 170~222		76~108 170~222	470~770								
利得[dB]	15以上	28以上	6.5	13	25	24.5	L:30以上 H:35以上	L:30以上 H:35以上	L:30以上 H:35以上	40以上								
定格出力レベル[dB]	95以上	108以上	86.5	93 ^{*1}	105	104.5 ^{*1}	L:105以上 H:110以上	L:95以上 H:102以上	L:105以上 H:110以上	115以上 ^{*2}								
利得調整範囲[dB]	0~12		2.5~4	5~7.5	—	—	10以上		10以上									
帶域内周波数特性[dB]	±1.0	±2.0	±1.0	±2.0	±1.5	±2.5	±2.0		±2.0									
雑音指数[dB] (最大利得時)	15以下		12以下		15以下		10以下		12以下									
入出力インピーダンス[Ω]	75		75		75		75		75									
電圧定在波比	2.0以下		2.0以下		2.5以下		2.0以下		2.5以下									
相互変調[dB] (定格出力時)	-60以下	-55以下	-73.5以下	—	-53.5以下	—	-55以下		-55以下	—								
混変調[dB] (定格出力時)	-56以下	-46以下	-83以下	-80以下	-47以下	-49以下	-46以下 { L:2波 H:5波 }	-46以下 { L:2波 H:5波 }	-46以下2波	-46以下2波								
利得安定度[dB] (温度-10~+40°C)	±1.5以内		±0.5以内		±1.0以内		±2.0以内		±2.0以内									
ハム変調[dB]	-60以下	-54以下	-63以下		-63以下		-60以下		-60以下									
入出力接栓座	F形接栓又はフィッティングコネクタ																	
耐雷性	±15[kV] (1.2×50[μs])																	
電源電圧	AC25~30[V] 50/60[Hz]																	

備考 (1) 幹線分岐増幅器の分岐出力端子数は、4とする。

(2) VHF用幹線分岐増幅器の分岐出力端子は、1端子形の使用も可とする。

(3) 増幅器は、防水形とし、メッセンジャーワイヤ、電柱又は壁面いずれにも取付可能なものとする。

注 *1 UHF多チャンネル伝送時、運用レベルに注意すること。

*2 アナログ7波とデジタル9波伝送時の値とする。ただしデジタル9波は-10dB運用とする。

(2) 電源供給器

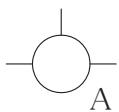
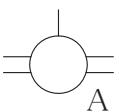
項目	形 式	MA-1
入 力 電 壓 [V]		100
出 力 電 壓 [V]		30
周 波 数 [Hz]		50/60
出 力 電 流 [A]		3
安定度(出力電圧) (温度-20~+40°C)	入力電圧90~110Vにおいて出力電圧27~30V	
避 雷	入出力に避雷回路を有すること	

テレビ電波障害2 混合(分波)器、分配器、MA・DA・CA 分岐器、保安器

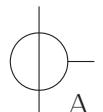
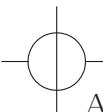
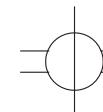
(1) 混合(分波)器

項目	形式	MA-1	摘要
周波数帯域[MHz]	76~108、170~222	FM、V _{LO} 、V _{HI}	
通過帯域損失[dB]	1.5以下		
阻止帯域減衰量[dB]	20以上		
入・出力VSWR	2.0以下		
図示記号			

(2) 分配器

項目	形式	DA-2		DA-4	
周波数帯域[MHz]	76~108、170~222	470~770	76~108、170~222	470~770	
分配損失[dB]	4.0以下	4.0以下	8.0以下	8.0以下	
定在波比	1.6以下	1.8以下	1.6以下	1.8以下	
端子間結合損失[dB]	20以上	15以上	20以上	15以上	
図示記号					

(3) 分岐器

項目	形式	CA-101、102、104	CA-151、152、154	CA-201、202、204
周波数帯域[MHz]	76~108 170~222	470~770	76~108 170~222	470~770
結合損失[dB]	10形(V±1.0V±1.5)	15形(V±1.0V±1.5)	20形(V±1.0V±1.5)	
挿入損失[dB]	1分岐	1.5以下	2.0以下	1.0以下
	2分岐	2.0以下	3.0以下	2.5以下
	4分岐	4.0以下	5.0以下	3.0以下
定在波比	1.6以下	1.8以下	1.6以下	1.6以下
逆方向結合損失[dB]	25以上	20以上	25以上	25以上
端子間結合損失[dB]	20以上	15以上	20以上	20以上
図示記号				
	(CA-101、151、201)(CA-102、152、202)(CA-104、154、204)			

(4) 保安器

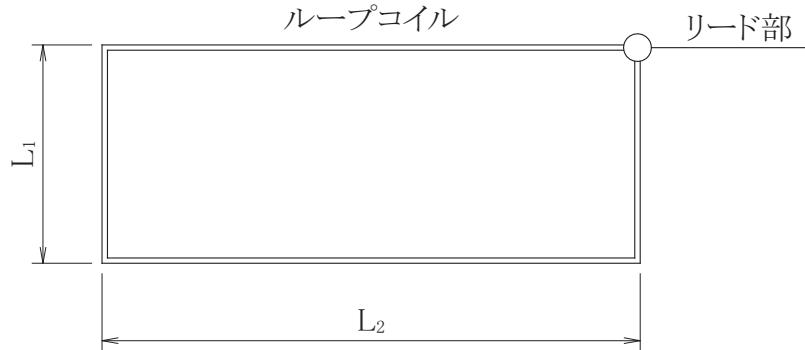
周波数帯[MHz]	76~470	470~770
入出力インピーダンス[Ω]	75	75
挿入損失[dB]	0.5以下	1.0以下
電圧定在波比	1.5以下	1.8以下
絶縁耐圧[V]	AC1,000(1分間)	
絶縁抵抗[MΩ] (入出力端子間、出力端子-接地端子間)	1以上	
避雷性 (入力端子、出力端子-接地端子間)	5kV(10×200μs)のサージ電圧に耐えること。	

駐車場管制1

検 知 器

LPC
FTR・CDS

〔単位 mm〕



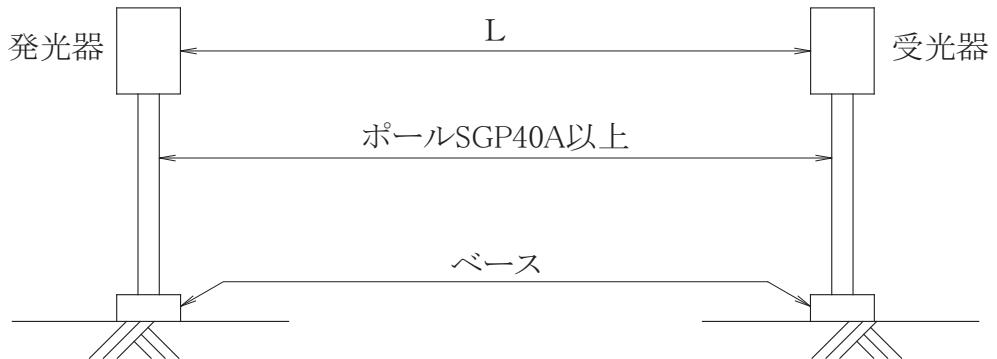
(1) ループコイル式検知器の記号

記 号	L_1+L_2
LPC-3	3,000以下
LPC-4	3,001～4,000
LPC-5	4,001～5,000
LPC-6	5,001～6,000

備考 (1) 図は、一例を示す。

(2) ループコイルの太さは、製造者の標準とする。

(3) リード部の長さは、20m附属するものとする。



(2) 光線式検知器の記号

形 式	発光器の記号	受光器の記号	L	材 質 ・ 材 厚
スタンド形	FTR-S	CDS-S	10m以下	SPC 1.2
壁露出形	FTR-W	CDS-W		SPC 1.2又はSUS 1.2
壁埋込形	FTR-R	CDS-R		

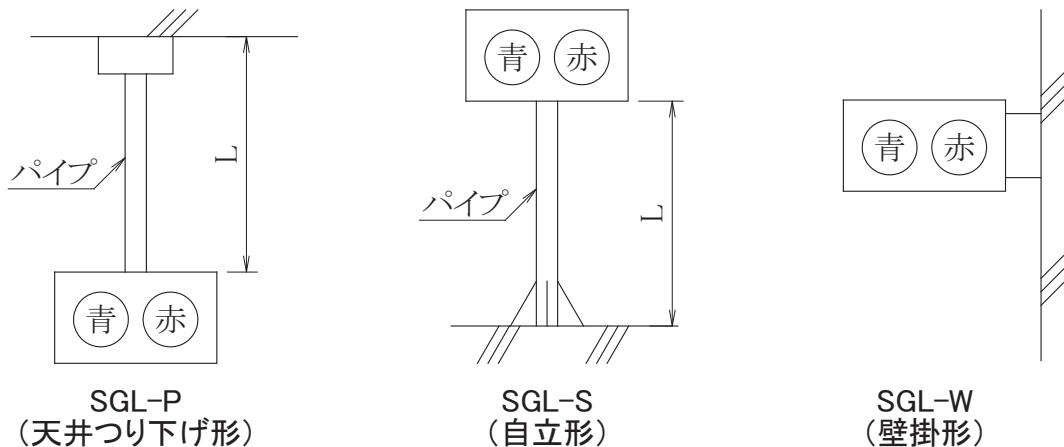
備考 図は、一例を示す。

駐車場管制2

信号灯、警報灯

SGL-P・SGL-S
SGL-W・RSL

[単位 mm]

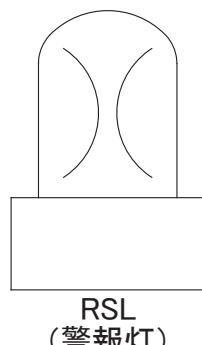


(1) 信号灯の記号

記 号	寸 法		材 質 ・ 材 厚		
	L	レンズ径	本 体	パイプ	レンズ
SGL-P	500 1,500	1,500	φ 120 以上	SGP25A 以上	硬質ガラス 又は 耐熱アクリル
SGL-S	1,000		SPC1.2	SGP50A 以上	
SGL-W	—			—	

備考 (1) 図は、一例を示す。

(2) 末尾にwを付した場合は、両面形とする。(例:SGL-Ww)



(2) 警報灯の記号

記 号	閃光数又は 点滅回数	材 質 ・ 材 厚	
		本 体	グローブ
RSL	120回/分以上	SPC1.2	ポリカーボネート t2

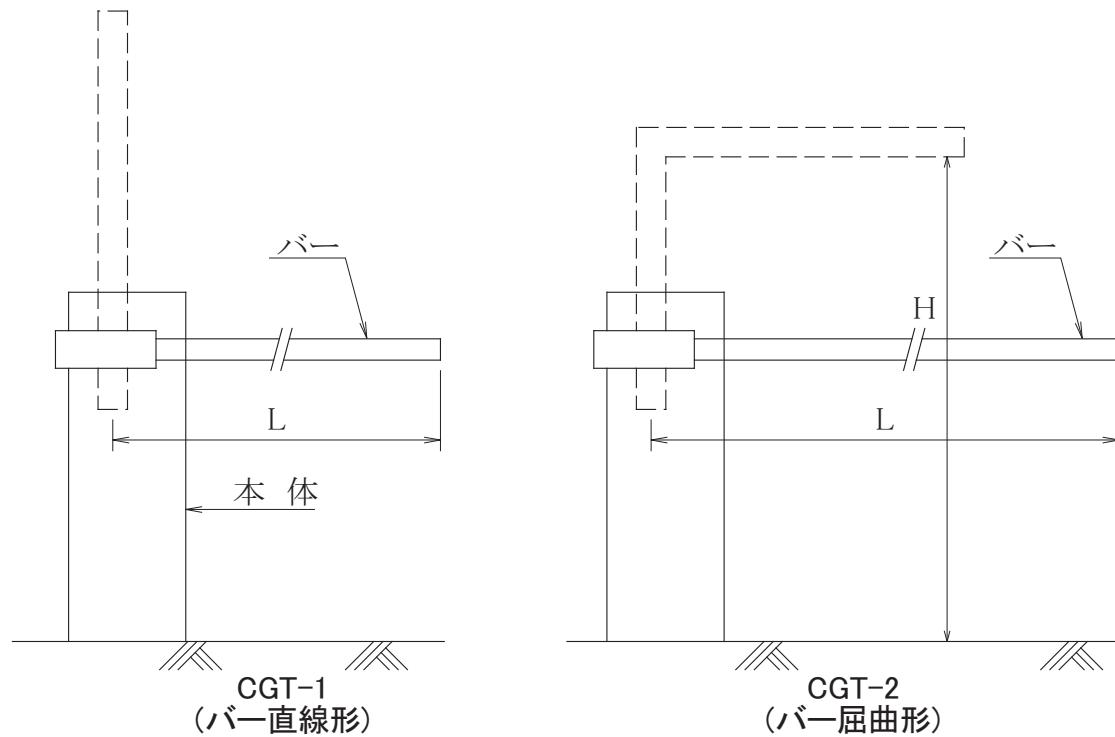
備考 図は、一例を示す。

駐車場管制3

カーゲート

CGT-1
CGT-2

〔単位 mm〕



分類		記号	内 容	
形 式	—	—	L	H
	バー直線形	CGT-1	3,000以下	—
	バー屈曲形	CGT-2	3,000以下	2,300以上
バーの材質		—	鋼 製	
		G	グラスファイバ	
		A	アルミ	

備考 図は、一例を示す。

表示例

例	記 号	説 明
例1	CGT-1	バー直線形、バーの材質鋼製
例2	CGT-2-G	バー屈曲形、バーの材質グラスファイバ
例3	CGT-1-A	バー直線形、バーの材質アルミ

第 6 編

中央監視制御設備工事

中央監視制御

信号入出力条件

項目	中央監視制御装置	信号線	現場機器	入出力条件
制御 ・発停				ON/OFF指令は瞬時接点信号(約1秒)
制御 ・切替				切替指令は連続接点信号
監視 ・状態 ・警報 ・故障				入力信号は無電圧連続接点
計測 ・電圧・電流 ・電力・力率 など				DC 4~20mA
計測 ・液位 ・CO2濃度 ・圧力・流量 ・湿度 など				DC 4~20mA
計測 ・温度				測温抵抗体(Pt100)
設定 ・設定				DC 4~20mA
積算 ・電力量 ・給水量 ・ガス量 など				パルス継続時間:100msec以上 パルス間隔 :1 sec以上

備考 図は一例を示す。